

目黒区美術館年報 平成18・19・20年度  
2006～2008年度

目黒区美術館年報  
平成18・19・20年度  
2006～2008年度

目次

I 展覧会

【平成18(2006)年度】	○「素顔の伊東深水」展～Y氏コレクションから～	4
	○「熊田千佳慕」展～花、虫、スローライフの輝き～	13
	○「山名文夫と熊田精華」展～絵と言葉のセンチメンタル～	24
	○素描する人々～或る日の洋畫研究所	36
	○めぐろの子どもたち展	40
	○チェコ絵本とアニメーションの世界～チャペック、トゥルンカから21世紀の作家まで～	41
【平成19(2007)年度】	○目黒区美術館20周年記念シリーズ1 原マスミ大全集!	49
	○線の迷宮〈ラビリンス〉II -鉛筆と黒鉛の旋律	60
	○「馬と近代美術」展	66
	○目黒の新進作家～7人の作家、7つの表現	69
	○めぐろの子どもたち展	73
	○「美女の図、美男の図～藤田嗣治、高野二三男から現代作家まで」展	74
	○「山本武夫」展～小村雪岱の弟子、美人画と舞台美術	78
【平成20(2008)年度】	○コレクション展 作品と作品の間に～4つの変奏	89
	○「画材と素材の引き出し博物館」+ワークショップ20年のドキュメント展	92
	○丸山直文展～後ろの正面	95
	○石内都展 ひろしま/ヨコスカ	98
	○めぐろの子どもたち展	103
	○祝祭の衣装展～ロココ時代のフランス宮廷を中心に	104

II 教育普及事業

(1) ワークショップ活動		108
【平成18(2006)年度】	①ミクロとマクロの探検隊	108
	②ワークショップ シリーズ「古典技法への旅」	110
	③〈場所〉と〈時間〉に出会う連続ワークショップ アート・ピクニック	110
	④からだのワークショップⅢ〈三鷹天命反転住宅〉でみつける私の“からだ”	110
【平成19(2007)年度】	①アート・ピクニック	111
	②線の迷宮〈ラビリンス〉II -鉛筆と黒鉛の旋律	112
	③色の博物誌シリーズ 絵を見るために	114
【平成20(2008)年度】	①アート・ピクニック	116
	②画材と素材の引き出し博物館+ワークショップ20年のドキュメント	117
	③建築教室 皮膜とコミュニケーション	119
(2) アウトリーチ・トイの日		120
(3) ギャラリーツアー (小学校の授業と連携)		122
(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		123
(5) めぐろアートウィーク		124
(6) その他		124

III 入館状況		125
IV 作品等貸出		128
V 刊行		134
VI 区民ギャラリー		135
VII ボランティア		138
VIII 美術館実習		140
IX 名簿		141
X 施設		142
XI 沿革		143
XII 案内		143

# I. 展覧会

[平成18 (2006) 年度]

## 「素顔の伊東深水」展 ～Y氏コレクションから～

会期：2006年4月8日(土)～6月4日(日) 51日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

協賛：株式会社 宝古堂美術

協力：東京商工会議所目黒支部、目黒区商店街連合会、(社)目黒法人会

東京目黒ライオンズクラブ、東京目黒ロータリークラブ

1976年に、目黒区上目黒の一画廊を継承、現在は銀座や世田谷にも店舗を構えるにいたった画廊主・Y氏による、美人画家として広く知られる日本画家・伊東深水の、未見の素描を中心にしたコレクション170点余りの展観。また、展覧会補遺編として、Y氏の日本近代美術関係コレクション約100点中から、31作家38点もあわせて紹介した。

### ●カタログ

仕様＝B5

ページ数：182ページ

デザイン：辻耕

発行：目黒区美術館

内容：伊東正一「編纂：父・深水の思い出」(執筆文献再録)／図版：伊東深水作品／正木基：「素描から見る伊東深水の画業」／図版：Y氏コレクション日本近代美術作品

Y氏「Y氏語る：コレクションのこと」(インタビュー)／正木基：「伊東深水の『南方風俗スケッチ』と軍事郵便絵葉書を巡って」／伊東深水略年譜／伊東深水全集未掲載原稿(自筆文献再録)「藝術としての風俗画」「風俗資料の一部として」「南方新粧」「ジヨクジャとバリ島」「ゴア王」「欧米美術紀行」「美人画のこと～自選展によせて」／伊東深水全集未掲載図版・戦前編／「伊東深水と画塾・展覧会」／「伊東深水・参考文献」／「伊東深水展出品目録 & 作品データ」／「近代美術篇出品目録 & 作品データ」

### ●ポスター

サイズ：B3

デザイン：辻耕

### ●チラシ

サイズ：A4

デザイン：辻耕

### ●チケット

サイズ6cm × 15cm

デザイン：辻耕



会場風景



### ●バナー

サイズ：111.0cm × 60.0cm

デザイン：辻耕

### ●主要関連記事

正木基「美術館博物館情報 伊東深水」『読売新聞』、2006年5月9日(夕刊)

土屋誠一「試評 photographers' gallery」

([http://pg-web.net/off\\_the\\_gallery/tsuchiya/main.html](http://pg-web.net/off_the_gallery/tsuchiya/main.html))



B3ポスター

## 伊東深水展出品作品目録・作品データ

注：この作品リストの基本は、制作年が判明した作品を年代順に記載し、そこに制作年不明の作品からテーマが近く思われる作品、すなわち主題が共通すると思われる作品をひとまとめにするかたちで構成した。作品の歴史的な推移と合わせて、それぞれの主題を、作家・伊東深水が、どのように把握し、理解し、絵として捕らえたかの共通と差異がお読み取りいただければ幸いです。

なお、「図版出展」の項目凡例は以下の通りです。

「本画」=当該素描を本画にしたものの図版

「図版」=当該素描掲載

「類似」=当該素描によく似ているが、制作時期が違うもの。

それと出典は、

「全集①1」=『伊東深水全集第1巻』（1982年、集英社）の図版 No.1

「素描集2」=『伊東深水素描集』（1981年、講談社）の図版 No.1

「写生帖人物編 p.3」=『伊東深水写生帖 人物編』（1980年、グラフィックス社）の3頁の図版

「83年素描展4」=『伊東深水素描展』（1983年、松屋個展カタログ）の作品番号4

を意味します。

作品名後のスケッチの（ ）の有無は、

「○○○（スケッチ）」=本画が同定できたもの

「○○○スケッチ」=本画が同定できないもの

を意味し、仮のタイトルとして御覧ください。

また、※印は、今回の展覧会で、仮に、命名したことを意味します。

No.	作品名 サイン・落款	制作年 出典	所蔵家管理 No.	材質・技法	寸法 縦	寸法 横
P1	宵 深水画	不明(昭和6年頃)※	H-171	紙本着彩(軸装)	137.0	30.8
P2	夕涼み※ 深水画	不明(昭和初期?)※	H-165	絹本着彩	37.3	48.5
P3	夜桜 深水画	1931年頃※	H-163	絹本着彩	40.0	51.5
P4	御点前 此君亭深水画	昭和12～16年頃※	H-170	着彩、色紙	40.2	31.7
P5	線香花火 此君汀深水画	1946(昭和21)～1949(昭和24)年頃※	H-167	紙本着彩	49.0	42.5
P6	雪柳 此君汀深水画	1948(昭和23)～1949(昭和24)年 本画：全集③30	H-169	絹本着色	64.5	71.6
P7	聴秋 深水画	不明	H-166	紙本着彩	48.5	41.4
P8	舞妓 深水	不明	H-158	紙本着彩	33.3	24.3
P9	寒椿 深水画	不明	H-168	紙本着彩	43.8	51.5
1	装いスケッチ※	1933(昭和8)年頃※ 類似：素描集125、写生帖人物編 P.12、P.13、'83年素描展7	H-161	鉛筆、着彩、紙	37.2	27.4
2	鏡獅子(スケッチ)	1934(昭和9)年 図版：写生帖人物編 P.16、本画：全集②9、素描集10、写生帖人物編 P.17、類似：素描集11	H-120	鉛筆、紙	37.6	27.7
3	鏡獅子(スケッチ)	1934(昭和9)年 図版：写生帖人物編 P.17、本画：全集②9、素描集10、写生帖人物編 P.17類似：素描集11	H-79	鉛筆、紙	36.3	27.3
4	花火の宵スケッチ	1934(昭和9)年頃 図版：写生帖人物編 P.36、本画：全集②1	H-43	鉛筆、紙	36.9	26.7
5	四季美人四幅対～春の雨 (スケッチ)	1937(昭和12)年頃 本画：全集②23	H-20	鉛筆、紙	37.1	28.8
6	羽根付スケッチ※ 昭和十四年十二月廿日	1939(昭和14)年	H-141	鉛筆、色鉛筆、紙	27.0	34.0
7	羽根付スケッチ※	不明	H-162	鉛筆、着彩、紙	41.2	31.1
8	羽子板を持す娘達下絵※	不明	H-106	墨、着彩、紙	40.1	30.9
9	吹雪スケッチ 昭和十四年十二月廿一日	1939(昭和14)年 図版：素描集29、本画：全集②35、③8、③77、素描集30、類似：全集③20、素描集32	H-68	鉛筆、色鉛筆、紙	35.7	25.7

No.	作品名 サイン・落款	制作年 出典	所蔵家管理 No.	材質・技法	寸法 縦	寸法 横
10	新粧(スケッチ) 昭和丁丑年一月廿日夜写	1940(昭和15)年 本画：全集②38	H-160	鉛筆、色鉛筆、紙	36.4	26.4
11	線香花火(スケッチ) 昭和丁丑年六月廿九日写	1937(昭和12)年 図版：写生帖人物編 P.18	H-26	鉛筆、紙	31.0	23.2
12	ふりのたもとスケッチ※	不明	H-131	色鉛筆、鉛筆、紙	36.3	23.5
13	静座スケッチ※	不明	H-88	鉛筆、紙	31.0	19.8
14	舞妓くつろぐスケッチ※	不明 図版：写生帖人物編 P.23	H-100	鉛筆、紙	26.7	18.4
15	振袖のスケッチ※	不明	H-75	鉛筆、紙	27.0	16.8
16	高島田の髪かたちのスケッチ※	不明 図版：素描集154、写生帖人物編 P.29	H-27	鉛筆、紙	37.5	28.9
17	おたいこ(黄に朱)※	不明	H-12	鉛筆、紙	36.5	27.5
18	舞妓※	不明	H-126	鉛筆、紙	33.2	24.9
19	湯気スケッチ※	1968(昭和43)年頃 本画：全集④71、類似：素描集 3	H-123	鉛筆、色鉛筆、紙	31.2	25.6
20	手水スケッチ※	不明	H-109	鉛筆、紙	36.0	23.7
21	手拭いスケッチ※	不明	H-62	鉛筆、墨、紙	35.5	25.5
22	手水スケッチ※	不明	H-149	鉛筆、紙	26.0	33.7
23	物思いスケッチ※	不明	H-132	鉛筆、色鉛筆、紙	34.7	23.9
24	湯上がりスケッチ※	不明	H-173	鉛筆、紙	35.5	24.5
25	髪型(パーマメント)スケッチ※	不明	H-92	鉛筆、色鉛筆、紙	35.6	25.9
26	パーマメントの女性スケッチ	1940(昭和15)～1941(昭和16)年頃 図版：'83年素描展18、類似：素描集177、写生帖人物編 P.60～61	H-15	鉛筆、色鉛筆、紙	29.2	21.6
27	瀧の白糸(スケッチ)	1941(昭和16)年5月13日 図版：素描集12、写生帖人物編 P.38、本画：素描集13、全集②52	H-13	鉛筆、水彩、紙	41.8	49.5
28	黛(スケッチ)	1943(昭和18)年～1944(昭和19)年 図版：素描集124、本画：全集②53	H-56	鉛筆、紙	26.4	35.7
29	化粧する婦人のスケッチ※	不明	H-147	鉛筆、色鉛筆、紙	24.6	18.5
30	パーマメントの女性スケッチ※	不明 類似：素描集181	H-41	コンテ(or 鉛筆)、 色鉛筆、紙	28.0	19.9
31	道行スケッチ※	不明	H-33	鉛筆、クレヨン、紙	36.0	25.5
32	道行スケッチ※	不明	H-25	鉛筆、色鉛筆、紙	36.2	25.4
33	花摘みスケッチ※	不明	H-94	鉛筆、色鉛筆、紙	30.6	20.7
34	吹雪下絵	1946(昭和21)年 図版：写生帖人物編 P.45、類似：素描集29、全集②35	H-28	鉛筆、色鉛筆、墨、紙	36.2	27.0
35	ひと時スケッチ※	不明	H-115	鉛筆、紙	37.2	31.5
36	春酩(「桜」)(スケッチ)	1946(昭和21)年頃※ 本画：全集③4	H-67	鉛筆、色鉛筆、紙	28.5	37.0
37	道行スケッチ※	不明	H-113	鉛筆、色鉛筆、紙	34.7	25.5
38	パーマメントの女性スケッチ	不明 図版：素描集182、写生帖人物編 P.60	H-42	鉛筆、色鉛筆、紙	37.8	25.8
39	外出着スケッチ※	不明	H-152	鉛筆、色鉛筆、紙	36.8	26.1
40	端座スケッチ※ 昭和廿一年十一月廿九日夜	1946(昭和21)年	H-148	鉛筆、色鉛筆、紙	26.4	18.8
41	端座スケッチ※ 昭和廿一年四月十二日	1946(昭和21)年 類似：写生帖人物編 P.39	H-19	鉛筆、色鉛筆、着彩、紙	37.0	28.6
42	活け花の写生	1946(昭和21)年頃 類似：写生帖人物編 P.39	H-110	鉛筆、色鉛筆、着彩、紙	36.9	28.2
43	息休めスケッチ※	不明	H-140	鉛筆、紙	36.4	24.5
44	婦人のスケッチ	不明 図版：素描集188、写生帖人物編 P.61	H-39	鉛筆、色鉛筆、紙	35.2	22.8
45	銀河祭スケッチ	1946(昭和21)年頃	H-103	鉛筆、紙	34.0	23.5

No.	作品名 サイン・落款	制作年 出典	所蔵家管理 No.	材質・技法	寸法 縦	寸法 横
		図版：素描集20、写生帖人物編 P.40、本画：全集③12、素描集16、類似：素描集17、18、19、写生帖人物編 P.40、41				
46	静座スケッチ※ 昭和廿二年六月十日写	1947(昭和22)年	H-24	鉛筆、色鉛筆、紙	35.5	24.5
47	黒髪スケッチ	1947(昭和22)年頃 図版：素描集56、写生帖人物編 P.46、本画：全集③14、素描集57、58、写生帖人物編 P.46、類似：素描集	H-38	鉛筆、色鉛筆、紙	25.9	36.3
48	黒髪スケッチ	不明 本画：全集③14、類似：素描集58、全集③参考図版	H-93	鉛筆、色鉛筆、紙	22.3	29.1
49	外出着スケッチ※	1947(昭和22)年頃※	H-64	鉛筆、紙	36.5	24.3
50	窓辺の憩いスケッチ※	不明	H-95	鉛筆、紙	32.3	26.0
51	窓辺の憩いスケッチ※	不明	H-97	鉛筆、紙	25.8	28.2
52	窓辺の憩いスケッチ※	不明	H-72	墨、紙	31.7	32.8
53	池上の茶室にて※	不明	H-29	鉛筆、紙	35.1	25.8
54	麗人二人スケッチ※ 昭和廿二年七月四日	1947(昭和22)年	H-133	鉛筆、色鉛筆、紙	36.5	25.4
55	涼を取る 昭和廿二年七月十二日写	1947(昭和22)年 図版：素描集174、写生帖人物編 P.48	H-37	鉛筆、色鉛筆、紙	36.3	24.7
56	窓辺の憩いスケッチ※	1947(昭和22)年頃※	H-83	鉛筆、色鉛筆、紙	25.4	36.4
57	春酩(「桜」)スケッチ1 昭和廿三年一月七日夜写	948(昭和23)年 図版：素描集22、本画：素描集21、全集③4、類似：素描集23	H-81	鉛筆、色鉛筆、紙	25.9	35.1
58	置炬燵スケッチ 昭和廿三年一月七日写	1948(昭和23)年 本画：素描集131、全集③82、類似：素描集133、132(下絵)、全集③50	H-61	鉛筆、色鉛筆、紙	26.4	35.4
59	置炬燵スケッチ	昭和23年頃※ 図版：素描集134、写生帖人物編 P.28、本画：素描集131、全集③82、類似：全集③50(本画)、'83年素描展23	H-14	鉛筆、色鉛筆、紙	26.0	33.0
60	読書する婦人のスケッチ	不明 図版：写生帖人物編 P.25、類似：素描集140、写生帖人物編 P.25	H-57	鉛筆、色鉛筆、紙	26.0	34.6
61	芸妓のスケッチ	1948(昭和23)年頃 図版：素描集171、'83素描展25	H-82	鉛筆、紙	26.0	35.4
62	高島田の髪かたちのスケッチ 昭和廿三年一月十二日	1948(昭和23)年 図版：素描集149、写生帖人物編 P.52～53	H-84	鉛筆、色鉛筆、紙	25.9	35.6
63	朝顔と少女	1948(昭和23)年 本画：全集⑤補遺図版8	H-34	鉛筆、紙	35.7	25.9
64	朝顔と少女	1948(昭和23)年 図版：全集⑤ P.47(44画帖より)掲載、本画：全集⑤補遺図版⑧	H-32	鉛筆、紙	35.5	26.0
65	通り雨スケッチ	1949(昭和24)年 本画：全集③20、素描集32、類似：素描集31、写生帖人物編 P.57	H-86	鉛筆、紙	31.1	25.9
66	雨上がるスケッチ※	不明	H-85	鉛筆、紙	35.2	26.0
67	ゆく春	1949(昭和24)～1950(昭和25)年 図版：写生帖人物編 P.21、本画：③29	H-98	鉛筆、色鉛筆、着彩、紙	34.4	25.5
68	黒髪スケッチ	1949(昭和24)年頃 類似：素描集161、全集②参考図版「黒髪」(昭和12年第7回朗峯画塾展)	H-58	鉛筆、紙	36.5	26.0
69	髪を梳く	不明 図版：素描集160、全集⑤(P.45)44画帖より	H-66	鉛筆、紙	37.5	28.3
70	御点前スケッチ※ 昭和廿五年十二月七日写	1950(昭和25)年 類似：素描集107	H-154	鉛筆、色鉛筆、紙	24.8	37.5
71	御点前スケッチ※	不明	H-153	鉛筆、色鉛筆、紙	37.0	26.2
72	かつた桃枝君 昭和廿六年六月十五日写	1951(昭和26)年 かつた桃枝君	H-156	鉛筆、色鉛筆、紙	36.8	25.7
73	涼を取る 昭和廿七年八月廿八日写	1952(昭和27)年 類似：素描集175	H-65	鉛筆、赤鉛筆、紙	24.9	35.6
74	芸妓のスケッチ 昭和廿七年一月廿四日	1952(昭和27)年 図版：素描集173	H-55	鉛筆、色鉛筆、紙	28.2	21.3
75	芸妓のスケッチ	1952(昭和27)年頃※ 類似：素描集163、173	H-60	鉛筆、色鉛筆、紙	29.2	24.1

No.	作品名 サイン・落款	制作年 出典	所蔵家管理 No.	材質・技法	寸法 縦	寸法 横
76	冬日スケッチ※	不明	H-116	鉛筆、紙	36.8	26.5
77	読書	1952(昭和27)年頃 図版：'83年素描展39	H-91	鉛筆、色鉛筆、紙	25.1	30.5
78	読書する婦人のスケッチ	不明 類似：素描集142、写生帖人物編 P.47	H-53	着彩、紙	31.5	42.6
79	読書する婦人のスケッチ	不明 図版：素描集142、写生帖人物編 P.48	H-105	鉛筆、紙	25.9	34.8
80	読書する婦人のスケッチ	不明	H-73	鉛筆、紙	26.7	18.6
81	読書する婦人のスケッチ	不明 図版：素描集139	H-10	鉛筆、着彩、紙	31.0	24.4
82	夢多き頃スケッチ	1952(昭和27)年頃 図版：素描集40、写生帖人物編 P.69、本画：素描集45、全集③25、類似：素描集41、42(下絵)、43、44、45(本画)、46、全集③25(本画)	H-71	鉛筆、紙	27.0	20.1
83	夢多き頃スケッチ	1952(昭和27)年頃 図版：素描集40、写生帖人物編 P.69、本画：素描集45、全集③25、類似：素描集41、42(下絵)、43、44、45(本画)、46、全集③25(本画)	H-89	鉛筆、紙	27.0	20.2
84	帯スケッチ※	不明 類似：全集③83、③114、④31	H-145	鉛筆、紙	34.8	25.9
85	帯スケッチ※	不明	H-80	鉛筆、紙	36.5	26.2
86	髪かざりスケッチ※	不明 図版：写生帖人物編 P.3(目次)	H-51	鉛筆、紙	39.6	31.0
87	鏡	1952(昭和27)年頃 本画：全集③参考図版「鏡」、類似：素描集126	H-104	鉛筆、色鉛筆、紙	32.5	22.2
88	鏡	1952(昭和27)年頃 類似：素描集126	H-87	鉛筆、紙	29.2	24.0
89	鏡スケッチ※	不明	H-114	鉛筆、紙	36.5	25.2
90	洋装の婦人スケッチ※	不明	H-76	鉛筆、紙	24.4	19.0
91	ものおもひスケッチ※	不明	H-36	鉛筆、クレヨン、紙	36.2	25.7
92	火鉢スケッチ※	不明	H-136	鉛筆、色鉛筆、紙	36.6	26.6
93	徳森川八千代子スケッチ※ 徳森川八千代子 昭和廿八年二月廿六日写	1953(昭和28)年	H-121	鉛筆、紙	29.2	24.1
94	芸妓のスケッチ 昭和廿八年二月廿六日写	1953(昭和28)年 図版：素描集 164	H-90	鉛筆、色鉛筆、紙	29.2	24.0
95	朝牀スケッチ※	不明 図版：写生帖人物編 P.35	H-107	鉛筆、紙	36.3	24.2
96	文読みスケッチ※	不明	H-134	鉛筆、紙	35.7	24.7
97	清涼(スケッチ) 昭和廿八年五月十四日	1953(昭和28)年 本画：全集④7	H-16	コンテ、紙	36.1	25.3
98	清涼(スケッチ) 昭和廿八年五月十四日	1953(昭和28)年 本画：全集④7	H-17	鉛筆、色鉛筆、紙	36.2	25.4
99	清涼(スケッチ) 昭和廿八年五月十四日	1953(昭和28)年 本画：全集④7	H-144	鉛筆、色鉛筆、紙	36.1	24.5
100	清涼スケッチ※	不明	H-146	鉛筆、クレヨン(パステル)、紙	31.0	24.0
101	雪の夜スケッチ	1954(昭和29)年頃 本画：全集③49	H-59	鉛筆、紙	27.0	20.2
102	雪の夜スケッチ	1954(昭和29)年頃 本画：全集③49	H-101	鉛筆、色鉛筆、紙	27.2	20.2
103	おしろいスケッチ※	不明 類似：全集①参考図版「おしろい」	H-119	鉛筆、紙	36.5	26.5
104	春宵(東おどり)スケッチ	1954(昭和29)年頃 本画：素描集84、全集③46、類似：素描集77、78、79、写生帖人物編 P.76	H-77	鉛筆、着彩、紙	26.0	20.6
105	春宵(東おどり)スケッチ	1954(昭和29)年頃 本画：素描集84、全集③46、類似：素描集77、78、79、写生帖人物編 P.77	H-74	鉛筆、紙	26.0	17.2
106	春宵(東おどり)スケッチ	1954(昭和29)年頃	H-111	鉛筆、色鉛筆、紙	36.7	24.5



No.	作品名 サイン・落款	制作年 出典	所蔵家管理 No.	材質・技法	寸法 縦	寸法 横
107	都鳥(スケッチ)	図版：素描集80、本画：82、全集③46、類似：素描集81、写生帖人物編 P.77 不明 本画：全集③56	H-138	鉛筆、紙	26.2	36.0
108	芸妓スケッチ※	不明	H-142	鉛筆、紙	36.9	25.2
109	芸妓のスケッチ※	不明	H-69	鉛筆、紙	41.0	31.5
110	羽織りスケッチ※	図版：写生帖人物編 P.99 不明	H-78	鉛筆、色鉛筆、紙	26.4	18.8
111	辻ヶ花スケッチ※	不明	H-54	鉛筆、色鉛筆、 クレヨン、紙	25.0	18.5
112	独座スケッチ※	類似：全集③参考図版「辻ヶ花」 不明	H-117	鉛筆、紙	35.8	26.5
113	高島田(スケッチ)	1954～55(昭和29～30)年 本画：全集③106	H-99	鉛筆、色鉛筆、紙	29.6	22.3
114	化粧のスケッチ	不明 図版：素描集130	H-30	鉛筆、色鉛筆、紙	28.2	20.8
115	みだしなみスケッチ※	不明	H-108	鉛筆、赤鉛筆、紙	35.1	24.5
116	涼スケッチ※ 昭和卅年六月八日写	1955(昭和30)年	H-129	鉛筆、色鉛筆、紙	34.7	24.1
117	涼を取るスケッチ※	不明	H-137	鉛筆、紙	36.0	24.5
118	涼スケッチ※	不明	H-159	鉛筆、紙	37.5	25.7
119	好日(スケッチ)	1955(昭和30)年頃 本画：全集③47	H-35	鉛筆、紙	36.1	28.6
120	御点前スケッチ	不明	H-7	鉛筆、色鉛筆、紙	30.5	22.7
121	御点前スケッチ 深水写	不明 図版：素描集115	H-46	鉛筆、クレヨン、紙	35.7	24.3
122	御点前スケッチ	不明	H-155	鉛筆、クレヨン、紙	31.0(紙サイズ) 27.8(窓サイズ) 41.2(紙サイズ) 34.4(窓サイズ)	
123	浴衣スケッチ※	類似：全集④28 1956(昭和31)年※ 類似：素描集137	H-127	鉛筆、色鉛筆、紙	35.5	24.5
124	浴衣スケッチ※	1957(昭和31)年※ 本画：全集④54、類似：素描集137	H-21	鉛筆、色鉛筆、紙	30.2	19.2
125	聞香※	不明 図版：全集⑤ P.46(44画帖より)、本画：③113、類似：全集②34	H-9	鉛筆、着彩、紙	37.6	24.0
126	木暮実千代さん	1957(昭和32)年頃※ 図版：写生帖人物編 P.81	H-18	鉛筆、色鉛筆、紙	34.5	22.8
127	花吹雪(「婦人のスケッチ」)	1958(昭和33)年頃 図版：素描集187、本画：全集④参考図版「花吹雪」	H-8	鉛筆、色鉛筆、紙	32.8	22.9
128	裸婦スケッチ	昭和30年代 図版：全集⑤31、'83年素描展74	H-112	コンテ、紙	37.5	25.5
129	裸婦	昭和30年代 図版：'83年素描展74	H-102	コンテ、紙	22.2	29.2
130	螢(スケッチ)	1958(昭和33)年頃 図版：素描集101、本画：素描集100、全集④23	H-23	鉛筆、紙	29.2	27.8
131	螢(スケッチ)	1958(昭和33)年頃 類似：素描集100(本画)、101、全集④23	H-11	鉛筆、紙	40.0	27.9
132	姿見(スケッチ)	1958(昭和33)年頃 本画：全集④24	H-45	墨、鉛筆、色鉛筆、紙	39.7	30.2
133	花柳若菜さん 昭和卅六年三月十六日写	1961(昭和36)年 図版：写生帖人物編 P.101	H-44	墨、クレヨン、紙	41.5	31.8
134	婦人の髪型 昭和卅六年六月八日写	1961(昭和36)年 図版：素描集190、写生帖人物編 P.97	H-118	鉛筆、色鉛筆、紙	36.2	24.1
135	踊子スケッチ※	不明	H-5	鉛筆、紙	45.0	51.0

No.	作品名 サイン・落款	制作年 出典	所蔵家管理 No.	材質・技法	寸法 縦	寸法 横
136	古典スケッチ※	1967(昭和42)年頃	H-31	鉛筆、紙	33.0	25.5
137	舞いのスケッチ	不明 図版：素描集157、写生帖人物編 P.103	H-63	鉛筆、紙	36.3	26.9
138	娘道成寺を踊る吾妻徳穂スケッチ 吾妻徳穂師 昭和四十年十月十二写 深水写	1965(昭和40)年 図版：素描集93、写生帖人物編 P.105、本画：素描集92、全集④63、'83年素描展62	H-50	鉛筆、着彩、紙	45.7	38.0
139	於北鎌倉畫室 昭和四十一年八月廿八日写	1966(昭和41)年 於北鎌倉畫室 深水写	H-40	鉛筆、色鉛筆、紙	41.3	30.4
140	坂本雄戸女 坂本雄戸女 昭和四十一年八月十日	1966(昭和41)年 於北鎌倉の畫室にて	H-52	鉛筆、クレヨン、紙	31.0	41.2
141	菊(スケッチ)	1960(昭和35)年頃 図版：素描集104、本画：全集④94	H-22	鉛筆、色鉛筆、紙	29.5	22.8
142	菊を活ける勅使河原霞女史 (スケッチ) 昭和四十一年九月十九日 於畫室写 深水	1966(昭和41)年 図版：'83年素描展67、本画：素描集102、全集④66、類似：素描集103、104、105、106	H-48	鉛筆、色鉛筆、 クレヨン、紙	45.5	37.8
143	菊を活ける勅使河原霞女史 (スケッチ)	1966(昭和41)年 本画：素描集102、全集④66、類似：素描集103、104、105、106	H-47	鉛筆、色鉛筆、紙	28.0	24.0
144	菊を活ける勅使河原霞女史 (スケッチ)	1966(昭和41)年 図版：素描集105、本画：素描集102、全集④66、類似：素描集103、104、106	H-70	鉛筆、クレヨン、紙	41.2	31.0
145	菊を活ける勅使河原霞女史 (スケッチ) 昭和四十一年九月十九日写 深水	1966(昭和41)年 図版：画集⑤(P.54)44画帖より、'83年素描展68、本画：素描集102、全集④66、類似：素描集103～106	H-49	鉛筆、色鉛筆、紙	45.5	37.1
146	湯気スケッチ※	不明 類似：素描百撰21	H-96	鉛筆、紙	35.6	24.7
147	舞妓スケッチ※	不明	H-143	鉛筆、色鉛筆、紙	36.0	23.9
148	後ろ姿の舞妓スケッチ※	不明	H-151	鉛筆、紙	36.0	24.2
149	舞妓スケッチ※	不明	H-130	墨、バステル、着彩、 紙	37.7	27.5
150	菊スケッチ※ 昭和戊寅十一月十七日 深水寫生	1938(昭和13)年 類似：写生帖花鳥編 P.83	H-157	着彩、紙	42.5	29.0
151	八重桜スケッチ※ 昭和卅三年四月十七日	1958(昭和33)年	H-150	鉛筆、色鉛筆、着彩	36.0	24.7
152	花菖蒲 池の漣 昭和卅三年六月十九日	1958(昭和33)年 図版：素描集228、類似：写生帖花鳥編 P.58	H-2	着彩、紙	45.5	36.0
153	桃	不明 図版：素描集213	H-128	鉛筆、着彩、紙	35.6	23.0
154	ぼけスケッチ※	不明	H-125	着彩、紙	24.2	28.9
155	むしの音 深水畫	不明 類似：素描集233	H-164	墨、着彩、紙	43.6	47.5
156	薔薇スケッチ※	不明 類似：写生帖花鳥編 P.80	H-122	色鉛筆、紙	24.7	17.0
157	那智之滝	1932(昭和7)年頃※	H-135	鉛筆、着彩、紙	36.6	26.4
158	雪景色(浜町の家にて)  浜町の家にて 昭和四十二年 三月十二日朝三日前より降 り続いた雪も今猶降り止まず 十三年ぶりの大雪との事 深水写	1967(昭和42)年 図版：写生帖花鳥編 P.95(←参考作品)	H-4	マジック、墨、 インク、着彩、紙	49.7	38.6
159	雪景色(大雪)	1967(昭和42)年	H-6	墨、着彩、紙	48.4	37.1

No.	作品名 サイン・落款	制作年 出典	所蔵家管理 No.	材質・技法	寸法 縦	寸法 横
	昭和四十二年二月十一日比日 大雪 深水写	図版：写生帖花鳥編 P.94 (←参考作品)				
160	犬スケッチ※ 昭和四十二年六月十九日写	1957(昭和32)年	H-139	鉛筆、クレパス、紙	24.7	36.0
161	牡丹に唐獅子(下絵) 昭和四十二年六月十九日写	1967(昭和42)年	H-1	鉛筆、色鉛筆、 インク、紙	37.0	44.8
		図版：写生帖花鳥編 P.104、本画：全集⑤補遺図版17、下絵：素描集220				

## 出品リスト

註：●印は判読不明を意味する

No.	作品名	各品名	制作年	材質・技法	寸法	
1	池田 遙邨	村道	不明	絹本着彩	55.2×41.7	左下「遙邨」・落款、箱書き題字有
2	上村 松園	美人の囃	不明	紙本着彩(小襖)	23.0×101.0	署名、落款
3	奥田 元宋	富嶽秋暈	不明	絹本着彩	50.5×61.0	右下「元宋」・落款
4	川合 玉堂	たつ鷹	不明	紙本着彩	42.2×57.0	左下「玉堂」・落款、箱書き有
5	川端 龍子	松に小禽	不明	絹本着彩	57.7×46.7	左上「龍子」・落款、題字、書名、落款、「東京美術倶楽部鑑定委員会」鑑定証付
6	郷倉 千初	白い犬	不明	絹本着彩	49.0×60.0	右下「千初」・落款
7	小杉 放庵	秋晴遊禽圖	不明	紙本着彩	55.3×63.5	右下「放庵」・落款、画面裏小杉一雄題字書き、「己巳十月嗣小杉一雄鑒」、箱書き「秋晴遊禽」署名
8	下田 義寛	飛翔	不明	紙本、金箔、着彩	60.6×49.9	右下「義寛」・落款、画面裏為書き
9	高山 辰雄	上弦	不明	キャンバス着彩	33.0×53.0	右下「辰雄」・落款、画面裏題字、署名、落款有
10	前田 青邨	武将地圖を按ず	不明	紙本着彩	42.3×51.5	右下「青邨」・落款、箱書き題字、書名、落款
11	松林 桂月	富士	不明	絹本着彩	61.0×73.0	左下「讀」・落款、東方有園 / 瑞雲●。 / ●是蓬萊 / 春色濃。 / 鐘●乾坤 / 靈秀氣。 / 萬櫻花上 / 仰芙蓉。 / 桂月山人 / 詩画(畫)
12	守屋 多々志	武者	不明	紙本着彩	46.1×53.5	右下「多々志」・落款、画面裏題字、署名有
13	安田 靱彦	菅丞相	不明	紙本、金箔、着彩	49.1×61.1	右下「靱彦」・落款、画面裏「靱彦画建一識」、落款有
14	山口 逢春	春の歌	不明	紙本着彩	32.4×43.5	右下「逢春」・落款、箱書き題字、書名、落款有
15	山本 丘人	風景	不明	紙本着彩	46.5×69.2	左下「丘人」・落款
16	横山 大観	靈峰不二	不明	絹本着彩	32.3×51.5	左下「大観」・落款、箱書き題字、「米寿大観題匣」有
17	棟方 志功	御菩薩図	不明	着彩、紙	106.2×35.8	下「志功拜筆」・落款、画面裏鑑定委員会鑑定登録証第1336号
18	棟方 志功	御赤衣施無畏図	不明	着彩、紙	64.9×32.6	左上「志功拜寫」・落款、画面裏鑑定委員会鑑定登録証第1559号
19	棟方 志功	観音経板画柵～居士女の柵	1938(昭和13)年	木版、紙	43.5×53.3	サイン無、画面裏鑑定委員会鑑定登録証第8593号
20	梅原 龍三郎	グランパレ・セーヌ河岸風景	1960(昭和35)年	油彩、キャンバス	46.0×54.5	サイン無、「東京美術倶楽部鑑定委員会」鑑定証付
21	梅原 龍三郎	カンヌ港	1962(昭和37)年	油彩、キャンバス	75.0×58.0	右下「1962 R.Umehara」、東京美術倶楽部鑑定委員会鑑定証付
22	岡 鹿之助	発電所附近	1964(昭和39)年	油彩、キャンバス	38.0×45.5	右下「OKA」、裏にサイン「S.Oka 鹿 1964」
23	岡田 三郎助	大石田町(初夏)	1917(大正8)年	油彩、キャンバス	45.7×60.5	左「S.OKADA 1917」、画面裏「大石田町 岡田」書込み有
24	熊谷 守一	裸婦	不明	油彩、板	32.9×23.9	左下「熊谷守一」、箱書き有「裸婦 熊谷守一」、東京美術倶楽部鑑定委員会鑑定証付
25	小磯 良平	雲と飛行機	1942(昭和17)年	油彩、キャンバス	33.0×45.0	右下「R.koiso」、「小磯良平鑑定委員会」鑑定証付
26	小磯 良平	飛行機	1944(昭和19)年	油彩、キャンバス	24.5×34.0	サイン無、「小磯良平鑑定委員会」鑑定証付
27	小糸 源太郎	つゆ空	1947(昭和22)年	油彩、キャンバス	46.0×65.5	左上サイン、木枠等に書込み・出品シール・略歴等有、「東京美術倶楽部鑑定委員会」鑑定証付

No.	作品名	各品名	制作年	材質・技法	寸法	
28	三岸節子	果物	1954(昭和29)以前	コンテ、クレヨン、紙	39.5×27.5	左下「S.Migishii」
29	香月 泰男	梔子	1958(昭和33)年	水彩、クレヨン、紙	39.7×27.2	右下「Y.KaZuKi 58」、「藤田士郎」証明書付
30	鳥海 青児	(草屋根の家)ユカタン風景・メキシコ	1962(昭和37)年頃	油彩キャンバス	32.2×41.1	右下「chokai」、キャンバス裏書き「鳥海青児 ユカタン風景・メキシコ」、「東京美術倶楽部鑑定委員会」鑑定証付(タイトル:草屋根の家 ユカタン風景・メキシコ)
31	林 武	静物	1953(昭和28)年頃	油彩キャンバス	33.3×52.3	サイン無 武の会鑑定シール850号、「武の会」登録証付
32	藤島 武二	葡萄	1920(大正9年)	油彩キャンバス	82.6×47.1	右上「武二 Foudjishima」、「藤島武二の会」登録証付
33	藤田 嗣治	猫と婦人	1938(昭和13)年	インク、着彩、紙	51.0×36.6	左下「嗣治 Foujita 1938 Tokio」、「東京美術倶楽部鑑定委員会」鑑定証付(タイトル:「猫を抱く婦人」)
34	藤田 嗣治	動物達の円舞	1949(昭和24)年	着彩、カット、紙	27.8×34.9	左下「Foujita」、「東京美術倶楽部鑑定委員会」鑑定証付
35	藤田 嗣治	草原	不明	油彩キャンバス	50.3×60.7	右下「嗣治 Foujita」
36	三岸 節子	花	1963(昭和38)年	パステル、グワッシュ、油彩	50.0×29.5	左下「節子 S.Migishi」、日動画廊シール、「三岸黄太郎」鑑定証付
37	向井 潤吉	梅咲く径(秩父)	不明	油彩キャンバス	24.3×33.4	右下「潤吉」、キャンバス裏書き「潤吉 梅咲く径(秩父)」
38	安井 曾太郎	葡萄図	1953(昭和28)年	油彩キャンバス	37.5×46.0	左下「s.yasui」箱書き題字、作家名、制作年、記載、「東京美術倶楽部鑑定委員会」鑑定証付

# 「熊田千佳慕」展 —花、虫、スローライフの輝き—

会期：2006年6月24日(土)～9月3日(日) (62日間)  
会場：展示室A、C、展示ロビー、エントランスホール  
主催：目黒区美術館  
助成：財団法人 地域創造  
後援：有隣堂  
担当学芸員：矢内みどり

熊田千佳慕(くまだ・ちかほ、1911年～)は、1934年東京美術学校在籍中、「日本工房」に入社し、当時中心的なデザイナーであった山名文夫の後を継いで海外向けグラフィック誌『NIPPON』のレイアウトなどを担当。また戦後は、「ふしぎの国のアリス」など絵本を多数手がけ、フェアブル昆虫記のシリーズなど細密な筆致で色彩豊かな昆虫や花の作品を制作しています。本展は、デザインの仕事や絵本の原画、水彩画を中心に約200点で構成し、これまでの足跡を辿りました。

## ●カタログ

寸法：同時開催「山名文夫と熊田精華展」図録との2冊組(各々A4)2冊ケース付  
ページ数：116ページ

内容：謝辞/目次/ごあいさつ/メッセージ「柳に雪折れなし(熊田千佳慕展によせて)」[奥本大三郎] /幸福論としての熊田千佳慕 [矢内みどり] /日本工房時代の熊田五郎 [堀宣雄] /図版/出品リスト/熊田千佳慕 略年譜  
デザイン：矢萩喜徳郎

## ●ポスター

サイズ：B2/B3  
デザイン：矢萩喜徳郎

## ●チラシ

サイズ：A3(二つ折)  
デザイン：矢萩喜徳郎

## ●関連催事

- \*熊田千佳慕・福原義春対談「生きること、愛すること、描くこと」  
7月8日(土) 14:00～15:00  
出演：熊田千佳慕[本展作家]とゲスト福原義春[(株)資生堂名誉会長]
- \*ワークショップ「親子で描く昆虫、花」  
7月22日(土) 10:30～16:30  
講評：熊田千佳慕 講師：榎本寿紀
- \*お絵かきコーナー「自由に描こう」  
会期中毎日
- \*絵画コンクール「花と虫の絵を描く」  
締め切り8月5日(土) 発表8月12日(土)  
審査委員長：熊田千佳慕
- \*紙芝居「日本のプチ・フェアブル 熊田千佳慕先生の半生記 みて、みつめて、みきわめて」ほか  
8月5日(土)・8月20日(日) 両日14:00から  
作・画：大泉ひろ子、作曲：原和子
- \*アウトリーチ(中目黒保育園)  
「日本のプチ・フェアブル 熊田千佳慕先生の半生記 みて、みつめて、みきわめて」ほか  
作・画：大泉ひろ子、作曲：原和子  
5月30日 中目黒保育園、6月13日 下目黒小学校



会場風景

花、虫、スローライフの輝き

# 熊田千佳慕展

2006年6月24日[土]-9月3日[日]

山名文夫と熊田精華展

絵と言葉のセンチメンタル




Meguro Museum of Art, Tokyo  
目黒区美術館

文庫は  
虫かき  
子作り持ち

B 2 ポスター

山名文夫・熊田精華展

# 熊田千佳慕展

花、虫、スローライフの輝き

2006年6月24日[土]-9月3日[日]



Meguro Museum of Art, Tokyo  
目黒区美術館

文庫は  
虫かき  
子作り持ち

B 3 ポスター



No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)	所蔵先	
<b>[3] 「ピノキオ」</b>							
53	熊田千佳慕	「ピノキオ」より	1957年版表紙	1956-57	ケント紙・ポスターカラー	27.0×19.5	個人蔵
54	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
55	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
56	熊田千佳慕	「ピノキオ」より	1998年版表紙・本文	1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
57	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
58	熊田千佳慕	「ピノキオ」より	1998年版扉・本文	1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
59	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
60	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
61	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
62	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
63	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
64	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
65	熊田千佳慕	「ピノキオ」より		1956-57	ケント紙・ポスターカラー	24.4×36.2	個人蔵
<b>[4] 「ライオンのめがね」</b>							
66	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より	1966年版表紙	1961-66	ケント紙・ポスターカラー	17.2×18.5	個人蔵
67	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より	扉	1961-66	ケント紙・ポスターカラー	16.0×16.0	個人蔵
68	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
69	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
70	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
71	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
72	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
73	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
74	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
75	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より	1998年版表紙・本文	1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
76	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
77	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
78	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
79	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
80	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
81	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
82	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961-66	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
83	熊田千佳慕	「ライオンのめがね」より		1961	ケント紙・ポスターカラー	24.4×33.2	個人蔵
<b>[5] 「みつばちアリス」</b>							
84	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	表紙	1993-96		26.6×40.3	個人蔵
85	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	扉			25.6×52.1	個人蔵
86	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	見返し			25.6×52.1	個人蔵
87	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	春風にさそわれて…	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
88	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	旅のなかま、ブック	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
89	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	花の町の住人たち	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
90	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	ナガメ対アシナガバチ	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
91	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	春のよろこび	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
92	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	親せきのクマバチ、ボリス	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
93	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	ゲンゲのパンチ	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
94	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	バラのお城でみるゆめは…	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
95	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	雨にかがやく花たばの町	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
96	熊田千佳慕	「みつばちアリス」より	ころしやオニヤンマ、クラーク	1971-73	ケント紙・水彩	26.6×40.3	個人蔵
<b>[6] 「みつばちマーヤの冒険」</b>							
97	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より	表紙	1993-96		29.1×22.6	個人蔵



No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)	所蔵先
98	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より 裏表紙	1993-96		29.1×22.6	個人蔵
99	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より 見返し	1993-96	鉛筆画	28.5×43.4	個人蔵
100	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より マーヤのたんじょう	1993-96		28.8×35.3	個人蔵
101	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より 巣わかれ	1993-96		28.7×43.5	個人蔵
102	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より 巣のかげで	1993-96		28.8×35.3	個人蔵
103	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より たびだち	1993-96		28.6×35.3	個人蔵
104	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より 草はらのうえをとぶ	1993-96		28.8×43.4	個人蔵
105	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より チューリップ	1993-96		28.5×43.6	個人蔵
106	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より 花のうえでひとやすみ	1993-96		28.5×35.3	個人蔵
107	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より ペピーのバラのやど	1993-96		28.5×43.5	個人蔵
108	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より もりのみずうみ	1993-96		28.5×35.3	個人蔵
109	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より おびえるマーヤ	1993-96		28.5×35.3	個人蔵
110	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より たべられたハンス	1993-96		28.5×43.6	個人蔵
111	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より シュヌックのおしえ	1993-96		28.5×35.3	個人蔵
112	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より あめのあさ	1993-96		28.5×43.5	個人蔵
113	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より クルトとマーヤ	1993-96		28.5×35.1	個人蔵
114	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より クルトをたすける	1993-96		28.5×43.6	個人蔵
115	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より バッタにであう	1993-96		28.5×35.3	個人蔵
116	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より とびはねるバッター	1993-96		28.5×35.5	個人蔵
117	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より クモの巣にかかる	1993-96		28.5×35.3	個人蔵
118	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より クルトのおんがえし	1993-96		28.5×43.5	個人蔵
119	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より 木のうえのともだち	1993-96		28.5×35.2	個人蔵
120	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より ハンニバルとのであい	1993-96		28.5×43.5	個人蔵
121	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より マーヤのゆめ	1993-96		28.5×35.3	個人蔵
122	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より スズメバチにつかまる	1993-96		28.5×43.5	個人蔵
123	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より 番兵にみつかる	1993-96		28.5×35.3	個人蔵
124	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より たたかい	1993-96		28.5×43.5	個人蔵
125	熊田千佳慕	「みつばちマーヤの冒険」より マーヤのおてがら	1993-96		28.5×43.5	個人蔵
[7] 「花のファンタジー」						
126	熊田千佳慕	「花のファンタジー」より 白いバレリーナ	1977-78	ケント紙・水彩	30.4×42.5	個人蔵
127	熊田千佳慕	「花のファンタジー」より 青い夏の夜	1977-78	ケント紙・水彩	30.3×40.0	個人蔵
128	熊田千佳慕	「花のファンタジー」より キノコの村	1977-78	ケント紙・水彩	30.3×40.0	個人蔵
129	熊田千佳慕	「花のファンタジー」より 森の秋	1977-78	ケント紙・水彩	30.3×42.6	個人蔵
130	熊田千佳慕	「花のファンタジー」より ランの町	1977-78	ケント紙・水彩	30.3×42.4	個人蔵
[8] 「はるってなんですか」						
131	熊田千佳慕	「はるってなんですか」より	1982.3		30.2×42.6	個人蔵
132	熊田千佳慕	「はるってなんですか」より	1982.3		30.2×42.6	個人蔵
133	熊田千佳慕	「はるってなんですか」より	1982.3		30.2×42.6	個人蔵
134	熊田千佳慕	「はるってなんですか」より	1982.3		30.2×42.6	個人蔵
135	熊田千佳慕	「はるってなんですか」より	1982.3		30.2×42.6	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)	所蔵先
[9] 「ファーブル昆虫記の虫たち」						
137	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの名人	ふん玉作	1978-88	26.3×42.5	個人蔵
138	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よいろぼうとの争い	ふん玉ど	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
139	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのゆりかご	ナシ玉の	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
140	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの幼虫時代	ふん玉で	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
141	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの地上への旅立ち	地上への	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
142	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのシロチョウ	オオモン	1978-88	22.4×22.9	個人蔵
143	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの畑で	キャベツ	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
144	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの幼虫	大食漢の	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
145	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの香りをたよりに…	香りをた	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
146	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのマキリ	ウスバカ	1978-88	22.4×22.9	個人蔵
147	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの待ちぶせ	待ちぶせ	1978-88	26.3×42.3	個人蔵
148	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのな狩人	ざんこく	1978-88	26.3×42.3	個人蔵
149	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの楽園	卵たちの	1978-88	26.3×42.5	個人蔵
150	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのっばい	危険がい	1978-88	26.3×42.6	個人蔵
151	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのゼミ	トネリコ	1978-88	22.4×22.9	個人蔵
152	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのつ部屋	羽化を待	1978-88	42.5×26.5	個人蔵
153	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのこめて…	体中の力	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
154	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのをねらう虫たち	おこぼれ	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
155	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのい敵	おそろし	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
156	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの産卵	枯れ枝へ	1978-88	26.3×42.6	個人蔵
157	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのヒトツメゾウムシ	ショウブ	1978-88	22.4×22.9	個人蔵
158	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのレストラン	キショウ	1978-88	26.3×42.6	個人蔵
159	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの産卵	さやへの	1978-88	26.3×42.5	個人蔵
160	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのリスとナンキンアヤメ	シボリイ	1978-88	22.4×42.5	個人蔵
161	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのヤクサン	オオクジ	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
162	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの夜間飛行	夜間飛行	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
163	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのまるオス	メスに集	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
164	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのびて…	陽光を浴	1978-88	26.5×42.4	個人蔵
165	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりの日まで	はばたく	1978-88	26.5×42.5	個人蔵
166	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのナバチ	キバネア	1978-88	22.4×22.9	個人蔵
167	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」よりのザミのレストラン	ロランア	1978-88	26.2×42.5	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)	所蔵先
168	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 巣穴の大工事	1978-88		26.2×42.5	個人蔵
169	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 小さな狩人	1978-88		26.3×42.5	個人蔵
170	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 巣穴へのえもの運び	1978-88		26.3×42.6	個人蔵
171	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より キバネア ナバチのマンション	1978-88		26.3×42.6	個人蔵
172	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より シマコハ ナバチ	1978-88		22.4×42.5	個人蔵
173	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ヒナギクのみつ集め	1978-88		26.3×42.5	個人蔵
174	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 巣穴の門番	1978-88		26.3×42.5	個人蔵
175	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 地下での幼虫時代	1978-88		42.5×26.3	個人蔵
176	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より アラメジガバチ	1978-88		22.4×22.9	個人蔵
177	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 上品なお客さま	1978-88		26.4×42.5	個人蔵
178	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 生まれついで狩人	1978-88		26.3×42.5	個人蔵
179	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 倉づくり	1978-88		26.2×42.7	個人蔵
180	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 快適な部屋	1978-88		26.3×42.5	個人蔵
181	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ハナムグリ	1978-88		22.4×22.9	個人蔵
182	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より リラの花まつりとキンイロハナムグリ	1978-88		26.2×42.5	個人蔵
183	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 花まつりのお客さま	1978-88		26.3×42.4	個人蔵
184	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より バラのゆりかご	1978-88		26.2×42.4	個人蔵
185	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ナシのレストラン	1978-88		26.4×42.4	個人蔵
186	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 枯れ葉の山への産卵飛行	1978-88		26.2×42.4	個人蔵
187	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 腐葉土の中の生活	1978-88		26.2×42.4	個人蔵
188	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より センチコガネ	1978-88		22.4×22.9	個人蔵
189	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ふんのそうじ屋	1978-88		25.7×42.7	個人蔵
190	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ふんの腸づめ	1978-88		25.7×42.7	個人蔵
191	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より キンイロオサムシ	1978-88		22.4×22.9	個人蔵
192	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 庭の番人	1978-88		26.3×42.4	個人蔵
193	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 得意、苦手	1978-88		25.7×41.9	個人蔵
194	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 天敵	1978-88		26.2×42.5	個人蔵
195	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 越冬と産卵	1978-88		25.7×42.5	個人蔵
196	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より オウシュウクロコオロギ 恋のセレナーデ	1978-88		25.7×43.0	個人蔵
197	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より フンコロガシとシロツメクサ	1978-88	デッサン・彩色	21.5×44.9	個人蔵
198	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より フンコロガシ	1978-88	鉛筆画	24.5×44.9	個人蔵
199	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より カマキリの幼虫	1978-88	デッサン・彩色	21.5×44.9	個人蔵
200	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より カマキリとカルダスアザミ	1978-88	鉛筆画	24.4×44.9	個人蔵
201	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ジガバチ	1978-88	デッサン・彩色	21.5×44.9	個人蔵
202	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ジガバチとラベンダー	1978-88	鉛筆画	25.5×52.0	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)	所蔵先
203	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ハナムグリとバラ	1978-88	デッサン・彩色	21.5×44.9	個人蔵
204	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より ショウブヒトツメゾウムシとナンキンアヤメ	1978-88	鉛筆画	24.4×44.9	個人蔵
205	熊田千佳慕	「ファーブル昆虫記の虫たち」より 自然のいとなみ	1978-88		25.8×43.3	個人蔵
[10] 「日本の虫たち」、その他						
206	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より 青空にとぶ宝石	1968-88	ケント紙・水彩	30.2×42.0	個人蔵
207	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より レンゲの町	1968-88	ケント紙・水彩	28.1×45.0	個人蔵
208	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より たすけあい	1968-88	ケント紙・水彩	28.1×45.0	個人蔵
209	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より 星空のジェット機	1968-88	ケント紙・水彩	30.6×42.5	個人蔵
210	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より 春の女神	1968-88	ケント紙・水彩	26.4×42.5	個人蔵
211	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より 森のレストラン	1968-88	ケント紙・水彩	26.6×42.5	個人蔵
212	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より つかのまの一生	1968-88	ケント紙・水彩	30.2×41.9	個人蔵
213	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より 秋空のとうがらし	1968-88	ケント紙・水彩	30.2×42.5	個人蔵
214	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より 大きな目	1968-88	ケント紙・水彩	30.2×42.5	個人蔵
215	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より おがみ虫	1968-88	ケント紙・水彩	26.6×42.3	個人蔵
216	熊田千佳慕	「日本の虫たち」より うつくしい花のかげで…	1968-88	ケント紙・水彩	30.2×42.7	個人蔵
[11] 「季節と昆虫」						
217	熊田千佳慕	「季節と昆虫」より 春の花と虫(2)	1968-88	ケント紙・水彩	26.9×39.1	個人蔵
218	熊田千佳慕	「季節と昆虫」より 樹液に集まる昆虫	1968-88		26.8×39.1	個人蔵
219	熊田千佳慕	「季節と昆虫」より 昆虫の越冬(1)	1968-88	ケント紙・水彩	26.8×39.1	個人蔵
[12] 「チョウ・ガの仲間」						
220	熊田千佳慕	「チョウ・ガの仲間」より 春の野原	1968-88	ケント紙・水彩	28.0×45.0	個人蔵
221	熊田千佳慕	「チョウ・ガの仲間」より カノコユリにカラスアゲハ		ケント紙・水彩	28.0×45.0	個人蔵
222	熊田千佳慕	「チョウ・ガの仲間」より オオミノガ幼虫			28.0×45.0	個人蔵
[13] 「バッタ・ケラの仲間」						
223	熊田千佳慕	「バッタ・ケラの仲間」より トノサマバッタとカマキリ			26.0×35.0	個人蔵
224	熊田千佳慕	「バッタ・ケラの仲間」より ケラ産卵、幼虫	1968-88	ケント紙・水彩	29.5×41.5	個人蔵
[14] 「カマキリ・ハサミムシの仲間」						
225	熊田千佳慕	「カマキリ・ハサミムシの仲間」より ハサミムシとアリ	1968-88	ケント紙・水彩	29.5×41.5	個人蔵
226	熊田千佳慕	「カマキリ・ハサミムシの仲間」より オオカマキリ幼虫			25.5×39.5	個人蔵
[15] 「水生昆虫の仲間」						
227	熊田千佳慕	「水生昆虫の仲間」より メダカと水生昆虫、他			28.0×45.0	個人蔵
[16] 「その他」						
228	熊田千佳慕	「その他」より アメリカザリガニ、メダカ、ゲンゴロウ	1992年12月		27.8×44.2	個人蔵
[17] 「野の花たち」						
229	熊田千佳慕	「野の花たち」より すみれ	1997.3	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
230	熊田千佳慕	「野の花たち」より たんぽぽのロゼット	1993.2	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
231	熊田千佳慕	「野の花たち」より みすみ草	1993.3	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
232	熊田千佳慕	「野の花たち」より からすのえんどう	1993.4	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
233	熊田千佳慕	「野の花たち」より ほたるぶくろ	1993.6	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
234	熊田千佳慕	「野の花たち」より 待宵草	1993.7	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)	所蔵先
235	熊田千佳慕	「野の花たち」より くず	1993.9	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
236	熊田千佳慕	「野の花たち」より なんばんぎせる	1993.1	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
237	熊田千佳慕	「野の花たち」より さるとりいばらの実	1993.12	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
238	熊田千佳慕	「野の花たち」より のかんぞう	1994.8	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
239	熊田千佳慕	「野の花たち」より きくいも	1994.1	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
240	熊田千佳慕	「野の花たち」より 白花せんだん草	1994.11	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
241	熊田千佳慕	「野の花たち」より からすうり	1994.12	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
242	熊田千佳慕	「野の花たち」より ほとけのぎ	1995.3	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
243	熊田千佳慕	「野の花たち」より れんげ草	1995.4	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
244	熊田千佳慕	「野の花たち」より どくだみ	1995.6	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
245	熊田千佳慕	「野の花たち」より ねじばな	1995.7	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
246	熊田千佳慕	「野の花たち」より 鬼百合	1995.8	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
247	熊田千佳慕	「野の花たち」より おおけたで	1995.9	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
248	熊田千佳慕	「野の花たち」より 釣鐘人參	1995.1	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
249	熊田千佳慕	「野の花たち」より 野ぶどう	1995.11	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
250	熊田千佳慕	「野の花たち」より 野いばらの実	1995.12	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
251	熊田千佳慕	「野の花たち」より やぶこうじ	1996.1	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
252	熊田千佳慕	「野の花たち」より むらさきはなな	1996.3	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
253	熊田千佳慕	「野の花たち」より 菜の花	1996.4	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
254	熊田千佳慕	「野の花たち」より 秋海棠	1996.9	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
255	熊田千佳慕	「野の花たち」より まつむし草	1996.1	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
256	熊田千佳慕	「野の花たち」より 野原あざみ	1996.11	ケント紙・水彩	27.0×25.0	個人蔵
[18] 「花だより」						
257	熊田千佳慕	「花だより」より 1月やぶこうじ	1995.1		22.0×11.9	個人蔵
258	熊田千佳慕	「花だより」より 2月せんつぶそう	1995.2		22.0×11.9	個人蔵
259	熊田千佳慕	「花だより」より 3月なのはな	1995.3		22.0×11.9	個人蔵
260	熊田千佳慕	「花だより」より 4月チューリップ	1965.4		22.0×11.9	個人蔵
261	熊田千佳慕	「花だより」より 5月ふじ	1996.5		25.3×23.5	個人蔵
262	熊田千佳慕	「花だより」より 6月ほたるぶくろ	1996.6		20.0×11.7	個人蔵
263	熊田千佳慕	「花だより」より 7月まつよいぐさ	1996.7		23.0×11.9	個人蔵
264	熊田千佳慕	「花だより」より 8月やまゆり	1996.8		22.0×12.0	個人蔵
265	熊田千佳慕	「花だより」より 9月つりがねにんじん	1996.9		22.0×11.9	個人蔵
266	熊田千佳慕	「花だより」より 10月なんばんぎせる	1996.1		22.0×11.9	個人蔵
267	熊田千佳慕	「花だより」より 11月さざんか	1996.11		22.0×11.9	個人蔵
268	熊田千佳慕	「花だより」より 12月からすうり	1996.12		22.0×11.9	個人蔵
[19] 「動物」						
269	熊田千佳慕	「動物」より 日本のネコたち			27.6×40.0	個人蔵
270	熊田千佳慕	「動物」より チカボとスギコ			30.6×50.3	個人蔵
271	熊田千佳慕	「動物」より ウサギの親子			30.0×30.0	個人蔵
272	熊田千佳慕	「動物」より オコジョ			28.0×45.2	個人蔵
273	熊田千佳慕	「動物」より オボッサム、リス、ウサギ			26.6×40.7	個人蔵
274	熊田千佳慕	「動物」より 北極の動物たち			30.5×26.3	個人蔵
275	熊田千佳慕	「動物」より アザラシとペンギンたち			30.7×52.5	個人蔵
[20] 「鳥」						
276	熊田千佳慕	「鳥」より スズメの子育て			26.5×42.7	個人蔵
277	熊田千佳慕	「鳥」より 水鳥いろいろ飛翔			26.8×40.9	個人蔵
[21] 「愛するからこそ美しい」						
278	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より 表紙	1970-2005		28.1×42.1	個人蔵
279	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より (ヘビイチゴ)	1991.12.		28.1×45.1	個人蔵
280	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より (桜)	1970-2005		30.5×26.1	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)	所蔵先
281	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より (椿とハチ)	1970		26.0×40.8	個人蔵
282	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より スイトピー	1970-2005		25.9×25.0	個人蔵
283	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より パンジー	1970-2005		25.5×25.0	個人蔵
284	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より チューリップ	1970-2005		25.5×25.0	個人蔵
285	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より しらねあおい	1970-2005		25.6×24.8	個人蔵
286	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より 山ふじ	1970-2005		25.6×24.7	個人蔵
287	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より インパチエンス	1970-2005		25.5×24.7	個人蔵
288	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より 春の床	1970-2005		28.0×40.6	個人蔵
289	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より あじさい	1970-2005		26.0×25.0	個人蔵
290	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より くちなし	1970-2005		25.5×24.6	個人蔵
291	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より ほていあおい	1970-2005		25.5×24.7	個人蔵
292	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より 風鈴ハイビスカス	1970-2005		25.7×24.7	個人蔵
293	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より すいふよう	1970-2005		25.6×24.7	個人蔵
294	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より カンナ	1970-2005		26.1×24.9	個人蔵
295	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より サルビア	1970-2005		25.6×24.8	個人蔵
296	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より ひがんばん	1970-2005		25.6×24.8	個人蔵
297	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より 高嶺の花たち	1970-2005		28.7×42.7	個人蔵
298	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より シオデ	1970-2005		25.6×24.8	個人蔵
299	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より さざんか	1970-2005		25.5×24.7	個人蔵
300	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より スノードロップ	2000.2		27.0×24.7	個人蔵
301	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より センリョウ	1970-2005		27.3×24.7	個人蔵
302	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より 寒つばき	1970-2005			個人蔵
303	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より ふくじゅそう	1970-2005			個人蔵
304	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より ヒヤシンス	1970-2005			個人蔵
305	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より レンギョウ	1970-2005			個人蔵
306	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より 木々の花	1970-2005		28.0×42.0	個人蔵
307	熊田千佳慕	「愛するからこそ美しい」より (タンポポなど)	1970-2005			個人蔵
<b>[22]デザイン作品</b>						
308	日本工房 熊田五郎 名取洋之助 土門拳	『NIPPON』リーフレット	1935頃	紙・印刷(オフセット印刷)	19.1×13.4	個人蔵
309	日本工房 熊田五郎	昭和12年年賀状	1936	紙・印刷(オフセット印刷)	14.0×9.1	個人蔵
310	日本工房 熊田五郎	クリスマスカード	1936	紙・印刷(オフセット印刷)	13.3×18.7	個人蔵
311	日本工房 熊田五郎 名取洋之助	芝浦電気扇ポスター	1936	紙・印刷	75.6×52.6	個人蔵
312	日本工房 熊田五郎	『YEARBOOK1935-1936』(日本陸上競技連盟 年鑑)	1936	紙・印刷	27.2×19.2	資生堂 企業資料館
313	日本工房 熊田五郎 土門拳	芝浦製作所カレンダー 1937(9月)	1936	紙・印刷(オフセット印刷)	46.2×37.8	個人蔵
314	日本工房 熊田五郎	鐘紡封筒(鐘紡封筒裏面)	1935頃	紙・印刷	11.9×22.7	個人蔵
315	日本工房 熊田五郎	鐘紡封筒	1935頃	紙・印刷	12.6×17.6	個人蔵
316	日本工房 熊田五郎	鐘紡サービスステーション封筒	1935頃	紙・印刷	25.6×16.8	個人蔵
317	日本工房 熊田五郎	鐘紡包装紙	1935頃	紙・印刷	*×*	個人蔵
318	日本工房 熊田五郎 土門拳	鐘紡ジョーゼットン夏衣ポスター	1936頃	紙・印刷(オフセット印刷)	51.0×70.8	個人蔵
319	日本工房 熊田五郎	共同印刷パンフレット	1935-36	紙・印刷(オフセット印刷)	34.1×26.6	個人蔵
320	日本工房 熊田五郎	小西六リーフレット	1936-37	紙・印刷(オフセット印刷)	17.5×17.5	個人蔵
321	日本工房 熊田五郎 土門拳	『NIPPON』11号	1937	紙・印刷(オフセット印刷)	36.9×26.5	個人蔵
322	日本工房 山名文夫 熊田五郎 名取洋之助 土門拳	『ZurErinnerung』(早稲田大学経済学部卒 業アルバム)	1935-36	紙・印刷	26.5×36.5	個人蔵
323	日本工房 熊田五郎 名取洋之助 ほか	『日本』(Japan:TheNationinPanorama)	1938	紙・グラビア印刷	27.5×30.5	個人蔵
324	熊田五郎	『NIPPONPOCKETLIBRARY2 ; NIPPON'SIMPERIALARMY』	1945.1.20	紙・オフセット印刷	14.9×10.4	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)	所蔵先
325	熊田五郎	『NIPPONPOCKETLIBRARY4; OLDTALESNIPPONFORCHILDREN』	1944.7.25	紙・オフセット印刷	14.9×10.5	個人蔵
326	熊田五郎	『NIPPONPOCKETLIBRARY5; PEERLESSFUJI』	1945.1.20	紙・オフセット印刷	14.9×10.7	個人蔵
327	熊田五郎	鐘紡化粧品ポスター	1948	紙・オフセット印刷	71.6×50.2	個人蔵
328	熊田千佳慕	資生堂 ティーンズ化粧品 パッケージ	1960年発売	紙製	h13.0×w5.0×d5.0 h5.8×w5.8×d5.8 h6.2×w2.4×d2.4	資生堂 企業資料館
329	熊田千佳慕	資生堂 Camellian(カメリアン) パッケージ	1968年発売	紙製	h31.0×w28.7×d4.0	資生堂 企業資料館

# 「山名文夫と熊田精華」展

## —絵と言葉のセンチメンタル—

会期：2006年6月24日(土)～9月3日(日) (62日間)

会場：展示室B

主催：目黒区美術館

協力：株式会社 資生堂

企画協力：山名文夫研究会

助成：芸術文化振興基金

担当学芸員：矢内みどり

デザイナー山名文夫（やまな・あやお、1897～1980年）が、弟子熊田千佳慕の実兄であり、無二の友でもある詩人・熊田精華（くまだ・せいか、1898～1977年）と生涯に交わした約70通の書簡・はがきのほか、関連する作品・資料などにより、当時の若い詩人たちのセンチメンタルな心情を探りました。

### ●カタログ

寸法：2冊組（各々 A4）

ページ数：116ページ

内容：謝辞／ごあいさつ／目次／山名文夫と熊田精華の絵と言葉—1920～1970年代の書簡から [矢内みどり]／投稿画と洋画研究所—浅田草太郎と山名文夫 [五十嵐利治]／『CHOCOLATE』時代の山名文夫と熊田精華の交流 [井上芳子]／フランスル誕生—1920年代の山名文夫、熊田精華宛書簡から見る [水沢勉]／山名文夫と資生堂デザイン [小宮重美]／熊田精華—《僕等の芸術》の行方— [東順子]／山名文夫と詩人たち [木股知史]／図版／山名文夫書簡など書き起こし文と註 [五十嵐利治・水沢勉・井上芳子・矢内みどり]／山名文夫からの熊田精華宛書簡などの解説／熊田精華書簡など書き起こし文／出品リスト／山名文夫熊田精華 略年譜

デザイン：矢萩喜従郎

### ●ポスター

サイズ：B2/B3

デザイン：矢萩喜従郎

### ●チラシ

サイズ：A3（二つ折）

デザイン：矢萩喜従郎

### ●関連催事

\* 「山名文夫と熊田精華展 絵と言葉のセンチメンタル」記念講演会

7月1日(土) 14:00～16:00

講師：五十嵐利治（筑波大学教授）他

主催：目黒区美術館、明治美術学会



チラシ



## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (縦×横×高さ または厚さ、単位：cm)	所蔵先
<b>1 山名文夫から熊田精華への書簡、葉書、その他</b>						
1-1	山名文夫	封書 熊田精華宛	1923年11月24日	紙、インク	封筒9.8×15.0 便箋(2枚)19.5×27.2	個人蔵
1-2	山名文夫	封書 熊田精華宛	1924年4月21日	紙、インク	封筒21.8×8.5 便箋(4枚)21.3×15.6	個人蔵
1-3	山名文夫	封書 熊田精華宛	1924年5月30日	紙、インク	封筒14.6×9.7 便箋(5枚)21.1×15.2	個人蔵
1-4	山名文夫	封書 熊田精華宛	1924年8月17日	紙、インク	封筒21.7×8.5 便箋(1枚)19.1×22.5	個人蔵
1-5	山名文夫	封書 熊田精華宛	1924年11月13日	紙、インク	封筒10.3×13.0 便箋(1枚)32.8×21.1	個人蔵
1-6	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年1月23日	紙、インク	封筒13.3×10.3 便箋(1枚)32.9×21.1	個人蔵
1-7	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年4月17日	紙、インク	封筒21.6×8.5 便箋(2枚)26.0×19.5	個人蔵
1-8	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年5月18日	紙、インク	封筒22.0×8.5 便箋(1枚)26.2×19.5	個人蔵
1-9	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年5月28日	紙、インク	封筒21.8×8.5 便箋(4枚)26.6×19.5	個人蔵
1-10	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年6月24日	紙、インク	封筒13.3×10.3 便箋(1枚)20.5×29.5	個人蔵
1-11	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年6月27日	紙、インク	封筒13.2×10.3 便箋(1枚)20.5×29.5	個人蔵
1-12	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年7月16日	紙、インク	封筒21.5×8.5 便箋(2枚)26.0×19.4	個人蔵
1-13	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年8月4日	紙、インク	封筒21.5×8.6 便箋(1枚)20.5×29.6	個人蔵
1-14	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年9月7日	紙、インク	封筒21.6×8.6 便箋(2枚)26.0×19.2	個人蔵
1-15	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年9月18日	紙、インク	封筒21.6×8.6 便箋(2枚)26.1×19.4	個人蔵
1-16	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年10月5日	紙、インク	封筒21.7×8.5 便箋(2枚)26.6×19.2	個人蔵
1-17	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年10月7日	紙、インク	封筒21.8×8.5 便箋(2枚)26.6×19.2	個人蔵
1-18	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年11月3日	紙、インク	封筒20.2×7.7 便箋(2枚)28.5×22.5	個人蔵
1-19	山名文夫	封書 熊田精華宛	1925年11月	紙、印刷	封筒17.8×12.0 便箋(5枚)28.6×22.5	個人蔵
1-20	山名文夫	封書 熊田精華宛	1926年1月	紙、インク	葉書14.0×8.9	個人蔵
1-21	山名文夫	封書 熊田精華宛	1926年1月7日	紙、インク	封筒10.0×16.3 便箋(2枚)28.6×21.3	個人蔵
1-22	山名文夫	封書 熊田精華宛	1926年3月10日	紙、インク	封筒11.1×16.5 便箋(3枚)27.9×21.8	個人蔵
1-23	山名文夫	封書 熊田精華宛	1926年8月3日	紙、インク	封筒8.2×13.2 便箋(2枚)18.6×22.5	個人蔵
1-24	山名文夫	封書 熊田精華宛	1926年10月18日	紙、インク	封筒10.6×15.7 便箋(1枚)22.9×17.2	個人蔵
1-25	山名文夫	封書 熊田精華宛	1928年1月	紙、印刷	葉書14.1×9.1	個人蔵
1-26	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年1月10日	紙、インク	封筒15.7×10.7 便箋(13枚)28.0×20.3	個人蔵
1-27	山名文夫	封書 熊田精華宛	1928年7月8日	紙、インク	封筒10.0×14.0 便箋(2枚)22.3×18.8	個人蔵
1-28	山名文夫	封書 熊田精華宛	1928年7月10日	紙、インク	封筒9.8×14.4 便箋(1枚)22.3×18.9	個人蔵
1-29	山名文夫	封書 熊田精華宛	1928年7月15日	紙、インク	封筒9.6×14.5 便箋(2枚)22.3×18.8	個人蔵
1-30	山名文夫	封書 熊田精華宛	1928年8月21日	紙、インク	封筒9.7×14.6 便箋(2枚)22.4×18.9	個人蔵
1-31	山名文夫	封書 熊田精華宛	1928年12月21日	紙、インク	原稿用紙便箋(2枚) 26.5×18.6	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法(縦×横×高さ または厚さ、単位:cm)	所蔵先
1-32	山名文夫	封書 熊田精華宛	1974年1月11日	紙、インク		個人蔵
1-33	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年1月31日	紙、墨	封筒21.0×8.4 便箋(1枚)18.2× 23.45	個人蔵
1-34	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年2月8日	紙、インク	封筒15.1×9.8 便箋(1枚)281.8× 18.8	個人蔵
1-35	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年2月10日	紙、墨	封筒21.3×8.4 便箋(1枚)18.2× 113.5	個人蔵
1-36	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年4月7日	紙、インク	封筒14.9×10.3 便箋(2枚)22.3×28.4	個人蔵
1-37	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年4月16日	紙、インク	封筒15.5×10.0 便箋(1枚)28.9×22.3	個人蔵
1-38	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年5月27日	紙、インク	封筒16.9×12.2 便箋(2枚)19.2×15.1	個人蔵
1-39	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年6月18日	紙、インク	封筒21.4×8.4 便箋(2枚)26.0×19.1	個人蔵
1-40	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年11月11日	紙、インク	封筒12.0×15.1 便箋(1枚)28.7×22.3	個人蔵
1-41	山名文夫	封書 熊田精華宛	1929年頃	紙、インク	封筒17.1×12.5 便箋22.5×28.8	個人蔵
1-42	山名文夫	封書 熊田精華宛	1930年1月	紙、印刷	葉書14.1×9.1	個人蔵
1-43	山名文夫	封書 熊田精華宛	1930年8月9日	紙、インク	封筒18.2×12.2 便箋(1枚)22.6×28.8	個人蔵
1-44	山名文夫	封書 熊田精華宛	1931年1月	紙、印刷	葉書14.1×9.1	個人蔵
1-45	山名文夫	封書 熊田精華宛	1932年7月2日	紙、インク	葉書14.0×9.1	個人蔵
1-46	山名文夫	封書 熊田精華宛	1934年1月	紙、印刷	葉書14.0×8.9	個人蔵
1-47	山名文夫	封書 熊田精華宛	1934年5月26日	紙、インク	封筒11.0×15.9 便箋(3枚)24.8×20.9	個人蔵
1-48	山名文夫	封書 熊田精華宛	1928年5月12日	紙、インク		個人蔵
1-49	山名文夫	封書 熊田精華宛	1934年12月より前	紙、インク	封筒21.9賭ける8.4 便箋(1枚)28.0×21.3	個人蔵
1-50	山名文夫	封書 熊田精華宛	1935年1月	紙、墨	葉書14.3×9.0	個人蔵
1-51	山名文夫	封書 熊田精華宛	1937年1月	紙、印刷	葉書14.2×9.0	個人蔵
1-52	山名文夫	封書 熊田精華宛	1937年1月11日	紙、墨	葉書14.0×9.0	個人蔵
1-53	山名文夫	封書 熊田精華宛	1959年2月25日	紙、インク	封筒20.3×9.9 便箋(2枚)17.6×25.1	個人蔵
1-54	山名文夫	封書 熊田精華宛	1959年8月15日	紙、インク	封筒18.7×9.2 便箋17.9×23.0	個人蔵
1-55	山名文夫	封書 熊田精華宛	1962年11月	紙、インク	葉書14.0×9.1	個人蔵
1-56	山名文夫	封書 熊田精華宛	1961年4月	紙、インク	葉書14.0×9.0	個人蔵
1-57	山名文夫	封書 熊田精華宛	1962年1月	紙、インク	葉書14.0×9.0	個人蔵
1-58	山名文夫	封書 熊田精華宛	1962年9月8日	紙、インク	封筒19.2×10.3 便箋(2枚)17.8×23.0	個人蔵
1-59	山名文夫	封書 熊田精華宛	1964年1月8日	紙、インク	封筒21.8×8.5 便箋(2枚)18.0×25.2	個人蔵
1-60	山名文夫	封書 熊田精華宛	1965年12月	紙、印刷	葉書14.1×10.3	個人蔵
1-61	山名文夫	封書 熊田精華宛	1967年1月	紙、印刷	葉書14.6×10.0	個人蔵
1-62	山名文夫(平野威馬雄)	封書 熊田精華宛	1972年1月29日	紙、インク	封筒27.0×19.5	個人蔵
1-63	山名文夫	封書 熊田精華宛	1972年2月18日	紙、インク	封筒18.8×9.8 便箋(2枚)25.3×17.8	個人蔵
1-64	山名文夫	封書 熊田精華宛	1973年4月20日	紙、インク	封筒20.6×9.1 便箋17.8×25.0	個人蔵
1-65	山名文夫	封書 熊田精華宛	1934年10月19日	紙、インク		個人蔵
1-66	山名文夫	封書 熊田精華宛	1976年1月3日	紙、印刷	封筒16.1×11.3 便箋(2枚)15.1×10.6	個人蔵
1-67	山名文夫	封書 熊田精華宛	1977年2月5日	紙、インク	葉書14.8×10.0	個人蔵
1-68	山名文夫	封書 熊田精華宛	1977年5月2日	紙、インク	封筒18.9×9.8 便箋(1枚)17.7×24.9	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (縦×横×高さ または厚さ、単位: cm)	所蔵先
1-69	八咫家	封書 熊田精華宛	1962年9月6日	紙、インク	葉書13.9×9.1	個人蔵
<b>2 山名文夫 熊田精華、北村初雄、他からの書簡、葉書、その他</b>						
2-1	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書9.1×14.3	資生堂企業資料館
2-2	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.2×9.0	資生堂企業資料館
2-3	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書8.7×13.7	資生堂企業資料館
2-4	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-5	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書8.4×13.5	資生堂企業資料館
2-6	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.2×9.0	資生堂企業資料館
2-7	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.0×9.0	資生堂企業資料館
2-8	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×8.9	資生堂企業資料館
2-9	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書13.8×9.0	資生堂企業資料館
2-10	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-11	熊田精華	葉書 山名文夫宛	1921年3月3日	紙、インク	葉書14.2×9.0	資生堂企業資料館
2-12	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.3×9.1	資生堂企業資料館
2-13	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-14	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書13.9×9.0	資生堂企業資料館
2-15	青檜巷(熊田精華)	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.0	資生堂企業資料館
2-16	熊田精華	葉書 山名文夫宛	1929年1月27日	紙、インク	封筒14.5×9.8 便箋(2枚)24.1×33.3	資生堂企業資料館
2-17	熊田精華	葉書 山名文夫宛	1月17日	紙、インク	封筒14.6×9.9 便箋(1枚)25.6×35.6	資生堂企業資料館
2-18	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	封筒13.5×9.0 便箋(1枚)26.2×17.0	資生堂企業資料館
2-19	熊田精華	葉書 山名文夫宛		紙、インク	封筒15.0×7.5 便箋(4枚)23.7×15.9	資生堂企業資料館
2-20	熊田千佳慕	葉書 山名文夫宛		紙、インク	封筒9.6×14.6 葉書14.0×9.0 便箋(2枚)23.1×17.8	資生堂企業資料館
2-21	熊田五郎	葉書 山名文夫宛		紙、印	葉書14.0×9.1	資生堂企業資料館
2-22	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.2×9.0	資生堂企業資料館
2-23	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.0	資生堂企業資料館
2-24	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×8.9	資生堂企業資料館
2-25	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-26	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-27	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-28	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-29	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.0	資生堂企業資料館
2-30	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-31	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.0	資生堂企業資料館
2-32	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.0×9.1	資生堂企業資料館
2-33	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.1×9.0	資生堂企業資料館
2-34	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、印刷	葉書13.9×9.0	資生堂企業資料館
2-35	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.2×8.8	資生堂企業資料館
2-36	門司英	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.2×9.0	資生堂企業資料館
2-37	横浜プロフィール同人 H DE BOYA, VAN PAPPY, VASSUE, LOUIS MITSU	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.2×9.2	資生堂企業資料館
2-38	日本工房	葉書		紙、印刷	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-39	日本工房	葉書	昭和11年1月1日	紙、印刷	葉書14.1×9.1	資生堂企業資料館
2-40	熊田精華	便箋 山名文夫宛		紙、インク	15.6×20.9	資生堂企業資料館
2-41	熊田精華	便箋 山名文夫宛		紙、インク	15.0×20.3(2枚)	資生堂企業資料館
2-42	熊田精華	便箋 山名文夫宛		紙、インク	18.0×24.3(4枚)	資生堂企業資料館
2-43	北村初雄	葉書 山名文夫宛		紙、インク	14.0×9.0	個人蔵
2-44	山名文夫	封筒 熊田精華宛		紙、インク	封筒14.8×9.9	資生堂企業資料館

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法(縦×横×高さ または厚さ、単位:cm)	所蔵先
2-45	森本佳成	封書 山名文夫宛		紙、インク	封筒14.8×9.7 便箋(1枚)「巫人様」 14.0×23.9 メモ(3枚)9.2×14.4	資生堂企業資料館
2-46	森本佳成	封書 山名文夫宛		紙、印刷	封筒13.4×7.8 便箋(2枚)18.2×24.2	資生堂企業資料館
2-47	小此木信治	封書 山名文夫宛		紙、インク	封筒15.2×7.7 便箋(2枚)・「山名兄」 12.5×20.0・20.9×28.7	資生堂企業資料館
2-48	森本佳成	封書 山名文夫宛		紙、インク	封筒15.1×9.6 便箋16.7×21.2	資生堂企業資料館
2-49	森本佳成	封書 山名文夫宛	昭和3年7月	紙、インク	封筒23.1×8.4 便箋(4枚)22.4×15.1	資生堂企業資料館
2-50	森本佳成	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書8.8×13.3	資生堂企業資料館
2-51	森本佳成	葉書 山名文夫、熊田精華宛		紙、インク	葉書14.2×8.9	資生堂企業資料館
2-52	加藤雅彦	封書 山名文夫宛		紙、インク	封筒15.3×9.8 便箋(4枚)18.0×14.0	資生堂企業資料館
2-53	加藤雅彦	封書 山名文夫宛		紙、インク	封筒14.5×9.5 便箋(9枚)17.9×14.0	資生堂企業資料館
2-54	北村初雄	封書 山名文夫宛		紙、インク	16.2×26.1	資生堂企業資料館
2-55	北村初雄	便箋 山名文夫宛		紙、インク	便箋・12.5×16.2・ 12.5×10.1	資生堂企業資料館
2-56	片山敏彦	葉書 山名文夫宛		紙、インク	葉書14.2×9.0	資生堂企業資料館
2-57	佐藤次夫	封書 山名文夫宛		紙、インク	封筒14.6×9.8 便箋(2枚)22.1×18.8	資生堂企業資料館
2-58	杉浦非水	封書 山名文夫宛		紙、インク	12.6×31.9	資生堂企業資料館
2-59	恩地孝四郎	封書 山名文夫		紙、インク	封筒22.1×8.4 便箋(1枚)27.2×21.5	資生堂企業資料館
2-60	片山敏彦	詩「悲しみの歡喜」「乞食の少女」訳		紙、インク	便箋14.1×22.5	資生堂企業資料館

### 3 北村初雄宛 山名文夫、熊田精華他からの書簡、葉書

3-1	南要吉(山名文夫)	葉書 北村初雄宛	大正7年7月4日		14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-2	南要吉(山名文夫)	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-3	山名文夫	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-4	山名文夫	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-5	山名文夫	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-6	山名文夫	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-7	山名文夫	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-8	熊田精華 矢野目源一 ら5名	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-9	熊田精華	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-10	熊田精華	葉書 北村初雄宛	1916年7月25日		14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-11	熊田精華	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-12	熊田精華	葉書 北村初雄宛	1915年9月10日		14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-13	吉田泰司	葉書 北村初雄宛			14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-14	吉田泰司	葉書 北村初雄宛	1917年3月31日		便箋24.5×33.0 版画19.5×13.7・13.4 ×13.4	神奈川近代文学館
3-15	片山敏彦	葉書 北村初雄宛	1918年2月26日		14.0×9.0	神奈川近代文学館
3-16	片山敏彦	葉書 北村初雄宛	大正7年3月2日		14.0×9.0	神奈川近代文学館

### 4 山名文夫 他の詩などの原稿

4-1	原草太郎			紙、インク	18.2×21.7(3枚)	資生堂企業資料館
4-2	熊田精華	「踏青山陰道霞放詩」		紙、インク	21.6×33.8	資生堂企業資料館
4-3	熊田精華	「Pourquoi?」		紙、インク	20.5×13.3(2枚)	資生堂企業資料館
4-4	原草太郎	「聖誕祭の前の市街電 車の中」訳		紙、インク	20.0×16.2	資生堂企業資料館

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法(縦×横×高さ または厚さ、単位: cm)	所蔵先
4-5	堀口大學	原稿「仿西小韻発刊に 寄せられた序文(実 筆)」200字7枚	1937年		27×19.5	個人蔵
4-6	原草太郎	「海港」の印象		紙、インク	16.7×21.2(2枚)	資生堂企業資料館
4-7	熊田精華	「海の骨牌」		紙、インク	24.2×16.1(2枚)	資生堂企業資料館
4-8	熊田精華	「ミケットとお母さん」		紙、インク	16.4×21.0	資生堂企業資料館
4-9	熊田精華	「NOCTURENE」		紙、インク	21.1×16.8	資生堂企業資料館
4-10	柳澤健	「海景」		紙、インク	24.5×33.5(3枚)	資生堂企業資料館
4-11	堀口大學	「こころよき死」		紙、インク	21.1×33.0	資生堂企業資料館
4-12		封筒		紙、インク	30.9×21.7	資生堂企業資料館
4-13	山名文夫	「ある青年の手記、も しくは海の幻想1919」		紙、インク	21.3×30.2(3枚)	資生堂企業資料館
4-14	山名文夫	「植民地G港にて」		紙、インク	21.3×30.2(15枚)	資生堂企業資料館
4-15	山名文夫	「プリュフェルドの女体」		紙、インク	30.8×20.9	資生堂企業資料館
4-16	山名文夫	「弾片」(裏面)「硫黄 島の賦」		紙、インク	25.7×36.4	資生堂企業資料館
4-17	山名文夫	「ポスターの作り方」		紙、インク	24.2×18.2	資生堂企業資料館
4-18	山名文夫	「The Bressed Day」		紙、インク	16.0×20.2	資生堂企業資料館
4-19	山名文夫	「BLACK AND WHITE, LINE AND CURVE」		紙、インク	27.3×22.0	資生堂企業資料館
4-20	山名文夫	「BLACK AND WHITE, LINE AND CURVE」		紙、インク	27.3×22.0	資生堂企業資料館
4-21	山名文夫	詩「光あふるる」(裏面) 「a la mode d' Ayao」		紙、インク	29.2×21.1	資生堂企業資料館
4-22	山名文夫	小さな話(表紙)		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-23	山名文夫	「耳輪」		紙、インク	21.3×30.2(2枚)	資生堂企業資料館
4-24	山名文夫	「椎の実」		紙、インク	21.3×30.2(4枚)	資生堂企業資料館
4-25	山名文夫	「金貨」		紙、インク	21.3×30.2(4枚)	資生堂企業資料館
4-26	山名文夫	探偵童話「リラ姫はど こにいる？」		紙、インク	21.3×30.2(20枚)	資生堂企業資料館
4-27	山名文夫	「長崎童話抄」		紙、インク	21.3×30.2(3枚)	資生堂企業資料館
4-28	山名文夫	「クララのプロフィール」		紙、インク	21.3×30.2(5枚)	資生堂企業資料館
4-29	山名文夫	「幻の薔薇 第二章」		紙、インク	21.3×30.2(17枚)	資生堂企業資料館
4-30	山名文夫	「日本広告美術史の断 片—14杉浦非水の新開 広告」		紙、インク	30.4×20.9(3枚)	資生堂企業資料館
4-31	山名文夫	「式場隆三郎氏の…」		紙、インク	17.4×24.7(3枚)	資生堂企業資料館
4-32	孫目東二(山名文夫)	「情妖抄」		紙、インク	21.3×30.2(3枚)	資生堂企業資料館
4-33	孫目東二(山名文夫)	「鷗」		紙、インク	21.3×30.2(3枚)	資生堂企業資料館
4-34	山名文夫	「釵」		紙、インク	21.3×30.2(2枚)	資生堂企業資料館
4-35	山名文夫	「おててを つきだし…」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-36	山名文夫	「あられ」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-37	山名文夫	「にわか雨」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-38	山名文夫	「お祭り」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-39	山名文夫	「噴水」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-40	山名文夫	「山の中に風吹けば…」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-41	山名文夫	「どんぐり」	1921年	紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-42	山名文夫	「玩具の市街」		紙、インク	21.3×30.2(3枚)	資生堂企業資料館
4-43	山名文夫	「夢」		紙、インク	21.3×30.2(2枚)	資生堂企業資料館
4-44	山名文夫	「廃園断章」	1922年1月2日	紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-45	山名文夫	「回想」	1924年	紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-46	山名文夫	「ジュリアの首飾り」	1921年	紙、インク	21.3×30.2、21.3× 30.2(2枚)	資生堂企業資料館
4-47	山名文夫	「黄昏詩抄」		紙、インク	21.3×30.2(2枚)	資生堂企業資料館
4-48	山名文夫	「涙痕」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (縦×横×高さ または厚さ、単位: cm)	所蔵先
4-49	山名文夫	「日午」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-50	山名文夫	「断章」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-51	山名文夫	「膝の中のありせ」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-52	山名文夫	「五月」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-53	山名文夫	「Florist」	1946年	紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-54	山名文夫	「それは美しい形の嬰兒…」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-55	山名文夫	「おまえはよこたわる…」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-56	山名文夫	「私のペンから…」	1937年	紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-57	山名文夫	「僕があなたを眺める ときは…」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-58	山名文夫	「私は おまえたちの 髪にくしを入れる。…」	1970年	紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-59	山名文夫	「ひろがる…」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-60	山名文夫	「お前は緑い着物が好 きだった」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-61	山名文夫	「樹よ」		紙、インク	21.3×30.2(2枚)	資生堂企業資料館
4-62	山名文夫	海洋幻想(表紙)		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-63	山名文夫	「海は不眠症です…」		紙、インク	21.3×30.2(5枚)	資生堂企業資料館
4-64	山名文夫	「海港」		紙、インク	21.3×30.2(5枚)	資生堂企業資料館
4-65	山名文夫	「ふるさとの町をうたう」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-66	山名文夫	「いくさ終りて松田祐 宏かへりたれば」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-67	山名文夫	「母をみとりて」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-68	山名文夫	「春雨哀慕」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-69	山名文夫	「春秋抄」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-70	山名文夫	「恋愛春夏秋冬」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-71	山名文夫	「つばみの唄」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-72	山名文夫	「名」		紙、インク	21.3×30.2	資生堂企業資料館
4-73	片山敏彦	「姉の微笑」		紙、インク	24.4×32.3(2枚)	資生堂企業資料館
4-74		和歌		紙、インク	(01)15.2×21.0 (02～04)15.2×21.0	資生堂企業資料館
4-75	片山敏彦	「□旧作」		紙、インク	25.9×35.6	資生堂企業資料館
4-76	柳澤健	「邂逅」訳		紙、インク	25.8×36.2(3枚)	資生堂企業資料館
4-77	楳一雄			紙、インク	19.5×26.9(4枚)	資生堂企業資料館
4-78	柳澤健	「明け方の唄」 訳		紙、インク	24.5×33.4(2枚)	資生堂企業資料館
4-79		「チョコレートポスト」		紙、インク	18.2×21.8(3枚)	資生堂企業資料館
4-80		熊田精華宛		紙、インク	22.9×15.3(3枚)	資生堂企業資料館
4-81	江守景	「萍」		紙、インク	21.8×33.0(20枚)	資生堂企業資料館
4-82	柳澤健	「尼」		紙、インク	25.8×17.8	資生堂企業資料館
4-83	堀口大聖	(譯)「新月の連袴」		紙、インク	25.8×36.1(3枚)	資生堂企業資料館

#### 5 山名文夫作品原画

5-1	山名文夫	習作	1928年(昭和3)	水彩	27.8×19.0	資生堂企業資料館
5-2	山名文夫	「KUMADA-SEIKA- SAN NI SASAGERU 1962 YAMANA- AYAO」	1962年		紙25.5×33 マット窓16.7×19	個人蔵
5-3	山名文夫	クラク12月(扉絵)	不詳		19.1×12.1	資生堂企業資料館
5-4	山名文夫	扉絵	不詳		14.0×9.2	資生堂企業資料館
5-5	山名文夫	資生堂広告(香水)	1937年(昭和12)		18.3×18.8	資生堂企業資料館
5-6	山名文夫	資生堂広告(香水)	1938年(昭和13)		20.2×21.7	資生堂企業資料館
5-7	山名文夫	「CHOCOLATE」 (口絵原画)	1917年(大正6)		17.8×14.2	資生堂企業資料館
5-8	山名文夫	「CHOCOLATE」 (口絵原画)	1917年(大正6)		11.4×7.5	資生堂企業資料館
5-9	山名文夫	「CHOCOLATE」 (口絵原画)	1918年(大正7)		13.2×12.8	資生堂企業資料館

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法(縦×横×高さ または厚さ、単位:cm)	所蔵先
5-10	山名文夫	「CHOCOLATE」 (口絵原画)	1918年(大正7)		13.2×12.8	資生堂企業資料館
5-11	山名文夫	「CHOCOLATE」 (口絵原画)	1919年(大正8)		16.0×11.8	資生堂企業資料館
5-12	山名文夫	「女性」(扉絵原画)	1924-25年(大正 13-14)		20.7×13.7	資生堂企業資料館
5-13	山名文夫	「女性」(扉絵原画)	1925年(大正14)		21.6×15.2	資生堂企業資料館
5-14	山名文夫	「女性」(扉絵原画)	1926年(昭和1)		23.8×15.3	資生堂企業資料館
5-15	山名文夫	「扉絵原画」	1926年(昭和1)		17.5×11.2	資生堂企業資料館
5-16	山名文夫	挿絵原画「昆蟲詩集」 (坂本越郎著)			16.8×22.4	神奈川近代文学館
5-17	山名文夫	「東邦」(表紙原画)		原画 鉛筆	28.5×22.0	資生堂企業資料館
5-18	山名文夫	「鉛の兵隊」(表紙原画)	1922年	原画 ペン画	29.8×20.8(2枚かさね)	資生堂企業資料館
5-19	山名文夫	「銀の小舟」(挿絵原画)	1922年	原画 ペン画	15.4×11.9	資生堂企業資料館
5-20	山名文夫	「苦楽」(表紙原画)	1928年1月(昭和13)	水彩	22.0×15.0	資生堂企業資料館
5-21	山名文夫	「苦楽」(表紙原画)	1928年2月(昭和13)	水彩	22.2×15.0	資生堂企業資料館
5-22	山名文夫	「資生堂化粧水」(原画)	1932年(昭和7)	水彩	18.7×15.0	資生堂企業資料館
5-23	山名文夫	「資生堂石鹸」(原画)	1937年(昭和12)	水彩	35.0×18.0	資生堂企業資料館
5-24	山名文夫	「資生堂ホルモリン」 (原画)	1937年(昭和12)	水彩	19.3×15.7	資生堂企業資料館
5-25	山名文夫	「資生堂広告」(原画)	1938年(昭和13)	水彩	16.0×11.4	資生堂企業資料館
5-26	山名文夫	「資生堂花椿」 (表紙原画)	1938年(昭和13)		22.9×188.8	資生堂企業資料館
5-27	山名文夫	雑誌広告(原画)	1941年(昭和16)			資生堂企業資料館
5-28	山名文夫	資生堂新聞広告「香水」 (原画)	1952年(昭和27)		23.4×24.7	資生堂企業資料館
5-29	山名文夫	資生堂新聞広告「コー ルドクリーム」(原画)	1954年(昭和29)		23.0×25.0	資生堂企業資料館
5-30	山名文夫	「資生堂化粧品」(原画)	1955年(昭和30)	水彩	28.3×24.5	資生堂企業資料館
5-31	山名文夫	資生堂新聞広告「ドル ックス」(原画)	1957年(昭和32)		30.3×44.6	資生堂企業資料館
5-32	山名文夫	資生堂新聞広告「ドル ックス」(原画)	1957年(昭和32)		30.0×44.2	資生堂企業資料館
5-33	山名文夫	資生堂新聞広告「ドル ックス」(原画)	1958年(昭和33)		23.4×24.8	資生堂企業資料館
5-34	山名文夫	資生堂新聞広告「ドル ックス」(原画)	1959年(昭和34)		30.0×44.0	資生堂企業資料館
5-35	山名文夫	資生堂新聞広告「香水」 (原画)	1960年(昭和35)		30.4×24.8	資生堂企業資料館
5-36	山名文夫	資生堂新聞広告「資生 堂創業100周年記念」 (原画)	1972年(昭和47)		59.8×43.5	資生堂企業資料館
5-37	山名文夫	資生堂新聞広告「私の 美人像シリーズ」 (原画)	1979年(昭和54)		44.0×11.5	資生堂企業資料館
5-38	山名文夫	遺作イラストレーション		ILLUSTRATION BOARD イラストレーションボード	51.4×36.6	資生堂企業資料館
5-39	山名文夫	女・上半身	1924年	油彩	73.0×60.0	資生堂企業資料館
5-40	山名文夫	カップと本(小)	1924年	油彩	33.2×45.5	資生堂企業資料館
5-41	山名文夫	カップと本(大)	1927年	油彩	45.5×53.0	資生堂企業資料館
5-42	山名文夫	写真立てと本	1925年	油彩	60.7×73.0	資生堂企業資料館
5-43	山名文夫	少女全身	1928年	油彩	72.8×60.2	資生堂企業資料館
5-44	山名文夫	私たちがリーザと呼ん でいた薔薇の女	1929年	油彩	73.0×61.0	資生堂企業資料館
5-45	山名文夫	横たわる女	1930年	油彩	61.0×72.7	資生堂企業資料館
5-46	山名文夫	金髪的女性	1930年	油彩	65.0×53.0	資生堂企業資料館
5-47	山名文夫	赤縞の服		油彩	33.0×24.0	資生堂企業資料館
5-48	山名文夫	静物		油彩	72.9×61.0	資生堂企業資料館

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法(縦×横×高さ または厚さ、単位:cm)	所蔵先
<b>6 山名文夫素描</b>						
6-1	山名文夫	「スケッチブック (OMORI SANNO Dec.18,34)」	1934年(昭和9)		18.6×24.8	資生堂企業資料館
6-2	山名文夫	「スケッチブック(at kozu Uehommachi, Osaka march, 1923)」	1923年(大正12)		15.0×21.8	資生堂企業資料館
6-3	山名文夫	酒家	1919年(大正8)		12.0×15.8	資生堂企業資料館
6-4-1	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-2	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-3	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-4	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-5	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-6	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-7	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-8	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-9	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-10	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
6-4-11	山名文夫	MARUNOUTI NAKADÖRI SKETCH APRIL 1927	1927年4月	スケッチブック	10.7×18.5×0.6	資生堂企業資料館
<b>7 山名文夫その他</b>						
7-1	山名文夫	「新化粧」(表紙)	1932年(昭和7)		18.8×13.0	資生堂企業資料館
7-2	山名文夫	「資生堂うちわ」	1932年(昭和7)		36.1×19.8	資生堂企業資料館
7-3	山名文夫	「資生堂花椿」 (表紙原画)	1938年10月(昭和13)		26.3×19.1	資生堂企業資料館
7-4	山名文夫	「資生堂花椿」 (表紙原画)	1939年3月(昭和14)		26.3×19.1	資生堂企業資料館
7-5	山名文夫	「資生堂花椿」 (表紙原画)	1939年10月(昭和14)		26.3×19.1	資生堂企業資料館
7-6	山名文夫	モダンカラー白粉	1932年(昭和7)		6.5×3.3	資生堂企業資料館
7-7	山名文夫	ドルックス粉白粉	1951年(昭和26年)		6.5×3.0	資生堂企業資料館
7-8	山名文夫	プリオール香水	1962年(昭和37)		8.5×8.5×3.5	資生堂企業資料館
7-9	山名文夫	ドルックス コールド クリーム	1951年(昭和26)		7.0×4.5	資生堂企業資料館
7-10	山名文夫	プリオール クレンジ ング	1961年(昭和36)		8.0×4.0	資生堂企業資料館
7-11	山名文夫	ドルックス バニシン グクリーム	1973年(昭和48年)		7.0×4.5	資生堂企業資料館
7-12	山名文夫	資生堂意匠広告部机 「山名さんの机」	昭和10年代後半		137.0×76.0×90.0	資生堂企業資料館



No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (縦×横×高さ または厚さ、単位: cm)	所蔵先
<b>8 山名文夫遺品</b>						
8-1	山名文夫	定規		(30cm)木製(35cm・40cm)プラスチック	(30cm)31.5×3. (35cm)36.8×3.5 (40cm)42.5×4.1	資生堂企業資料館
8-2	山名文夫	定規		プラスチック	(三角)24.0×13.9×27.6 (渦巻き)18.0×10.5 (曲線)29.5×5.7	資生堂企業資料館
8-3-1	山名文夫	筆			16.5、16.7、18.4、 19.0、19.0、20.0、 20.4、20.5、21.0、 22.0、22.0、22.6、 23.0、25.5、など	資生堂企業資料館
8-3-2	山名文夫	筆			16.5、16.7、18.4、 19.0、19.0、20.0、 20.4、20.5、21.0、 22.0、22.0、22.6、 23.0、25.5、など	資生堂企業資料館
8-4	山名文夫	ペーパーナイフ		木製、ブロンズ	22.4×2.3、18.2×2.0	資生堂企業資料館
8-5	山名文夫	パレットナイフ		ステンレス、取っ手が木製	20.0×2.0、20.6×2.0	資生堂企業資料館
8-6	山名文夫	鉛筆		木製	12.2、17.0、17.1、 18.7、20.0	資生堂企業資料館
8-7	山名文夫	ペン		木製、ペン先金属	13.7、14.7、15.2	資生堂企業資料館
8-8	山名文夫	ペン		(烏口ペン)鉄、スチール(烏口ペン)象牙、スチール(ドットペン)鉄	(烏口ペン)12.1、14 (ドットペン)16	資生堂企業資料館
8-9	山名文夫	硯		石	11.4×8.4	資生堂企業資料館
8-10	山名文夫	パレット		陶器	φ17.0	資生堂企業資料館
<b>9 熊田精華作品等</b>						
9-1	熊田精華	作品「夏季合宿の折、担任生徒を画く(志賀高原の沓掛の茶屋)」	1949年		9×14	個人蔵
9-2	熊田精華	作品「標野背負う綾子」	1952年頃		14×9	個人蔵
9-3	熊田精華	作品「野沢温泉村 重地原の農家を画く」	1955年頃		18×23	個人蔵
9-4	熊田精華	作品「野沢温泉村 重地原の農家」			17.5×24.5	個人蔵
9-5	熊田精華	作品「山すその家々」		水彩	17.7×24.5	個人蔵
9-6	熊田精華	作品「鉄道と家、林」		水彩	17.5×24.5	個人蔵
9-7	熊田精華	色紙「昭和甲戌南呂 青檜巷(熊田精華の号)戯作」			21.3×18	個人蔵
9-8	熊田精華	色紙「あざみ」		水彩	21×18	個人蔵
9-9	熊田精華	色紙「己辰年端午青檜巷」			28×27	個人蔵
9-10	熊田精華	葉書(木と屋根)		水彩	14×9	個人蔵
9-11	熊田精華	葉書(いろりの絵)		水彩	9×14	個人蔵
9-12	熊田精華	葉書(職人)		水彩	14×9	個人蔵
9-13	熊田精華	「仿西小韻」の書(草書)		和紙、墨	30.5×35	個人蔵
9-14	熊田精華	「仿西小韻」の書(草書)		和紙、墨	30.5×41	個人蔵
9-15	熊田精華	「仿西小韻」の書(楷書)		和紙、墨	30.5×41.5	個人蔵
9-16	熊田精華	書(洋蘭幾株…)	昭和49年	墨	14.5×18	個人蔵
9-17	熊田精華	書(幾幸あれと…)	昭和49年	墨	14.5×18	個人蔵
9-18	熊田精華	「命名 標野」			28×38	個人蔵
9-19	熊田精華	すずり		石	19×13.7	個人蔵
<b>10 北村初雄作品</b>						
10-1	北村初雄	扇子「お姫様」			縦24.1	神奈川近代文学館
10-2	北村初雄	扇子「A RUSTIC WEDDING」			縦24.0	神奈川近代文学館
10-3	北村初雄	「自画像」	1919年1月22日	鉛筆	20.8×14.6	神奈川近代文学館

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法(縦×横×高さ または厚さ、単位:cm)	所蔵先
10-4	北村初雄	「木立の中の家」		水彩、鉛筆	31.3×24.2	神奈川近代文学館
10-5	北村初雄	「緑の中の少女」		水彩、鉛筆	32.7×24.4	神奈川近代文学館
10-6	北村初雄	「鞍馬橋」		鉛筆、水彩	30.2×23.4	神奈川近代文学館
10-7	北村初雄	「屋根をなおす人」		水彩、鉛筆、マット	23.5×29.5	神奈川近代文学館
<b>11 書籍、雑誌</b>						
11-1	熊田精華、他2名	「海港」(詩集)文武堂				神奈川近代文学館
11-2	北村初雄	書籍「午後の果実」	大正11年4月刊行		21×14.5×1.3	個人蔵
11-3	安部宙之介	書籍「詩人 北村初雄」 木犀書房刊			22×16.5×1.3	個人蔵
11-4	熊田精華	書籍「仿西小韻」	1959年7月		19.7×14.3×1.0	個人蔵
11-5	熊田精華	書籍「仿西小韻 続二十四 首」	昭和45年12月		19.7×14.3×1.0	個人蔵
11-6	熊田精華	書籍「仿西小韻 後二十四 首」	昭和45年12月		19.7×14.3×1.0	個人蔵
11-7	山名文夫	「月刊女學生叢書揺籃 第6輯 YURIKAGO」	大正10年10月8日発行		17.5×14.0	神奈川近代文学館
11-8	山名文夫	「月刊女學生叢書揺籃 第9輯 銀の小船」	1922(大正11)年2月		18.0×12.7	資生堂企業資料館
11-9	山名文夫	「月刊女學生叢書揺籃 第10輯 鉛の兵隊」	1922(大正11)年4月		18.0×12.7	資生堂企業資料館
11-10	山名文夫	「歌乃祭賛」	1922年5月(大正11)		25.2×19.2	資生堂企業資料館
11-11		地平線「北村初雄追憶 號」No.18	1934年12月		22.5×15.3×0.4	資生堂企業資料館
11-12		PANTHÉON パンテ オンⅧ	1928年11月		23.5×17.6×0.8	資生堂企業資料館
11-13		PELICAN No.3 Vol.2	1926年1月		27.5×20.3	資生堂企業資料館
11-14		CHOCOLATE XII	1918年		16.3×11.6	資生堂企業資料館
11-15		CHOCOLATE XIV	1919年		16.3×11.7	資生堂企業資料館
11-16		CHOCOLATE NO16	1919年		23.7×16.5	資生堂企業資料館
11-17	熊田精華	小冊子「文学無限」第 38号 鳥原天華日記概 要 文学無限社	昭和46年12月		21×14.8×0.5	個人蔵
11-18	山六郎 山名文夫	「女性のカット」	1928(昭和3)年3月		22.5×15.2	資生堂企業資料館
11-19	山名文夫	「Yamana-Ayao 装画集」	1953(昭和28)年1月		箱22.5×19.0 本25.0×18.5	資生堂企業資料館
<b>12 青旗社</b>						
12-1		青旗社千九百二十一年 度 油絵展覧会	1921年11月11日～13日	目録	16.9×13.0	資生堂企業資料館
12-2		第三回青旗社油絵展覧 会 案内状	1922年11月	案内葉書	15.0×10.0	資生堂企業資料館
12-3		第三回青旗社油絵展覧 会 目録	1922年11月17日～19日	目録	19.1×13.1	資生堂企業資料館
12-4		第五回青旗社油絵展覧 会 目録	1925年11月12日～18日	目録	18.4×13.4	資生堂企業資料館
<b>13 日本工房</b>						
13-1	日本工房 山名文夫	『NIPPON』ポスター	1934-年	紙、印刷	50.3×34.8	資生堂企業資料館
13-2	日本工房 山名文夫	扉絵原画(『NIPPON』1 号)	1934年	紙、インク	34.5×24.9	資生堂企業資料館
13-3	日本工房 山名文夫	資生堂広告原画 (『NIPPON』7号)	1936年	紙、インク	15.1×9.6	資生堂企業資料館
13-4	日本工房 山名文夫	見出し用アルファベット	1934年頃	紙、印刷	17.0×22.0	資生堂企業資料館
13-5		EXPORT OF MARINE PRODUCTS 1937	1937年	図表	34.5×16.5	資生堂企業資料館
13-6	日本工房 山名文夫	『NIPPON』9号表紙	1936年	紙、印刷	37.4×26.5	個人蔵
13-7		NIPPON 販促ちらし		ちらし(2部)	19.0×13.3	資生堂企業資料館

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (縦×横×高さ または厚さ、単位: cm)	所蔵先
13-8		NIPPON 販促ちらし	1935年	ちらし(2部)	12.7×19.0	資生堂企業資料館
13-9		NIPPON 販促ちらし		ちらし(2部)	19.0×13.3	資生堂企業資料館
13-10		NIPPON 社便箋		便箋	28.0×21.7	資生堂企業資料館
13-11		NIPPON 社封筒		封筒(5枚)	11.0×24.2(3枚) 11.0×27.8(2枚)	資生堂企業資料館
13-12		NIPPON 社封筒と鳥 の切り抜きイラスト		封筒切り抜き(9種)	封筒11.0×28.0 (ルリカラス)11.0×15.3 (ヤマドリ)7.2×5.2 (サンユウチョウ)7.3×5.2 (カササギ)7.2×6.1 (キジ)7.4×6.2 (コウライジキ)7.4×6.2 (トキ)6.5×5.2 (ホルリ)7.2×6.2 (ライチョウ)7.2×5.2	資生堂企業資料館
13-13		NIPPON 社封筒		封筒	11.0×27.2	資生堂企業資料館
13-14		NIPPON 社便箋		便箋(6枚)	28.2×21.8	資生堂企業資料館
13-15		NIPPON 社便箋		便箋(8枚)	28.3×21.7	資生堂企業資料館
13-16		パウル・ウォルフ写真 展覧会 案内状	9月7日～12日	封書、案内状	封筒15.8×10.8 案内状13.3×9.3	資生堂企業資料館
<b>14 主情派美術会</b>						
14-1	主情派美術会	「第一回主情派美術展 覧会目録」	1928年(昭和3年)		17.6×13.2	資生堂企業資料館
14-2	主情派美術会	「第二回主情派美術展 覧会目録」	1923年5月1日～7日	目録	27.0×38.7	資生堂企業資料館
14-3	主情派美術会	印刷物		紙、印刷	24.7×33.5	資生堂企業資料館
14-4	主情派美術会	印刷物	昭和3年5月21日	紙、印刷	24.1×32.7	資生堂企業資料館
14-5	主情派美術会	主情派美術会要領		紙、印刷	24.2×33.2	資生堂企業資料館
14-6	主情派美術会	「正会員についての会 合のお知らせ」		紙、印刷	23.9×33.2	資生堂企業資料館
14-7	主情派美術会	「会案内状」		紙、印刷	19.5×27.0	資生堂企業資料館
14-8	主情派美術会	「会報2」		紙、印刷	24.8×33.6	資生堂企業資料館
14-9	主情派美術会	「会報3」		紙、印刷	24.2×33.3	資生堂企業資料館
14-10	主情派美術会	「会報4 会員名簿(補 遺)」		紙、印刷	24.3×16.6	資生堂企業資料館
14-11	主情派美術会	「会報」		紙、印刷	24.4×33.4	資生堂企業資料館
14-12	主情派美術会	「会員名簿」		紙、印刷	24.4×16.6	資生堂企業資料館
14-13	主情派美術会	「会合のおしらせ」		紙、印刷	24.6×33.7	資生堂企業資料館
14-14	主情派美術会	封筒 山名文夫宛		紙、墨	26.0×9.5	資生堂企業資料館
<b>15 『文章世界より』</b>						
15-1		〈文章世界〉第8巻11号 (大正2年8月25日)よ り、浅田草太郎「夜の 看護婦室」	大正2年8月25日			(参考図版)
15-2		〈文章世界〉第9巻11号 (大正3年9月25日)よ り、浅田草太郎「夢遊 病者」	大正3年9月25日			神奈川近代文学館
15-3		〈文章世界〉第10巻1号 (大正3年12月25日)よ り、浅田草太郎「ちち やの娘」	大正3年12月25日			神奈川近代文学館
15-4		〈文章世界〉第10巻6号 (大正4年5月25日)よ り、浅田草太郎「(無 題)」	大正4年5月25日			神奈川近代文学館
15-5		〈文章世界〉第10巻13号 (大正4年11月25日)よ り、浅田草太郎「静物」				神奈川近代文学館

# 素描する人々 — 或る日の洋畫研究所

会期：2006年10月14日(土)～12月3日(日) 44日間

会場：展示室 AB、展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：山田敦雄

同時開催：追悼小展示・飯田善國(展示室 C、ワークショップ)

1903(明治36)年、前年に京都高等工芸学校の教授として京都に赴任した浅井忠は聖護院洋画研究所(1906年、関西美術院に発展)を設立。京都・大阪などから日本画家を含む多くの画家が浅井を慕って集まり、本格的な洋画の研究が開始された。浅井の他界により、わずか5年間に終わったとはいえ、浅井の指導によるこの時期の洋画教育の成果とその影響には、関西圏にとどまらず幅広いものがある。

本展では、浅井指導下の聖護院研究所・関西美術院で、いわゆる「木炭紙」に描かれた着衣・裸体の人物素描を、複数の作家について集成。年記やポーズから同時に描かれたことが明白なものも多く、同一の対象を、基本的に同一の方法で扱いながらも結果的に生まれてくる多様性・差異を手がかりに、我が国の近代における美術教育の実態、教育と個人の資質の関係などの読解を試み、浅井という求心力のある「触媒」によって加速された20世紀初頭の京都の状況を観察しつつ、登場する作家たちのたどったさまざまなその後の歩みを遠望し、関西美術院創設百周年を機に、日本の「近代」「近代美術」についてこれまででない視点から光をあてた。出品作家は、安井曾太郎、黒田重太郎、澤部清五郎、田中志奈子、千種掃雲、都鳥英喜、足立源一郎、西川純らで、各地の美術館・所蔵家の協力を得て約200点の作品を展示した。

同時開催展として、同年4月に死去した、当館にも縁の深い彫刻家・飯田善國による絵画、彫刻、版画など、所蔵作品を中心に関連資料を加えた小企画展を開催。版画作品《クロマトポイエマ》での共作など飯田と深く結ばれた恩師・西脇順三郎の油彩2点(飯田善國旧蔵)も特別展示した。

## ●ポスター

サイズ：B3

## ●チラシ

サイズ：A4

## ●主要関連記事

学芸員によるギャラリートゥアー「複数(随時含む)回開催」

## ●その他

同年度の朝日新聞掲載「回顧(2006)今年の美術を振り返る」  
で北澤憲昭氏による年間ベストスリー展覧会に選出



会場風景



B3ポスター

# 出品リスト

No.	作家名	作品・材質・技法	所蔵先
1	安井曾太郎	「着衣婦人像1」(WD・1980-27,WD-9)	岐阜県美術館
2	安井曾太郎	「着衣婦人像2」(WD・1980-28,WD-10)	岐阜県美術館
3	安井曾太郎	「男子立像」(WD・1980-29,WD-11)	岐阜県美術館
4	都鳥英喜	デッサン(男)	佐倉市立美術館
5	都鳥英喜	デッサン(頬杖する男)	佐倉市立美術館
6	足立源一郎	人体デッサン女子坐像、片膝を立てる(仮題)	大阪市教育委員会
7	足立源一郎	人体デッサン男子立像、前向き(仮題)	大阪市教育委員会
8	足立源一郎	人体デッサン女子椅像、横向き(仮題)	大阪市教育委員会
9	足立源一郎	人体デッサン女子椅像、横向き(仮題)	大阪市教育委員会
10	足立源一郎	人体デッサン女子立像、前向き(仮題)	大阪市教育委員会
11	足立源一郎	人体デッサン男子椅像、横向き、足の習作(仮題)	大阪市教育委員会
12	足立源一郎	人体デッサン女子椅像、横向き(仮題)	大阪市教育委員会
13	足立源一郎	人体デッサン女子椅像、後向き(仮題)	大阪市教育委員会
14	足立源一郎	人体デッサン男子立像、前向き棒を持てる(仮題)	大阪市教育委員会
15	足立源一郎	人物デッサン着衣女子立像(仮題)	大阪市教育委員会
16	安井曾太郎	油デ006、素描ハ-5	愛知県立芸術大学芸術資料館
17	安井曾太郎	油デ007、素描ハ-6	愛知県立芸術大学芸術資料館
18	安井曾太郎	油デ009、素描ハ-8	愛知県立芸術大学芸術資料館
19	安井曾太郎	油デ010、素描ハ-9	愛知県立芸術大学芸術資料館
20	安井曾太郎	油デ011、素描ハ-10	愛知県立芸術大学芸術資料館
21	安井曾太郎	油デ012、素描ニ-1	愛知県立芸術大学芸術資料館
22	安井曾太郎	油デ014、素描ニ-3	愛知県立芸術大学芸術資料館
23	安井曾太郎	油デ015、素描ニ-4	愛知県立芸術大学芸術資料館
24	安井曾太郎	油デ016、素描ニ-5	愛知県立芸術大学芸術資料館
25	安井曾太郎	油デ017、素描ニ-6	愛知県立芸術大学芸術資料館
26	安井曾太郎	油デ018、素描ニ-7	愛知県立芸術大学芸術資料館
27	安井曾太郎	油デ020、素描ニ-9	愛知県立芸術大学芸術資料館
28	田中志奈子	デッサン(棒を持つ裸体)	千葉県立美術館
29	田中志奈子	デッサン(裸体)	千葉県立美術館
30	田中志奈子	デッサン(神官)	千葉県立美術館
31	田中志奈子	デッサン(大原女)	千葉県立美術館
32	田中志奈子	デッサン(箒をもつ女)	千葉県立美術館
33	田中志奈子	デッサン(裸婦)	千葉県立美術館
34	小倉善三郎	素描38点	京都国立近代美術館
35	千種掃雲	着衣習作(子供と老婆)	京都国立近代美術館
36	千種掃雲	着衣習作(籠をもつ農婦立像)	京都国立近代美術館
37	千種掃雲	着衣習作(掃雲夫人)	京都国立近代美術館
38	千種掃雲	着衣習作(少女立像)	京都国立近代美術館
39	千種掃雲	裸体習作(男性立像背面)	京都国立近代美術館
40	千種掃雲	裸体習作(女性座像背面)	京都国立近代美術館
41	千種掃雲	その他、素描41点	京都国立近代美術館
42	西川純	石膏デッサン・男(1)	京都国立近代美術館
43	西川純	石膏デッサン・男(2)	京都国立近代美術館
44	西川純	石膏デッサン・男(3)	京都国立近代美術館
45	西川純	石膏デッサン・少年	京都国立近代美術館
46	西川純	男裸体座像	京都国立近代美術館
47	西川純	裸体人物・男	京都国立近代美術館
48	西川純	人物立像	京都国立近代美術館
49	西川純	男裸体座像	京都国立近代美術館
50	西川純	男裸体立像・背面	京都国立近代美術館
51	西川純	着衣婦人立像	京都国立近代美術館
52	西川純	裸婦立像	京都国立近代美術館
53	西川純	裸婦座像	京都国立近代美術館
54	西川純	裸婦座像	京都国立近代美術館
55	西川純	男裸体座像	京都国立近代美術館

No.	作家名	作品・材質・技法	所蔵先
56	安井曾太郎	頬杖をつく男性裸像J	呉市立美術館
57	安井曾太郎	ザルをもつ婦人	呉市立美術館
58	安井曾太郎	右手をあげた男性裸像	呉市立美術館
59	田中志奈子	人物習作・杖を持つ男性	三重県立美術
60	田中志奈子	人物習作・着帽男性(側面)	三重県立美術
61	田中志奈子	人物習作・公家武者	三重県立美術
62	田中志奈子	人物習作・三味線太夫	三重県立美術
63	田中志奈子	人物習作・公家武者	三重県立美術
64	田中志奈子	人物習作・公家武者	三重県立美術
65	田中志奈子	人物習作・籠を持つ男性	三重県立美術
66	田中志奈子	人物習作・籠を持つ女性	三重県立美術
67	田中志奈子	人物習作・煙草を吸う老人	三重県立美術
68	田中志奈子	人物習作・裸体男性(正面)	三重県立美術
69	田中志奈子	人物習作・裸体男性(側面)	三重県立美術
70	田中志奈子	人物習作・足を組む裸女	三重県立美術
71	田中志奈子	人物習作・裸体男性(斜側面)	三重県立美術
72	田中志奈子	人物習作・兵士	三重県立美術
73	田中志奈子	人物習作・裸女座像	三重県立美術
74	田中志奈子	人物習作・裸体男性半身	三重県立美術
75	田中志奈子	人物習作・裸女座像	三重県立美術
76	田中志奈子	人物習作・裸体男性座像(側面)	三重県立美術
77	田中志奈子	人物習作・農婦	三重県立美術
78	田中志奈子	人物習作・母子	三重県立美術
79	田中志奈子	人物習作・農婦	三重県立美術
80	田中志奈子	人物習作・男性立像	三重県立美術
81	田中志奈子	人物習作・裸体男性(斜背面)	三重県立美術
82	田中志奈子	人物習作・裸女座像	三重県立美術
83	田中志奈子	人物習作・裸体男性	三重県立美術
84	田中志奈子	人物習作・裸体男性	三重県立美術
85	田中志奈子	人物習作・裸体男性座像(背面)	三重県立美術
86	田中志奈子	人物習作・裸体男性立像	三重県立美術
87	田中志奈子	人物習作・裸体男性立像(背面)	三重県立美術
88	田中志奈子	人物習作・裸体男性(側面)	三重県立美術
89	田中志奈子	人物習作・和服女性座像(側面)	三重県立美術
90	田中志奈子	人物習作・和服女性座像	三重県立美術
91	田中志奈子	人物習作・裸体男性座像	三重県立美術
92	田中志奈子	人物習作・裸体男性立像	三重県立美術
93	田中志奈子	人物習作・裸体男性立像	三重県立美術
94	田中志奈子	人物習作・裸体男性座像	三重県立美術
95	田中志奈子	人物習作・裸体男性座像	三重県立美術
96	田中志奈子	人物習作・裸体男性座像	三重県立美術
97	田中志奈子	人物習作・裸体男性立像(正面)	三重県立美術
98	田中志奈子	人物習作・和服女性(側面)	三重県立美術
99	田中志奈子	人物習作・裸体男性座像(正面)	三重県立美術
100	田中志奈子	人物習作・裸体男性座像(正面)	三重県立美術
101	田中志奈子	人物習作・裸体男性立像(正面)	三重県立美術
102	田中志奈子	人物習作・裸女座像(背面)	三重県立美術
103	田中志奈子	人物習作・裸女座像	三重県立美術
104	田中志奈子	人物習作・裸女座像(側面)	三重県立美術
105	田中志奈子	人物習作・裸体男性立像(正面)	三重県立美術
106	黒田重太郎	素描 30点	星野画廊
107	千種掃雲	素描 3点	星野画廊
108	安井曾太郎	不詳(4567、2-D-7)	福岡市美術館
109	安井曾太郎	題不詳(4569、2-D-9)	福岡市美術館
110	安井曾太郎	題不詳(4570、2-D-10)	福岡市美術館

No.	作家名	作品・材質・技法	所蔵先
111	安井曾太郎	題不詳(4572、2-D-12)	福岡市美術館
112	安井曾太郎	裏面=題不詳(4573、2-D-13)	福岡市美術館
113	安井曾太郎	題不詳(4571、2-D-11)	福岡市美術館
114	安井曾太郎	題不詳(4574、2-D-14)	福岡市美術館
115	安井曾太郎	題不詳(4575、2-D-15)	福岡市美術館
116	澤部清五郎	素描 8点	目黒区美術館

作家名順に記載した

会場では各素描の推定製作年月日等により仮題を与えた

本リストでの標記は所蔵先記述にしたがっている

総作品数232点のうち約200点を展示した

# めぐろの子どもたち展

平成18年度目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会

会期：2007年1月13日(土)～1月28日(日) 14日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、  
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：降旗千賀子

同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展、中国北京市崇文区児童・生徒書画展

本展は、目黒区立の幼稚園・小学校・中学校（特別支援学級を含む）の幼児・児童・生徒が平成18年度の授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を陶冶することを目的に開催した。

また、同時に区民ギャラリーで、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒絵画展及び中国北京市崇文区児童・生徒書画展を開催した。

## ●リーフレット

寸法：A3（六つ折り）

内容：ごあいさつ（主催者）／特別支援学級／幼稚園／小学校・図工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展／中国北京市崇文区児童・生徒書画展／展示室案内

## ●ポスター

サイズ：B3

## ●出品数：3,856点



B3ポスター



# チェコ絵本とアニメーションの世界

## — チャペック、トウルンカから21世紀の作家まで

会期：2007年2月10日(土)～4月8日(日) 50日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

後援：チェコ共和国文化省、駐日チェコ共和国大使館、日本チェコ協会、日本国際児童図書評議会

企画協力：株式会社イデッ

協力：カトーレック株式会社

特別協力：ハプリーチーフ・プロト美術館、プラハ国立美術工芸博物館、クラートキー・フィルム・プラハ

担当学芸員：家村珠代

「チェコ・アニメ」という総称があるほどに、世界的に評価の高いチェコのアニメーションだが、チェコ・アニメの作家たちの中には、アニメーションと同時に絵本創作やイラストレーション、デザインなどを手がける場合も多いことは日本ではあまり知られていない。本展では、チェコとスロヴァキアの公立美術館や、旧国営アニメーション・スタジオなどの協力により、チェコを代表する作家28名の原画や制作過程の資料、絵本など約250点（展示替えあり）によって、20世紀前半から今日までのチェコ絵本史を、アニメーション制作と絡めながら展示することにより、チェコ独自の絵本とアニメーションの交流を紹介した。

チャペックやラダなど草創期の作家から、近年チェコで注目を集めている最新鋭の作家たちの作品までが一堂に会し、さらに日本未公開のアニメーション映像を紹介できる好機となった。

また、本展は巡回展であるが、映像や展示参考資料などの制作物を館独自に制作したり、手に入りにくいチェコ絵本の和洋書、DVD はじめさまざまなグッズを展示・販売することにより、来館者が館全体でチェコの文化を体験できるような工夫を凝らし、好評を得た。

会期中に、皇后妃殿下、常陸宮妃殿下が来館、鑑賞された。

### ●カタログ

寸法：23×21cm

ページ数：148頁

デザイン：株式会社求龍堂

内容：目次／謝辞／ごあいさつ／チェコのモダン・イラストレーション [パヴラ・ペチンコヴァー]／チェコのアニメーション映画におけるアーティストたち [エドガル・ドウトカ]／Ⅰ、チェコ絵本の「古典」となった作家たち／Ⅱ、アヴァンギャルドの潮流とチェコ・アニメーションの礎／Ⅲ、アニメーションが育むチェコ絵本／Ⅳ、チェコ絵本の現在／書籍目録／日本のみなさまへ [テレザ・ホルヴァートヴァー]／上映アニメーション作品／イジー・バルタ インタビュー／ハプリーチーフ・プロト美術館を訪ねて [松本育子]／作家略歴／作品目録

### ●ポスター

サイズ：B2

デザイン：菊地敦己（ブルーマーク）

### ●チラシ

サイズ：A4

デザイン：菊地敦己（ブルーマーク）

### ●関連催事

- 1 昼下がりの講演会「チェコ絵本の魅力」  
講師：スタニスラヴァ・ザープロドゥスカ（ユーロメディア編集者）  
3月11日(日) 14:00-16:00
- 2 昼下がりの上映会「チェコ・アニメ・チェコ・テレビ」  
講師：小野耕世（映画評論家）  
3月17日(日) 14:00-16:00

●主要関連記事

- 1 「チェコのアニメと絵本紹介」世界日報 2007年2月28日
- 2 「物語世界に花開く個性」朝日新聞（夕刊）2007年3月8日
- 3 家村珠代「美術・博物館情報」読売新聞（夕刊）2007年3月13日
- 4 Kumi Matsumaru「Czech animation and illustration on show」THE DAILY YOMIURI 2007年3月25日
- 5 「常陸宮妃殿下がチェコ絵本鑑賞」毎日新聞（夕刊）2007年3月29日
- 6 「皇后さま、絵本展鑑賞」毎日新聞（夕刊）2007年4月6日
- 7 小林由比「懐かしいのに新しさ大人も子どもも夢中」東京新聞 2007年4月25日
- 8 Toshie Oowa「チェコ絵本とアニメーションの世界」展『ELLE DECO』アシェット婦人画報社 2007年2月号 P.23
- 9 林愛子「チェコ絵本とアニメーションの世界」『グラマラス』講談社 2007年2月号 P.223
- 10 原田環「美しい文字と絵をもつ国のリリカルな表現を味わいたい」『フィガロジャポン』阪急コミュニケーションズ 2007年2月号 P.93
- 11 「チェコの素敵な前衛アドルフ・ホフマイステル」『芸術新潮』新潮社 2007年3月号 P.112
- 12 岩淵潤子「チェコの絵本作家たち ズテニェク・ミレルからユライ・ホルヴァートまで」『婦人画報』アシェット婦人画報社 2007年3月号 P.388
- 13 江口宏志「未来へ続くチェコの絵本とアニメーションのオリジナルを知る」『流行通信』INFAS パブリケーションズ 2007年3月号 P.238
- 14 白坂ゆり「かつて子どもだったおとなは子どものために」『sesame』角川SSコミュニケーションズ 2007年3月号 P.227
- 15 「静かで長いブームの正体 チェコ絵本とアニメがやってきた」『STUDIO VOICE』INFAS パブリケーションズ 2007年3月号 P.13
- 16 Hiroyasu Yamaguchi「ほのぼのしたチェコの絵をデザインにぞっこん！」『TITLE』2007年3月号 P.115
- 17 家村珠代「チェコ絵本とアニメーションの世界」『東京アートナビ』2007年3月号 P.5
- 18 緒川たまき「国や文化を越えて伝わる人間の知恵」『東京カレンダー』アクセス・パブリッシング 2007年3月号 P.169
- 19 橋本麻里「区立美術館で見る東欧 絵本とアニメの100年」『婦人公論』中央公論新社 2007年3月7日号 P.75
- 20 「あたたかでやさしいチェコ絵本の世界」『小学図書館ニュース』少年写真新聞社 2007年2月18日号
- 21 家村珠代「チェコ絵本とアニメーションの世界展によせて」『小学図書館ニュース』少年写真新聞社 2007年2月18日号
- 22 『新日曜美術館—アートシーン』NHK 2007年3月25日
- 23 『イブニング・ファイブ—春らんまん皇室ご一家』TBS テレビ 2007年4月6日
- 24 『イブニング・ファイブ—新緑の皇室ご一家』TBS テレビ 2007年5月2日
- 25 『J-wave wake up tokyo』J-wave 2007年2月14日
- 26 『深夜特急便』NHK ラジオ 2007年2月



会場風景



B2ポスター

# 出品リスト

W：全会期中展示……112点    A：～3/18まで展示…… 66点    B：3/20～展示…… 65点    S：～2/25まで展示…… 2点    全245点

図録 No.	展示 期間	作家名	Title in Japanese			Dimension (H/W)	
1-1-1	B	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	表紙(原画)	c.1929	33,6×24,5	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-2	A	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	27×24,5	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-3	B	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	21,9×15,1	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-4	A	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	21,7×14,9	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-5	B	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	22×15,1	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-6	A	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	21,9×15	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-7	B	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	22,1×15	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-8	A	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	22,1×14,8	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-9	B	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	22×14,9	スロヴァキア国立美術館蔵
1-1-10	A	ヨゼフ・チャベック	『こいぬとこねこは愉快な仲間』	挿絵(原画)	c.1929	22,2×15	スロヴァキア国立美術館蔵
1-2-1	A	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	30,0×21,8	個人蔵、ブラハ
1-2-2	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,8×21,6	個人蔵、ブラハ
1-2-3	A	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	30,0×21,7	個人蔵、ブラハ
1-2-4	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	30,0×22,1	個人蔵、ブラハ
1-2-5	A	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	30,0× 22,1-21,8	個人蔵、ブラハ
1-2-6	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,5×21,8	個人蔵、ブラハ
1-2-7	A	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,5×22,0	個人蔵、ブラハ
1-2-8	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,8×21,3	個人蔵、ブラハ
1-2-9	A	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,5× 21,0-22,2	個人蔵、ブラハ
1-2-10	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,9×21,5	個人蔵、ブラハ
1-2-11	A	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「郵便屋さんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,5×21,5	個人蔵、ブラハ
1-3-1	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「おまわりさんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,3×22,0	個人蔵、ブラハ
1-3-2	A	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「おまわりさんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,7×22,0	個人蔵、ブラハ
1-3-3	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「おまわりさんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,3×22,0	個人蔵、ブラハ
1-3-4	A	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「おまわりさんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,5×21,5	個人蔵、ブラハ
1-3-5	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「おまわりさんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,5×22,0	個人蔵、ブラハ
1-3-6	B	ヨゼフ・チャベック	『長い長いお医者さんの話』 より「おまわりさんの話」	挿絵(原画)	c.1932	29,6×21,9	個人蔵、ブラハ
1-4-1	B	ヨゼフ・ラダ	『新聞の作り方』	挿絵(原画)	1928	31,0×70,0	個人蔵、ブラハ
1-4-2	A	ヨゼフ・ラダ	『新聞の作り方』	挿絵(原画)	1928	31,0×70,0	個人蔵、ブラハ
1-4-3	B	ヨゼフ・ラダ	『新聞の作り方』	挿絵(原画)	1928	31,0×70,0	個人蔵、ブラハ
1-4-4	A	ヨゼフ・ラダ	『新聞の作り方』	挿絵(原画)	1928	31,0×70,0	個人蔵、ブラハ
1-4-5	B	ヨゼフ・ラダ	『新聞の作り方』	挿絵(原画)	1928	31,0×70,0	個人蔵、ブラハ
1-4-6	A	ヨゼフ・ラダ	『新聞の作り方』	挿絵(原画)	1928	31,0×70,0	個人蔵、ブラハ
1-4-7	B	ヨゼフ・ラダ	『新聞の作り方』	挿絵(原画)	1928	31,0×70,0	個人蔵、ブラハ
1-4-8	A	ヨゼフ・ラダ	『新聞の作り方』	挿絵(原画)	1928	31,0×70,0	個人蔵、ブラハ
1-5-3	W	ヨゼフ・ラダ	『ラダの楽しい練習帳 - 鳥』	挿絵(原画)	1931	25,4×18,2	ブラハ市美術館蔵
1-5-4	W	ヨゼフ・ラダ	『ラダの楽しい練習帳 - 鳥』	挿絵(原画)	1931	25,1×18,3	ブラハ市美術館蔵
1-6	S	ヨゼフ・ラダ	『善良な兵士シュヴェイク』	挿絵(原画)	制作年不明	12,7×15,6	ブラハ市美術館蔵
1-7-1	A	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	表紙(原画)	c.1946	28,8×20,2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-2	B	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	18,1×25,2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵

図録 No.	展示 期間	作家名	Title in Japanese			Dimension (H/W)	
1-7-3	B	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	18.0×24.8	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-4	A	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	19.6×23.3	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-5	A	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	18.3×23.6	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-6	B	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	17.0×25.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-7	B	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	20.6×24.1	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-8	A	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	15.6×23.1	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-9	B	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	16.3×24.6	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-10	A	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	14.1×22.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-11	A	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	14.5×23.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-7-12	B	ヨゼフ・ラダ	『聖ヴィラジミールの洗礼』	挿絵(原画)	c.1946	16.6×21.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-8-1	B	ヨゼフ・ラダ	『ラーヴラ王』	表紙(原画)	c.1947	26.6×19.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-8-2	A	ヨゼフ・ラダ	『ラーヴラ王』	挿絵(原画)	c.1947	17.0×22.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-8-3	A	ヨゼフ・ラダ	『ラーヴラ王』	挿絵(原画)	c.1947	31.0×22.3 26.0×17.3	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-8-4	B	ヨゼフ・ラダ	『ラーヴラ王』	挿絵(原画)	c.1947	20.8×22.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-8-5	A	ヨゼフ・ラダ	『ラーヴラ王』	挿絵(原画)	c.1947	21.3×22.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-8-6	A	ヨゼフ・ラダ	『ラーヴラ王』	挿絵(原画)	c.1947	19.2×20.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-8-7	B	ヨゼフ・ラダ	『ラーヴラ王』	挿絵(原画)	c.1947	19.4×20.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-8-8	B	ヨゼフ・ラダ	『ラーヴラ王』	挿絵(原画)	c.1947	20.6×20.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-9-1	B	ヨゼフ・ラダ	『チロルの哀歌』	挿絵(原画)	c.1947	12.2×22.3	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-9-2	A	ヨゼフ・ラダ	『チロルの哀歌』	挿絵(原画)	c.1947	11.1×22.2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-9-3	B	ヨゼフ・ラダ	『チロルの哀歌』	挿絵(原画)	c.1947	12.5×21.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-9-4	A	ヨゼフ・ラダ	『チロルの哀歌』	挿絵(原画)	c.1947	31.0×22.2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-9-5	A	ヨゼフ・ラダ	『チロルの哀歌』	挿絵(原画)	c.1947	14.0×22.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-9-6	A	ヨゼフ・ラダ	『チロルの哀歌』	挿絵(原画)	c.1947	30.8×22.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-10	S	ヨゼフ・ラダ	《水の精》		1947	40.4×26.0	プラハ市美術館蔵
1-11-1	A	カレル・スヴォリンスキー	「へび」	挿絵(未掲載)	制作年不明	18.6×12.8	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-11-2	A	カレル・スヴォリンスキー	「鳥」	挿絵(未掲載)	制作年不明	10.1×17.1	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-11-3	A	カレル・スヴォリンスキー	「いぬ」	挿絵(未掲載)	制作年不明	12.8×15.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-11-4	B	カレル・スヴォリンスキー	「ひつじ」	挿絵(未掲載)	制作年不明	13.0×18.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-11-5	B	カレル・スヴォリンスキー	「かたつむり」	挿絵(未掲載)	制作年不明	12.0×15.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-11-6	B	カレル・スヴォリンスキー	「かめ」	挿絵(未掲載)	制作年不明	12.5×18.1	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-12-1	B	カレル・スヴォリンスキー	『真夏の夜の夢』	挿絵(未掲載)	制作年不明	33.7×25.3 28.2×20.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-12-2	B	カレル・スヴォリンスキー	『真夏の夜の夢』	挿絵(未掲載)	制作年不明	35.4×26.1 29.0×20.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-12-3	A	カレル・スヴォリンスキー	『真夏の夜の夢』	挿絵(未掲載)	制作年不明	34.0×25.8 29.0×20.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-12-4	A	カレル・スヴォリンスキー	『真夏の夜の夢』	挿絵(未掲載)	制作年不明	34.5×26.0 29.5×20.6	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-13-1	W	オンジェイ・セコラ	『アリのフェルダ』	挿絵(原画)	c.1936	17.7×33.9	個人蔵、ブラハ
1-13-2	W	オンジェイ・セコラ	『アリのフェルダ』	挿絵(原画)	c.1936	20.3×31.0	個人蔵、ブラハ
1-13-3	W	オンジェイ・セコラ	『アリのフェルダ』	挿絵(原画)	c.1936	47.3×35.1	個人蔵、ブラハ
1-13-4	W	オンジェイ・セコラ	『アリのフェルダ』	挿絵(原画)	c.1936	49.0×35.4	個人蔵、ブラハ
1-13-5	W	オンジェイ・セコラ	『アリのフェルダ』	挿絵(原画)	c.1936	48.7×35.9	個人蔵、ブラハ
1-14-1	W	オンジェイ・セコラ	『アリの巣のフェルダ』	挿絵(原画)	c.1938	12.4×32.9	個人蔵、ブラハ
1-14-2	W	オンジェイ・セコラ	『アリの巣のフェルダ』	挿絵(原画)	c.1938	13.8×33.7	個人蔵、ブラハ
1-14-3	W	オンジェイ・セコラ	『アリの巣のフェルダ』	挿絵(原画)	c.1938	12.4×31.8	個人蔵、ブラハ
1-15-1	W	オンジェイ・セコラ	『がんこなアリたち』	表紙(原画)	c.1954	54.3×39.7	個人蔵、ブラハ
1-15-2	W	オンジェイ・セコラ	『がんこなアリたち』	挿絵(原画)	c.1954	41.0×11.5	個人蔵、ブラハ
1-15-3	W	オンジェイ・セコラ	『がんこなアリたち』	挿絵(原画)	c.1954	41.6×13.0	個人蔵、ブラハ
1-15-4	W	オンジェイ・セコラ	『がんこなアリたち』	挿絵(原画)	c.1954	41.6×13.6	個人蔵、ブラハ
1-15-5	W	オンジェイ・セコラ	『がんこなアリたち』	挿絵(原画)	c.1954	38.9×30.3	個人蔵、ブラハ
1-16	W	オンジェイ・セコラ	「幕間」	挿絵(未掲載)	c.1939	23.4×16.2	個人蔵、ブラハ
1-17-1	W	オンジェイ・セコラ	『楽しい一週間』	挿絵(原画)	c.1934	19.0×38.7	個人蔵、ブラハ
1-17-2	W	オンジェイ・セコラ	『楽しい一週間』	挿絵(原画)	c.1934	24.3×52.4	個人蔵、ブラハ

図録 No.	展示 期間	作家名	Title in Japanese			Dimension (H/W)	
1-18-1	W	オンジェイ・セコラ	『フェルダの読み書き絵本』	表紙(原画)	c.1939	48.6×34.7	個人蔵、ブラハ
1-18-2	W	オンジェイ・セコラ	『フェルダの読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1939	23.2×16.0 23.3×17.5	個人蔵、ブラハ
1-18-3	W	オンジェイ・セコラ	『フェルダの読み書き絵本』	見返し(原画)	c.1939	48.0×69.8	個人蔵、ブラハ
1-19-1	B	ツイリル・ボウダ	『金貸しのパンクラーツ・ ブデシウス』	挿絵(原画 /リトグラフ)	c.1954	20.8×14.9 18.5×12.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-19-2	B	ツイリル・ボウダ	『金貸しのパンクラーツ・ ブデシウス』	挿絵(原画 /リトグラフ)	c.1954	20.8×14.9 18.5×12.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-19-3	A	ツイリル・ボウダ	『金貸しのパンクラーツ・ ブデシウス』	挿絵(原画 /リトグラフ)	c.1954	20.8×14.9 18.5×12.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-19-4	A	ツイリル・ボウダ	『金貸しのパンクラーツ・ ブデシウス』	挿絵(原画 /リトグラフ)	c.1954	20.8×14.9 18.5×12.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-20-1	B	ヴァーツラフ・カレル	『王さまになったホンザ』	挿絵(原画)	c.1948	34.0×25.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-20-2	A	ヴァーツラフ・カレル	『王さまになったホンザ』	挿絵(原画)	c.1948	35.5×26.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-20-3	B	ヴァーツラフ・カレル	『王さまになったホンザ』	挿絵(原画)	c.1948	23.0×18.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-20-4	A	ヴァーツラフ・カレル	『王さまになったホンザ』よ り「オテサーネク」	挿絵(未掲載)	c.1948	22.6×21.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-21-1	B	ヴァーツラフ・カレル	『森のお話』	表紙(原画)	c.1957	32.8×22.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-21-2	A	ヴァーツラフ・カレル	『森のお話』	挿絵(原画)	c.1957	16.1×22.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-21-3	B	ヴァーツラフ・カレル	『森のお話』	挿絵(原画)	c.1957	31.7×22.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-21-4	A	ヴァーツラフ・カレル	『森のお話』	挿絵(原画)	c.1957	32.3×22.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-22	A	ズデニェク・ブリアン	『先史時代の恐竜の祖先』	挿絵(原画)	1941	29.0×40.0	ギャラリー・スクレナーシュ蔵
1-23	B	ズデニェク・ブリアン	『ゴルゴザウルスとステイ ラコサウルス』	挿絵(原画)	1951	33.5×33.5	ギャラリー・スクレナーシュ蔵
1-24-1	B	アントニン・スト ウルナデル	『モラヴィアの民話』	表紙(原画)	c.1957	33.6×61.3 29.2×61.3	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-24-2	A	アントニン・スト ウルナデル	『モラヴィアの民話』	挿絵(原画)	c.1957	22.4×17.8 21.4×17.2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-24-3	B	アントニン・スト ウルナデル	『モラヴィアの民話』	挿絵(原画)	c.1957	42.3×29.6 15.8×17.7 18.0×21.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-24-4	A	アントニン・スト ウルナデル	『モラヴィアの民話』	挿絵(原画)	c.1957	42.2×29.6 33.5×21.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-24-5	B	アントニン・スト ウルナデル	『モラヴィアの民話』	挿絵(原画)	c.1957	42.2×29.6 34.0×21.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
1-24-6	A	アントニン・スト ウルナデル	『モラヴィアの民話』	挿絵(原画)	c.1957	42.3×29.7 14.7×21.1 18.0×21.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-1-1	W	アドルフ・ホフマイステル	『80日間世界一周』	扉絵(原画)	c.1959	36.0×25.0	個人蔵、ブラハ
2-1-2	W	アドルフ・ホフマイステル	『80日間世界一周』	挿絵(原画)	c.1959	36.0×25.0	個人蔵、ブラハ
2-2-1	W	アドルフ・ホフマイステル	『イジー・ヴォルケルのお話』	挿絵(原画)	c.1964	29.0×29.0	個人蔵、ブラハ
2-2-2	W	アドルフ・ホフマイステル	『イジー・ヴォルケルのお話』	挿絵(原画)	c.1964	29.0×29.0	個人蔵、ブラハ
2-3-1	W	アドルフ・ホフマイステル	『キリン?それともチュエリッ?』	表紙(原画)	c.1964	31.0×35.0	個人蔵、ブラハ
2-3-2	W	アドルフ・ホフマイステル	『キリン?それともチュエリッ?』	挿絵(原画)	c.1964	27.0×16.0	個人蔵、ブラハ
2-3-3	W	アドルフ・ホフマイステル	『キリン?それともチュエリッ?』	挿絵(原画)	c.1964	27.0×16.0	個人蔵、ブラハ
2-4-1	B	アドルフ・ホフマイステル	『フリオ・フレニトの奇妙な遍歴』	挿絵(原画)	c.1964	30.6×42.8	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-4-2	B	アドルフ・ホフマイステル	『フリオ・フレニトの奇妙な遍歴』	挿絵(原画)	c.1964	42.8×30.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-4-3	A	アドルフ・ホフマイステル	『フリオ・フレニトの奇妙な遍歴』	挿絵(原画)	c.1964	42.8×30.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-4-4	A	アドルフ・ホフマイステル	『フリオ・フレニトの奇妙な遍歴』	挿絵(原画)	c.1964	31.0×43.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-5-1	W	ズデニェク・スクレ ナーシュ	『孫悟空』	挿絵(原画)	1959-1961	28.0×18.5	ギャラリー・スクレナーシュ蔵
2-5-2	W	ズデニェク・スクレ ナーシュ	『孫悟空』	挿絵(原画)	1959-1961	25.5×17.5	ギャラリー・スクレナーシュ蔵
2-6-1	W	イジー・トゥルンカ	『グリム童話集』より「赤ずきん」	挿絵(原画)	c.1942	29.4×56.6	個人蔵、ブラハ
2-6-2	W	イジー・トゥルンカ	『グリム童話集』より「赤ずきん」	挿絵(原画)	c.1942	29.4×28.8	個人蔵、ブラハ
2-7	W	イジー・トゥルンカ	『おじいさんの砂糖大根』	セル画/ 挿絵(原画)	c.1945	60.0×40.0	クラートキー・フィルム・ブラハ蔵
2-8-1	W	イジー・トゥルンカ	『動物たちと山賊たち』	セル画/ 表紙(原画)	c.1946	38.9×39.0	個人蔵、ブラハ

図録 No.	展示 期間	作家名	Title in Japanese			Dimension (H/W)	
2-8-2	W	イジー・トゥルンカ	『動物たちと山賊たち』	セル画/ 挿絵(原画)	c.1946	46.9×46.7	個人蔵、プラハ
2-8-3	W	イジー・トゥルンカ	『動物たちと山賊たち』	セル画/ 挿絵(原画)	c.1946	39.1×36.4	個人蔵、プラハ
2-8-4	W	イジー・トゥルンカ	『動物たちと山賊たち』	セル画/ 挿絵(原画)	c.1946	40.0×60.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
2-10-1	W	イジー・トゥルンカ	『こえにだしてよみましょう』	表紙(原画)	c.1946	16.4-21.6× 23.4	個人蔵、プラハ
2-10-2	W	イジー・トゥルンカ	『こえにだしてよみましょう』	挿絵(試し刷り +原画)	c.1946	19.7×25.7	個人蔵、プラハ
2-10-3	W	イジー・トゥルンカ	『こえにだしてよみましょう』	挿絵(試し刷り +原画)	c.1946	16.1×48.1	個人蔵、プラハ
2-11-1	W	イジー・トゥルンカ	『マミンカ』	表紙(試し刷り +原画)	c.1954	30.2×22.5	個人蔵、プラハ
2-11-2	W	イジー・トゥルンカ	『マミンカ』	挿絵(原画)	c.1954	33.8×23.1	個人蔵、プラハ
2-11-3	W	イジー・トゥルンカ	『マミンカ』	挿絵(原画)	c.1954	32.0×22.7	個人蔵、プラハ
2-11-4	W	イジー・トゥルンカ	『マミンカ』	挿絵(原画)	c.1954	32.4×22.9	個人蔵、プラハ
2-12-1	W	イジー・トゥルンカ	『バヤヤ』	表紙(原画)	c.1955	34.8×25.9	個人蔵、プラハ
2-12-2	W	イジー・トゥルンカ	『バヤヤ』	挿絵(原画)	c.1955	37.8×26.1	個人蔵、プラハ
2-13-1	B	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	表紙(原画)	c.1960	16.6×36.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-2	A	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1960	16.5×31.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-3	B	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1960	29.5×41.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-4	B	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	扉絵(原画)	c.1960	29.5×41.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-5	A	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1960	29.6×41.8	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-6	B	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1960	29.6×41.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-7	B	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1960	29.5×41.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-8	A	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1960	29.6×41.8	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-9	A	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1960	29.5×41.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-13-10	A	ズデニェク・セイドゥル	『魔法の読み書き絵本』	挿絵(原画)	c.1960	29.5×41.8	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-14-1	B	ズデニェク・セイドゥル	『7つのペールの王さま』	表紙(原画)	c.1968	25.9×21.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-14-2	B	ズデニェク・セイドゥル	『7つのペールの王さま』	扉絵(原画)	c.1968	25.8×21.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-14-3	A	ズデニェク・セイドゥル	『7つのペールの王さま』	見返し(原画)	c.1968	25.8×21.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-14-4	B	ズデニェク・セイドゥル	『7つのペールの王さま』	挿絵(原画)	c.1968	25.8×21.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-14-5	A	ズデニェク・セイドゥル	『7つのペールの王さま』	挿絵(原画)	c.1968	25.8×21.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-14-6	A	ズデニェク・セイドゥル	『7つのペールの王さま』	見返し(原画)	c.1968	25.8×21.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-15-1	B	オタ・ヤネチェク	『公園のお日さま』	挿絵(原画)	c.1963	25.3×29.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-15-2	B	オタ・ヤネチェク	『公園のお日さま』	挿絵(原画)	c.1963	23.2×27.8	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-15-3	A	オタ・ヤネチェク	『公園のお日さま』	挿絵(原画)	c.1963	22.8×27.3	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-15-4	A	オタ・ヤネチェク	『公園のお日さま』	挿絵(原画)	c.1963	21.4×26.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-16	W	クヴィエタ・パツォ フスカー	《アルファベット》		1979	76.4×58.5 65.5×50.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-17	W	クヴィエタ・パツォ フスカー	《そろばん》		1981	37.6×24.5 28.8×21.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-18	W	クヴィエタ・パツォ フスカー	《アルファベット》		1981	68.5×45.3 58.2×39.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-19	W	クヴィエタ・パツォ フスカー	《玉飾りをつけたピエロ》		1983	68.5×52.3 54.0×43.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-20	W	クヴィエタ・パツォ フスカー	《ねこのお話》		1983	59.8×42.5 32.5×43.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-21-1	A	カレル・フランタ	『ふたつのお下げ髪のための童歌』	挿絵(原画)	c.1984	30.1×23.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-21-2	A	カレル・フランタ	『ふたつのお下げ髪のための童歌』	挿絵(原画)	c.1984	29.4×27.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-21-3	A	カレル・フランタ	『ふたつのお下げ髪のための童歌』	挿絵(原画)	c.1984	28.3×23.2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-21-4	B	カレル・フランタ	『ふたつのお下げ髪のための童歌』	挿絵(原画)	c.1984	30.9×23.2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-21-5	B	カレル・フランタ	『ふたつのお下げ髪のための童歌』	挿絵(原画)	c.1984	23.0×19.8	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-21-6	B	カレル・フランタ	『ふたつのお下げ髪のための童歌』	挿絵(原画)	c.1984	20.3×18.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-22-1	B	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『レニと呼ばれた私』	挿絵(原画)	c.1967	25.3×18.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵

図録 No.	展示 期間	作家名	Title in Japanese			Dimension (H/W)	
2-22-2	A	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『レニと呼ばれた私』	挿絵(原画)	c.1967	25.8×17.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-22-3	B	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『レニと呼ばれた私』	挿絵(原画)	c.1967	25.2×17.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-22-4	A	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『レニと呼ばれた私』	挿絵(原画)	c.1967	26.8×17.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-23-1	B	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『チューリップ大尉とボ ドーのお姫さま』	挿絵(原画)	c.1970	24.5×19.3	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-23-2	A	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『チューリップ大尉とボ ドーのお姫さま』	挿絵(原画)	c.1970	24.3×19.0	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-23-3	B	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『チューリップ大尉とボ ドーのお姫さま』	挿絵(原画)	c.1970	25.1×19.2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-23-4	A	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『チューリップ大尉とボ ドーのお姫さま』	挿絵(原画)	c.1970	25.5×20.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-23-5	B	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『チューリップ大尉とボ ドーのお姫さま』	挿絵(原画)	c.1970	25.4×19.7	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
2-23-6	A	エヴァ・ベドナージ ヨヴァー	『チューリップ大尉とボ ドーのお姫さま』	挿絵(原画)	c.1970	24.9×20.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-1-1	W	ズデニェク・ミレル	『もぐらのクルテク』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-1-2	W	ズデニェク・ミレル	『もぐらのクルテク』	セル画+絵 コンテ	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-2	W	ズデニェク・スメタナ	『(アシにかくれる小人)ラ コスニーチェク』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-3-1	W	ズデニェク・スメタナ	『いぬのシュタフリークと シュパゲツカ』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-3-2	W	ズデニェク・スメタナ	『いぬのシュタフリークと シュパゲツカ』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-4-1	W	アドルフ・ボルン	『ぼくはバリーク』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-4-2	W	アドルフ・ボルン	『ぼくはバリーク』	セル画+絵 コンテ	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-5-1	W	アドルフ・ボルン	『楽器のあいうえお』	挿絵(原画 /リトグラフ)	c.1982	29.8×21.1	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-5-2	W	アドルフ・ボルン	『楽器のあいうえお』	挿絵(原画 /リトグラフ)	c.1982	30.0×21.2	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-6-1	W	アドルフ・ボルン	『ぼくは探偵』	挿絵(原画)	c.1987	33.0×24.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-6-2	W	アドルフ・ボルン	『ぼくは探偵』	挿絵(原画)	c.1987	33.0×24.5	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-6-3	W	アドルフ・ボルン	『ぼくは探偵』	挿絵(原画)	c.1987	33.1×24.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-6-4	W	アドルフ・ボルン	『ぼくは探偵』	挿絵(原画)	c.1987	33.0×24.4	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-7-1	W	エヴァ・シェディヴァー	『幸せなブラジェンカ』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-7-2	W	エヴァ・シェディヴァー	『幸せなブラジェンカ』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-8-1	W	エヴァ・シェディヴァー	『パシャイダ王子をルツカ がどうやって助けたか』	挿絵(原画)	c.1979	16.8×26.3	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-8-2	W	エヴァ・シェディヴァー	『パシャイダ王子をルツカ がどうやって助けたか』	挿絵(原画)	c.1979	18.2×25.9	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-8-3	W	エヴァ・シェディヴァー	『パシャイダ王子をルツカ がどうやって助けたか』	挿絵(原画)	c.1979	17.2×23.6	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-8-4	W	エヴァ・シェディヴァー	『パシャイダ王子をルツカ がどうやって助けたか』	挿絵(原画)	c.1979	28.0×24.3	ハヴリーチクーフ・プロト美術館蔵
3-9-1	W	イジー・シャラムウン	『ホビットの旅』	挿絵(原画)	1979	14.9×17.4	作家蔵、プラハ
3-9-2	W	イジー・シャラムウン	『ホビットの旅』	挿絵(原画)	1979	9.7×14.5	作家蔵、プラハ
3-9-3	W	イジー・シャラムウン	『ホビットの旅』	挿絵(原画)	1979	31.0×18.7	作家蔵、プラハ
3-10	W	イジー・シャラムウン	『おおいぬフィーク』	セル画+絵 コンテ	1977-1978, 2005	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵
3-11-1	W	イジー・シャラムウン	『おおいぬフィーク』	挿絵(原画)	1981	31.0×41.0	作家蔵、プラハ
3-11-2	W	イジー・シャラムウン	『おおいぬフィーク』	挿絵(原画)	1981	31.0×41.1	作家蔵、プラハ
3-12-1	W	イジー・シャラムウン	『かたつむり』	挿絵(原画)	1983	21.0×25.5	作家蔵、プラハ
3-12-2	W	イジー・シャラムウン	『かたつむり』	挿絵(原画)	1983	21.0×29.4	作家蔵、プラハ
3-13-1	W	ヴラジミール・イラーネク	『ボブとボベク - 帽子から でてきたウサギたち』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・プラハ蔵

図録 No.	展示 期間	作家名	Title in Japanese			Dimension (H/W)	
3-13-2	W	ヴラジミール・イラーネク	『ボブとボベク - 帽子から でてきたウサギたち』	セル画	制作年不明	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・ブラハ蔵
3-14	W		『Tシャツのトリック3兄弟』	ポスター	2005	70.0×100.0	クラートキー・フィルム・ブラハ蔵
4-1	W	ヴラスト・バラーン コヴァー	『自由研究の絵』より『散歩』	挿絵(原画)	1995	39.7×42.6	ハヴリーチーフ・プロト美術館蔵
4-2	W	ヴラスト・バラーン コヴァー	『フランスの民話』	挿絵(原画)	1989	36.5×25.4	ハヴリーチーフ・プロト美術館蔵
4-3-1	W	ヴラスト・バラーン コヴァー	『3びきのこぐまベン・ヤ ン・ヨーン』	挿絵(原画)	1993-95	24.4×21.7	ハヴリーチーフ・プロト美術館蔵
4-3-2	W	ヴラスト・バラーン コヴァー	『3びきのこぐまベン・ヤ ン・ヨーン』	挿絵(原画)	1993-95	24.4×21.7	ハヴリーチーフ・プロト美術館蔵
4-4	W	ヴラスト・バラーン コヴァー	『Nの街から』	挿絵(未掲載)	1999	36.2×28.0	ハヴリーチーフ・プロト美術館蔵
4-5-1	W	ベトゥル・シーヌ	『三つの金の鍵—魔法のブラハ』	挿絵(原画/ア ート・プリント)	1994		個人蔵、ブラハ
4-5-2	W	ベトゥル・シーヌ	『三つの金の鍵—魔法のブラハ』	挿絵(原画/ア ート・プリント)	1994		個人蔵、ブラハ
4-5-3	W	ベトゥル・シーヌ	『三つの金の鍵—魔法のブラハ』	挿絵(原画/ア ート・プリント)	1994		個人蔵、ブラハ
4-6-1	W	ミハエラ・クコヴィ チョヴァー	『魔法の懐中電灯』	挿絵(原画)	2004	42.1×29.7	作家蔵、ブラハ
4-6-2	W	ミハエラ・クコヴィ チョヴァー	『魔法の懐中電灯』	挿絵(原画)	2004	29.6×20.9	作家蔵、ブラハ
4-6-3	W	ミハエラ・クコヴィ チョヴァー	『魔法の懐中電灯』	挿絵(原画)	2004	42.1×29.7	作家蔵、ブラハ
4-6-4	W	ミハエラ・クコヴィ チョヴァー	『魔法の懐中電灯』	挿絵(原画)	2004	42.1×29.7	作家蔵、ブラハ
4-7-1-1	W	ユライ・ホルヴァート	『ロヘスとおかしな男ブジェンダ』	木版	2001	18.0×18.0	作家蔵、ブラハ
4-7-1-2	W	ユライ・ホルヴァート	『ロヘスとおかしな男ブジェンダ』	挿絵(未完成)	2001	18.0×18.0	作家蔵、ブラハ
4-7-1-3	W	ユライ・ホルヴァート	『ロヘスとおかしな男ブジェンダ』	挿絵(原画/デジ タル彩色データ)	2001	作家蔵、プ ラハ	
4-7-2-1	W	ユライ・ホルヴァート	『ロヘスとおかしな男ブジェンダ』	挿絵(未完成)	2001	18.0×18.0	作家蔵、ブラハ
4-7-2-2	W	ユライ・ホルヴァート	『ロヘスとおかしな男ブジェンダ』	挿絵(原画/デジ タル彩色データ)	2001	18.0×18.0	作家蔵、ブラハ
4-7-3-1	W	ユライ・ホルヴァート	『ロヘスとおかしな男ブジェンダ』	挿絵(未完成)	2001	18.0×18.0	作家蔵、ブラハ
4-7-3-2	W	ユライ・ホルヴァート	『ロヘスとおかしな男ブジェンダ』	挿絵(原画/デジ タル彩色データ)	2001	18.0×18.0	作家蔵、ブラハ
4-8-1	W	ユライ・ホルヴァート	『青いトラ』	挿絵(校正刷り)	2004	70.0×100.0	作家蔵、ブラハ
4-8-2	W	ユライ・ホルヴァート	『青いトラ』	挿絵(校正刷り)	2004	70.0×100.0	作家蔵、ブラハ
4-9-1	W	ベトゥル・シュマレッツ	『シュマレッツのアルファ ベット』	挿絵(原画/デジ タル彩色データ)	2005	23.5×23.5	作家蔵、ブラハ
4-9-2	W	ベトゥル・シュマレッツ	『シュマレッツのアルファ ベット』	挿絵(原画/デジ タル彩色データ)	2005	23.5×23.5	作家蔵、ブラハ
4-9-3	W	ベトゥル・シュマレッツ	『シュマレッツのアルファ ベット』	挿絵(原画/デジ タル彩色データ)	2005	23.5×23.5 20.5×7.5	作家蔵、ブラハ
4-9-4	W	ベトゥル・シュマレッツ	『シュマレッツのアルファ ベット』	挿絵(原画/デジ タル彩色データ)	2005	23.5×23.5	作家蔵、ブラハ
4-9-5	W	ベトゥル・シュマレッツ	『シュマレッツのアルファ ベット』	挿絵(原画/デジ タル彩色データ)	2005	23.5×23.5 20.5×7.5	作家蔵、ブラハ
4-10-1-1	W	マルケータ・シムコヴァー	『わらべ歌とざれ歌』	挿絵(原画)	2004	29.6×20.9	作家蔵、ブラハ
4-10-1-2	W	マルケータ・シムコヴァー	『わらべ歌とざれ歌』	挿絵(未掲載)	2004	29.6×20.9	作家蔵、ブラハ
4-10-2	W	マルケータ・シムコヴァー	『わらべ歌とざれ歌』	挿絵(原画)	2004	29.6×20.9	作家蔵、ブラハ
4-10-3	W	マルケータ・シムコヴァー	『わらべ歌とざれ歌』	挿絵(原画 + 未掲載)	2004	29.6×20.9	作家蔵、ブラハ
4-10-4	W	マルケータ・シムコヴァー	『わらべ歌とざれ歌』	挿絵(原画 + 未掲載)	2004	29.6×20.9	作家蔵、ブラハ



[平成19 (2007) 年度]

# 目黒区美術館開館20周年記念シリーズ1 原マスミ大全集!

会期：2007年4月21日(土)～6月24日(日) 57日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

企画協力：新潮社、ギャラリーハウスMAY A

協力：アート インプレッション

担当学芸員：正木基

## ●事業内容

ミュージシャンとして活躍しながら、よしもとばなな(旧筆名・吉本ばなな)に才を見出され、イラストレーターとしても活動してきた原マスミのマルチプルなタレントに着目しての企画展。ミュージシャン、イラストレーターに加え、美術家、絵本作家、漫画家、さらにはナレーター、声優としての仕事も取り上げ、表現者・原マスミを総合的に紹介した。

日本のイラストレーションは、世界で類を見ないほど活況を呈し、若い女性を中心にした世代の間で人気を博しながら、ファインアートと位置づけられる美術に対して、ポピュラー・アートとされ、全うな紹介がなされてこなかった。本展では、ここ20年間、イラストレーターとして活動しながら、音楽などのジャンルでも旺盛に活躍してきたマルチプルな才能を世に問うことにした。一方で、新たな美術(館)ファンの獲得として、音楽ファンなどに対して、美術館の敷居を低くすることの試みも企図するものであった。

展覧会については、これまでまとまった紹介が無かっただけに、圧倒的な点数の出品作品数で、彼のファン層にも驚きを与え、また、物語的な表現が非常に親しまれた。さらに、原マスミが日頃から活動の場としていたライブハウスを意識し、ライブハウス風に改造した区民ギャラリー(地階)を使用して、GWの一週間、毎日、ゲストを迎えながらのコンサート「原マスミを聴く」(有料)を実施したが、音の良さなどで大変な好評を博した。また、原マスミのマルチプルな才能を多彩なゲストの方々と語り合う「原マスミ読本」(有料)も、毎回、ほぼ満席の状態で、各種イベントでは、彼を如何に理解するかに関心に促されたりピーターが数多く見られたのも特徴であった。

美術館としての展覧会に「視覚表現」とどまらず、幅広い表現に意を配せたことを特記してよいだろう。若い世代を美術館に誘引するには、音楽など彼らの生活に密着した文化も取り入れる必要があるだろうことも今後検討すべきことと思われた。

## ●カタログ

寸法：22.0×18.3cm

ページ数：208

デザイン：大久保裕文ほか

発行：新潮社

内容：図版(全7部構成)、よしもとばなな「原さんの世界」、町田康「きわどい優しさ」、中条省平「目を閉じる女たち～原マスミ論 Part.1」、「これまでの活動」、「収録作品リスト」

## ●ポスター

サイズ：B3

デザイン：小川清佳+目黒区美術館

## ●チラシ

サイズ：A4二つ折り

デザイン：小川清佳+目黒区美術館

●関連催事1

- 1 原マスマいぶんか祭 其之一：原マスマを聴く① 原マスマ、ゲスト：近藤達郎
- 2 原マスマいぶんか祭 其之一：原マスマを聴く② 原マスマ、ゲスト：知久寿焼
- 3 原マスマいぶんか祭 其之一：原マスマを聴く③ 原マスマ、ゲスト：白崎映美、坂本弘道
- 4 原マスマいぶんか祭 其之一：原マスマを聴く④ 原マスマ、ゲスト：うっちゃんた！ミ〜オ(梅津和時、張紅陽、多田葉子、美尾洋乃)
- 5 原マスマいぶんか祭 其之一：原マスマを聴く⑤ 原マスマ、ゲスト：佐野史郎、遠藤賢司
- 6 原マスマいぶんか祭 其之一：原マスマを聴く⑥ 原マスマバンド(近藤達郎、楠均、服部夏樹、内田健太郎)

●関連催事2

- 1 原マスマいぶんか祭 其之二：原マスマ読本① よしもとばなな(小説家)+原マスマ
- 2 原マスマいぶんか祭 其之二：原マスマ読本② 野村辰寿(アニメーション作家)+原マスマ
- 3 原マスマいぶんか祭 其之二：原マスマ読本③ あがた森魚(ミュージシャン)+石川真希(俳優・ミュージシャン)+原マスマ
- 4 原マスマいぶんか祭 其之二：原マスマ読本④ 山田勇男(映画監督)+高野慎三(漫画評論家)+原マスマ
- 5 原マスマいぶんか祭 其之二：原マスマ読本⑤ 林静一(イラストレーター、画家、アニメーション作家)+建島哲(詩人、国立国際美術館館長)+中条省平(文芸評論家、学習院大学)
- 6 原マスマいぶんか祭 其之二：原マスマ読本⑥ 五味太郎(絵本作家)+小野明(編集者、エディトリアル・デザイナー)

●主要関連記事

- 1 無署名「原マスマさん集大成展」、朝日新聞、2007年4月24日
- 2 無署名「貴方の「孤独」に出会える「原マスマ大全集」、週刊新潮、2007年5月31日
- 3 三浦マサヨシ「夢を歌う原マスマ」、Kappo、2007年7月号
- 4 特集「原マスマを旅する」(よしもとばなな他)、イラストレーション、2007年7月号
- 5 特集：海のふた 原マスマ大全集、MOE、2007年6月号



会場風景



B3 ポスター

## 出品リスト

作品名	制作年	寸法	素材	備考
<b>Part. 1: 「はじまり」の頃</b>				
1 月面から目薬	1985年	25.5×22.4	シルクスクリーン・紙	
2 原マスミ詞画集『トロイの月』/角川文庫	1990年			
1 ビーチ		42.0×50.6	色鉛筆・紙	
2 月よ-歩いてゆける私の星よ		70.4×73.3	色鉛筆・紙	
3 玉乗り		53.1×75.1	色鉛筆・紙	
4 昼間は迷った迷路		61.2×71.8	色鉛筆・紙	
5 傘さすとき不便		51.9×56.4	色鉛筆・紙	
6 手 天使		41.0×53.0	色鉛筆・紙	
7 おしりの天使		30.0×34.2	色鉛筆・紙	
8 電線上のARIA		51.6×72.9	色鉛筆・紙	
9 音のあるくらし		43.0×59.6	色鉛筆・紙	
10 半月		36.1×54.3	色鉛筆・紙	
11 帰れない		39.0×49.0	色鉛筆・紙	
12 明け方までずっと		61.2×70.8	色鉛筆・紙	
13 月化		50.3×60.4	色鉛筆・紙	
14 噴水		57.0×66.5	色鉛筆・紙	
<b>Part. 2: 「出会い」から「コラボレーション」へ よしもとばなな篇</b>				
1 吉本ばなな『哀しい予感』(装画、角川書店)	1988年	23.0×20.4	色鉛筆・紙	個人蔵
2 吉本ばなな『パイナップリン』(装画、角川書店)	1989年	42.8×29.0	色鉛筆・紙	個人蔵
3 午前2時の社交、吉本ばなな、『N・P』(装画、角川書店)	1990年	29.5×28.3	色鉛筆・紙	個人蔵
4 吉本ばなな『夢について』(装画 & 挿画、幻冬舎)1994年、(文庫版描き直し「久保田君」「青い夜ふたたび」、1997年)				
1 夢について2、扉絵		33.7×24.0	水彩・色鉛筆・紙	
2 久保田君(文庫版)	1997年	33.5×24.3	インク・水彩・紙	
3 ニルヴァーナ(未発表版)	不明	33.0×24.5	インク・水彩・デカルコマニー・水彩・紙	
4 インゲさん	1994年	33.4×24.4	インク・水彩・紙	
5 青い夜ふたたび(文庫版)	1997年	28.0×22.0	インク・色鉛筆・水彩・紙	
5 『吉本ばなな自選選集 第一巻～第四巻』(装画 & 扉絵、新潮社)	2000～2001年			
1 心臓の灯火(あかり)		38.8×11.8	オイルパステル・紙	
2 自分という人間		36.2×15.8	オイルパステル・紙	
3 サングラス(頭)		36.4×25.2	オイルパステル・紙	
4 サングラス		25.0×19.7	オイルパステル・紙	
5 地球儀		19.8×50.4	オイルパステル・紙	
6 百合		25.7×17.0	オイルパステル・紙	
7 薔薇		33.2×27.2	オイルパステル・紙	
8 鶏頭		29.0×21.3	オイルパステル・紙	
9 桜		27.6×19.8	オイルパステル・紙	
6 『バナタイム』(装画 & 挿画、マガジンハウス)	2002年			
1 キモノ(表紙)		43.8×31.7	オイルパステル・紙	
2 クラウン		20.2×16.6	オイルパステル・紙	
3 木偶		21.2×16.8	オイルパステル・紙	
4 ツィード		22.1×15.8	オイルパステル・紙	
5 赤いカーテン		19.0×15.9	オイルパステル・紙	
6 ペガサス		19.7×16.9	オイルパステル・紙	
7 ポット		18.8×17.1	オイルパステル・紙	
8 雨女		19.8×18.0	オイルパステル・紙	
9 ソーダ水		19.8×16.3	オイルパステル・紙	
10 ハウス		20.8×16.6	オイルパステル・紙	
11 金の卵		18.8×15.7	オイルパステル・紙	
12 スキー帽		20.3×17.1	オイルパステル・紙	
13 階段		19.2×16.8	オイルパステル・紙	

作品名	制作年	寸法	素材	備考
14 フード		22.2×17.7	オイルパステル・紙	
15 トランプ		18.8×16.2	オイルパステル・紙	
16 水槽		18.7×15.8	オイルパステル・紙	
17 鳩		17.7×14.5	オイルパステル・紙	
18 リップスティック		20.0×17.7	オイルパステル・紙	
19 しおさい		18.8×15.6	オイルパステル・紙	
20 黒猫		19.0×15.6	オイルパステル・紙	
21 花		19.6×16.6	オイルパステル・紙	
7 『ムーンライトシャドウ』(装画 & 挿画、朝日出版社)	2003年			
1 フリーハンド		35.5×25.5	オイルパステル・クレヨン・紙	
2 部屋		33.7×46.7	オイルパステル・クレヨン・紙	
3 青林檎		35.5×25.5	オイルパステル・クレヨン・紙	
4 電球		36.0×25.3	オイルパステル・クレヨン・紙	
5 ブーツ		33.5×23.8	オイルパステル・クレヨン・紙	
6 パジャマ		38.5×27.2	オイルパステル・クレヨン・紙	
7 サボテン		36.0×28.0	オイルパステル・クレヨン・紙	
8 Tシャツ		35.5×26.5	オイルパステル・クレヨン・紙	
9 マフラー		35.5×25.5	オイルパステル・クレヨン・紙	
10 手袋		44.0×51.0	オイルパステル・クレヨン・紙	
11 キリン		22.0×19.5	クレヨン・マーカー・紙	
8 よしもとばな『チエちゃんと私』(装画、ロッキング・オン)	2006年	46.0×34.0	オイルパステル・紙	
<b>Part. 3 : マンガ家・原マスミ</b>				
1 「原マスミの脳日記」(『GOMES』、PARCO)	1989～ 1996年		鉛筆・インク・紙	No.15、17、25、28、 32、50、62、78
2 「原マスミの号外脳日記」(WEB「喫茶アラスカ」)	1999年 ～			No.6、16、19、22、 28
3 『ニコマ絵本』(白泉社)	1994年		クレヨン・マーカー・紙	
1 表紙				
2 コノハムシとキリン				
3 にんげんとサンショウウオ				
4 カメとカンガルー				
5 ユニコンと馬人間				
6 ツキノミチカケ				
7 ナガレボシ				
8 ネムルユメ				
9 クマのカケッコ				
10 ペンギンとシロクマ				
11 ユキダルマ				
4 ハイマーさん(よしもとばな『Songs from Banana Note』付録「ばなな新聞」、スイッチ・コーポレーション書籍出版部)	1991年		サインペン・紙	
<b>Part. 4 : 絵本作家・原マスミ</b>				
1 文：ポール・ギャリコ、訳：矢川澄子、『雪のひとひら』(装画 & 挿画、新潮文庫)	1997年			
1 雪のひとひら(表紙)		32.0×23.9	オイルパステル・紙	
2 村里		27.0×19.0	オイルパステル・紙	
3 雪だるま		28.8×20.1	オイルパステル・紙	
4 旅路		28.6×20.0	オイルパステル・紙	
5 運河		25.5×18.0	オイルパステル・紙	
6 火事		27.0×19.0	オイルパステル・紙	
7 海		26.2×18.5	オイルパステル・紙	
8 南へ、南へ		25.6×18.0	オイルパステル・紙	
2 文：筒井頼子、『ぶるるるんるん』(絵、童心社)	2000年			
1 ぶるるるんるん		24.0×26.3	オイルパステル・紙	

作品名	制作年	寸法	素材	備考
2 かぜ		22.6×45.1	オイルパステル・紙	
3 あめ		21.9×44.5	オイルパステル・紙	
4 くねくねカーブ		25.5×48.6	オイルパステル・紙	
5 ほしのうみ		21.8×45.0	オイルパステル・紙	
6 まちのなか		22.5×45.0	オイルパステル・紙	
3 「らっこのおすし屋さん」(文 & 絵、『科学と学習の増刊 お話びっくり箱 1年上』、学習研究社)	2001年 6月			
1 かいわり		25.6×41.7	オイルパステル・紙	
2 かいてんすし屋さん		25.7×41.5	オイルパステル・紙	
3 らっこのすし屋さん		26.7×41.7	オイルパステル・紙	
4 アシカくん		25.8×21.0	オイルパステル・紙	
4 文：麻耶雄崇、『神様ゲーム』(絵、講談社)	2003年			
1 骨の山		36.5×27.0	オイルパステル・紙	
2 パースディ・ケーキ		28.0×24.0	オイルパステル・紙	
3 トイレ掃除		23.3×34.0	オイルパステル・紙	
4 神降山の鬼婆屋敷		22.6×32.0	オイルパステル・紙	
5 英樹の葬儀		24.0×17.5	オイルパステル・紙	
6 星空		24.5×35.2	オイルパステル・紙	
5 『泉のたてごと』(文 & 絵『MOE』)	2004年 9月号			
1 月の泉		31.0×24.0	オイルパステル・紙	
2 泉の精		31.0×24.0	オイルパステル・紙	
3 宝石の夜空		35.5×27.5	オイルパステル・紙	
4 星座たち		31.0×47.0	オイルパステル・紙	
5 泉の精と星座の王子		31.0×47.0	オイルパステル・紙	
6 語らい		31.0×47.0	オイルパステル・紙	
7 ライオン座		31.0×47.0	オイルパステル・紙	
8 そそのかし		31.0×24.0	オイルパステル・紙	
9 決意		31.0×47.0	オイルパステル・紙	
10 かんむり投下		26.0×40.0	オイルパステル・紙	
11 水しおき		32.5×47.0	オイルパステル・紙	
12 光の輪		28.0×42.0	オイルパステル・紙	
13 光のらせん		30.5×47.0	オイルパステル・紙	
14 縮む王子		26.0×20.0	オイルパステル・紙	
15 たてごとの星座		26.0×20.0	オイルパステル・紙	
16 星座の中の泉の精		31.0×47.0	オイルパステル・紙	
17 たてごととの帰還		29.0×46.2	オイルパステル・紙	
18 泉の底へ		27.0×42.0	オイルパステル・紙	
19 たてごとの調べ		30.5×47.0	オイルパステル・紙	
6 「アフリカのシンデレラ」(絵、「土曜特集：おとぎ話を覚え てますか」、NHK 総合 TV)	1998年			
1 さかな		29.5×39.0	オイルパステル・紙	
2 まつり		36.0×42.0	オイルパステル・紙	
3 晴れ着のむすめたち		33.0×41.5	オイルパステル・紙	
4 王子と王妃		30.0×40.0	オイルパステル・紙	

●モニター放映 <映像：「アフリカのシンデレラ」>

●モニター放映 <映像：「ミッドナイトレストラン」>

## Part. 5：世界紀行 with よしもとばなな

1 吉本ばなな、『マリカの永い夜／バリ夢日記』(装画 & 挿画、1994年 幻冬舎)				
1 正午(ロータス) (『マリカの永い夜』(装画))		48.9×50.9	オイルパステル・紙	個人蔵
2 ケチャ		71.0×107.4	オイルパステル・紙	
3 祭り(海から来る夜)		46.0×63.0	オイルパステル・紙	

作品名	制作年	寸法	素材	備考
4 ウブドゥの家族		65.2×52.8	オイルパステル・紙	
5 ウエルカムフルーツ		43.6×35.9	オイルパステル・紙	
6 南十字星(次男の葬式)		52.7×38.1	オイルパステル・紙	
7 トゥンガナンのアニムス		29.9×31.6	オイルパステル・紙	
8 スコールの長女		51.4×76.5	オイルパステル・紙	
9 水浴み		44.6×31.5	オイルパステル・紙	
2 吉本ばなな『SLY』(装画 & 挿画、幻冬舎)	1996年			
1 月蝕の装束(『SLY』(装画))		51.5×42.5	オイルパステル・紙	個人蔵
2 サクリファイス		46.8×39.3	オイルパステル・紙	
3 風化の碑		43.5×51.5	オイルパステル・紙	
4 ヌビアの子		44.5×35.5	オイルパステル・紙	
5 死者の谷		44.0×52.8	オイルパステル・紙	
6 らくだ使い		45.7×36.3	オイルパステル・紙	
7 泥棒の町		39.0×52.5	オイルパステル・紙	
8 遺跡の兄弟		40.6×53.0	オイルパステル・紙	
9 ギザの月		49.5×38.0	オイルパステル・紙	
10 紀元前の母		43.3×52.8	オイルパステル・紙	
3 吉本ばなな『不倫と南米』(装画 & 挿画、幻冬舎)	2000年			
1 タンゴ(楽屋)		45.1×38.6	オイルパステル・紙	
2 ステンドグラス		49.2×36.7	オイルパステル・紙	
3 タンゴ(バンドネオン)		47.0×42.0	オイルパステル・紙	
4 墓地		50.7×43.5	オイルパステル・紙	
5 赤ワイン		46.0×33.0	オイルパステル・紙	
6 老母		47.0×35.0	オイルパステル・紙	
7 プエノスアイレス(鳩)		50.6×43.0	オイルパステル・紙	
8 白ワイン		48.5×41.5	オイルパステル・紙	
9 イグアス(るりこんごういんこ)		47.0×38.0	オイルパステル・紙	
10 カミニート		43.5×51.0	オイルパステル・紙	
4 吉本ばなな『虹』(装画 & 挿画、幻冬舎)	2002年			
1 虹(装画)		34.0×51.0	オイルパステル・紙	
2 赤い花の姉妹		51.0×37.0	オイルパステル・紙	
3 よそおい		35.0×26.0	オイルパステル・紙	
4 バリハイ I		33.0×43.0	オイルパステル・紙	
5 聖なる花		40.0×29.0	オイルパステル・紙	
6 よそおい		43.0×31.5	オイルパステル・紙	
7 水上コテージ		39.9×29.0	オイルパステル・紙	
8 ウクレレ		45.8×32.1	オイルパステル・紙	
9 黒真珠		47.0×32.8	オイルパステル・紙	
10 闇の娘		46.0×32.0	オイルパステル・紙	
11 屋内の南国		46.0×33.0	オイルパステル・紙	
12 タトゥー		50.0×38.4	オイルパステル・紙	
13 レイ		42.7×31.0	オイルパステル・紙	
14 バリハイ II		38.5×50.9	オイルパステル・紙	
5 よしもとばなな『なんくるなくない、沖縄(ちょっとだけ奄美)旅の日記ほか』(挿画、新潮文庫)	2006年			
1 シーサー		39.0×61.0	オイルパステル・紙	
2 エイサー		42.5×63.0	オイルパステル・紙	
3 ニライカナイ		43.5×62.4	オイルパステル・紙	
4 ハイビスカス		33.9×28.4	オイルパステル・紙	

## Part. 6 : 装う一本・CD・ポスター

### 1 単行本 & 文庫本

- |                                     |       |           |       |
|-------------------------------------|-------|-----------|-------|
| 1 ジュディ・スベンサー『ジェニーのなかの400人』(装画、早川書房) | 1993年 | 31.1×23.0 | 色鉛筆・紙 |
|-------------------------------------|-------|-----------|-------|

作品名	制作年	寸法	素材	備考
2 大平健『診療室にきた赤ずきん』(装画、新潮文庫)	2004年	31.5×22.1	オイルパステル・紙	
3 バーバラ・キングソルヴァー『天国の豚(下)』(装画、早川書房)	1994年	42.5×35.0	オイルパステル・紙	
4 高山なおみ『諸国空想料理店』(装画、筑摩書房)	1995年	52.1×72.8	オイルパステル・紙	
5 矢川澄子『父の娘』たち 森茉莉とアナイス・ニン』(装画、新潮社)	1997年	30.9×65.0	オイルパステル・紙	
6 椎名誠『飛ぶ男・囁む女』(装画、新潮社)	2001年	29.5×22.7	オイルパステル・紙	
2 雑誌				
1 謎『MOE』	1996年 6月号	46.5×36.5	オイルパステル・紙	
3 能(橋の会)ポスター・チラシ				
1 江口	1991年	32.2×29.5	色鉛筆・紙	
2 大原御幸	1992年	31.2×25.8	色鉛筆・紙	
3 善知鳥	1992年	8.5×22.5	墨・カラーインク・紙	
4 定家	1992年	20.0×17.0	色鉛筆・紙	
5 葵上	1993年	21.4×20.8	色鉛筆・紙	
4 演劇ポスター				
1 「アジア・ワールド1」ポスター原画(「ALICE FESTIVAL 2000」)	2001年	51.7×51.8	オイルパステル・紙	
2 「アジア・ワールド2」ポスター原画(「ALICE FESTIVAL 2002」)	2002年	51.8×51.6	オイルパステル・紙	
5 CD ジャケット				
1 QUOTATIONS『music from cool city』ジャケット画(VIVID SOUND)	1966年	23.0×23.0	オイルパステル・紙	
2 QUOTATIONS『宝島』ジャケット画(META COMPANY LTD.)	1998年	34.0×34.7	オイルパステル・紙	
3 上野洋子ほか『ナーサリー・チャイムス』ジャケット画(ポ -1 リスター)	1997年	34.5×35.5	オイルパステル・紙	
3 上野洋子ほか『ナーサリー・チャイムス』ジャケット画(ポ -2 リスター)	1997年	26.5×51.8	オイルパステル・紙	
3 上野洋子ほか『ナーサリー・チャイムス』ブックレット挿 -3 画(ポリスター)	1997年	22.0×24.5	オイルパステル・紙	
4 SANO CHIEKO 『Deep Sweet Blue』ジャケット画 (ART UNION)	2003年	36.0×36.0	オイルパステル・紙	
追加出品1: 内田 KEN 太郎『ラフレシア』ジャケット画(ガ - デンレーベル)	2002年	38.0×45.1	オイルパステル・紙	個人蔵(会期中、5月 9日より展示)
追加出品2: 内田 KEN 太郎『ラフレシア』ジャケット画(小 - 作品)(ガーデンレーベル)	2002年		オイルパステル・紙	個人蔵(会期中、5月 9日より展示)
6 新聞挿絵				
「名文句を読む」(挿画、『読売新聞』月曜日 BOOK サロン(吉 本ばなの回))	1999~ 2000年			
1 C. プロウスキー『死をポケットに入れて』(5月3日)		25.0×33.0	オイルパステル・紙	
2 村上春樹『スプートニクの恋人』(5月31日)		27.0×36.0	オイルパステル・紙	
3 安田隆『誰にでもできる『気』のコツのコツ』(6月28日)		26.0×35.8	オイルパステル・紙	
4 ロバート・C・フルフォード&ジョン・ストーン『いのち の輝き フルフォード博士が語る自然治癒力』(9月20日)		28.5×37.6	オイルパステル・紙	額無(9月20日)
5 貞奴『日本語のレッスン』(10月18日)		29.0×38.5	オイルパステル・紙	
6 銀色夏生『散歩とおやつ つれづれノート⑧』(11月16日)		27.0×36.0	オイルパステル・紙	
7 香山リカ『ウエディング・マニア』(1月24日)		27.0×36.0	オイルパステル・紙	
8 井上雅彦『バガボンド』(2月21日)		27.0×36.0	オイルパステル・紙	
9 トルーマン・カポーティ『叶えられた祈り』(3月20日)		27.0×36.0	オイルパステル・紙	

## Part. 7: 「ギャラリー」へ

1 『肉眼星座十二宮』(ギャラリーハウス MAYA)	1997年			
1 牡羊座		37.4×26.5	オイルパステル・紙	
2 牡牛座		37.6×27.6	オイルパステル・紙	
3 双子座		39.6×28.6	オイルパステル・紙	
4 蟹座		37.3×27.2	オイルパステル・紙	

作品名	制作年	寸法	素材	備考
5 獅子座		39.5×27.6	オイルパステル・紙	
6 乙女座		37.9×27.6	オイルパステル・紙	
7 天秤座		37.9×27.4	オイルパステル・紙	
8 蠍座		38.0×27.6	オイルパステル・紙	
9 射手座		37.9×27.3	オイルパステル・紙	
10 山羊座		37.5×26.8	オイルパステル・紙	
11 水瓶座		37.9×27.8	オイルパステル・紙	
12 魚座		39.0×27.4	オイルパステル・紙	
13 マンドリル		107.5×71.5	オイルパステル・紙	
2 『海のふた』(ギャラリーハウス MAYA)	2000年			
1 Large Plate 1(ケンタウルス)	1999年	径31.7×h.3.1		
2 Large Plate 2(えんぴつゴーゴン)	1999年	径31.9×h.3.3	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
3 Large Plate 3(月顔)	1999年	径31.9×h.3.3	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
4 Large Plate 4(アコーディオン)	1999年	径31.9×h.3.3	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
5 Large Plate 5(花束)	1999年	径31.9×h.3.3	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
6 Large Plate 6(地球儀)	1999年	径31.9×h.3.3	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
7 Large Plate 7(青林檎)	1999年	径31.9×h.3.3	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
8 Large Plate 10(玉乗り)	1999年	径31.9×h.3.3	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
9 Large Plate 11(月の入り)	1999年	径31.9×h.3.3	絵付け焼成	作家蔵
10 OVAL Plate 2(人魚)	1999年	径23.1×31.4 ×h.3.1	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
11 OVAL Plate 5(獅子)	1999年	径23.1×31.4 ×h.3.1	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
12 Medium Plate 3(獅子)	1999年	径26.2×h.2.9	絵付け焼成	作家蔵
13 Medium Plate B 1	1999年	径20.8×h.2.5	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
14 Medium Plate B 3	1999年	径20.8×h.2.5	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
15 Medium Plate B 5	1999年	径20.8×h.2.5	絵付け焼成	ギャラリーハウス MAYA 蔵
16 蓋付き壺	1999年	径15.5×h.26.5	絵付け焼成	個人蔵
17 壺	1999年	径15.0×h.17.9	絵付け焼成	個人蔵
18 壺2	1999年		絵付け焼成	岩橋裕太氏蔵
19 スモールプレート	1999年	S-3	絵付け焼成	岩橋裕太氏蔵
20 スモールプレート	1999年	S-4	絵付け焼成	岩橋裕太氏蔵
21 スモールプレート	1999年	S-5	絵付け焼成	岩橋裕太氏蔵
3 『人間の秘密』(ギャラリーハウス MAYA)	2002年			
1 ON OFF	2002年	26.2×19.8 (×2点)	オイルパステル・紙	
2 アロワナ	2002年	35.8×51.0	オイルパステル・紙	個人蔵
3 こわくない夢	2002年	43.9×60.8	オイルパステル・紙	個人蔵
4 ピアノ椅子	2002年	45.1×26.2	オイルパステル・紙	
5 ヘリコプター	2002年	46.6×35.0	オイルパステル・紙	
6 マジックハンド	2002年	45.6×30.2	オイルパステル・紙	
7 マンホール	2002年	44.5×33.0	オイルパステル・紙	
8 アンニユイのサイズ	2002年	40.0×29.9	オイルパステル・紙	
9 火星人	2002年	50.2×25.0	オイルパステル・紙	
10 空	2002年	44.1×30.0	オイルパステル・紙	
11 セルフポートレート		37.2×27.8	オイルパステル・紙	個人蔵
12 鳥籠	2002年		オイルパステル・紙	岩橋裕太氏蔵
13 口紅(個人蔵)	2002年		オイルパステル・紙	岩橋裕太氏蔵



作品名	制作年	寸法	素材	備考
14 ペットボトル(大)	2002年	108.5×74.0	ピエゾグラフ + アクリルに 手彩色	
4 『メゾネット』(ギャラリーハウス MAYA)	2006年			
1 メゾネット(バケツ)	2005年	31.2×21.8	オイルパステル・紙	町田充氏蔵
2 メゾネット(オカリナ)	2005年	51.3×34.2	オイルパステル・紙	出口順三氏蔵
3 メゾネット(時計)	2005年	58.4×41.2	オイルパステル・紙	額入り
4 キッチン(冷蔵庫)	2005年	51.3×36.4	オイルパステル・紙	個人蔵
5 メゾネット(ロウソク)	2005年	50.8×41.8	オイルパステル・紙	個人蔵
6 ダイニング(タマゴ)	2005年	51.5×36.6	オイルパステル・紙	
7 メゾネット(コーヒーカップ)	2005年	57.3×38.8	オイルパステル・紙	個人蔵
8 リビング(サボテン)	2005年	51.2×36.4	オイルパステル・紙	個人蔵
9 メゾネット(靴)	2005年	60.0×39.8	オイルパステル・紙	
10 ドールハウス	2005年	60.2×42.0	オイルパステル・紙	
11 メゾネット(アトリエ)	2005年	59.9×38.1	オイルパステル・紙	
12 リンゴ	2005年	44.2×57.9	オイルパステル・紙	
13 リビング(バラ)	2005年	47.3×36.8	オイルパステル・紙	渡辺充氏蔵
14 リビング(夜)	2005年		オイルパステル・紙	岩橋裕太氏蔵
5 テーマ展・グループ展				
1 ベガサス	1993年	37.9×28.0	シルクスクリーン・紙	個展『バリと能』
2 天使 A	1996年	40.1×32.8	オイルパステル・紙	『天使と妖精たちの クリスマス展』
3 グレン・グールド	2000年		オイルパステル・紙	《レコジャケ /2000》 展(ピンポイントギ ャラリー)、岩橋裕 太氏蔵
4 アダムとイブ	2001年		オイルパステル・紙	《LOVE SCERNES-23 のラブシーン》 (ギャラリーハウス MAYA)、岩橋裕太 氏蔵
5 桜姫(サクラヒメアズマブンショ)	2004年	32.1×24.4	オイルパステル・紙	《陸月恋絵合-むつみ づきこひのえあわせ -歌舞伎の中のさま ざまな愛のかたち-》 (ギャラリーハウス MAYA)、岩橋裕太 氏蔵
6 一房の葡萄(有島武郎)	2004年	37.3×25.9	オイルパステル・紙	《Once upon a time 昔むかし》 (ギャラリーハウス MAYA)、岩橋裕太 氏蔵
7 にんぎょひめ	2005年		オイルパステル・紙	《ピンポイントの小 さなアンデルセン 展》(ピンポイント ギャラリー)、岩橋 裕太氏蔵
8 ジゼル	2005年		オイルパステル・紙	《FEMMES FATALES》 (ギャラリーハウス MAYA)、岩橋裕太 氏蔵
9 マトリョーシカ	2005年	h.16.3×8.0 h.11.2×5.8 h.8.5×4.4 h.6.4×3.4 h.4.2×2.1 (5点1組)	マトリョーシカ・キット(白 木)・アクリル	《こんにちは マト リョーシカ展》(ピ ンポイントギャラリ ー)、岩橋裕太氏蔵
10 ロバと王女	2006年	44.2×36.0	オイルパステル・紙	《EVER AFTER ず っといつまでも…》 (ギャラリーハウス MAYA)、個人蔵
6 シュールの墓場へ				
1 スリッパ(よしもとばなな『ひとかけ』表紙)	2006年	53.0×45.5	アクリル・キャンバス	

作品名	制作年	寸法	素材	備考
2 ロングドレス	2007年	60.6×50.0	アクリル・キャンバス	
3 裸	2007年	63.0×45.8	アクリル・キャンバス	
4 セーター	2007年	52.9×45.5	アクリル・キャンバス	
5 シャポー	2007年	55.4×38.3	アクリル・キャンバス	
6 舞台衣装	2007年	45.5×38.1	アクリル・キャンバス	
7 コルセット	2007年	45.5×38.1	アクリル・キャンバス	
8 手袋	2007年	45.5×38.2	アクリル・キャンバス	
9 ブラ	2007年	45.5×38.1	アクリル・キャンバス	
10 盛装	2007年	60.5×50.0	アクリル・キャンバス	
11 和装	2007年	60.5×50.0	アクリル・キャンバス	
12 シュールの墓場	2007年	130.0×97.0×3 (3点1組)	アクリル・キャンバス	

## 資料出品編

作品名	制作年	備考
<LP>		
原マスミ「イナジネーション通信」		
原マスミ「夢の4倍」		
原マスミ「夜の幸」		
<CD>		
CUOTATIONS「musicfrom col city」	1966年	VIVID SOUND
CUOTATIONS「宝島」	1998年	META COMPANY
上野洋子ほか「ナーサリー・チャイムス」	1997年	ポリスター
SANO CHIEKO 「Deep Sweet Blue」	2003年	ART UNION
内田 KEN 太郎「ラフレシア」	2002年	ガーデンレーベル
内田 KEN 太郎「ラフレシア」グッズ(2種)	2002年	ガーデンレーベル
小川和隆「時の天使」		
小川和隆「ギターは素敵2 アスランの子守唄」		
<CD-ROM >		
サンサーンス「動物の謝肉祭」		
<画集・絵本・単行本・雑誌>		
原マスミ「トロイの月」	1990年	角川書店(2冊出品)
原マスミ「ふたコマ絵本」	1994年	白泉社
絵:原マスミ+文:筒井頼子・「ぶるるんるんるん」	2000年	童心社(2冊出品)
原マスミ「すごく短い絵本」	1996年頃	トムズ・ボックス(2冊出品)
吉本ばなな「哀しい予感」	1988年	角川書店
吉本ばなな「バイナツプリン」	1989年	角川書店
吉本ばなな「N・P」	1990年	角川書店
吉本ばなな「マリカの永い夜」	1994年	幻冬社
吉本ばなな「夢について」	1994年	幻冬社
吉本ばなな「SLY」	1996年	幻冬社
吉本ばなな「不倫と南米」	2000年	幻冬社
吉本ばなな「疵」	2002年	幻冬社
よしもとばなな「バナタイム」	2002年	マガジンハウス
よしもとばなな「ムーンライト・シャドウ」	2003年	朝日出版社
よしもとばなな「ひとかげ」	2006年	幻冬社

作品名

制作年

備考

よしもとばなな「チエちゃん和我」	2007年	ロッキング・オン
土屋恵一郎「ダンスの誘惑」	1992年	青土社
ジュディス・スペンサー「ジェニーのなかの400人」	1993年	早川書房
フロータ・R・シュライバー「失われた私-多重人格シビルの記 録」	1994年	早川文庫
大平健「診療室にきた赤ずきん」	2004年	新潮文庫
バーバラ・キングソルヴァー「野菜畑のインディアン」	1994年	早川書房
バーバラ・キングソルヴァー「天国の豚(上)」	1994年	早川書房
バーバラ・キングソルヴァー「天国の豚(下)」	1994年	早川書房
ル・クレジオ「パワナ-くじらの失樂園」	1995年	集英社
高山なおみ「諸国空想料理店-Kuu Kuuのごちそう」	1995年	筑摩書房
サミュエル・R・ディレイニー「アインシュタイン交点」	1996年	ハヤカワ文庫
スザンナ・タマーロ「魔法の輪」	1997年	あすなろ書房
矢川澄子「父の娘」たち-森茉莉とアナイス・ニン」	1997年	新潮社
ポール・ギャリコ「雪のひとひら」	1997年	新潮文庫
菊地哲郎「イギリス・嫌らしくも羨ましい国」	2001年	講談社
椎名誠「飛ぶ男、囃む女」	2001年	新潮社
たかのでるこ「お先、真っ白」	2003年	扶桑社
麻耶雄嵩「神様ゲーム」	2005年	講談社
マツザキヨシユキ「バスに乗ったら遠回り」	2005年	ミッドナイトプレス
雑誌「MOE」(「謎」掲載)	1996年6月号	白泉社

<能公演ポスター・チラシ>

橋の会公演ポスター「江口」	1991年
橋の会公演チラシ「井筒」	1991年
橋の会公演チラシ「自然居士」	1992年
橋の会公演チラシ「大原御幸」	1992年
橋の会公演チラシ「定家」	1992年
橋の会公演チラシ「葵上」	1993年
橋の会公演チラシ「野宮」	1993年
橋の会公演チラシ「隅田川」	2003年

<ボトル>

ワインボトル(ラベル画)	「原マスミ教室コンサート」記念(2006年9月23日)
日本酒瓶(ラベル画)「かじつ」(富久長)	

# 線の迷宮〈ラビリス〉Ⅱ — 鉛筆と黒鉛の旋律

会期：2007年7月7日(土)～9月9日(日) 56日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

助成：芸術文化振興基金

担当学芸員：降旗千賀子

2002年に開催した《線の迷宮—細密版画の魅力》展では、エッチングやエンブレイヴィングによる銅版画、木口木版画など、細密な表現で独自の世界を追求する10名の作家を紹介した。本展はそれに続く第二弾として、鉛筆、黒鉛などによるモノトーンの絵画表現を追求する9名の作家の作品を紹介した。鉛筆は、人間が描く行為のなかで、基本的な材料として用いられてきた比較的新しい描画材で、黒鉛というミクロの粒子を固めて棒状の形をつくり焼くことにより強度と弾力が得られるところが特徴である。いまやコンピューターなどの普及によって、鉛筆を日常的に使うことは以前に比べると少なくなっているが、本展では、あらためてこの描画材に、無限の広がりがあることを再確認することができた。鉛筆という素朴な画材により展開された、9名それぞれの幅広い表現は、多くの人々に、鉛筆と言う画材の固定観念を越える新鮮なメッセージを投げかけることができた。同時に開催されたアーティストトーク、セミナー、ワークショップも盛況で、より深い創作や表現への出会いを参加者は楽しんでいた。

## ●カタログ

寸法：27.7×21.0cm

ページ数：112ページ

デザイン：大森裕二

内容：ごあいさつ／図版・01佐伯洋江、02関根直子、03妻木良三、04磯邊一郎、05小川信治、06小川百合（寺崎百合子）、07篠田教夫、08木下晋、09齋賀逸郎／降旗千賀子「鉛筆と黒鉛がかなでるもの」／作品リスト／作家略歴・参考文献／催し物・ワークショップ／会場写真

## ●ポスター

サイズ：B2

デザイン：大森裕二

## ●チラシ

サイズ：A4

デザイン：大森裕二

## ●関連催事

- 1 アーティストトーク 木下晋 7月29日(日) 2:00～3:00
- 2 アーティストトーク 小川信治 8月3日(金) 2:00～3:00
- 3 アーティストトーク 篠田教夫 8月11日(土) 2:00～3:00
- 4 アーティストトーク 磯邊一郎 8月11日(土) 3:00～4:00
- 5 アーティストトーク 小川百合 X 渡部葉子 8月19日(日) 2:00～4:00
- 6 アーティストトーク 関根直子 8月26日(日) 2:00～3:00
- 7 セミナー「鉛筆と画材についてのお話」講師：植本誠一郎（絵画組成研究家、元ホルベイン工業株式会社研究室長）8月12日(日) 2:00～4:00

\* 関連ワークショップ9コースは、P.112ページ

## 主要関連記事

- 1 田中三蔵／「線の迷宮Ⅱ」展／美術／朝日新聞／2007.7.25（夕刊）
- 2 降旗千賀子／《ウエストミンスターブリッジ》（小川信治）／美術館博物館情報／読売新聞／2007.7.31（夕刊）
- 3 倉友俊介／恐るべし「9人9色」鉛筆画／アーツ／『週刊新潮』／新潮社／2007.8.2号／no.29

- 4 内田真由美／「素朴な画材の深遠な表現」／美術／東京新聞／2007.8.11
- 5 島敦彦／「手技が生む闇の魅力」／審美のアンゲル・アート／産経新聞／2007.8.14（関西版）
- 6 高野清見／「線の迷宮Ⅱ」展 黒と白の静謐／美術／読売新聞／2007.8.16
- 7 宝玉正彦／「鉛筆が織りなす黒の世界「線の迷宮Ⅱ」展」／文化／日本経済新聞／2007.8.22（夕刊）
- 8 「鉛筆で描くラビリンス」／朝日新聞／2007.8.23（都内版）
- 9 鈴木勝雄／「無限の襞に迷い込む」／『美術手帳』／美術出版社／2007.10.月号 vol.59 no.10
- 10 布施英利「線の迷宮(ラビリンス)Ⅱ-鉛筆と黒鉛の旋律」／Create Watch Art／『ブレーン』／宣伝会議／2007.11月号 vol.47 no.11
- 11 編集部／「たかが鉛筆というなかれ」／『アート・トップ』／芸術新潮社／2007.9月号 no.217
- 12 保坂健二郎／「明るい闇、純白の闇 小川百合と齋鹿逸郎のドローイング」／すばる文学カフェ 美術／『すばる』／集英社／2007.10月号



会場風景



齋鹿逸郎作品展示風景



B 2 ポスター

## 出品リスト

作家は生年順に配しデータは、出品番号、タイトル（欧文表記も。原題が欧文表記の作品には、訳を付した。<>は、作品の整理番号）、制作年、寸法（縦×横 cm）、材料・道具・支持体（わかるものについては紙の種類を記した。鉛筆と表記のあるものは黒鉛の芯を示す）、所蔵の順（何も記していないものは作家蔵）とした。図版掲載のない作品には\*星印を付した。

No.	タイトル	制作年	寸法 (cm)	材料・道具・支持体	所蔵	備考
<b>01 佐伯洋江 SAEKI Hiroe</b>						
1-1	Untitled <no.64>	2005年	79.0×111.0	シャープペンシル、色鉛筆、擦筆/ケント紙	斎藤修氏蔵	
1-2	Untitled <no.48>	2004年	79.0×111.0	シャープペンシル、色鉛筆、擦筆/ケント紙	個人蔵	
1-3	Untitled <no.67>	2005年	79.0 × 111.0	シャープペンシル、色鉛筆、擦筆/ケント紙	高橋コレクション	
1-4	Untitled <no.69>	2005年	82.0×179.0	シャープペンシル、鉛筆、色鉛筆、擦筆/ケント紙	斎藤修氏蔵	
1-5,1-6	Untitled 左 <no.98>、右 <no.97>	2005年	各82.0×179.0	シャープペンシル、アクリル、擦筆/ケント紙	第一生命保険相互会社	
1-7	Untitled <no.108>	2006年	各111.0×79.0 (2点組)	シャープペンシル、アクリル、擦筆/ケント紙	有沢敬太氏蔵	
1-8	Untitled <no.102>	2006年	90.0×90.0	シャープペンシル、色鉛筆、アクリル、擦筆/ケント紙		
1-9	Untitled <no.133>	2007年	79.0×111.0	シャープペンシル、色鉛筆、擦筆/ケント紙	個人蔵	
1-10	Untitled <no.136>	2007年	82.0×179.0	シャープペンシル、色鉛筆、アクリル、擦筆/ケント紙		
<b>02 関根直子 SEKINE Naoko</b>						
2-1	線と空間と壁とその四角 Line, Space, Wall and Square	2001年	130.0×109.5	シャープペンシル/水彩紙		
2-2	一つのこと One Thing	2001年	109.0×130.0	鉛筆、練り消しゴム/水彩紙		
2-3	道のかたち The Form of a Road	2001年	110.0×180.0	鉛筆、練り消しゴム/水彩紙		
2-4	見ること、話すこと To See, To Speak	2003年	182.0×149.0	鉛筆、練り消しゴム/水彩紙	YUME ART	
2-5	背景の要素 Background Element	2004年	115.0×150.0	鉛筆、練り消しゴム/水彩紙	YUME ART	
2-6	空の位置 Position of Sky	2004年	135.0×93.0	鉛筆、練り消しゴム/水彩紙	YUME ART	
2-7	夜のイメージ Image of Night	2007年	137.0×92.5	鉛筆/水彩紙		
2-8	点の配置 Arranged Point	2007年	92.0×68.5	鉛筆、練り消しゴム/水彩紙		
<b>03 妻木良三 TSUMAKI Ryozo</b>						
3-1	Untitled	1998年	36.5×51.5	鉛筆/ケント紙		
3-2	Untitled	2004年	65.0×85.0	鉛筆、黒鉛、アクリル/ケント紙	児嶋画廊	
3-3	Untitled	2005年	30.0×50.0	鉛筆、黒鉛、墨/ケント紙	個人蔵	
3-4	境現の襞Ⅲ Undulation on the Border between Two Worlds Ⅲ	2006年	72.7×91.0	鉛筆、黒鉛、アクリル/ケント紙		
3-5	Zone no.1	2005年	9.0×14.5	鉛筆、インク/ケント紙		
3-6	Zone no.2	2005年	11.2×16.5	鉛筆、インク/ケント紙		
3-7	Zone no.3	2005年	14.3×16.0	鉛筆、インク/ケント紙		
3-8	Zone no.4	2006年	18.0×26.4	鉛筆、インク/ケント紙		
3-9	Zone no.5	2007年	13.2×19.0	鉛筆、インク/ケント紙		
3-10	境現の襞 V Undulation on the Border between Two Worlds V	2007年	38.5×60.0	鉛筆、アクリル/ケント紙		

No.	タイトル	制作年	寸法 (cm)	材料・道具・支持体	所蔵	備考
<b>04</b>	<b>磯邊一郎 ISOBE Ichiro</b>					
4-1	Untitled	2006年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙	山本現代	
4-2	Untitled	2006年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-3	リトビネンコ Litvinenko	2006年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-4	Untitled	2006年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-5	Untitled	2006年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-6	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-7	アンナ・ポリトコフスカヤ Anna Politkovskaya	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-8	4 four	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-9	的 Target	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-10	ケッペルの法則 1 Law of Keppel 1	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-11	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-12*	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-13*	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-14*	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-15*	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-16*	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-17*	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-18*	Untitled	2007年	54.5×42.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-19*	ケッペルの法則 2 Law of Keppel 2	2007年	53.5×72.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-20*	ケッペルの法則 3 Law of Keppel 3	2007年	53.5×72.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
4-21*	ケッペルの法則 4 Law of Keppel 4	2007年	53.5×72.0	鉛筆、シャープペンシル /ケント紙		
<b>05</b>	<b>小川信治 OGAWA Shinji</b>					・表記のサイズはシートサイズ、最後にシリーズ名を付した。
5-1	プラハ Praha	1998年	46.0×61.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	豊田市美術館	* perfect world シリーズ
5-2	凱旋門 the Arc de Triomphe	1998年	61.0×46.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	豊田市美術館	* without you シリーズ
5-3	ウエストミンスター・ブリッジ Westminster Bridge	2001年	56.0×76.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	豊田市美術館	* perfect world シリーズ
5-4	パリの恋人 Funny Face	1999年	61.0×46.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	小川瑞穂氏蔵	* perfect world シリーズ
5-5	アジェ・プロジェクト1 Atget Project-1	2004年	76.0×56.0	鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ極細)	国立国際美術館	* perfect world シリーズ
5-6	アジェ・プロジェクト2 Atget Project-2	2004年	56.0×76.0	鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ極細)	国立国際美術館	* perfect world シリーズ
5-7	最後の晩餐 - イエス - The Last Supper -Jesus-	2001年	56.0×76.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	高橋コレクション	* without you シリーズ
5-8	最後の晩餐 - 弟子たち - The Last Supper -Followers-	2001年	56.0×76.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	高橋コレクション	* without you シリーズ

No.	タイトル	制作年	寸法 (cm)	材料・道具・支持体	所蔵	備考
5-9	最後の晩餐-ユダヤ The Last Supper -Judas-	2001年	56.0×76.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	高橋コレクション	* without you シリーズ
5-10	ひわの聖母 Madonne of the Linnet	1999年	75.6×57.3	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	個人蔵 協力:コウイチ・ファインアーツ	* without you シリーズ
5-11	美しき女庭師 La Belle Jardiniere	2006年	76.0×56.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	個人蔵 協力:コウイチ・ファインアーツ	* without you シリーズ
5-12	ピサ 1 Pisa-1	1998年	61.0×46.0	鉛筆、乾性油 / 水彩紙 (アルシュ極細)	個人蔵	* without you シリーズ
5-13	ピサ 2 Pisa-2	2002年	56.0×76.0	鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ極細)	豊田市美術館	* perfect world シリーズ
5-14	ピサ 4 Pisa-4	2006年	76.0×56.0	鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ極細)	個人蔵	* perfect world シリーズ
06	小川百合 (寺崎百合子) OGAWA Yuri (TERASAKI Yuriko)					
6-1	Borghese Garden ボルゲーゼ公園	1992年	54.5×79.0	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	ギャラリー小柳	
6-2	L'Opéra オペラ座	1992年	57.0×76.6	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	ギャラリー小柳	
6-3	③ユリ-3 Musée des Arts Décoratifs 装飾美術館	1993年	76.0×57.0	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	個人蔵	
6-4	Radcliffe Camera, Oxford ラドクリフ・カメラ	1996年	57.0×76.0	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	個人蔵	
6-5	Corpus Christi, Oxford コーパス クリスティ図書館	2001年	38.5×28.5	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	個人蔵	
6-6	Mansfield College, Oxford マンسفールド カレッジ図書館	2003年	29.0×38.5	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	個人蔵	
6-7	Rhodes House Library, Oxford ローズハウス図書館	2002年	58.0×38.0	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	個人蔵	
6-8	Merton College, Oxford マートンカレッジ図書館	2001年	58.0×38.0	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	鈴木浩之氏蔵	
6-9	Taylor Institution Library, Oxford テイラー インスティテューション図書館	2003年	57.0×45.0	黒色鉛筆 / 水彩紙 (アルシュ)	三産堂	
07	篠田教夫 SHINODA Norio					
7-1	杳かな日 II Time Past II	1995年	16.0 x 31.8	鉛筆、消しゴム、水彩 / ケント紙	個人蔵	
7-2	崖 Cliff	1998年	22.0 X 13.0	鉛筆、消しゴム、水彩 / ケント紙 (ストラスマオブリストル)	個人蔵	
7-3	擬態 (C) Mimesis (C)	1999年	26.0×41.0	鉛筆、消しゴム、水彩 / ケント紙 (ドロインクブリストル)	井上画廊	
7-4	秋暈 Autumnal Halo	2003年	26.0×20.0	鉛筆、消しゴム、水彩 / ケント紙	個人蔵	
7-5	夢のなきがら Remains of a Dream	2005年	19.0×34.0	鉛筆、消しゴム、水彩 / ケント紙 (ドロインクブリストル)	宮内正幸氏蔵	
7-6	海辺の断崖 Sea Cliff	2000-2年	40.0×68.0	鉛筆、消しゴム、水彩 / ケント紙 (ストラスマオブリストル)	個人蔵	
7-7	海辺の断崖 II Sea Cliff II	2003-7年	65.0×48.0	鉛筆、消しゴム、水彩 / ケント紙 (ストラスマオブリストル)		
08	木下 晋 KINOSHITA Susumu					
8-1	無 - III Mu- III	1992年	165.0×99.5	鉛筆 / 紙	目黒区美術館	
8-2	旅たち Death Voyage	1992年	190.0×100.0	鉛筆 / 紙	目黒区美術館	
8-3	102年の闘争 102 Years of Struggle	2002年	100.0×190.0	鉛筆 / ケント紙		



No.	タイトル	制作年	寸法 (cm)	材料・道具・支持体	所蔵	備考
8-4	105年の孤独 105 Years of Solitude	2005年	210.0×110.0	鉛筆 / 紙	個人蔵	
8-5	憧憬 Longing	2005年	190.0×100.0	鉛筆 / 紙	個人蔵	
8-6	在りし日の想い Remembrance of Haru	2006年	78.8×113.0	鉛筆 / 紙	個人蔵	
8-7	祈りの灯 Lamentation	2007年	101.0×66.0	鉛筆 / ケント紙	個人蔵	

09 齋鹿逸郎 SAIKA Itsuro \*展示は空間にあわせたインスタレーション。Untitled Continuous File (180.0×180.0)の作品を24点で構成する。  
下記リストは出品作の一部 <> 内は、米子市美術館個展カタログ(1995年)による。

9-1	Untitled Continuous File <42>	1976 ~ 80年	180.0×180.0	鉛筆、黒鉛、膠、胡粉、 白亜粉 / 鳥の子紙		
9-2	Untitled Continuous File <51>	1983 ~ 85年	180.0×180.0	鉛筆、黒鉛、膠、胡粉、 白亜粉 / 鳥の子紙		
9-3	Untitled Continuous File <54>	1983 ~ 85年	180.0×180.0	鉛筆、黒鉛、膠、胡粉、 白亜粉 / 鳥の子紙		
9-4	Untitled Continuous File <55>	1986 ~ 89年	180.0×180.0	鉛筆、黒鉛、膠、胡粉、 白亜粉 / 鳥の子紙		
9-5	Untitled Continuous File <57>	1986 ~ 89年	180.0×180.0	鉛筆、黒鉛、膠、胡粉、 白亜粉 / 鳥の子紙		
9-6	Untitled Continuous File <69>	1990 ~ 92年	180.0×180.0	鉛筆、黒鉛、膠、胡粉、 白亜粉 / 鳥の子紙		
9-7	Untitled Continuous File <70>	1990 ~ 92年	180.0×180.0	鉛筆、黒鉛、膠、胡粉、 白亜粉 / 鳥の子紙		
9-8	Untitled Continuous File <73>	1990 ~ 92年	180.0×180.0	鉛筆、黒鉛、膠、胡粉、 白亜粉 / 鳥の子紙		

# 「馬と近代美術」展

会期：2007年10月11日(木)～11月25日(日) 40日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館、スポーツニッポン新聞社

協力：財団法人馬事文化財団 馬の博物館、松岡美術館、目黒区郷土資料室

担当学芸員：山田敦雄

明治期から昭和初頭まで存在し、記念すべき第一回の東京優駿競争（日本ダービー）の舞台ともなった目黒競馬場の創立100周年を機に、洋画・日本画をはじめ、さまざまな近代美術の中で取り上げられてきた「馬」の姿、それらの「馬」に人々が見いだした「美」をテーマに展覧会を開催した。また、今では忘れ去られようとしている目黒競馬場関連の資料を展示して、我が国における馬匹改良の歴史における目黒競馬場の果たした役割について回顧した。会期半ばで会場を変更し、時代背景を示す館所蔵の『東京パック』原画の展示を付け加えた。

## ●ポスター

サイズ：B2

## ●チラシ

サイズ：A4

## ●関連催事

### 1 11/1

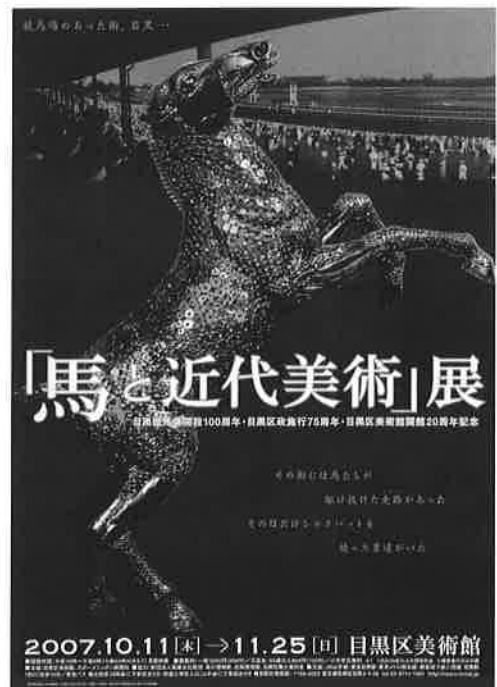
馬と近代美術展開催記念

武豊騎手トークショー＜忘れられない名馬たち＞

### 2 出品作家による講演会「11/3・平山隆也（彫刻家）、11/10西村修一（彫刻家）」



会場風景



B2 ポスター

## 出品リスト

No.	作家名	素材・技法	所蔵先
1	伊藤國男	ブロンズ像	馬の博物館
2	池田勇八	ブロンズ像	馬の博物館
3	作者不詳	錦絵	馬の博物館
4	—	写真アルバム	馬の博物館
5	—	(実物資料)	馬の博物館
6	—	写真	馬の博物館
7	—	写真	馬の博物館
8	—	(実物資料)	馬の博物館
9	—	(実物資料)	馬の博物館
10	—	(実物資料)	馬の博物館
11	—	(実物資料)	馬の博物館
12	—	印刷物・手彩色	馬の博物館
13	—	(実物資料)	馬の博物館
14	—	(実物資料)	目黒区郷土資料室
15	—	写真	目黒区郷土資料室
16	—	写真	目黒区郷土資料室
17	—	写真	目黒区郷土資料室
18	三井高義	ブロンズ像	馬の博物館(JRA 六本木)
19	田畑 功	ブロンズ像	特別区競馬組合
20	佐野守英	ブロンズレリーフ	特別区競馬組合
21	佐野守英	ブロンズレリーフ	特別区競馬組合
22	佐野守英	ブロンズレリーフ	特別区競馬組合
23	—	写真	スポーツニッポン新聞社
24	—	写真	スポーツニッポン新聞社
25	—	写真	スポーツニッポン新聞社
26	—	写真	スポーツニッポン新聞社
27	板谷慶舟	紙本着彩	馬の博物館
28	歌川広重(三代)	錦絵	馬の博物館
29	探景	錦絵	馬の博物館
30	後藤貞行	着彩・木	馬の博物館
31	楊州周延	錦絵	馬の博物館
32	小林幾英	錦絵	馬の博物館
33	—	錦絵	馬の博物館
34	榎樹邦年	錦絵	馬の博物館
35	揚斎延一	錦絵	馬の博物館
36	英 一蝶	絹本着彩	松岡美術館
37	福田福太郎	石版・紙	競馬博物館
38	根上富治	錦絵	明治神宮宝物殿
39	楊州周延	錦絵	競馬博物館
40	溪斎英泉	錦絵	目黒区郷土資料室
41	小林幾英	錦絵	目黒区郷土資料室
42	魚屋北溪	錦絵	目黒区郷土資料室
43	前北斎為一	錦絵	目黒区郷土資料室
44	歌川広重	錦絵	目黒区郷土資料室
45	歌川広重	錦絵	目黒区郷土資料室
46	溪斎英泉	錦絵	目黒区郷土資料室
47	歌川広重	錦絵	平木浮世絵財団
48	歌川広重	錦絵	平木浮世絵財団
49	歌川広重	錦絵	平木浮世絵財団
50	長谷川雪旦	錦絵	平木浮世絵財団
51	川村清雄	油彩・板	目黒区美術館
52	坂本繁次郎	木版・紙	馬の博物館
53	坂本繁次郎	木版・紙	馬の博物館
54	坂本繁次郎	木版・紙	馬の博物館
55	富取風堂	紙本着彩	馬の博物館

No.	作家名	素材・技法	所蔵先
56	海老原喜之助	油彩・キャンバス	目黒区美術館
57	荻須高德	油彩・キャンバス	目黒区美術館
58	藤田嗣治	油彩・キャンバス	松岡美術館
59	鳥海青児	油彩・キャンバス	平塚市美術館
60	鳥海青児	パステル・紙	平塚市美術館
61	井上三綱	油彩・キャンバス	平塚市美術館
62	常盤大空	絹本着彩	平塚市美術館
63	山口 薫	油彩・キャンバス	群馬県立近代美術館
64	山口 薫	油彩・キャンバス	群馬県立近代美術館
65	西村修一	グラスファイバー(原型)	西村修一蔵(馬事公苑)
66	西村修一	石膏	西村修一蔵(馬事公苑)
67	西村修一	グラスファイバー(原型)	西村修一蔵(馬事公苑)
68	高濱英俊	御影石	高濱英俊蔵
69	平山隆也	鉄・ステンレス他	平山隆也蔵
70	パブロ・ピカソ	石版・紙	馬の博物館
71	テオドール・ジェリコー	石版・紙	馬の博物館
72	トウルーズ・ロートレック	石版・紙	馬の博物館
73	エドゥアール・マネ	石版・紙	馬の博物館
74	パブロ・ピカソ	石版・紙	馬の博物館
75	ジョージ・スタップス	石版・紙	馬の博物館
76	著者・クレール・ゴル/挿画:マルク・シャガール	オリジナル版画による挿画本	目黒区美術館
77	マルク・シャガール	石版・紙	松岡美術館
78	キース・ヴァン・ドンゲン	油彩・キャンバス	松岡美術館
79	ジョルジオ・デ・キリコ	油彩・キャンバス	松岡美術館
80	ワシリー・カンディンスキー	木版・紙	富山県立近代美術館
81	ワシリー・カンディンスキー	木版・紙	富山県立近代美術館
82	ワシリー・カンディンスキー	木版・紙	富山県立近代美術館
83	ジョルジュ・ルオー	石版・紙	富山県立近代美術館
84	ジョルジュ・ルオー	石版・紙	富山県立近代美術館
85	アンリ・マティス	ステンシル・紙	富山県立近代美術館
86	アンリ・マティス	ステンシル・紙	富山県立近代美術館

# 目黒の新進作家 — 七人の作家、7つの表現

会期：2007年12月4日(火)～2008年1月13日(日) 29日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：目黒区美術館

協力：エプソン販売株式会社、株式会社東芝、株式会社堀内カラー、ツァイト・フォト・サロン

担当学芸員：佐川夕子

当館はこれまでに、地域の美術館として目黒区にゆかりのある美術や作家を紹介する展覧会を数多く開催してきたが、本展では、今までに地域の作家として当館では取り上げていない若い世代の作家たちを紹介した。

出品作家は、絵画・立体・写真・映像など現代美術の領域で活躍する、20代後半から30代後半（1970年代生まれ）の七人の作家—東亭 順（絵画）、石川直樹（写真）、源生ハルコ（絵画）、鈴木康広（立体）、瀧 健太郎（映像）、野村恵子（写真）、屋代敏博（写真）。作家選出にあたっては、作品やモチーフに対して「テーマ」は特に設けず、目黒区と何らかの関係がある作家であること、そして、各分野で美術家として真摯に制作活動に取り組み、ここ近年に自分の表現を見出してきた作家であること、または、当館の収蔵作品の収集方針のひとつでもある“海外（欧米）とのかかわりの中で独自の展開を成してきた”作家であること、という着眼点を設けた。

本展では、それぞれの制作活動と個々の表現とじっくり向き合えるよう、当館の展示室空間を活かしつつ7つにスペースを区切り、個展形式で展覧した。また、会期中に、出品作家によるアーティスト・トークやパフォーマンスを展示室内等で開催した。

## ●カタログ

寸法：21.5×15.5cm

ページ数：9冊子組（総128ページ）・箱入り

デザイン：合田祥之

内容：概要編1冊 [内容＝謝辞／ごあいさつ（主催者）／本展について・七人の作家たち（佐川夕子）／本展カタログの構成について]  
図版編7冊 [東亭順／石川直樹／源生ハルコ／鈴木康広／瀧健太郎／野村恵子／屋代敏博（各作家ごとに略歴）]  
会場記録編1冊 [Installation View／出品作品リスト]

## ●ポスター

サイズ：B2

デザイン：合田祥之

## ●チラシ

サイズ：A4

デザイン：合田祥之

## ●関連催事

- 1 アーティストトーク（12月8日：屋代敏博／石川直樹、12月9日野村恵子／瀧 健太郎、12月15日：東亭 順／鈴木康広、12月16日：源生ハルコ）
- 2 ライヴ・パフォーマンス（2008年1月13日 午後2時から4時）  
健太郎作品“Living in the Box”の共同制作者二人と瀧による、館内を縦横無尽に利用しての身体表現と映像のコラボレーション。  
1回約20分のパフォーマンスを数回実施。

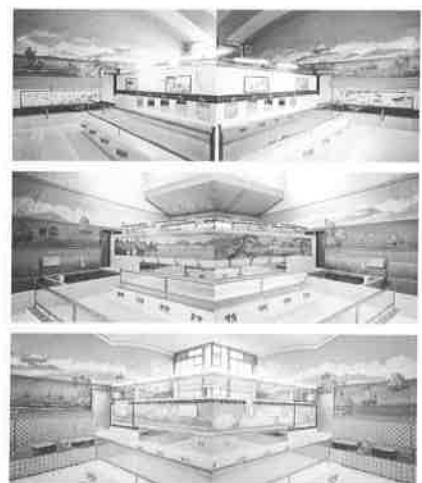
## ●主要関連記事

- 1 （清）「湯けむりの先 別空間が同居」[ウィークエンド文化]  
『読売新聞』2007年12月8日（夕刊）13面
- 2 「7人の若い個性がアート競う」[culture & entertainment]  
『朝日新聞』2007年12月19日（夕刊）9面

- 3 木村友香「懐かしさ感じる銭湯の温もり」〔現代アートクルーズ〕  
『サンケイエクスプレス』2007年12月18日 12面
- 4 上野修「『目黒の新進作家一七人の作家、7つの表現』展」〔写真展プレビュー〕  
『日本カメラ』804号 2008年1月号



会場風景



目黒の新進作家一七人の作家、7つの表現

EMERGING ARTISTS IN MIDJAZZ - SEVEN ARTISTS SEVEN ASPECTS

目黒区美術館 目黒区美術館 目黒区美術館

2007年12月4日[火] - 2008年1月13日[日] 目黒区美術館

B 2 ポスター

# 出品リスト

No.	制作者・作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
<b>東亭 順 AZUMATEI, Jun</b>				
A-1	concorde	2007年	アクリル、ラッカー、ニス／パネル	180.0×180.0
A-2	RAVE	2007年	アクリル、ラッカー、ニス／パネル	150.0×240.0
A-3	window_gray	2007年	アクリル、ニス、ラムダ・プリント／パネル	40.0×150.0
A-4	window_peach	2007年	アクリル、ニス、ラムダ・プリント／パネル	40.0×150.0
A-5	Float_circle [5点]	2007年	アクリル、ニス、インクジェット・プリント／アクリル板	各Φ18.0×18.0
A-6	Float_b4 [2点]	2007年	アクリル、ニス、インクジェット・プリント／パネル	各25.7×36.4
A-7	Float [3点]	2007年	アクリル、ニス、インクジェット・プリント／パネル	各18.2×25.7
A-8	under world	2007年	インスタレーション：布、インクジェット・プリント、ビーズ、色鉛筆、糸	
<b>石川直樹 ISHIKAWA, Naoki</b>				
I-1	ALTERED SPACE [29点]	2007年	タイプCプリント	各61.0×50.8/28点 90.0×112.0/1点
<b>源生ハルコ GENSHO, Haruko</b>				
G-1	Ray	2007年	油彩、アクリル／キャンバス	145.5×145.5
G-2	心事	2007年	アクリル／キャンバス	145.5×112.0
G-3	Memory	2007年	鉛筆、色鉛筆、パステル／パネル	60.0×315.0
G-4	Green drink	2007年	鉛筆、色鉛筆、パステル、アクリル／パネル	90.0×90.0
G-5	羽楽離-バラリー-	2007年	アクリル／キャンバス	130.3×162.0
G-6	矩楽離-クラリー-	2007年	アクリル／キャンバス	91.0×116.7
G-7	促選緑-ソクセンリョク-	2006年	鉛筆、色鉛筆、パステル／パネル	90.0×90.0
<b>鈴木康広 SUZUKI, Yasuhiro</b>				
S-1	まばたきの葉	2003年	紙にプリント、エンボス加工／FRP、シロッコファン	Φ80.0×高600.0
<b>瀧 健太郎 TAKI, Kentaro</b>				
T-1	Living in the Box	2007年	ビデオ・インスタレーション／オペレーション：大江直哉、パフォーマンス：伊達麻衣子	
T-2	Bild : Müll #3	2007年	ビデオ・インスタレーション	
<b>野村恵子 NOMURA, Keiko</b>				
N-1	Water from The Red Sky 2007		インクジェット・プリント	
	-(1) 紅い水(沖縄)	2007年		77.0×120.0
	-(2) 紅い水(東京)	2007年		77.0×120.0
	-(3) 紅い水(東京)	2007年		77.0×120.0
	-(4) 紅い水(沖縄)	2007年		100.0×64.0
	-(5) 紅い水(東京)	2007年		45.0×70.0
	-(6) 紅い水(東京)	2007年		43.5×70.0
	-(7) Bloody Moon より(ハワイ島)	2006年		65.0×100.0
	-(8) Bloody Moon より(沖縄・宮古島)	2006年		65.0×100.0
	-(9) Bloody Moon より(沖縄・宮古島)	2006年		65.0×100.0
	-(10) Bloody Moon より(沖縄・宮古島)	2006年		65.0×100.0
	-(11) Bloody Moon より(奄美・加計呂麻島)	2006年		100.0×64.0
	-(12) Bloody Moon より(東京)	2006年		65.0×100.0
	-(13) Bloody Moon より(東京)	2006年		49.0×70.0
	-(14) Bloody Moon より(東京)	2006年		45.0×70.0
	-(15) Bloody Moon より(南インド)	2006年		45.0×70.0
	-(16) RUSH より(沖縄)	2001年		100.0×67.0
	-(17) DEEP SOUTH より(沖縄)	1999年		100.0×67.0
	-(18) DEEP SOUTH より(沖縄)	1999年		65.0×100.0
<b>屋代敏博 YASHIRO, Toshihiro</b>				
Y-1	〈銭湯〉シリーズ	2007年	インクジェット・プリント	

No.	制作者・作品名	制作年 材質・技法	寸法(cm)
- (1)	TSURUNOYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (2)	MATSUNOYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (3)	DAIKOKIYU TOKYO 2007		100.0×250.0
- (4)	HEIWAYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (5)	OHOKAYAMAYOKUJYO TOKYO 2007		44.0×110.0
- (6)	CHIYONOYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (7)	MIDOYRIYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (8)	ASAHIYU TOKYO 2007		100.0×250.0
- (9)	DAINI-CHIYONOYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (10)	BUNKAYOKUSEN TOKYO 2007		44.0×110.0
- (11)	IZUMIYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (12)	KOUMEISEN TOKYO 2007		44.0×110.0
- (13)	FUKIYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (14)	IRUMAYU TOKYO 200		44.0×110.0
- (15)	GEKKOUSEN TOKYO 2007		44.0×110.0
- (16)	OTSUKAYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (17)	MITAYOKUJYO TOKYO 2007		100.0×250.0
- (18)	FUDOYOKUJYO TOKYO 2007		44.0×110.0
- (19)	KOUMEISEN TOKYO 2007		44.0×110.0
- (20)	KAMENOYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (21)	HORAISEN TOKYO 2007		44.0×110.0
- (22)	FUJINOYU TOKYO 2007		44.0×110.0
- (23)	KOTOBUKIYU TOKYO 2007		100.0×250.0



# めぐろの子どもたち展

平成19年度目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会

会期：2008年1月19日(土)～2月3日(日) 14日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：家村珠代

同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展

本展は、目黒区立の幼稚園・小学校・中学校（特別支援学級を含む）の幼児・児童・生徒が平成19年度の授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を陶冶することを目的に開催した。

また、同時に区民ギャラリーで、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒絵画展を開催した。

## ●リーフレット

寸法：A 3（六つ折り）

内容：ごあいさつ（主催者）／特別支援学級／幼稚園／小学校・図工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展／展示室案内

## ●ポスター

サイズ：B 3

## ●出品数：3,800点



B 3 ポスター

---

# 「美女の図、美男の図 —藤田嗣治、高野三三男から現代作家まで」展

---

会期：2008年2月9日(土)～4月6日(日) (50日間)

会場：展示室 B

主催：目黒区美術館

担当学芸員：矢内みどり

本展の「美女の図・美男の図」について、作家や見る人にとって「美の局面において、優れて説得力のある精神的かつ肉体的存在としての人間の表現」と考えれば、日本の洋画などにおいて多くの作家がこれをテーマとしてきました。当館所蔵作品の藤田嗣治、高野三三男をはじめとした洋画家たち、写真家・高木由利子などが興味深い作品を残しています。本展は、こうした「美女の図・美男の図」と断定、または推定される作品で構成しました。

●ポスター

サイズ：B 2 (同時開催「山本武夫展」と共通)

●チラシ

サイズ：A 4 (同時開催「山本武夫展」と共通)

●関連催事

\*学芸員によるギャラリートゥアー

3月2日(日) および3月20日(木・祝) 14:00から約1時間

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	素材・技法	制作年	寸法(縦)寸法(横)	署名	裏面書込	備考	
1	横顔の美	藤田嗣治	二人の少女のプロフィール	リトグラフ・紙	1925	20 17.5	「嗣治 Foujita 1925」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
2	横顔の美	藤田嗣治	女性のプロフィール	鉛筆・紙		25 18.5	「嗣治 F」(画面右上)	旧シャーマンコレクション	
3	横顔の美	藤田嗣治	君代のプロフィール	水彩・紙	c. 1938	23 18.5	「嗣治 Foujita」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
4	横顔の美	藤田嗣治	赤毛の女	水彩・紙	1917	26.5 20	「巴里 藤田 T.Foujita 1917」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
5	殉教者	高野三三男	「嘆き」	油彩・キャンバス	1947	90 72.5		裏面書込：シール「所属団体一水会 氏名高野三三男 画題 嘆き The lametation od Christ」	1947 第1回美術団体連合展
6	殉教者	藤田嗣治	殉教者	金箔地 水彩・紙	1934	51 32	「於東京 嗣治 Foujita 1934」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
7	少年	高野三三男	うたたね(ねむる金髪の男の子)	油彩・板	1930/40	50 65	「Miçao Kôno 花押」(画面右下)		
8	少年	藤田嗣治	メキシコの少年	水彩・紙	1933	93.5 61	「嗣治 Foujita mexico 193」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
9	少年	高島達四郎	少年青帽	油彩・キャンバス	1927	116.9 72.9	「Takabatake 1927」(画面左)		
10	少年	里見勝蔵	少年	油彩・キャンバス	c.1920-30	80.6 65.4			
11	女優	高野三三男	「デコちゃん」(高峰秀子)	油彩・キャンバス	1953	145.2 112.1	「Miçao Kôno 花押 MCML III」(画面右下)	裏面書込：シール「1953年 第2回日本国際美術展1 高野三三男 デコちゃん 毎日新聞社」	
12	女優	高野三三男	「京マチ子」	油彩・キャンバス	1956	118 91.6	「Miçao Kôno 花押 MCML I」(画面右下)	裏面書込：ラベル「特陳部 京マチ子」	1956年第12回日展「京マチ子さん」
13	芝居	高野三三男	人形を持ったパリジェンヌ(アルルカンとコロンビース)素描	鉛筆、水彩・紙		63 48	「Miçao Kôno 花押」(画面右下)		
14	芝居	高野三三男	白服のパリジェンヌ	油彩・キャンバス(パネル貼り)	1924/40	65.5 53	「Miçao Kôno 花押 MCML I X」(画面右上)		
15	芝居	高野三三男	「仮装舞踏会ニテ」(アルルカンとピエレット)	油彩・キャンバス	1952	121.2 95.7	「Miçao Kôno 花押 L II」(画面左下)	裏面書込：シール「特陳 仮装舞踏会にて」出品票「アルルカンとピエレット 大田区馬込西一、一六八四 高野三三男」	
16	芝居	矢橋六郎	アルルカン	油彩・キャンバス	1933	92.2 65.5	「R. Yabashi 33」(画面右上)	「アルルカン パリー 矢橋六郎 一九三三」(修復前)	
17	猫と同化した性格	高野三三男	赤と黒のエチュード	油彩・キャンバス	1977	91 65	「Miçao Kôno 花押」(画面右下)	裏面書込：シール「一水会 高野三三男 赤と黒のエチュード」	第39回一水回(1977)

No.	作家名	作品名	素材・技法	制作年	寸法(縦)寸法(横)	署名	裏面書込	備考	
18	猫と同化した性格	今井俊満	黒猫と少女	塗料・紙によるドローイング、コラージュ	1965	65 50	「IMAÏ 俊満 1965 PARIS」(画面右下)(後署名)		
19	猫と同化した性格	中川紀元	女と猫	油彩・キャンバス	1920	143.8 59.2	「一九二〇、巴里、紀元」 「NaKaGaWa」(画面左下)	別称《婦人》	
20	猫と同化した性格	藤田嗣治	猫のいる自画像	ドライポイント・紙	c. 1926	32.5 24.5	「HS/E」(画面左下)、「Foujita」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
21	ミステリアス(誘惑)	田中保	金髪の裸婦	油彩・キャンバス	c. 1920-30	88.5 91.2	「TANAKA」(画面左下)		
22	ミステリアス(誘惑)	藤田嗣治	立っている裸婦	銅版・紙		56 37	「90/100」(画面左下)、「Foujita」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
23	ミステリアス(誘惑)	藤田嗣治	横たわる裸婦	銅版・紙		37 56	「EA.H/J」(画面左下)、「Foujita」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
24	ミステリアス(誘惑)	池田永治	平和の女神も案外殺風景なものだこの獣物をなんと見る	墨・紙	1922	19.8 16	「日本永治画」(画面左下)	東京原画パック22	
25	ミステリアス(誘惑)	高木由利子	イジューと鏡、ポートベロー通り'88	ゼラチン・シルバープリント	1988	43.7 35.3		ed. 1/75	
26	ミステリアス(誘惑)	小野佐世男	やみの女	墨、カラーインク、水彩・紙	1930	29.9 21.5	「SASEO.O」(画面右下)	東京パック原画51	
27	ミステリアス(誘惑)	服部冬樹	オリエンタリズム・1988	ゼラチン・シルバープリント	1988	26 22			
28	ミステリアス(誘惑)	司修	エデンの園に連なる森	油彩・板	1970頃	27.1 21.7			
29	ミステリアス(誘惑)	ルドン、オディロン	彼女は胸からまっ黒な海綿を引っ張り出して、それを口づけで蔽う	リトグラフ・紙	1896	19.3 15.3		《聖アントワーズの誘惑》シリーズ24点のうちⅧ	
30	たくましい体と心	北川民次	女	油彩・パスティクルボード	1935	61.9 45.7	「Tamji Kitagawa (ママ) 1935」(画面右上)	「自宅」、及びスタンプ(99文面不明)	
31	たくましい体と心	里見勝蔵	女	油彩・キャンバス	1930	80.3 116.7	「Satomi」(画面下)		
32	たくましい体と心	藤田嗣治	レスリング	水彩・紙	1927	60 122	「Foujita 1927」(画面右下)	旧シャーマンコレクション	
33	たくましい体と心	藤田嗣治	裸婦	鉛筆・紙	1929	71.5 128.5	「嗣治 Foujita 1929」(画面右下)		
34	知的美人	高野三三男	「緑衣」	油彩・板?	1960	116.8 90.7	「Miçao Kôno 花押」(画面右下)	裏面書込：シール「高野三三男 新緑の伊豆 第5回現代美術展(毎日新聞社)」シール「緑衣」	1960年第22回一水会
35	知的美人	木下孝則	川瀬夫人像	油彩・キャンバス	1938	100.2 80.3	「T.Kinoshita」(画面右下)	木枠に「川瀬夫人像」	
36	知的美人	若山為三	黒い服の婦人	油彩・キャンバス	1922-24	91.1 73		「若山」	
37	知的美人	森田元子	婦人	油彩・キャンバス	1925-27	72.7 60.7			
38	あどけない少女	高野三三男	青リボンの少女	油彩・板		27.3 21			
39	あどけない少女	藤田嗣治	接吻	水彩・紙	1904	15 11.5	「TF」(スタンプ)	旧シャーマンコレクション	

No.	作家名	作品名	素材・技法	制作年	寸法(縦)寸法(横)	署名	裏面書込	備考
40	あどけない少女 藤田嗣治	小鳥と少女	インク・紙		16.5 9.5	「Foujita」(画面左下)		旧シャーマンコレクション
41	あどけない少女 藤田嗣治	少女	鉛筆・紙		42 23	「嗣治 F」(画面左下)		旧シャーマンコレクション
42	あどけない少女 野田英夫	車中の少女	油彩・パー ティクルボ ード	1932	37.4 35.4	「Hideo Noda 32」		
43	あどけない少女 椿貞雄	アンドレ	油彩・紙	1932	19 9	「1, juillet 1932 春」 (画面左上)		
44	都会的な風景の 中で	岡本唐貴 都会	水彩・紙	1930	27.9 21.2			東京バック原 画49 「三浦俊」名 で発表
45	都会的な風景の 中で	高島達四郎 食卓	油彩・キャン パス	1927	80.9 99.8	「1927」(画面左 下)、「Takabataké」 (画面下)		
46	流行の先端に立 つ(ファッション ナブル)	高野三三男 「ぼうしの女(花 飾り)」	油彩・キャン パス	1946	41 31.5	「Miçao Kôno 花押 XLVI」(画面右上)		
47	流行の先端に立 つ(ファッション ナブル)	岡本唐貴 先端にたつ女三 態	水彩・紙	1930	26 19.6			東京バック原 画46
48	流行の先端に立 つ(ファッション ナブル)	下川凹天 銀座はうつる	墨、水彩・ 紙	1929	21.2 19.7	「凹天」(画面左下)		東京バック原 画30
49	流行の先端に立 つ(ファッション ナブル)	安本亮一 アメリカのショ ウ・ウィンドー からぬけて来た 女	墨・紙(貼 込)	1928	20.8 19.7	「亮一」(画面右下)		東京バック原 画23
50	流行の先端に立 つ(ファッション ナブル)	安本亮一 舶来二様相-天 国型と地上型	墨・紙(貼 込)	1928	20.8 19.7	「亮一」(画面右下)		東京バック原 画29
51	流行の先端に立 つ(ファッション ナブル)	今井俊満 ゴーゴーガール	塗料・紙に よるドロー イング、コ ラージュ	1965	65 50	「TOSHIMITSU IMAI PARIS 1965」(画面左下) (後署名)		
52	その他	高野三三男 「人は真実を怖 れる」	油彩・キャン パス	1968	91 65	「Miçao Kôno 花 押」(画面右下)	裏面書込:シー ル「一水会出品」	1968年第30回 一水展出品

# 「山本武夫」展 — 小村雪岱の弟子、美人画と舞台美術

会期：2008年2月9日(土)～4月6日(日) (50日間)

会場：展示室 A、C、展示ロビー、エントランスホール

主催：目黒区美術館

協賛：株式会社 資生堂

担当学芸員：矢内みどり

山本武夫(1910～2003)は、東京美術学校(現東京芸術大学)図案科を卒業した後、小村雪岱に師事して舞台美術を学び、歌舞伎座などの舞台美術を手がけました。また、小村の推薦で資生堂意匠部に入り、グラフィックデザインを担当、そのほか小説などの挿絵の仕事も多く残しています。こうした自他共に認める伝統的な「美人画」の作家の全体像を明らかにしました。

## ●カタログ

寸法：A4

デザイン：山本保夫

## ●ポスター

サイズ：B2

デザイン：山本保夫

## ●チラシ

サイズ：A4

デザイン：山本保夫

## ●関連催事

\*学芸員によるギャラリートーク

3月2日(日) および3月20日(木・祝) 14:00から約1時間

## ●関連記事

「山本武夫 君の名はエリザベス」芸術新潮 2008年4月号 P.229



目黒区美術館開館20周年記念  
山本武夫展  
美人画と舞台美術

目黒区美術館

B2ポスター

## 出品リスト

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
<b>絵画など</b>					
1	湯上がりおせん	1957	27×24.1	絹本、着色	個人蔵
2	女性像(障子)	1972	27.1×24.1	絹本、着色	個人蔵
3	女性像(いちょう)	1975	53×40.8	絹本、着色	個人蔵
4	おせん	1977	27×24.1	絹本、着色	個人蔵
5	女性像(のれん)	1984	27.2×24.2	絹本、着色	個人蔵
6	シダル幻想	1991	24×27	絹本、着色	個人蔵
7	紀州道成寺	1991	27.1×24	絹本、着色	個人蔵
8	鷺草をもつ女	1995	27.1×24.2	絹本、着色	個人蔵
9	おせん夏姿	1995	27.1×24.1	絹本、着色	個人蔵
10	天女	1995	27.2×24.2	絹本、着色	個人蔵
11	女性像(ききょう)		27.1×24.2	絹本、着色	個人蔵
12	女性像(もみじ)		52.8×40.7	絹本、着色	個人蔵
13	女性像(あじさい)		27.1×24.1	絹本、着色	個人蔵
14	花(すすき)	1979	27.2×24.1	絹本、着色	個人蔵
15	花(ききょう)	1984	27.3×24.2	絹本、着色	個人蔵
16	花(ふじ)		27.2×24.2	絹本、着色	個人蔵
17	花(うめ)		27.2×24.2	絹本、着色	個人蔵
18	のれん	1982	50.1×33.2	多色刷木版(大判) 私家版	個人蔵
<b>挿絵等原画</b>					
19	花散りて		26×36.3	水彩、紙	個人蔵
20	合の山		26×36.3	水彩、紙	個人蔵
21	彩情記	1968	33.8×25.5	水彩、紙	個人蔵
22	江戸長恨歌	1969	36.7×26.1	水彩、紙	個人蔵
23	江戸長恨歌		23×16.5	水彩、紙	個人蔵
24	処女爪占師		18.5×23.5	水彩、紙	個人蔵
25	処女爪占師 I		36.7×26.1	水彩、紙	個人蔵
26	処女爪占師 II	1969	36.3×26	水彩、紙	個人蔵
27	きつね雨	1969	36.7×26	水彩、紙	個人蔵
28	さけぶ雷鳥 I		36.7×26	水彩、紙	個人蔵
29	さけぶ雷鳥 II	1969	36.4×26.3	水彩、紙	個人蔵
30	愛獄父母 II	1970	36.8×26.2	水彩、紙	個人蔵
31	闇太郎変化	1970/71	36.5×26	水彩、紙	個人蔵
32	妖棋伝 I	1971	36.8×26.2	水彩、紙	個人蔵
33	妖棋伝 II	1971	36.2×26	水彩、紙	個人蔵
34	女来也	1976	21.5×28.5	水彩、紙	個人蔵
35	女来也	1976	36.8×26	水彩、紙	個人蔵
36	小説江戸歌舞伎秘話	1977	28.3×21.4	水彩、紙	個人蔵
37	団蔵入水	1980	25.5×36.5	水彩、紙	個人蔵
38	団十郎切腹事件	1981	30.2×21.3	水彩、紙	個人蔵
39	牡丹亭お遊(下)	1986	25.2×36.2	水彩、紙	個人蔵
40	一豊の妻	1984	30.2×21.3	水彩、紙	個人蔵
<b>挿絵原画</b>					
41-50	次郎吉娘	1951/52	13.5×18(画面)	水彩、紙	個人蔵
51-55	寄席行燈	1954/55	13×15.5	水彩、紙	個人蔵
56-60	幕末長恨歌	1955/56	13×17	水彩、紙	個人蔵
61-65	市川団十郎	1958	13.5×20	水彩、紙	個人蔵
66-75	千姫牡丹	1959/60	14.5×21	水彩、紙	個人蔵
76-85	緋の化粧	1963/66	16×24	水彩、紙	個人蔵
86-95	切られお富	1979/80	15.5～20.5×24	水彩、紙	個人蔵
96-105	絵島生島	1979/80	13×17	水彩、紙	個人蔵
106-115	牡丹亭お遊	1983/84	14.5×24	水彩、紙	個人蔵

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
116-118	梅暦		9～12×16～17	水彩、紙	個人蔵

#### 書籍装幀

119	若さま侍捕物帳 (城 昌幸) 近代社	1947	18.4×12.9	印刷、紙	個人蔵
120	伊太八 (長谷川 伸) 青雲書房	1947	18.3×12.6	印刷、紙	個人蔵
121	新撰組 (白井喬二) 扶桑社	1948	18.2×12.2	印刷、紙	個人蔵
122	朱唇 (田中貢太郎) 世界社	1948	18.4×12.9	印刷、紙	個人蔵
123	色娘おせん (邦枝完二) 隆文堂	1948	18.6×12.8	印刷、紙	個人蔵
124	橘や (邦枝完二) 硯友社	1948	18.8×13	印刷、紙	個人蔵
125	ランプ虎 (長谷川 伸) 新小説社	1948	18.5×12.6	印刷、紙	個人蔵
126	獄門彦兵衛 (佐野 孝) 明和書房	1948	14.6×10.5	印刷、紙	個人蔵
127	振分け小平 (長谷川 伸) 矢貴書店	1948	18.2×12.6	印刷、紙	個人蔵
128	坊ちゃん羅五郎 (白井喬二) 講談社	1948	18.5×12.9	印刷、紙	個人蔵
129	續 坊ちゃん羅五郎 (白井喬二) 講談社	1948	18.5×12.7	印刷、紙	個人蔵
130	自由劇場 (邦枝完二) 有楽出版社	1949	18.5×12.8	印刷、紙	個人蔵
131	おんな八景 (山手樹一郎) 新小説社	1949	18.4×12.5	印刷、紙	個人蔵
132	中村 雁次郎 (邦枝完二) 圭文館	1949	18.5×12.8	印刷、紙	個人蔵
133	吉田御殿 (邦枝完二) 中央文庫	1949	18.5×12.9	印刷、紙	個人蔵
134	田之助 色ざんげ (邦枝完二) 雄文社	1949	18.5×12.8	印刷、紙	個人蔵
135	鏡獅子 (邦枝完二) 比良書房	1950	18.3×13	印刷、紙	個人蔵
136	若さま侍捕物手帖 (城 昌幸) 講談社	1950	18.9×13.2	印刷、紙	個人蔵
137	東京一代女 (邦枝完二) ジープ社	1950	18.4×13.4	印刷、紙	個人蔵
138	浮雲日記 (富田常雄) 湊書房	1952	18.3×13	印刷、紙	個人蔵
139	お祭り伊太郎 (村上元三) 東京文藝社	1953	18.9×13.6	印刷、紙	個人蔵
140	濡れ燕 (子母沢 寛) 桃源社	1954	19×13.9	印刷、紙	個人蔵
141	源太やくざ (子母沢 寛) 桃源社	1954	19.1×13.9	印刷、紙	個人蔵
142	名月男街道 (子母沢 寛) 桃源社	1954	19×13.8	印刷、紙	個人蔵
143	鬼笛むすめ (佐々木 杜太郎) 桃源社	1954	19×13.8	印刷、紙	個人蔵
144	春や深川 (子母沢 寛) 桃源社	1954	19×13.8	印刷、紙	個人蔵
145	浮名行燈 (子母沢 寛) 桃源社	1954	19.1×13.8	印刷、紙	個人蔵
146	お辰街道 (子母沢 寛) 桃源社	1955	19.1×13.9	印刷、紙	個人蔵
147	お役者小僧 (子母沢 寛) 桃源社	1955	20×14.1	印刷、紙	個人蔵
148	つむじ駕 (子母沢 寛) 桃源社	1955	19.4×13.9	印刷、紙	個人蔵
149	刺客心中 (柴田錬三郎) 河出書房	1955	17.2×10.9	印刷、紙	個人蔵
150	売春風俗史 (原 浩三) 鱒書房	1955	17.6×10.9	印刷、紙	個人蔵
151	喧嘩街道 (子母沢 寛) 桃源社	1955	19.9×13.9	印刷、紙	個人蔵
152	妖婦伝 (綿谷 雪) 鱒書房	1955	17.5×11	印刷、紙	個人蔵
153	弥太郎笠 (子母沢 寛) 桃源社	1955	19.5×13.9	印刷、紙	個人蔵
154	千石纏 (子母沢 寛) 桃源社	1956	19.9×14.2	印刷、紙	個人蔵
155	花の兄弟 (子母沢 寛) 桃源社	1956	19.9×13.9	印刷、紙	個人蔵
156	花の兄弟続編 (子母沢 寛) 桃源社	1956	19.9×13.9	印刷、紙	個人蔵
157	赤城の雁 (子母沢 寛) 東方社	1956	19.4×13.2	印刷、紙	個人蔵
158	きつね駕 (子母沢 寛) 桃源社	1956	19.9×13.9	印刷、紙	個人蔵
159	剣色秘巻 (陣出達朗) 東方社	1956	19.3×13.4	印刷、紙	個人蔵
160	粹典 (日置昌一) 鱒書房	1956	17×10.6	印刷、紙	個人蔵
161	纏大名 (子母沢 寛) 桃源社	1956	19.8×14.1	印刷、紙	個人蔵
162	銭形平次捕物全集16 (野村胡堂) 河出書房	1956	19.3×14.1	印刷、紙	個人蔵
163	東男京女 (村上元三) 東方社	1957	19.4×13.5	印刷、紙	個人蔵
164	冬鶴春鶴 (高田浩吉) 平凡出版	1957	18.4×13.3	印刷、紙	個人蔵
165	若さま侍 勘兵衛参上 (城 昌幸) 同光社出版	1957	19.4×13.9	印刷、紙	個人蔵
166	天をゆく女 (城 昌幸) 桃源社	1957	18.8×13.3	印刷、紙	個人蔵
167	若様忍び手柄 (城 昌幸) 桃源社	1957	19×13.4	印刷、紙	個人蔵
168	春信えがく (城 昌幸) 桃源社	1958	19×13.1	印刷、紙	個人蔵
169	濡れ髪獅子(上) (佐竹申伍) 桃源社	1958	18.9×13.3	印刷、紙	個人蔵
170	濡れ髪獅子(下) (佐竹申伍) 桃源社	1958	19×13.5	印刷、紙	個人蔵



出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
171	若殿旅日記(城 昌幸)桃源社	1958	19×13.2	印刷、紙	個人蔵
172	若殿江戸双紙(城 昌幸)桃源社	1958	19×13.2	印刷、紙	個人蔵
173	若殿行状記(城 昌幸)桃源社	1958	18.9×13.2	印刷、紙	個人蔵
174	紅鶴屋敷(城 昌幸)桃源社	1959	19.2×13.1	印刷、紙	個人蔵
175	若殿浮世絵さばき(城 昌幸)桃源社	1959	19.2×13.3	印刷、紙	個人蔵
176	若殿剣法ぐらし(城 昌幸)桃源社	1959	19.2×13.3	印刷、紙	個人蔵
177	若殿迷い美女(城 昌幸)桃源社	1959	19.3×13.3	印刷、紙	個人蔵
178	若殿黄金ぐるま(城 昌幸)桃源社	1959	19.3×13.3	印刷、紙	個人蔵
179	若殿邪神の花嫁(城 昌幸)桃源社	1960	19.4×13.3	印刷、紙	個人蔵
180	若殿忍法くずし(城 昌幸)桃源社	1960	19.2×13.3	印刷、紙	個人蔵
181	若殿あばれ旅(城 昌幸)桃源社	1960	19.2×13.4	印刷、紙	個人蔵
182	女来也(吉川英二)講談社	1976	14.8×10.6	印刷、紙	個人蔵
183	団蔵入水(戸板康二)講談社	1980	19.4×13.5	印刷、紙	個人蔵
184	切られお富(村上元三)中央公論社	1981	19.8×13.7	印刷、紙	個人蔵
185	元禄 歳時記 上(杉本苑子)講談社	1983	14.8×10.6	印刷、紙	個人蔵
186	元禄 歳時記 下(杉本苑子)講談社	1983	14.8×10.6	印刷、紙	個人蔵
187	牡丹邸お遊(上)(村上元三)毎日新聞社	1986	19.6×13.8	印刷、紙	個人蔵
188	牡丹邸お遊(下)(村上元三)毎日新聞社	1986		印刷、紙	個人蔵
189	紫扇まくあいはなし(河原崎権十郎)演劇出版社	1987	21.7×15.9	印刷、紙	個人蔵

#### 舞踊会プログラム等表紙

190	吾妻徳穂・藤間万三哉夫妻舞踊公演	1946	21×30	印刷、紙	個人蔵
191	不詳		18×24	印刷、紙	個人蔵
192	合の山		26×37	印刷、紙	個人蔵
193	不詳		26×37	印刷、紙	個人蔵
194	不詳		26×37	印刷、紙	個人蔵
195	藤間寿枝引退披露、藤間寿三名披露目舞踊大会		21×30.5	印刷、紙	個人蔵
196	不詳		26×37	印刷、紙	個人蔵
197	十五世市村羽左衛門、追福パンフレット		(封筒)19×25 (内容)15×21	印刷、紙	個人蔵
198	第2回鯉寿会舞踊公演	1950	22.5×32	印刷、紙	個人蔵
199	尾上流		26×37	印刷、紙	個人蔵
200	名古屋をどり		26×37	印刷、紙	個人蔵
201	西川流舞踊(松坂屋)		26×37	印刷、紙	個人蔵
202	吾妻徳穂、藤間万三哉夫妻舞踊公演(丸の内、帝国劇場)	1950	15.5×18.5	印刷、紙	個人蔵
203	第6回西川流鯉風会(銀座、上野松坂屋)		26×37	印刷、紙	個人蔵
204	不詳		26×37	印刷、紙	個人蔵
205	三月、四月新派大合同(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
206	四世藤間勘右衛門、家元襲名披露舞踊大会		26×37	印刷、紙	個人蔵
207	鯉寿会		21×30	印刷、紙	個人蔵
208	藤間秀齊改名披露舞踊会		26×37	印刷、紙	個人蔵
209	文部省芸術祭公演、十月興行新派大合同(新橋演舞場)	1952	26×37	印刷、紙	個人蔵
210	鯉水会		26×37	印刷、紙	個人蔵
211	猿若(明治座)		30×21	印刷、紙	個人蔵
212	藤栄会(帝国劇場)	1953	30×21	印刷、紙	個人蔵
213	第9回鯉風会(松坂屋)道成寺		26×37	印刷、紙	個人蔵
214	松風会		26×37	印刷、紙	個人蔵
215	小唄福美会(三越劇場)		24×31.5	印刷、紙	個人蔵
216	雛菊会(御園座)	1954	26×37	印刷、紙	個人蔵
217	垂穂会(三越劇場)	1954	26×37	印刷、紙	個人蔵
218	鯉寿会(新橋演舞場)	1964	18.5×26	印刷、紙	個人蔵
219	第11回藤舞会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
220	第16回藤舞会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
221	西川会(大阪歌舞伎座)	1954	26×37	印刷、紙	個人蔵
222	鯉水会(御園座)	1955	26×37	印刷、紙	個人蔵

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
223	第1回(新橋演舞場)		18×26	印刷、紙	個人蔵
224	鯉水会(御園座)	1956	26×37	印刷、紙	個人蔵
225	鯉寿会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
226	鯉寿会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
227	藤栄会(明治座)	1956	26×37	印刷、紙	個人蔵
228	藤舞会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
229	清水をどり(清水市公会堂)	1957	21.5×30	印刷、紙	個人蔵
230	雛菊会(御園座)	1957	26×37	印刷、紙	個人蔵
231	二代目松永鉄之丞襲名披露演奏会(伊東演舞場)	1957	26×37	印刷、紙	個人蔵
232	第5回舞踊華扇会(新橋演舞場)	1957	24×25.5	印刷、紙	個人蔵
233	第6回舞踊華扇会(新橋演舞場)	1958	24×25.5	印刷、紙	個人蔵
234	鯉寿会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
235	第10回藤舞会、藤間秀斉発表会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
236	第19回白眉会(第一生命ホール)		26×37	印刷、紙	個人蔵
237	鯉寿会(新橋演舞場)	1961	26×37	印刷、紙	個人蔵
238	花柳国葉、創作発表会(東横ホール)	1961	26×37	印刷、紙	個人蔵
239	第13回藤舞会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
240	白眉会(第一生命ホール)		18.5×20.5	印刷、紙	個人蔵
241	鯉寿会(新橋演舞場)	1963	18×26	印刷、紙	個人蔵
242	第17回芸術祭参加、藤舞会(産経ホール)	1962	26×37	印刷、紙	個人蔵
243	能楽と古典舞踊鑑賞の会(観世会館/東京文化会館)	1963	26×37	印刷、紙	個人蔵
244	第15回藤舞会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
245	白眉会、芸術祭参加作品、花柳国葉創作発表(東横ホール)	1963	26×37	印刷、紙	個人蔵
246	第4回成富節子リサイタル、現代朗詠作曲集出版記念(毎日ホール)	1963	25.5×18	印刷、紙	個人蔵
247	第22回白眉会(東横ホール)	1964	26×37	印刷、紙	個人蔵
248	15周年記念雛菊会(新橋演舞場)		18×21	印刷、紙	個人蔵
249	春季鳳凰会(イイノホール)	1965	26×37	印刷、紙	個人蔵
250	鯉寿会(新橋演舞場)	1965	26×37	印刷、紙	個人蔵
251	藤舞会(都市センターホール)	1965	26×37	印刷、紙	個人蔵
252	白眉会(東横ホール)	1965	26×37	印刷、紙	個人蔵
253	葵七重改名披露舞踊会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
254	第1回国葉の会(砂防会館)	1966	26×37	印刷、紙	個人蔵
255	第18回藤舞会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
256	松永和風喜寿祝賀 長唄舞踊大会(新橋演舞場)		18×26	印刷、紙	個人蔵
257	第19回藤舞会(国立小劇場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
258	四世松永和風七回忌追善 八代目松永忠五郎、芳村孝次郎襲名披露(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
259	鯉寿会(新橋演舞場)	1968	26×37	印刷、紙	個人蔵
260	秋季鳳凰会(日刊工業ホール)		26×37	印刷、紙	個人蔵
261	第20回藤舞会(国立小劇場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
262	第6回鯉寿会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
263	華甲寿 藤間秀斉記念舞踊会(国立大劇場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
264	藤間秀斉舞踊会(国立小劇場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
265	25回白眉会(東横劇場)	1970	18×21	印刷、紙	個人蔵
266	藤間章吉追善舞踊会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
267	国葉会(第一生命ホール)	1971	20×20	印刷、紙	個人蔵
268	藤舞会(国立小劇場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
269	日本二十六聖人 二幕十二景(日生劇場)	1972	26×37	印刷、紙	個人蔵
270	花柳国葉創作発表会 白眉会 花柳国葉(東横劇場)	1972	26×37	印刷、紙	個人蔵
271	白眉会 創作舞踊発表(東横劇場)	1973	26×37	印刷、紙	個人蔵
272	藤間秀斉 記念舞踊会 師籍50年(国立大劇場)	1975	26×37	印刷、紙	個人蔵
273	45年度芸術祭参加作品 花柳国葉創作舞踊会(東横劇場)	1970	22.5×21	印刷、紙	個人蔵
274	花柳国葉の会(東横劇場)	1974	22.5×21	印刷、紙	個人蔵
275	春季鳳凰会(東横劇場)		26×37	印刷、紙	個人蔵

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
276	白眉会(東横劇場)	1975	20×20	印刷、紙	個人蔵
277	創流10周年記念葵七重会		26×37	印刷、紙	個人蔵
278	白眉会(東横劇場)	1976	22×22	印刷、紙	個人蔵
279	藤間章吉 十三回忌追善の会(新橋演舞場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
280	藤舞会(国立大劇場)		26×37	印刷、紙	個人蔵
281	花柳国葉創作舞踊 白眉会(東横劇場)	1977	22×22	印刷、紙	個人蔵
282	第22回 白蝶会 川口秀子舞踊発表会(新橋演舞場)	1977	25×26.5	印刷、紙	個人蔵
283	花柳昌太郎 古径の会(国立大劇場)	1978	21×29.5	印刷、紙	個人蔵
284	白蝶会 川口秀子舞踊発表会 昭和54年度文化庁芸術祭参加(新橋演舞場)	1978	25×26.5	印刷、紙	個人蔵
285	花柳国葉創作舞踊会 白眉会	1978	22×20.5	印刷、紙	個人蔵
286	鯉寿会、30周年記念(国立大劇場)	1979	26×37	印刷、紙	個人蔵
287	藤間秀斉 古稀の会		26×37	印刷、紙	個人蔵
288	藤舞会		26×37	印刷、紙	個人蔵
289	藤間章吉 十七回忌追善の会		26×37	印刷、紙	個人蔵
290	藤舞会 50回記念舞踊会		26×37	印刷、紙	個人蔵
291	ろくだいめ鏡獅子 邦枝完二		22×32.5	印刷、紙	個人蔵

#### 雑誌装幀

292	『読物雑誌』 面白揃い新秋号(背表紙「九月号」)	1948	18.2×12.8	印刷、紙	個人蔵
293	『読物雑誌』 涼味萬斛号	1948	18.2×12.8	印刷、紙	個人蔵
294	『読物雑誌』 花形力作満載号	1948	18.2×12.8	印刷、紙	個人蔵
295	『読物雑誌』 別冊号	1948	18.2×12.8	印刷、紙	個人蔵
296	『読切雑誌』 第2巻第3号	1948	18.2×12.8	印刷、紙	個人蔵
297	『読切雑誌』 第2巻第4号	1948	18.2×12.8	印刷、紙	個人蔵
298	『大衆小説』 第1巻第1号	1948	25.6×18.2	印刷、紙	個人蔵
299	『大衆小説』 第2巻第1号	1949	25.6×18.2	印刷、紙	個人蔵

#### 舞台美術(道具帳など)

300	けいせい倭莊子第三場	1962	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
301	けいせい倭莊子第三場	1962	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
302	蝶の道行(歌右衛門、梅吉)	1965	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
303	蝶の道行	1970	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
304	蝶の道行(前)	1971	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
305	蝶の道行(前)	1971	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
306	けいせい倭莊子 蝶の道行	1971	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
307	蝶の道行	1974	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
308	蝶の道行	1976	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
309	蝶の道行	1978	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
310	蝶の道行	1984	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
311	蝶の道行	1985	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
312	歌舞伎座舞台平面図1/100 蝶の道行 第一場	1986	30.5×42	水彩、紙	個人蔵
313	蝶の道行	1986	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
314	蝶の道行	1986	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
315	蝶の道行	1986	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
316	蝶の道行	1989	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
317	国立劇場大劇場舞台平面図 蝶の道行	1989	25.5×36.5	水彩、紙	個人蔵
318	蝶の道行	1989	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
319	蝶の道行	1994	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
320	蝶の道行	1994	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
321	蝶の道行		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
322	松風		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
323	家桜	1995	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
324	雪まろげ	1995	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
325	深川八景(木場風景)	2000	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
326	道成寺 一中節	1993	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
327	伝授山姥	1974	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
328	道成寺 長唄(素踊形式)	1978	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
329	時雨西行(素踊)	1997	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
330	浮世江都通(素踊)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
331	浮世江都通①第一景 日本橋 ②第二景 首尾の松		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
332	浮世江都通③第三景 駒形堂 ④第四景 浅草寺		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
333	浮世江都通⑤第五景 吉原		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
334	花の心	1993	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
335	雨の四季	1993	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
336	かさね	1977	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
337	かさね	1962	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
338	松風 一中節	1988	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
339	国立劇場大劇場 舞台平面図 家桜(一中節)	1999	25.5×36.5	水彩、紙	個人蔵
340	安達原(素踊)	1964	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
341	安達原	1964	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
342	家桜 夜(一中節)	1999	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
343	歌舞伎座 舞台平面図 安達原	1994	30.5×42	水彩、紙	個人蔵
344	安達原(素踊)	1994	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
345	執心源氏 第二場		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
346	執心源氏 第四場		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
347	冥土の飛脚 序幕		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
348	冥土の飛脚 第二場		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
349	冥土の飛脚 第三場		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
350	けいせい倭荘子 第一場		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
351	浜松をどり 謎の懐中鏡 第五景		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
352	夜嵐お絹 第三景		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
353	炎の鐘の物語	1963	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
354	恋の帯 第二幕 第一場	1980	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
355	恋の帯 第二幕 第二場	1980	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
356	信田妻 第二景(保名狂り)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
357	清方あがく 第二景(明石町)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
358	清方あがく 第三景(浜町河岸)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
359	心中天網島 序幕	1978	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
360	心中天網島	1975	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
361	お夏清十郎 第二景(節磨海辺の場)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
362	恋慕笠 第三景		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
363	玉藻前 使用扇	1984	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
364	水仙丹前(歌舞伎座)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
365	炎の鐘の物語		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
366	曳馬里		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
367	塩焼く業平 第二景(幻想)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
368	塩焼く業平 第三景(隅田川辺)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
369	江口の西行 第二景		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
370	ファウスト	1977	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
371	ファウスト		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
372	偲春秋由縁文章		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
373	藤娘(小村雪岱の舞台装置にもとづく)	1987	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
374	葩の(一、十四)	1971	21.5×58.5	水彩、紙	個人蔵
375	葩の(二)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
376	葩の(四、五)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
377	葩の(六)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
378	葩の(七、八、九、十)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
379	葩の(十一)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
380	葩の(十二)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
381	葩の(十三)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
382	恐怖時代 第一景(お銀の方の部屋)	1965	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
383	恐怖時代 第二景(梅塾の部屋)	1965	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
384	恐怖時代 第三景(春藤家奥庭)	1965	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
385	恐怖時代 第四景(殿中)	1965	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
386	田舎源氏 第一景(須磨の海岸)	1967	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
387	田舎源氏 第二景(六條邸)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
388	田舎源氏 第三景(嵯峨の御館)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
389	田舎源氏 第四景(加茂の駕籠争)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
390	田舎源氏 第五景(葵の巻 嵯峨の館)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
391	田舎源氏 フィナーレ		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
392	彩競四季花籠 第一景 藤とあやめ		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
393	彩競四季花籠 第二景 桜		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
394	彩競四季花籠 第三景 リンゴ	1965	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
395	彩競四季花籠 第四景 芙蓉		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
396	彩競四季花籠 第五景 菊		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
397	彩競四季花籠 第六景 桔梗		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
398	彩競四季花籠 第七景 乱れ萩		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
399	彩競四季花籠 第八景 女郎花		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
400	彩競四季花籠 第九景		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
401	彩競四季花籠 第十景 御神酒所		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
402	彩競四季花籠 第十一景 大詰 緋牡丹		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
403	彩競四季花籠 第十一景(大詰) 用だしの通りぬけ		19×54.5	水彩、紙	個人蔵
404	第五景 その二 絵看板		27×38	水彩、紙	個人蔵
405	子供と人形		27×38	水彩、紙	個人蔵
406	角田川	1983	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
407	七蝶		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
408	梅川 第二景	1972	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
409	ガラシャ曼荼羅 第三景		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
410	団十郎娘		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
411	鳥辺山	1958	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
412	雨の権八		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
413	女伊達		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
414	絵島生島 序幕(隅田川舟遊び)三つ又付近		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
415	四季の寿(鶯娘)④		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
416	浅妻舟 第一幕 第三場 春ヒル		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
417	浅妻舟 第三幕 第一場 春ヨル		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
418	琉球怨歌 第一景	1971	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
419	百合若大臣④ 第一幕 第四景 玄界ヶ島浜辺		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
420	恋を知る頃① 第一幕 待合香川の帳場	1981	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
421	恋を知る頃④ 第三幕 第二場 下総屋裏屋根		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
422	花は雨 第四場 劇場前		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
423	花は雨 第六場 第十場 江戸の街		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
424	花は雨 第七場 隅田川の河原		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
425	滝口入道の恋 第二幕 第二場		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
426	滝口入道の恋 第四幕 第一場		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
427	初霞浅間嶽 第三景	1978	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
428	女忠臣蔵 序幕 第一景	1964	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
429	女忠臣蔵 大詰(大川橋引き上げの場)	1973	21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
430	お吟さま⑤ 第二幕 第一場		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
431	お吟さま 第三景(その一)		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
432	姐已 B		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
433	一 睡蓮		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵
434	鳥の声		21.5×60.5	水彩、紙	個人蔵

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
<b>舞台髪型</b>					
435	木賊刈の髪型			鉛筆、紙	個人蔵
436	煤掃きや 婆さん 髪型			鉛筆、紙	個人蔵
437	煤掃きや 爺さん 髪型			鉛筆、紙	個人蔵
<b>舞台衣裳デザイン</b>					
438	蝶の道行①	1989	35×26.5		個人蔵
439	蝶の道行①	1989	35×26.5		個人蔵
440	蝶の道行①②	1989	35×26.5		個人蔵
441	蝶の道行②	1989	35×26.5		個人蔵
442	蝶の道行③	1989	35×26.5		個人蔵
443	蝶の道行③	1989	35×26.5		個人蔵
444	蝶の道行③	1989	35×26.5		個人蔵
445	山姥 襦袢 前(歌右衛門)		35.5×25		個人蔵
446	山姥 襦袢 後(歌右衛門)		35.5×25		個人蔵
447	遊女山姥(海幸)		35.5×25		個人蔵
448	遊女山姥		35.5×25		個人蔵
449	遊女山姥 前		35.5×25		個人蔵
450	遊女山姥		35.5×25		個人蔵
451	雫		35.5×25		個人蔵
452	雫		35.5×25		個人蔵
453	しずくの帯		35.5×25		個人蔵
454	かさね		35.5×25		個人蔵
455	松風 襦袢		31.5×28		個人蔵
456	不詳		36×25		個人蔵
457	松枝		37×26		個人蔵
458	万才(男)		37×26		個人蔵
459	万才(女)		37×26		個人蔵
460	団十郎娘 帯		37×26		個人蔵
461	団十郎娘		37×26		個人蔵
462	雪折竹		37×26		個人蔵
463	口舌道成寺		37×26		個人蔵
464	B 赤坂をどり「川の四季」 揃い		37×26		個人蔵
465	高尾(かけ)		37×26		個人蔵
466	不詳		37×26		個人蔵
467	松枝(大詰)		37×26		個人蔵
468	お染		37×26		個人蔵
469	高尾		37×26		個人蔵
470	不詳		37×26		個人蔵
471	絵島(第三景)		34×27		個人蔵
<b>うちわ、スケッチブックなど</b>					
472	[うちわ さくら]			印刷、紙	個人蔵
473	[うちわ 雪]			印刷、紙	個人蔵
474	[日本髪女性の横顔]			鉛筆、紙	個人蔵
475	「シダル幻想」 下絵	1991		鉛筆、紙	個人蔵
476	修学旅行スケッチブックより 中宮寺 弥勒菩薩	1932		鉛筆、紙	個人蔵
477	修学旅行スケッチブックより 中宮寺 弥勒菩薩	1932		鉛筆、紙	個人蔵
478	修学旅行スケッチブックより 奈良にて	1932		水彩、紙	個人蔵
<b>資生堂ポスター、パッケージなど</b>					
479	「資生堂雪文・資生堂石鹸」 原画	1933	72.8×51.5		資生堂企業資料館
480	商品「香水ホワイトローズ」(ナチュラル)	1934			資生堂企業資料館
481	ポスター「資生堂雪文・資生堂石鹸」	1935	72.8×51.5		資生堂企業資料館
482	記念品「資生堂石鹸化粧缶」	1935			資生堂企業資料館

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
483	「資生堂石鹸 秋の豪華サービス」 原画	1937	72.8×51.5		資生堂企業資料館
484	「資生堂石鹸 秋の豪華サービス」 ポスター	1937	72.8×51.5		資生堂企業資料館
485	「資生堂石鹸 秋の豪華サービス」 販促物(袋)	1937			資生堂企業資料館
486	「資生堂コールドクリーム、資生堂バニシングクリーム」 ポスター	1938	72.8×51.5		資生堂企業資料館
487	「資生堂コールドクリーム、資生堂バニシングクリーム」 ポスター	1939	72.8×51.5		資生堂企業資料館
488	「資生堂化粧品」 ポスター	1939	72.8×51.5		資生堂企業資料館
489	記念品「扇」(15本の内1本)	1939			資生堂企業資料館
490	記念品1940年度花椿会記念品「合せ鏡」(名誉会員)	1940			資生堂企業資料館
491	商品「資生堂トリアノンクリーム」	1941			資生堂企業資料館
492	案内状「資生堂工芸研究部第一回作品発表会」	1941			資生堂企業資料館
493	商品「資生堂ホルモリンザルベ」	1942			資生堂企業資料館
494	商品「資生堂歯磨」	1944			資生堂企業資料館
495	商品「香水ファンタジー」	1945			資生堂企業資料館
496	商品「資生堂ドルックス香水」	1945			資生堂企業資料館
497	商品「資生堂粉白粉」	1949			資生堂企業資料館
498	「香水禪」 原画 6枚	不詳			資生堂企業資料館
499	商品「禪」	1964			資生堂企業資料館
	①オーデオロン禪(スプレイ N)	1968			
	②資生堂オーデオロン禪	1965			
	③資生堂香水禪	1964			
	④②と同様(瓶)	1965			
	⑤資生堂ファンシーパウダー禪(プレスド) (パフュームパウダー)	1971			
	⑥資生堂練香水禪	1973			
500	「皇后陛下(香淳皇后)のコンパクト」 デザイン				資生堂企業資料館
501	「道成寺」 デザイン(「花椿」表紙1955年3月)				資生堂企業資料館
502	「蝶」 デザイン				資生堂企業資料館
503	スケッチブック1				資生堂企業資料館
504	スケッチブック2				資生堂企業資料館
505	スケッチブック3				資生堂企業資料館
506	スケッチブック4				資生堂企業資料館
507	スケッチブック5				資生堂企業資料館

その他 山本武夫 参考作品資料

参考-1 雑誌小説原画 134点

参考-2 新聞雑誌挿画切り抜き等スクラップブック 22冊

個人蔵

個人蔵

## 小村雪岱 作品リスト (特別出品)

### 書籍装幀

出品番号	書名	出版社	刊行日付	所蔵先
508	由縁文庫 (泉鏡花)	春陽堂	1916.10.18	資生堂企業資料館
509	鴛鴦帳 (泉鏡花)	止善堂	1918.6.27	資生堂企業資料館
510	遊里集 (泉鏡花)	春陽堂	1918.7.13	資生堂企業資料館
511	愛艸集 (泉鏡花)	春陽堂	1918.7.23	資生堂企業資料館
512	鏡花選集 (泉鏡花)	春陽堂	1919.10.1	資生堂企業資料館
513	新柳集 (泉鏡花)	春陽堂	1922.1.1	資生堂企業資料館
514	愛府 (泉鏡花)	新潮社	1924.11.15	資生堂企業資料館
515	斧琴菊 (泉鏡花)	昭和書房	1934.3.20	資生堂企業資料館
516	薄紅梅 (泉鏡花)	中央公論社	1939.10.28	資生堂企業資料館

### 作品

出品番号	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵先
517	墨画「江戸役者」	1910	27×38.5	肉筆、紙	資生堂アートハウス
518	墨画「おせん(傘)」	1933	27×38.5	肉筆、紙	資生堂アートハウス
519	日本画「刺青奇遇下総行徳船場」	1932	6.6×35.8	肉筆、紙	資生堂アートハウス
520	日本画「子鷺 熱田神宮の境内」	1931	6.6×35.8	肉筆、紙	資生堂アートハウス
521	木版画「赤とんぼ」	1976(復刻)	25×17		個人蔵



# コレクション展 作品と作品の間に — 4つの変奏

会期：2008年4月17日(木)～6月8日(日) 47日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：山田敦雄

常設展示室をもたない目黒区美術館は開館以来、折々にテーマを定めての「所蔵作品展」の形式でコレクションを紹介してきたが、本展は、こうした試みの上に構想したもので、所蔵作品の中から、以下の4つのキーワードにしたがって選んだ作品を展示した。

1. 「物語」。作品がテーマとして語っている物語、語っているかもしれない物語、作品をめぐって美術館が紡ぐ物語。
2. 「細部」。作家によって周到に準備された細部、偶然によって生まれた細部にフォーカスをあてて、立ち現れた「作品」との関係を探った。
3. 「美術史」。作家と作品が、それをとりまく世界との間に結んだ関係性を、美術の歴史の中で、そして社会や時代の中を探った。
4. 「快樂」。意味、その背後の言語や思考とは別の回路で、「作品」の中に身体と直結したやり方で生まれる視覚の「快樂」に光をあてた。

所蔵作品から選択された作品群を、これら四つの「キーワード=主題」による「変奏」として提示し、全体としては「美術館」というシステムが、収集し、さまざまな情報とともに示すひとつの「物語」の提示を通じて所蔵作品の新たな魅力へと関心を喚起しようと試みた。

●ポスター

サイズ：B2

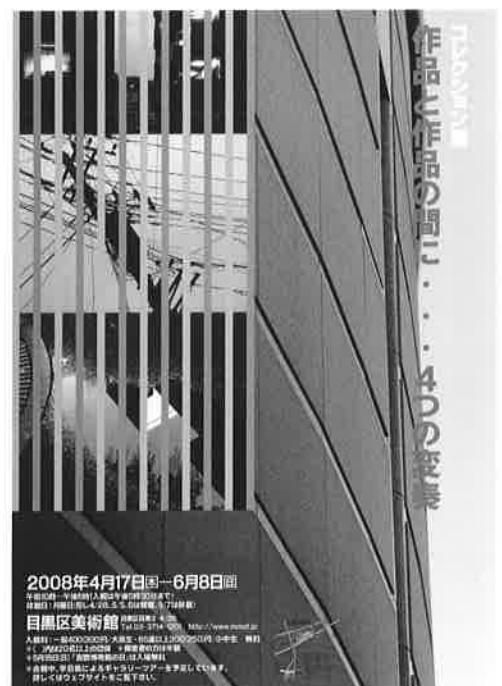
●チラシ

サイズ：A4

●関連催事

5/18 (日・無料開館日) 14:00～15:30

学芸員によるギャラリートーク (当日自由参加)



B2 ポスター

## 出品リスト

主題	作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
<b>物語</b>					
1	川村清雄	村上彦四郎(村上義光 錦御旗奪還図)	大正末頃 (1926年頃)	油彩、絹本・金箔	147.5×147.0
2	川村清雄	沙羅に葉袋	1933年頃	油彩、板	27.2×46.1×厚1.0
3	川村清雄	小督	不詳(大正末-昭和)	油彩、板・黒漆塗	26.9×36.3×厚0.8
4	小作青史	「ギリシア神話」より	1968年	銅版、紙	20.4×18.9
5	青山義雄	母と子	1926年	油彩、キャンバス	46.3×55.4
6	島村三七雄	セーヌの釣り	1929-36年	油彩、キャンバス	53.0×65.2
7	田中佐一郎	人物	1932-33年	油彩、キャンバス	45.5×53.0
8	荒井龍男	曠茫	1938年頃	油彩、キャンバス	112.0×145.5
9	小堀四郎	女二人	不明	油彩、キャンバス	162.0×130.0
10	田淵安一	天の史	1954年	油彩、キャンバス	85.1×72.8
11	古茂田守介	裸婦二人	1952年	油彩、キャンバス	112.5×145.5
12	古茂田守介	二人の裸婦	1953年	油彩、キャンバス	97.0×145.5
13	三輪四郎	裸婦	1923-24年	油彩、キャンバス	73.5×60.2
14	若林奮	銅版画集 52記	1995年	銅版	16.0×12.0程度
<b>細部</b>					
1	柄澤齊	「肖像シリーズ」より 肖像 XI ジェームス・アンソール	1983年	木口木版、紙	16.6×11.3
2	柄澤齊	「肖像シリーズ」より 肖像 XII 上田秋成	1983年	木口木版、紙	25.0×12.3
3	柄澤齊	「肖像シリーズ」より 肖像 XIII エドガー・アラン・ポー	1983年	木口木版、紙	22.0×6.2
4	柄澤齊	「肖像シリーズ」より 肖像 XIV ヨハン・セバスチャン・バッハ	1983年	木口木版、紙	16.8×13.0
5	清原啓子	領土	1981年	エッチング、紙	49.4×40.7
6	清原啓子	孤島	1987年	エッチング、紙	36.3×34.3
7	蒲池清爾	蜃気楼	1987年	エッチング、アクアチント、紙	60.2×45.2
8	駒井哲郎	風景	1971年	エッチング、紙	10.2×11.7
9	柴田敏雄	モロッコ 1988	1988年	ゼラチン・シルバープリント	44.4×55.4
10	古茂田守介	なす	1959年	油彩、キャンバス	32.0×41.0
11	津高和一	引	1962年	油彩、キャンバス	163.0×131.0
12	下村良之介	鳥たちの壁 B	1964年	紙粘土、顔料、紙、合板	182.0×268.8
13	野村耕	集	1964年	ボード、紙型、カシュー、油彩	151.8×91.0
14	藤田嗣治	トランク(遺品)			40.5×65.5×22.5
15	阿部展也	SCRITTURA in BIANCO	1963年	エンコスティック、板	145.5×114.0
16	磯辺行久	Work-65	1965年	油彩、大理石粉、紙、木、紐	182.6×363.2×6.5
17	浅野弥衛	無題	1966年	油彩、キャンバス	72.7×90.9
18	浅野弥衛	無題	1967年	油彩、キャンバス	72.0×90.5
19	村上友晴	無題	1980-82年	油彩、キャンバス	162.0×130.0
20	村上友晴	無題	1985-87年	油彩・キャンバス	162.0×130.0
21	宇佐見圭司	ゴースト・プラン・イン・プロセス I	1972年	アクリル、木	240.0×208.0×68.5
22	宇佐見圭司	ゴースト・プラン・イン・プロセス II	1972年	アクリル、木	240.0×208.5×88.0
23	宇佐見圭司	ゴースト・プラン・イン・プロセス III	1972年	アクリル、木	180.0×156.5×65.0
24	宇佐見圭司	ゴースト・プラン・イン・プロセス IV	1972年	アクリル、木	180.0×156.5×64.5
25	宇佐見圭司	プロフィールのこだま：積層	1976年	油彩、キャンバス	214.0×196.0
26	川俣正	プロジェクト「ピープルズ・ガーデン」 ドクメンタ IX、カッセル1992	1992年	木、写真、インク、ビデオ 他	
			マケット：255.0×370.0×63.0、写真ドキュメント6点+ワーキングノート6点：各62.0×87.0、写真パネル：120.0×180.0		
<b>美術史</b>					
1	谷文晁	梅に鳥	不詳		103.0×33.5
2	菊池容斎	夜 鯉の図	不詳		106.0×41.6
3	藤田嗣治	鶴	1918年頃	金箔、水彩、紙	20.0×17.0
4	藤田嗣治	動物群	1924年	油彩、キャンバス	97.0×145.5

主題	作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)	
	5	鈴木誠	習作	1925年	油彩、キャンバス	52.0×71.7
	6	工藤信太郎	コロロ模写	1936年	油彩、キャンバス	55.5×46.0
	7	太田喜二郎	雪の朝	1908-1913年頃	油彩、キャンバス	74.2×50.0
	8	国松桂溪	静物	1920-24年頃	油彩、キャンバスボード	19.0×23.9
	9	里見勝蔵	雪景	1925年頃	油彩、キャンバス	65.4×80.6
	10	児島善三郎	丘の見える村(南仏風景)	1925-28年	油彩、キャンバス	60.3×72.5
	11	坂田一男	浴室の二人の女	1928年	油彩、キャンバス	100.1×81.0
	12	今井俊満	黒い太陽	1956年	油彩、キャンバス	60.1×92.3
	13	今井俊満	新緑	1958年	油彩、キャンバス	100.0×110.0
	14	澤部清五郎	素描	1912年	木炭、紙	62.3×47.6
	15	澤部清五郎	素描	1912年	木炭、紙	62.3×47.6
	16	国吉康雄	人物素描	1912年	木炭、紙	62.3×47.6
	17	国吉康雄	人物素描	1912年	木炭、紙	62.3×47.6
	18	猪熊 弦一郎	ノートル・ダム	1938-39年	油彩、キャンバス	81.2×54.3
	19	山尾 薫明	夜のノートル・ダム	1933年	油彩、キャンバス	81.1×53.1
	20	平松 讓	ノルマンディーの古寺	1963-67年	油彩、キャンバス	162.0×112.0
	21	菅井汲	風景	1953年	油彩、キャンバス	45.6×60.7
	22	菅井汲	黒い手帖	1963年	油彩、キャンバス	100.0×81.6
	23	岡田謙三	幕合	1938年	油彩、キャンバス	130.8×97.3
	24	岡田謙三	五人	1949年	油彩、キャンバス	202.2×319.2
	25	岡田謙三	銀	1954-55年	油彩、キャンバス	159.5×213.5
	26	小川治平	普選の花(東京パック14巻4号挿絵原画)	1921年	紙、水彩ほか	28.9×42.0
	27	小川治平	旭光波照(東京パック15巻1号挿絵原画)	1922年	紙、水彩ほか	28.6×43.2
	28	小野佐世男	銀座のはずれ(東京パック18巻4号裏表紙原画)	1929年	紙、水彩ほか	26.8×20.8
	29	小野佐世男	若さよさらば(東京パック18巻12号裏表紙原画)	1929年	紙、水彩ほか	21.6×20.1
	30	飯田善國	戦争A-(鎮魂歌-思い出す人々)	1955年	油彩、キャンバス、コラージュ	162.7×130.0
	31	飯田善國	戦争B(文明の没落)	1955年	油彩、キャンバス、コラージュ	162.7×130.0
	32	秋山祐徳太子	東京都知事選立候補ポスター	1975年	印刷物	
	33	秋山祐徳太子	東京都知事選立候補ポスター	1979年	印刷物	
	34	秋山祐徳太子	東京都知事選立候補ポスター	1979年	印刷物	
快樂						
	1	藤田嗣治	裸婦(キキ・ド・モンパルナス)	1929年	鉛筆、紙	71.5×128.5
	2	山下新太郎	素描	1905年	鉛筆、紙	25.5×17.7
	3	高島野十郎	百合とヴァイオリン	不詳(大正期)	油彩、キャンバス	41.1×53.2
	4	若山為三	(クロッキー群より)	不詳	鉛筆ほか、紙	
	5	石橋和訓	裸婦習作	1905年頃	油彩、キャンバス	91.0×50.5
	6	伊原宇三郎	カナベの女	1926年	油彩、キャンバス	90.0×145.6
	7	太田三郎	カナベに凭る	1928年	油彩、キャンバス	53.0×65.5
	8	武内鶴之助	ロンドン郊外	1908-12年頃	パステル、紙	15.3×21.5
	9	武内鶴之助	風景(雲連作)	1908-12年頃	パステル、紙	
	10	赤穴 宏	静物・スイカ	1991年	油彩、キャンバス	112.1×162.1
	11	木下晋	シロ1	1988年	鉛筆、ケント紙	50.0×99.8
	12	堂本尚郎	コンポジション	1959年	油彩、キャンバス	114.3×162.2
	13	池田満寿夫	ベッドに横たわる女	1964年	油彩、キャンバス	65.2×80.3
	14	池田満寿夫	黒い女	1964年	油彩、キャンバス	80.3×65.2
	15	白髪一雄	赤帝	1967年	油彩、キャンバス	182.0×257.5
	16	岡田謙三	間隔	1958年	油彩、キャンバス	220.5×172.5
	17	野村久之	メカニズム	1959年	顔料、箔、紙	120.0×187.5
	18	野村久之	メカニズム 60-A	1960年	顔料、箔、紙	69.5×137.0
	19	草間彌生	無限の網B	1964年	アクリル、キャンバス	194.0×390.0
	20	井高婦山(初代)	観音経経筒水指	1953年	陶器	高21.5×径12.3
	21	草間彌生	Endless Love Room(終わりなき愛)	1966年/1981年 (1/4縮小再制作)	布、綿、塗料、木、鏡、電球 他	75.0×75.0×170.0
	22	工藤哲巳	記憶の独立	1980年	木、プラスチック、糸、接着剤、塗料	68.6×50.0×11.0

# 「画材と素材の引き出し博物館」 + ワークショップ20年のドキュメント展

会期：2008年7月1日(火)～8月31日(日) 54日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

助成：芸術文化振興基金

協力：株式会社イーストウエスト

担当学芸員：降旗千賀子

目黒区美術館は昨年20周年を迎えた。開館1年前の「プレビュー目黒区美術館2」に最初のワークショップを開催して以来、毎年春夏には、ワークショップと展覧会を密接に関連付けた教育普及活動を継続的に開催してきた。これまでに、のべ5,000人もの方々が参加したワークショップも成長を続け、開催するテーマも外部でのフィールドワークを取り入れながら充実し、展開している。当館ではこうしたワークショップの記録を、岡川純子氏により継続的に続けている。本展は、これまでの活動を振り返り、主に岡川氏が撮影したこれまでの20年の記録と、ワークショップ教材として制作して活用している「画材と素材の引き出し博物館」を組み合わせ展示し、目黒区美術館が継続的に開催してきたワークショップを写真や参加者作品などで紹介し、記録集を作成しこれからの教育普及活動に伝える企画として開催した。

## ●カタログ

寸法：25.7×19.1cm 4冊組、カバー付き

ページ数：1. 64ページ

2. 64ページ

3. 64ページ

4. 56ページ

デザイン：大森裕二

内容：『目黒区美術館ワークショップ20年の記録〔1987～2007〕』4巻組

1巻 素材との触れあい+建築教室

2巻 感覚と現象+ファミリーワークショップ

3巻 色の博物誌+身体を見つめる+アート・ピクニック

4巻 (資料編)ごあいさつ/降旗千賀子「ワークショップを振り返って」/榎本寿紀「みること かんじること」/岡川純子「ファインダーのこちら側」/ワークショップ講師を担当して 杉山優子「ワークショップの夜明け前」/植本誠一郎「画材と素材の引き出し博物館のワークショップをとおして」/捧公志朗「アート・ピクニックにでかけて」/鈴木明「『建築教室』という育ててくれたフィールド」/押江千衣子「ワークショップの醍醐味」/中里和人「小屋づくりのワークショップ『目黒岩』」/ワークショップ一覧/

トイコレクションボランティアを振り返って/内河通子、小野田桜子、齋藤慶子、竹上祥子、町田洋子、峰岸了子、伊藤裕子/アウトリーチ一覧/ギャラリーツアー一覧

## ●ポスター

サイズ：B2

デザイン：大森裕二

## ●チラシ

サイズ：A4

デザイン：大森裕二

## ●ワークショップチラシ

サイズ：A4

デザイン：山田敦雄

●関連催事

- 1 フォーラム・連続公開インタビュー—美術館ワークショップの再認識と再考察—草創期を振り返る／協力：全国美術館会議 教育普及研究部会／河合晴生、山脇佐江子、大月ヒロ子、齊正弘、高橋直裕、黒沢伸、端山聡子、降旗千賀子／目黒区民センターホール／2008年8月23日、24日／参加者のべ約400名

\* 関連ワークショップ10コースは、P.117に掲載

●主要関連記事

- 1 古賀太「地域に開いた活動 20年の軌跡」朝日新聞 2008年8月20日（夕刊）
- 2 土屋典子 「目黒区美術館『画材と素材の引き出し博物館』+ワークショップ20年のドキュメント展」今月のレポート 地域創造レター 8月号 No.160 財団法人地域創造
- 3 「シリーズ ふりかえれば、ミュージアム ワークショップで目黒区美術館の20年をみる〈画材と素材の引き出し博物館+ワークショップ20年のドキュメント展〉」『ミュゼ』vol.85 2008年7月25日（株）アム・プロモーション
- 4 「美術館ワークショップの派生と展開」目黒区美術館主催 フォーラム・連続インタビュー「美術館ワークショップの再確認と再考察—草創期を振り返る」より『ミュゼ』vol.86 2008年10月25日（株）アム・プロモーション
- 5 端山聡子「美術館教育の実り」REVIEWS『美術手帖』vol.60 No.912 2008年9月 美術出版社



会場風景



B 2 ポスター

## 出品リスト

### ■所蔵作品（目黒区美術館蔵）

1. 川村清雄 《幼児石膏習作》	1873-81年頃	コンテ / 紙
2. 川村清雄 《裸体習作》	1873-81年頃	コンテ / 紙
3. 国吉康雄 《人物素描》	1912年	木炭 / 紙
4. 鹿子木孟郎 《外国風景》	不詳	パステル / 紙
5. 武内鶴之助 《風景(雲連作)》より4点	1908-12年	パステル / 紙
6. 澤部清五郎 《素描 スペイン・コルドバ》	1912年	水彩 / 紙
7. 栗原忠二 《ベニス》	1926年頃	水彩 / 紙
8. 東山魁夷 《樹根》	1955年	紙本彩色
9. 岡田謙三 《雲と子供》	1966年	油彩 / キャンパス
10. 蒲地清爾 《蜃気楼》	1988年	エッチング、アクアチント / 紙

### ■講師作品

1. 平町公 《西沢溪谷竜虎図》	1998年	墨・アクリル / キャンパス
2. 中里和人 《小屋-目黒砦》	2002年	
3. 小川信治+参加者 《無限風景画3》	2007年	鉛筆 / 紙

### ■ワークショップドキュメント写真（1986年～2007年）

150点

### ■画材と素材の引き出し博物館（目黒区美術館蔵）

#### 画材の引き出し博物館

1. 天然顔料[天平の色-日本画]
2. 天然顔料[現代の天然岩絵具-日本画]
3. 天然顔料[西洋画]
4. 人工顔料[新岩絵具-日本画]
5. 人工顔料[西洋画]
6. 練り材による色味の違い
7. 絵具[日本画]
8. 油絵具の昔と今
9. にかわ
10. 画用液
11. 絵具[水彩画]
12. 絵具[合成樹脂絵具]
13. 木炭・コンテ
14. 鉛筆
15. パステル
16. クレヨン・オイルパステル
17. 色鉛筆
18. 筆の原料
19. 筆[日本画]
20. 刷毛[日本画]
21. 筆[西洋画]
22. 刷毛[西洋画]
23. 支持体[日本画]
24. 支持体[フレスコ画]
25. 支持体[テンペラ画]
26. 支持体[油彩画]
27. 水彩画用紙
28. パステル画用紙
29. 顔料から絵具へ[西洋画]

#### 素材の引き出し博物館-木

1. 木の表情-日本の木
2. 木の表情-世界の木
3. 時の刻印 1

4. 時の刻印 2
5. 木からモノへ-木からとれる色
6. 木からモノへ-樹皮
7. 木からモノへ-木肌と仕上げ
8. 木からモノへ-繊維特性
9. 木のモノ-食
10. 木のモノ-遊
11. さわれる木-さまざまな木
12. さわれる木-不思議な木の玉
13. さわれる木-樹皮のついた木片
14. さわれる木-木碗の工程
15. さわれる木-ツゲ櫛の工程
16. さわれる木-キリ下駄の工程

#### 素材の引き出し博物館-紙

1. 紙以前-パピルス・バイラーン
2. 紙以前-パーチメント(羊皮紙)
3. 紙以前-アマテ紙
4. 紙以前-タパ
5. 日本の手漉き紙-こうぞ紙
6. 日本の手漉き紙-みつまた紙
7. 日本の手漉き紙-がんび紙
8. 世界の手漉き紙-中国
9. 世界の手漉き紙-韓国
10. 世界の手漉き紙-ネパール・インド
11. 世界の手漉き紙-イタリア
12. 世界の手漉き紙-フランス
13. 機械すき紙-洋紙の原料
14. 機械すき紙-型押し
15. 紙の表情-すき込み
16. 紙の表情-透かし
17. 紙の表情-和紙の形 1
18. 紙の表情-和紙の形 2
19. 紙の表情-洋紙の形 1
20. 紙の表情-洋紙の形 2

#### 素材の引き出し博物館-金属

1. いろいろな金属-鉱石と金属 1
2. いろいろな金属-鉱石と金属 2
3. 金属の表情-表面処理 1
4. 金属の表情-表面処理 2
5. 金属の特性-展延性 1
6. 金属の特性-展延性 2
7. 金属の特性-熱・電気良導性
8. 金工技法 1-接合と切断
9. 金工技法 2-彫金
10. 金工技法 3-鋳金
11. 金工技法 4-鍛金
12. 金工技法 5-鍛造
13. 触れる金属 1-遊ぶ
14. 触れる金属 2-遊ぶ

#### 形の引き出し博物館

1. タネのカタチ 6点

# 丸山直文展 — 後ろの正面

会期：2008年9月27日(土)～11月9日(日) 38日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

助成：財団法人地域創造、財団法人朝日新聞文化財団

協賛：資生堂

協力：シュウゴアーツ

担当学芸員：家村珠代

認定：(社)企業メセナ協議会

本展は、これからの将来性を嘱望される同時代作家の作品を紹介、サポートするシリーズの企画展「青木野枝展」2000年、「小林孝亘展」2004年、「村田朋泰展」2006年に続く第4弾として開催した。

丸山直文は1964年、新潟県生まれ。本展は、国内外で高い評価を得る丸山の約20年の画業を、初期から新作までの絵画で紹介する、美術館ではじめての本格的な個展となった。初期の抽象的な作品と現在の「抽象と具象の共存する絵画」と称される丸山独自の絵画の間に、これまで意識的に発表することを自ら避けてきたシリーズ作品をあえて展示することで、丸山自身の約20年の画業をたどると同時に、日本の絵画の歴史をも再検討する展覧会を試みた。

展示方法としては、同時代を生きる作家の作品を、こどもたちから年配の方まで、幅広い層に親んでもらうために、20年の足跡を7つの空間に分けた。ひとつひとつの部屋に入った瞬間に体感できるように、作品に併せて白い床と白い光をまわしたり、絨毯をはがしコンクリートの床にしたりとさまざまな工夫をこらした。

また、丸山作品は初期から一貫してステイニングといわれる技法で描かれているが、ステイニング技法自体には定着した描き方は無い。丸山の作品を理解する一助として、独自に生み出した丸山のステイニング技法を映像において公開してもらい、アトリエ再現の部屋で常時鑑賞できるようにした。なおこの映像の中では、本展のために描いた新作についても大量のドローイングを交えて制作談を語ってもらった。さらに、ワークショップや対談など、多くの関連催事により作家と直接に接する機会も多く設け、好評を得た。

## ●カタログ

寸法：25×19cm

ページ数：156頁

デザイン：株式会社求龍堂

内容：謝辞／目次／図版／絵の中の自然—丸山直文、微茫画の前と後とで [榎木野衣] / Allowing nature in painting : Naofumi Maruyama before and after bibo-ga [Noi Sawaragi] / 丸山直文と雰囲気的美学 [保坂健二郎] / Maruyama's Paintings and Atmosphere [Kenjiro Hosaka] / 丸山直文の絵画 [家村珠代] / The Paintings by Naofumi Maruyama [Tamayo Iemura] / 略歴／展覧会歴 [家村珠代] / 文献目録 [中島理壽] / カタログ・レゾネ [家村珠代] / 作品目録／奥付

## ●ポスター

サイズ：B2

デザイン：株式会社求龍堂

## ●チラシ

サイズ：A4

デザイン：株式会社求龍堂

## ●関連催事

1 アーティスト対談1

講師：青木淳（建築家）＋丸山直文

10月5日(日) 14:00-16:00

- 2 アーティスト対談2  
講師：杉戸洋（画家）＋丸山直文  
10月19日（日）14：00－16：00
- 3 丸山直文によるギャラリー・トーク  
9月27日（土）、10月18日（土）14：00－15：00
- 4 丸山直文によるワークショップ  
10月11日（土）、12日（日）、13日（月・祝）10：30－16：00
- 5 目黒区内小学校との連携プログラム  
田道小学校への出張授業  
10月31日（金）

●主要関連記事

- 1 菅原教夫「[創造神話] 丸山直文展—浮遊感を生んだ偶然」読売新聞（朝刊）2008年10月16日
- 2 三田晴夫「[アートの風] 丸山直文展—朦朧体の美学を貫いた20年」毎日新聞（夕刊）2008年10月21日
- 3 大西若人「[美術] 丸山直文展／岡崎乾二郎展—色彩の群れ 多層の呼応生む」朝日新聞（夕刊）2008年10月29日
- 4 三田晴夫「市場主導の歪みが露呈した1年」新美術新聞2008年12月11日・21日合併号
- 5 高野清見「[回顧2008アート] 現代美術「街」を刺激」読売新聞（朝刊）2008年12月11日
- 6 [この1年美術] 毎日新聞（夕刊）2008年12月15日
- 7 家村珠代「絵画の可能性の振幅」『STUDIO VOICE』INFAS パブリケーションズ2008年2月1日 Vol.386 pp.124-129
- 8 丸山直文（談）「作家が語った、「区切り」「アート・トップ」」『芸術新聞社』2008年9月号223号 pp.108-111
- 9 青野尚子「夢の中の光景のようににじむ柔らかくて優しい絵。」『HANAKO』マガジンハウス2008年10月9日第21巻19号 P.106
- 10 丸山直文、白坂ゆり「[ARTIST INTERVIEW] つくり続けていたい。自分自身が興奮できる何かを探して。」『美術手帖』美術出版社2008年10月号 Vol.60 No.913 PP.153-167
- 11 児島やよい「Artist の肖像35」『Invitation』ぴあ株式会社2008年11月号 No.68 P.166
- 12 「丸山直文の絵画返照」『芸術新潮』新潮社2008年11月号 第59巻第11号 P.148
- 13 白坂ゆり「ステイニングの魔法 ほんやりといつまでも見ていたい」『Real Design』榎出版社2008年11月号 No.29 第3巻第16号 P.135
- 14 福住廉「滲んだ世界が見せるもの。」『Esquire』エスクァイアマガジンジャパン2008年11月号 Vol.22 No.11 P.51
- 15 山内宏泰「あふれんばかりの色彩に浸る丸山直文個展」『サンデー毎日』毎日新聞社2008年11月16日号 第87巻第50号 P.103
- 16 秋元泰、リリー・フランキー「秋元康流”アートのすすめ”」『美術手帖』美術出版社2008年12月号 Vol.60 No.916 PP.304-307
- 17 児島やよい「『丸山直文展—後ろの正面』：絵画の空間に浸る幸福」『エココロ』エスプレ2008年11月号 P.96
- 18 丸山直文、家村珠代「丸山直文インタビュー」『PILIERS』目黒区美術館2007年11月15日号 No.23,24 pp.4-8
- 19 『新日曜美術館—アートシーン』NHK2008年10月5日



会場風景



B 2 ポスター



## 出品リスト

出品番号	レゾネ番号	作品名	制作年	サイズ	素材	所蔵	展示場所
1	65	untitled	1990	220×569	アクリル、綿布	東京都現代美術館	2F - B 展示室
2	78	leek II	1991	257.5×182.0	アクリル、綿布	作家蔵	2F - B 展示室
3	87	poco a poco	1991	200.0×140.0	アクリル、綿布	小川稔氏蔵	2F - B 展示室
4	93	CAL	1992	259×183	アクリル、綿布	国立国際美術館	2F - B 展示室
5	94	MAS	1992	257.5×182.0	アクリル、綿布	東京国立近代美術館	2F - B 展示室
6	96	albedo	1992	259.5×183.0	アクリル、綿布	個人蔵	2F - B 展示室
7	98	vaporization	1992	295.5×110.0	アクリル、綿布	MTM コレクション	2F - B 展示室
8	101	gray	1992	183×314	アクリル、綿布	いわき市立美術館	2F - B 展示室
9	119	morphogen(ocean)	1993	130.0×130.0	アクリル、綿布	白木聡氏、鎌田道世氏蔵	2F - B 展示室
10	169	room #1	1994	54.0×64.0	アクリル、綿布	竹村隆広氏、美佐紀氏蔵	2F - 展示ロビー
11	170	room #2	1994	54.0×64.0	アクリル、綿布	竹村隆広氏、美佐紀氏蔵	2F - 展示ロビー
12	171	room #3	1994	54.0×65.0	アクリル、綿布	山崎勉氏蔵	2F - 展示ロビー
13	174	room #6	1994	54.0×65.0	アクリル、綿布	個人蔵	2F - 展示ロビー
14	189	room 10:12	1995	53.5×63.0	アクリル、綿布	個人蔵	2F - 展示ロビー
15	194	room 15:02	1995	54.0×66.5	アクリル、綿布	個人蔵	2F - 展示ロビー
16	197	room16:58	1995	53.5×63.0	アクリル、綿布	川村龍俊氏蔵	2F - 展示ロビー
17	198	room 21:44	1995	53.5×63.0	アクリル、綿布	個人蔵	2F - 展示ロビー
18	218	face1	1995	91.0×73.0	アクリル、綿布	作家蔵	2F - C 展示室
19	219	face2	1995	91.0×73.0	アクリル、綿布	作家蔵	2F - C 展示室
20	223	face6	1995	91.0×73.0	アクリル、綿布	作家蔵	2F - C 展示室
21	224	untitled	1995	91.0×73.0	アクリル、綿布	作家蔵	2F - C 展示室
22	225	untitled #14	1995	91.0×73.0	アクリル、綿布	作家蔵	2F - C 展示室
23	246	sachi 2	1996	162×131	アクリル、綿布	個人蔵	2F - C 展示室
24	409	color of river	2003	各113.5×340.0 (2点組)	アクリル、綿布	金沢21世紀美術館	1F - エントランス
25	411	garden3	2003	181.8×227.3	アクリル、綿布	個人蔵	1F - エントランス
26	412	island of mirror	2003	181.8×227.3	アクリル、綿布	高橋コレクション	1F - エントランス
27	414	garden 2	2003	97.0×130.3	アクリル、綿布	大林コレクション	2F - A 展示室
28	415	two shadows	2003	130.3×80.3	アクリル、綿布	加藤充敏氏蔵	2F - A 展示室
29	434	butterflies	2004	181.8×227.3	アクリル、綿布	Flowerman Collection	2F - A 展示室
30	440	breeze of river 2	2004	181.8×227.3	アクリル、綿布	豊田市美術館	2F - A 展示室
31	445	breeze 2	2004	227.3×145.5	アクリル、綿布	豊田市美術館	2F - A 展示室
32	460	wind	2005	146×115	アクリル、綿布	個人蔵	2F - A 展示室
33	464	two evening	2005	80.3×100.0	アクリル、綿布	個人蔵	2F - A 展示室
34	470	day and night	2005	260×130	アクリル、綿布	個人蔵	2F - A 展示室
35	497	meltwater	2008	276×134	アクリル、綿布	資生堂アートハウス	2F - A 展示室
36	501	one evening	2008	291.1×181.8	アクリル、綿布	作家蔵	2F - A 展示室
37	502	appear	2008	183×366	アクリル、綿布	作家蔵	2F - A 展示室
38	503	a void	2008	130.3×194.1	アクリル、綿布	作家蔵	2F - A 展示室
39		untitled	2006	38.0×26.5 (134枚)	アクリル、紙	Flowerman Collection	1F - ワークショップ室
特別出品	498	meltwater 2	2008	276×134	アクリル、綿布	作家蔵	2F - A 展示室前

# 石内都展 ひろしま／ヨコスカ

会期：2008年11月15日(土)～2009年1月11日(日) 43日

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：目黒区美術館

後援：朝日新聞社、目黒区、目黒区教育委員会

企画協力・協賛：集英社

協賛：資生堂、N I K O N、株式会社カシマ、ZEIT-FOTO-SALON

協力：広島平和記念資料館、Photographer's Laboratory、The Third Gallery Aya

担当学芸員：正木基

2005年のベニス・ビエンナーレの日本代表に選出されたほか、国際的な活躍をしている写真作家・石内都氏の初期から現在までの作家自選代表作で、ほぼ全軌跡をたどる構成とした。

今回、彼女自身が自選した作品で再構成するというコンセプトとしたのは、1970年代半ばからの彼女の表現の軌跡をまとめてみる展覧会の企画もなかった上、これまでに刊行した20冊近い写真集の過半も入手集不可能となっていたことから構想された。

そのため、カタログは、雑誌・写真集など印刷物への全発表作並びに個展・グループ展への全発表作、主要執筆文を掲載し、さまざまなジャンルの方々による論文・エッセイ、作家へのロング・インタビューで、まさに全軌跡を把握できるよう編集・刊行した。

多ジャンルの専門家が作家を交えて作品について談義する「特別対談・特別座談会」は、大変好評を博した。リピーターも数多く、5回の座談会全部に参加の方も数人いらしたのは、戦争、性差、社会、高齢化、死生など様々な問題を投げかける彼女の作品の多様な読みの可能性に触発されてのことだろう。

また、閉館後、一般客のいらっしやらない夜間に行われた石内都自身によるギャラリートゥアーは、前半を展示室での解説、後半をラウンジでお茶を飲みながらの質疑応答としたが、参加者の気持ちが解きほぐれ、活発な談義となったことに着目した。

## ●カタログ

寸法：29.7×21.0cm

ページ数：412

デザイン：辻耕

内容：土屋誠一「横須賀」、「私」、「女」、そして「石内都」、出品作品図版、四方田犬彦「広島の聖ヴェロニカ」、与那原恵「娘たち」の桜の木」、発表作品全図版、土屋誠一、与那原恵、正木基「石内都連続インタビュー」(全3回)、展覧会出品記録図版、正木基「「絶唱、横須賀ストーリー」について」、大石真依子「略年譜」「自著」「参考文献」「活動履歴」

## ●ポスター

サイズ：B2 B3

デザイン：辻耕

## ●チラシ

サイズ：A4 (二つ折り)

デザイン：辻耕

## ●関連催事

- 1 特別対談「女性のノと写真」上野千鶴子氏(社会学者、東京大学)+石内都
- 2 特別座談会「石内都論じ尽くし」1、秋山祐徳太子氏(美術家)+建畠哲氏(美術評論家、国立国際美術館館長)(+石内都氏)
- 3 特別座談会「石内都論じ尽くし」2、黒川創氏(小説家)+ヤドランカ・ストヤコヴィッチ氏(歌手・画家)(+石内都氏)
- 4 特別座談会「石内都論じ尽くし」3、香山リカ氏(精神科医、立教大学教授)+山根基世氏(LLP「ことばの杜」代表、アナウンサー)+四方田犬彦氏(映画評論家、明治学院大学教授)
- 5 ギャラリー・ツアー&チャット・タイム「石内都の話し・石内都と話す」

●主要関連記事

- 1 小石勝朗「初期の横須賀から被爆者の衣服まで「変わり目」たどる」、朝日新聞、2008年11月27日
- 2 児玉由紀恵「被爆した遺品「生きてた」、しんぶん赤旗、2008年11月16日
- 3 飯沢耕太郎「この一年 写真 手応え感じる強さ」、毎日新聞、2008年12月3日（夕）
- 4 大西若人「石内都展 ひろしま／ヨコスカ 写真に呼び起こされる「生」、2008年12月3日（夕）
- 5 無署名「卓上四季」、北海道新聞、2008年12月7日
- 6 岸桂子「石内都展 一貫する「時間」の可視性」、毎日新聞、2008年12月9日（夕）
- 7 前田恭二「生の痕跡 重なる思い 石内都展」、読売新聞、2008年12月25日（夕）
- 8 上野修「「ひろしま／ヨコスカ」石内都展」、日本カメラ、2008年12月号
- 9 鳥原学「黒の時代から白の時代へ、写真家の歩みを追体験 石内都展「ひろしま／ヨコスカ」、MUSIC MAGAZINE、2009年2月号
- 10 無署名「invitation book,cd,dvd,movie 石内都のすべてが詰まった圧巻の展覧会カタログ」、芸術新潮、2009年2月号



会場風景



B 3 ポスター



B 2 ポスター

# 出品リスト

## 第一部「風景・「ヨコスカ」から」

### 1、＜絶唱、横須賀ストーリー＞

1976-77年、ゼラチンシルバープリント(ヴィンテージ)、横浜美術館蔵

01~04=L判:80.0×107.0、額装

06~32=M判:45.5×55.7、額装

- 01, #05 野比海岸
- 02, #10 不入斗町
- 03, #72 本町
- 04, #73 大滝町
- 05, #08 大津町
- 06, #09 久里浜
- 07, #11 馬堀海岸
- 08, #14 稲岡町
- 09, #15 汐入町
- 10, #17 追浜本町
- 11, #26 神明町
- 12, #30 本町
- 13, #34 本町
- 14, #35 汐入町蔵
- 15, #42 安浦町蔵
- 16, #45 上町
- 17, #49 日の出町
- 18, #52 船越町
- 19, #54 東逸見町
- 20, #55 東逸見町
- 21, #58 久里浜
- 22, #61 衣笠栄町
- 23, #62 久里浜
- 24, #63 汐入町
- 25, #64 坂本町
- 26, #71 本町
- 27, #80 本町
- 28, #86 林
- 29, #87 長井町
- 30, #98 坂本町
- 31, #105 浦郷町
- 32, #111 長沢

### 2、＜アパートメント＞

1977-78年、ゼラチンシルバープリント(ヴィンテージ)、作家蔵

01~04=L判:77.0×105.0cm、額装

05~21=M判:50.5×63.0cm、木製パネル貼り

- 01, #04 東京・目黒
- 02, #08 東京・蒲田
- 03, #14 東京・大井町
- 04, #45 東京・蒲田
- 05, #01 東京・蒲田
- 06, #06 東京・大森
- 07, #07 横浜
- 08, #10 東京・蒲田
- 09, #12 東京・蒲田
- 10, #17 東京・目黒
- 11, #19 東京・目黒

- 12, #23 東京・大森
- 13, #32 東京・目黒
- 14, #54 東京・代官山
- 15, #55 横浜
- 16, ex #01
- 17, ex #02
- 18, ex #03
- 19, ex #04
- 20, ex #05
- 21, ex #06

### 3、＜連夜の街＞

1978-79年、ゼラチンシルバープリント(ヴィンテージ)、作家蔵

01~04 L:77.0×105.0cm、額装

05~24 M:48.0×58.0cm、木軸パネル

- 01, #02 洞泉町(大和郡山市)
- 02, #59 飛田新地(大阪市)
- 03, #71 橋本(京都府八幡市)
- 04, #85 飛田新地(大阪市)
- 05, #12 中村遊郭(名古屋市)
- 06, #20 安浦(横須賀市)
- 07, #29 宮川町(京都市)
- 08, #52 玉の井(墨田区)
- 09, #55 中書島南新地(京都市)
- 10, #63 橋本(京都府八幡市)
- 11, #66 真金町(横浜市)
- 12, #79 中書島南新地(京都市)
- 13, #01 洲崎(江東区)
- 14, #02 宮川町(京都市)
- 15, #03 洞泉町(大和郡山市)
- 16, ex #08 真金町(横浜市)
- 17, ex #15 中書島(京都市)
- 18, ex #17 鳩の街(墨田区)
- 19, ex #18 巴町(桐生市)
- 20, ex #22 皆ヶ作(横須賀市)
- 21, ex #23 新宿2丁目(新宿区)
- 22, ex #25 皆ヶ作(横須賀市)
- 23, ex #26 橋本(京都府八幡市)
- 24, ex #27 九条(大阪市)

## 第二部「時の身体／身体の時」

### 1、同級生 横須賀市立第二高校39年卒業3年組(横須賀市営臨海公園)

全点=1985年、ボラロイド、74.0×54.5cm、額装、作家蔵

- 01, #02
- 02, #06
- 03, #11
- 04, #12
- 05, #14

### 2、＜1・9・4・7＞

全点=1988-91年、77.0×105.5cm、ゼラチンシルバープリント、額装、東京国立近代美術館蔵

- 01, #09 Pub Manager
- 02, #10 Housewife
- 03, #11 Beauty Salon Assistant
- 04, #12 Clothing Shop Assistant
- 05, #15 Beauty Salon Assistant
- 06, #22 Housewife
- 07, #29 Housewife
- 08, #30 Housewife
- 09, #49 Association Member
- 10, #50 Artist

- 05, #34-1997 illness, 1998年
- 06, #36-1983 illness, 1994年

### 3、<爪>

ゼラチンシルバープリント、フォトアクリル+木製パネル、作家蔵

01 = L判：150.0×100.0cm、

02~10：18.8×27.2×3.0cm

- 01, #01 1961-1991, 1991年
- 02, #14 1953-1991, 1991年
- 03, #22 1945-1994, 1994年
- 04, #36 1948-2000, 2000年
- 05, #37 1953-1991, 1991年
- 06, #38 1966-2000, 2000年
- 07, #40 1941-1991, 1991年
- 08, #43 1961-1991, 1991年
- 09, #46 1941-1991, 1991年
- 10, #51 1963-1991, 1991年

### 5、さわる ChromosomeXY

ゼラチンシルバープリント、額装、作家蔵

01, 02, 05, 06=37.5×52.0cm、

03, 04：53.5×37.5cm

- 01, K.O-No.1, 1995年
- 02, K.O-No.2, 1995年
- 03, S.O-No.1, 1996年
- 04, S.O-No.2, 1996年
- 05, J.D-No.1, 1996年
- 06, P.R-No.1, 1996年

### 6、<BODY&AIR >

1999年、60.0×42.0×4.0cm、ポラロイド、額装、作家蔵

- 01, #3
- 02, #4
- 03, #5
- 04, #8
- 05, #12
- 06, #14
- 07, #16
- 08, #21

### 7、< SCARS >

ゼラチンシルバープリント、額装、東京国立近代美術館蔵

01 ~ 03=157.0×105.0cm、04 ~ 06=108.0×74.0cm

- 01, #26-1961 illness, 1999年
- 02, #27-1977 illness, 1999年
- 03, #28-1984 transplantation, 1999年
- 04, #22-1984 illness, 1996年

### 8、< INNOCENCE >

ゼラチンシルバープリント、額装

L =150.0×100.0cm、横須賀美術館寄託

M =108.0×74.0cm (M06 = Ziet Foto Salon 蔵、その他作家蔵)

S =28.5×42.0cm、作家蔵

L 01, #11, 2006年

L 02, #12, 2003年

M 01, #05, 2001年

M 02, #07, 2007年

M 03, #14, 2006年

M 04, #51, 2004年

M 05, #54, 2004年

M 06, #77, 2006年

S 01, #20, 2007年

S 02, #28, 2003年

S 03, #40, 2003年

S 04, #59, 2006年

## 第三部：不在の肉体・「ひろしま」へ

### 1、< Mother's >

タイプCプリント、ダイレクトプリント、ゼラチンシルバープリント、フォトアクリル

01 ~ 03=150.0×100.0cm、ゼラチンシルバープリント、額装

04=85.0×128.0cm、ゼラチンシルバープリント、額装

05 ~ 10=107.5×74.0cm、ゼラチンシルバープリント、額装

11 ~ 12=107.5×74.0cm、ゼラチンシルバープリント、額装

13 ~ 17=22.0×32.5cm、ゼラチンシルバープリント、額装

01, < Mother's > #38, 東京都写真美術館蔵

02, < Mother's > #39, 東京都写真美術館蔵

03, < Mother's > #49, 東京都写真美術館蔵

04, < Mother's > #52, 東京都写真美術館蔵

05, < Mother's > #08, 東京都写真美術館蔵

06, < Mother's > #18, 横須賀美術館寄託

07, < Mother's > #24, 東京都写真美術館蔵

08, < Mother's > #29, 横須賀美術館寄託

09, < Mother's > #25, 東京都写真美術館蔵

10, < Mother's > #25, 東京都写真美術館蔵

11, < Mother's > #03, 東京都写真美術館蔵

12, < Mother's > #19, 横須賀美術館寄託

13, < Mother's > #37, 東京都写真美術館蔵

14, < Mother's > #42, 横須賀美術館寄託

15, < Mother's > #43, 横須賀美術館寄託

16, < Mother's > #48, 横須賀美術館寄託

17, < Mother's > #65, 横須賀美術館寄託

## 2、<ひろしま>

2007-2008年、タイプCプリント、額装

LL-01~02=185.0×74.0cm、

L-03~05=154.0×100.0cm、

M-01~16=108.0×74.0cm(M-10のみ95.5×74.0cm)、

S-01~09=33.5×23.0cm

- |        |     |                                |
|--------|-----|--------------------------------|
| LL-01, | #09 | ワンピース(寄贈:小川リツ)                 |
| LL-02, | #67 | ワンピース                          |
| L-03,  | #05 | ワンピース                          |
| L-04,  | #07 | ワンピース(寄贈:高橋二葉)                 |
| L-05,  | #71 | ワンピース                          |
| M-01,  | #11 | ワンピース(寄贈:原田充子)                 |
| M-02,  | #16 | スカート(寄贈:山根三恵子)                 |
| M-03,  | #19 | 防空頭巾(寄贈:塚本ハナヨ)                 |
| M-04,  | #21 | セーラー服(寄贈:瀬川真澄)                 |
| M-05,  | #23 | ズボン(寄贈:小島敏郎)装                  |
| M-06,  | #24 | 上着                             |
| M-07,  | #27 | 学生服(寄贈:近重良恵)                   |
| M-08,  | #30 | シュミーズ(寄贈:原田充子)                 |
| M-09,  | #33 | 防空頭巾(寄贈:西本ユキ)                  |
| M-10,  | #43 | スカート(寄贈:山根三恵子)                 |
| M-11,  | #44 | 子供のワンピース(寄贈:金橋勝子)              |
| M-12,  | #45 | ワンピース(寄贈:高橋二葉)装                |
| M-13,  | #46 | 黒い模様が焼け抜けているブラウス<br>(寄贈:久保高園枝) |
| M-14,  | #52 | 下着(寄贈:瀬川真澄)                    |
| M-15,  | #65 | 下着(寄贈:瀬川真澄)                    |
| M-16,  | #69 | ブラウス(寄贈:安部初子)                  |
| S-01,  | #34 | 化粧水瓶                           |
| S-02,  | #35 | 入れ歯                            |
| S-03,  | #36 | 櫛装                             |
| S-04,  | #38 | 腕時計(寄贈:松本幸子)                   |
| S-05,  | #41 | 靴下(寄贈:川向榮子)                    |
| S-06,  | #54 | 軍足(寄贈:中村良人)                    |
| S-07,  | #58 | メガネ(寄贈:平柿アヤノ)                  |
| S-08,  | #60 | 靴下(寄贈:安部初子)                    |
| S-09,  | #61 | 手袋(原田充子)                       |

## 映像作品

- 1、「DETAIL-W」 2007年、5min.57sec、ビデオ映像(DVD 放映)
- 2、「Mother's 2005」、2005年、10min.58sec、サウンド、ビデオ映像(DVD 放映)
- 3、「Detail R-Old fashioned Silk 1936」、2006年、8min.20sec、ビデオ映像(DVD 放映)
- 4、「Strings of ひろしま」、12min.12sec、2008年、ビデオ映像(DVD 放映)

# めぐろの子どもたち展

平成20年度目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会

会期：2009年1月17日(土)～2月1日(日) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、  
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：佐川夕子

同時開催：中国北京市崇文区 児童・生徒書画作品展

本展は、目黒区立の幼稚園・小学校・中学校（特別支援学級を含む）の幼児・児童・生徒が平成20年度に授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を陶冶することを目的に開催した。

また、同時に区民ギャラリーで、北京市州崇文区の児童・生徒書画作品展を開催した。

## ●リーフレット

寸法：A3（六つ折り）

内容：ごあいさつ（主催者）／特別支援学級／幼稚園／小学校・図工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／中国北京市崇文区児童・生徒書画作品展／展示室案内

## ●ポスター

サイズ：B3

## ●出品数：3,851点

（内訳・・・幼稚園：38点 小学校：2,323点 中学校：904点 特別支援学級：520点 崇文区：66点）



B3ポスター

# 祝祭の衣装展 — ロココ時代のフランス宮廷を中心に

会期：2009年2月11日(水・祝)～3月29日(日) (41日間)

会場：展示室 A、B、C、展示ロビー、エントランスホール

主催：目黒区美術館

特別協力：神戸ファッション美術館

展示協力：大阪樟蔭女子大学／杉野学園

担当学芸員：矢内みどり

人は古くから祝いや祭りの時には特別な衣裳を身に着けてきました。それはさまざまな意味を込めた装いであり、生きることの喜び哀しみを多くの人と分かち合い、幸多かれという祈りの心を表したものであります。本展では、神戸ファッション美術館の協力により、近年生誕250年を迎えたフランス最後の王妃マリー・アントワネットにもかかわりの深いロココ時代のフランス宮廷を中心に、エンパイヤスタイルなどの華やかな衣裳や扇などの小物をさまざまな場面ごとに展示することで、時代の理想像、美の規範、身体表現の変遷など多くのことを明らかにしました。

## ●カタログ

寸法：B 5

ページ数：116ページ

内容：謝辞／目次／ごあいさつ／祝祭の衣装展 ロココ時代のフランス宮廷を中心に[矢内みどり]／祝祭の衣装展 20の小さな物語[浜田久仁雄]／フランス式生活芸術の基盤ができあがった時代[北山晴一]／図版／ローヴ・ア・ラ・フランセーズを復元して[伊豆原月絵]／華やぎの扇 ロココからエンパイヤ [津田紀代]／ロココのメークアップ&ヘアモード [津田紀代]／関連年表 [津田紀代]／用語解説 [浜田久仁雄]／出品リスト

デザイン：山本保夫

## ●ポスター

サイズ：B 2／B 3

デザイン：山本保夫

## ●チラシ 庭園美術館との共通

サイズ：A 4

デザイン：山本保夫

## ●関連催事

\*講演会「ロココからエンパイヤ・スタイルのフランス宮廷衣装」

2月11日(水・祝) 14:00～

講師：浜田久仁雄(神戸ファッション美術館主任学芸員)

\*ミュージアム・コンサート「ヴェルサイユの調べ ロココの時代の音楽とお話」

2月20日(金) 19:00～

出演 ソプラノ：池田理代子(声楽家・劇画家)

バリトン：村田孝高

フルート：中村忠

ピアノ：黒木直子

\*めぐろアートウィーク参加事業「学芸員によるギャラリーツアー」

2月24日(火)および3月3日(火)

14:00～



B 2 ポスター



## 出品リスト

番号	作品名	制作年	制作地	素材・技巧
1	ローブ・ヴォラント robe volante	1730-1735年頃 c.1730-1735	フランス France	シルクダマスク silk damask
2-1	ジレ gilet (vest)	1740年頃 c.1740	フランス or イタリア France or Italy	シルクベルベット silk velvet
2-2	シャツ shirt	18世紀 18c	イギリス Britain	コットン cotton
2-3	キュロット culotte (pants)	1785年頃 c.1785	イタリア or フランス Italy or France	シルクカヌレ silk cannel_ weave
3	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1730-1745年頃 c.1730-1745	フランス France	シルクブローケード silk brocade
4	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la française	1740年頃 c.1740	フランス France	シルクブローケード silk brocade
5	コルセット corset	1760-70年頃 c.1760-70	イタリア Italy	シルクブローケード silk brocade
6	コルセット corset	1750年代 1750s	フランス France	シルク silk
7	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1740-1750年頃 c.1740-1750	フランス France	シルクダマスク silk damask
8	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1745-1750年頃 c.1745-1750	フランス France	シルクブローケード silk brocade
9	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1770-75年頃 c.1770-75	フランス France	シルクブローケード silk brocade
10	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la français	1770年頃 c.1770	フランス France	シルクブローケード silk brocade
11	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1770-75年頃 c.1770-75	フランス France	シルクブローケード silk brocade
12	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1770年頃 c.1770	フランス France	シルクブローケード silk brocade
13	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la français	1770-75年頃	フランス France	シルクベルベット silk velvet
14	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1770年頃 (生地は1740-50年頃) c.1770 (textile:c.1740-50)	フランス France	シルクカヌレ silk cannelé weave
15-1	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la français	1780-1805年頃 c.1780-1805	イギリス Britain	シルクサテン; 刺繍 silk satin; embroidery
15-2	ジレ(ベスト) gilet (vest)	1780-1805年頃 c.1780-1805	イギリス Britain	シルクサテン; 刺繍 silk satin; embroidery
16	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la française	1780-90年頃 c.1780-90	フランス France	シルク; 刺繍 silk; embroidery
17	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1765年頃 c.1765	イギリス Britain	シルクブローケード silk brocade
18	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1770-75年頃 c.1770-75	フランス France	シルクブローケード silk brocade
19	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1760年頃 c.1760	フランス France	シルクブローケード silk brocade
20	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la française	1785年頃 c.1785	フランス France	シルクベルベット silk velvet
21	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1770年頃 c.1770	イギリス Britain	シルクブローケード silk brocade
22	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la française	1780年頃 c.1780	イタリア Italy	シルク; 刺繍 silk; embroidery
23	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1760年頃 c.1760	フランス France	シルクダマスク silk damask
24	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la française	1780-90年頃 c.1780-90	フランス France	シルクベルベット; 刺繍 silk velvet; embroidery
25	ローブ・ア・ラ・フランセーズ robe à la française	1770年頃 c.1770	フランス France	シルクブローケード silk brocade
26	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la française	1760-70年頃 c.1760-70	フランス France	シルクドロゲ silk droguet
27-1	カザカン casaquin	1760年頃 c.1760	フランス France	シルクブローケード silk brocade

番号	作品名	制作年	制作地	素材・技巧
27-2	ベティコート petticoat	1760年頃 c.1760	フランス France	シルクブローケード silk brocade
28-1	アビ・ア・ラ・フランセーズ habit à la française	1780-90年頃 c.1780-90	フランス France	シルクベルベット;刺繍 silk velvet;embroidery
28-2	ジレ gilet(vest)	1780-90年頃 c.1780-90	フランス France	シルクブローケード;刺繍 silk brocade;embroidery
29	ロブ・ア・ラ・ポロネーズ robe à la polonaise	1775-80年頃 c.1775-80	イギリス Britain	シルク silk
30	ロブ・ア・ラングレーズ robe à l'anglaise	1785年頃 (生地は1760年代) c.1785(textile:1760s)	イギリス Britain	シルクダマスク silk damask
31	ロブ・ルトゥルセ・ダン・レ・ポッシュ robe retroussée dans les poches	1780年頃 c.1780	フランス France	シネ・ア・ラ・ブランシュ chiné à la branche
32	シュミーズ・ドレス chemise dress	1805年頃 c.1805	アメリカ or イギリス U.S.A or Britain	コットンモスリン;刺繍 cotton musline;embroidery
33-1	シュミーズ・ドレス chemise dress	1800-05年頃 c.1800-05	フランス France	コットンモスリン;刺繍 cotton musline;embroidery
33-2	スペンサー spencer(jacket)	1800年頃 c.1800	フランス France	コットン cotton
34	大儀礼服(復元)(皇后ジョゼフィーヌ) Le Grand costume du couronnement d'impératrice Joséphine(La reconstruction)	1993-95年 c.1993-95	アトリエ・ブロカール(パリ) Atelier Brocard(Paris)	シルクサテン、シルクベルベット、金糸、 金モール(平金糸)、オコジョ(白テン)の毛 皮、ウサギの毛皮、銀、ジルコン他
35	大儀礼服(復元)(ロッシュフルコー夫人) Le Grand costume du couronnement de Mme Rochefoucauld(La reconstruction)	1993-95年 c.1993-95	アトリエ・ブロカール(パリ) Atelier Brocard(Paris)	シルクサテン、シルクベルベット、金糸、 金モール(平金糸)
36	大儀礼服(復元)(ラ・ヴァレット夫人) Le Grand costume du couronnement de Mme La Valette(La reconstruction)	1993-95年 c.1993-95	アトリエ・ブロカール(パリ) Atelier Brocard(Paris)	シルクサテン、シルクベルベット、金糸、 金モール(平金糸)
F1	扇 Fan	1710-20年頃 c.1710-20	フランス France	面:羊皮紙にグワッシュ、柄と骨:象牙 lambskin painted in gouache, sticks and guards of ivory
F2	扇 Fan	1720-30年頃 c.1720-30	フランス France	ブリゼ、象牙に彩色、べっ甲細工、ベルニ ーマルタン ivory brisé painted in colours, tortoiseshellwork, vernis martin
F3	扇 Fan	1730年頃 c.1730	フランス France	象牙のブリゼ、ベルニーマルタン ivory brisé, vernis martin
F4	扇 Fan	1730年頃 c.1730	フランス France	象牙のブリゼ、ベルニーマルタン ivory brisé, vernis martin
F5	扇 Fan	1750年頃 c.1750	フランス France	面:リネンのメッシュ、紙にグワッシュ、 柄と骨:象牙 meshed linen, applied paper, painted in gouache
F6	扇 Fan	1750年頃 c.1750	イギリス or オランダ Britain or Nederland	面:紙に彩色、柄と骨:象牙 painted paper, sticks and guards of ivory
F7	扇 Fan	1750年頃 c.1750	ヨーロッパ Europe	面:羊皮紙に彩色、柄と骨:象牙 painted lambskin, sticks and guards of ivory
F8	扇 Fan	1760年頃 c.1760	フランス France	面:紙に彩色、柄と骨:象牙 painted paper, sticks and guards of ivory
F9	扇 Fan	1760-70年頃 c.1760-70	フランス France	面:羊皮紙に版画、柄と骨:象牙 printed lambskin, sticks and guards of ivory
F10	扇 Fan	1760-70年頃 c.1760-70	フランス France	面:紙に彩色、柄と骨:象牙 painted paper, sticks and guards of ivory
F11	扇 Fan	1770年頃 c.1770	フランス France	面:シルク地に彩色、銀糸刺繍とシークイ ンの装飾、柄と骨:べっ甲 painted silk, embroidered with silver thread and sequins, sticks and guards of tortoiseshell
F12	扇 Fan	1770年頃 c.1770	フランス France	面:紙に彩色、柄と骨:木製 painted paper, sticks and guards of wood

## 出品リスト

番号	作品名	制作年	制作地	素材・技巧
F13	扇 Fan	1770-75年頃 c.1770-75	フランス France	面：紙に彩色、柄と骨：象牙 painted paper, sticks and guards of ivory
F14	扇 Fan	1770-80年頃 c.1770-80	フランス France	面：シルク地に彩色、金糸刺繍とシークインの装飾、柄と骨：象牙 painted silk, embroidered with gold thread and sequins, sticks and guards of ivory
F15	扇 Fan	1770-80年頃 c.1770-80	オランダ or イギリス Nederland or Britain	面：紙にグワッシュ、柄と骨：象牙(18世紀初頭) paper painted in gouache, sticks and guards of ivory (early 18th century)
F16	扇 Fan	1770-80年頃 c.1770-80	フランス France	面：シルク地に彩色、金糸刺繍とシークイン装飾、柄と骨：象牙 painted silk, embroidered with gold thread and sequins, sticks and guards of ivory
F17	扇 Fan	1770-80年頃 c.1770-80	ヨーロッパ Europe	面：紙に彩色、柄と骨：象牙 painted paper, sticks and guards of ivory
F18	扇 Fan	1770-80年頃 c.1770-80	ヨーロッパ Europe	面：紙に彩色、ガラス、柄と骨：象牙 painted paper with a glass, sticks and guards of ivory
F19	扇 Fan	1770-80年頃 c.1770-80	ヨーロッパ Europe	面：羊皮紙に彩色、柄と骨：象牙 painted lambskin, sticks and guards of ivory
F20	扇 Fan	1783年頃 c.1783	フランス France	面：紙に彩色、柄と骨：木製 painted paper, sticks and guards of wood
F21	扇 Fan	1790-95年頃 c.1790-95	フランス or オーストリア France or Austria	面：紙に彩色、柄と骨：象牙 painted paper, grisaille, sticks and guards of ivory
F22	扇 Fan	18世紀 18th century	中国 China	ブリゼ、象牙に彩色 ivory brisé painted in gold and colours
F23	扇 Fan	18世紀 18th century	オランダ Nederland	面：紙に彩色、真珠層の装飾、柄と骨：べっ甲 painted paper applied mother-of-pearl, sticks and guards of tortoiseshell
F24	扇 Fan	18世紀末 late 18th century	扇面 / イタリア 柄と骨 / イギリス Italy and Britain	面：紙に彩色、柄と骨：象牙 painted paper (Italy), sticks and guards of ivory (Britain)
F25	扇 Fan	1800年頃 c.1800	扇面 / イタリア 柄と骨 / イギリス or フランス Italy and Britain or France	面：皮に彩色、柄と骨：象牙(1760年頃) painted leather (Italy), sticks and guards of ivory (Britain or France, c.1760)
F26	扇 Fan	1805-60年頃 c.1805-60	扇面 / ベルギー 柄と骨 / フランス Belgium and France	面：ブリュッセル・レース、柄と骨：象牙 Brussels lace, sticks and guards of ivory
F27	扇 Fan	1815-20年頃 c.1815-20	イタリア Italy	銀のブリゼ silver brisé
F28	扇 Fan	1830年頃 c.1830	フランス France	面：紙に彩色、柄と骨：べっ甲 painted paper, sticks and guards of tortoiseshell
F29	扇 Fan	19世紀初期 early 19th century	イタリア Italy	面：白鳥の皮に彩色、柄と骨：象牙 swan-leather leaf painted in watercolours, sticks and guards of ivory
F30	扇 Fan	1830-40年頃 c.1830-40	フランス France	面：紙に彩色、柄と骨：真珠層 painted paper, sticks and guards of mother-of-pearl

## Ⅱ．教育普及事業

### (1) ワークショップ活動

#### 【平成18（2006）年度】

##### ①ミクロとマクロの探検隊

同時期開催の「熊田千佳慕」展 ～花、虫、スローライフの輝き～ と緩やかに関係しながら、小さなモノに対する視線をクローズアップして、視ることを確認するためのプログラムを企画した。

##### <おとなのワークショップ>

###### ア. 見えないものを視る 私のアート・ブック

講師：山田愛子（美術家）

開催日：7月15日（土）、17日（月・祝）、28日（金）、  
8月11日（金）、19日（土）、20日（日） 全6日間

参加者：高校生以上 20人

身近なものから小さな世界を見るワークショップは、“見ること意識”し、クローズアップの視線を取り入れて、自然やモノを観察することからはじめた。次にデカルコマニー、コラージュ、ドローイングなどいくつかの表現手法を試しながら、自分の感覚的なイメージと、気に入った表現方法を決定した。数日間に渡る“視覚のトレーニング”を繰り返していくと、“見る”行為は次第に“視る”ことになる。自分の生活を表すようにつくりあげた自分だけのアート・ブックは多種多様に出来上がった。



①ーア

##### <驚異のミクロン・ワークショップ>

###### イ. 土に生きる・水に生きる 命のミクロコスモス

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）

開催日：8月2日（水）、3日（木）、4日（金） 全3日間

参加者：小学生以上一般 30人

美術館の隣にある下目黒小学校を訪れ、ビオ・トープを見学。池に集うトンボや蛙、ミジンコなどの生物や、花壇に生えている草花をスケッチした。また区民センターの土を「土壌生物を観察するツルグレン装置」にかけ、実体顕微鏡を用いて20倍に拡大して観察。ダブル・プレパラートと名付けたオリジナル標本も制作した。そこで発見したミクロの世界をグループで大きな紙に描いた。



①ーイ

###### ウ. 昆虫王国 ごちそうの法則

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）

特別講師：永田文男（工学博士）

開催日：8月9日（水）、10日（木）、11日（金）、16日（水）  
午前10時30分～午後4時30分 全4日間

参加者：小学生以上一般 19人

命は命を食べて生きている。<昆虫レストラン>のドローイングを描き、葉脈や花びらなどの形を研究しながら、植物の命の形をテーマに小さなオブジェを制作した。2日目には、工学博士の永田先生を迎え、植物、昆虫など生物の形をレクチャーしていただく。さらに走査型電子顕微鏡を使用し、参加者のリクエスト「ユリの花粉」「羊の原毛」「トカゲのしっぽ」など、肉眼では見えない世界に迫った。命について考えるワークショップとなった。



①ーウ

## <身近なマイクロ・ワールド>

### エ. 虹色の葉脈迷路

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）  
開催日：7月28日（金）  
参加者：小学生以上中学生 27人

身近なところから小さな世界を見つけるワークショップを開催。熊田展鑑賞後、葉っぱをじっくり観察して、マイクロの世界を体験した。その後、クレヨンと絵具を塗った層を刻みながら葉脈もモチーフとした迷路をつくって楽しんだ。



①-エ

### オ. スーパー・マイクロ・ギャラクシー 宇宙へのジャンプ

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）  
開催日：8月18日（金）  
参加者：小学生以上中学生まで 31人

顕微鏡で拡大された世界から、宇宙と結び出すような視点を楽しむワークショップを開催。黒ラシャ紙に針で穴を開け、点描でオリジナル銀河や星座模様をつくったり、タネや葉っぱなどをスライドに挟み込んで投影。さらに宇宙の外から細胞の中まで旅をするチャールズ&レイ・イームズの短編映画「パワーズ・オブ・テン」を鑑賞した。



①-オ

### カ. 絵の中のマイクロとマクロ アリの眼でみる美術館

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）  
開催日：9月2日（土）  
参加者：小学生以上中学生 27人

「熊田千佳慕」展の作品を見ながら、全員でアリの気持ちを含んで話し合い、一つの物語につなげて「アリンコ・メグの冒険」と題した絵を描いた。家にいるところ、旅の支度、出発、冒険のおおまかなストーリーだけを決め、各自で様々な場面を制作、ワークショップの壁一面に、異時同図の作品が出来上がった。



①-カ

## <ファミリーワークショップ>

### キ. 葉っぱ、はっぱの不思議な絵本

進行：TVT（トイコレクション・ボランティア・チーム）  
開催日：7月29日（土）、30日（日）全2日間  
参加者：4歳以上の2人一組の家族16組

自然の中にある、身近で面白い形のモノのひとつが馴染みのある“葉っぱ”。みんなで葉っぱを持ち寄り、よく観察することから始まった。その葉っぱを紙の上に載せ、ダマトグラフを使い、葉っぱの形や葉脈をフロッタージュで浮き上がらせる。さらに絵本のベースになる台紙に切って貼り、新たにフロッタージュをしながら物語を展開。横長に続くもの、縦に貼り合わせたものなど、カラフルで不思議な仕掛け絵本が出来上がった。



①-キ

### ク. <遊びの広場> リング・リングー花と虫の首飾り

開催日：7月23日、26～27日、8月5日、12日、17日、  
23～27日、30～9月1日、3日 計15日  
参加者：430人

身近な花や昆虫を色紙やカットシートと色とりどりの毛糸を組み合わせて、首飾り・腕飾りを作って楽しんだ。展示で見たもの、身近な生命が、身体のまわりで踊るようなカラフルな装飾がたくさん出来上がった。



①-ク

## ②ワークショップ シリーズ「古典技法への旅」

### ア. 決定版「ラピスラズリからウルトラマリンブルーをつくる」

講師：石原靖夫（美術家）

開催日：7月2日（日）、9日（日）、16日（日）、8月6日（日）、  
13日（日） 全5日間

参加者：大学生以上 20人

3回目になるウルトラマリンブルーの顔料制作、チェンニーノ・チェンニーニの技法書に沿って進めていく。今回は、いままで読み切れなかった部分が明快になり、さらに深化したかたちとなり、これまでで最も青く美しい顔料、ウルトラマリンブルーが完成した。



②-ア

## ③〈場所〉と〈時間〉に出会う連続ワークショップ《アート・ピクニック》

### ア. “わたし” から鎌倉まで、目黒まで

講師：捧志朗（美術家）

開催日：11月18日（土）目黒区美術館  
26日（日）円覚寺／壽徳庵  
12月10日（日）目黒区総合庁舎

参加者：中学生以上 13人

捧志朗氏を講師に向かえ、時間や場所に対する自分の感覚を意識的に考えて、新たな発見を獲得していくシリーズの2回目。今回は、自分の家から捧さんの個展が行われる北鎌倉の円覚寺／壽徳庵まで遠足し、出発してから帰宅するまでに出会った色や形、そして心の変化を手がかりに、時間と場所を意識する。自分の感覚に向き合いイメージを広げ、日常の見方を変えるアート・ピクニックとなった。



③-ア

## 春のワークショップ

## ④からだのワークショップⅢ<三鷹天命反転住宅>でみつける私の“からだ”

(同時開催 チェコ絵本とアニメーションの世界)

### ア. 瞬間をつかまえる一風通しの良い“からだ”

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）

開催日：3月17日（土）、18日（日）、21日（水・祝）、  
4月1日（日）、7日（土） 全5日間

参加者：小学生5以上 26人

場所：1, 3, 5日目／三鷹天命反転住宅  
2, 4日目／目黒区美術館

協力：ABRF. アートアンリミテッド

芸術家、荒川修作とマドリン・ギンズが制作した三鷹天命反転住宅と目黒区美術館を使い、体験の反響により場所が身体に働きかけてくる力と、自らが能動的に場所と関わるアプローチを繰り返しながら、自身の新しい身体を発見するワークショップを開催した。参加者同士の意見交換しながら体験を振り返る時間と身体を動かすエクササイズを取り入れながら、最終的には三鷹天命反転住宅で身体表現を行うと、参加者全員とまわりの空間とに不思議な一体感が生まれた。



A 4 チラシ



④-ア

#### イ. めざめよ！—たっぷり遊んで、よろこぶ “からだ”

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）  
開催日：3月27日（火）、29日（木）30日（金） 全3日間  
参加者：新小学1年生以上 31人  
場所：1, 2日目 / 三鷹天命反転住宅  
3日目 / 目黒区美術館

1日目は三鷹天命反転住宅の空間と出会い、子どもも大人も大はしゃぎ。2日目は1日目の体験からそれぞれが考え出した遊び方や過ごし方を実行。そして3日目は体験を振り返り、印象や思い出を絵と言葉で描いた。大人も童心に返り、低学年の子供たちと一緒に遊んだコースとなった。



④—イ

## 【平成19（2007）年度】

### ①アート・ピクニック

#### ア. もう一つの風景：“ここ”という場所選び

講師：棒公志朗（美術家）  
開催日：5月13日（日）、27日（日）  
1日目 / 目黒区民センター社会教育館  
2日目 / オーネ・マノクロザス（飯能市）  
参加者：24人

2007年春より新たに、目黒区美術館とオーネ・マノクロザスを基点とし、都市と自然を行き来するスタイルのアート・ピクニックを始めた。基本的には1日目を目黒区美術館で（展覧会開催期間は目黒区社会教育館を使用）、二日目はオーネ・マノクロザスで行い、ワークショップ終了後はそれぞれの日常をアート・ピクニックとして振り返り、出会ったことを書いたシートを美術館に送付。ドキュメントと合わせてまとめ、ピクニック通信として発行を行う。このスタイルは2年間/4回実施の予定で、参加者の中に自身のアート・ピクニックを想像することを目的にスタートした。

第一回目は間野黒指（まのくろざす）の里山を舞台に、自分だけの場所をさがし、その場所に名前をつけ、名札を制作。それらをまとめ、もう一つの風景マップをつくった。



コンセプトシート



①—ア

#### イ. 環境と私—空を眺めて

講師：棒公志朗（美術家）  
開催日：5月11日（日）、25日（日）  
1日目 / 目黒区民センター社会教育館  
2日目 / オーネ・マノクロザス（飯能市）  
参加者：25人

アート・ピクニックの第二回目は、生活環境の中から自分のリアリティを再確認するため、日々、時間の変化により刻々と変化する空の色に注目した。1日目は、空の色に注目するためのカラーチップを制作。完成した200色を「空色パレット」と称した。参加者は自宅でも2週間空を眺め続けた中で、一日ごとの空色に一番近いと思われる色を空色パレットから選び、各自の空色日記を付ける。2日目はオーネ・マノクロザスでは開催された東かおりさんの展覧会「空暦」を鑑賞しながら、参加者全員の見続けた空の色を振り返った。



①—イ

## ②線の迷宮<ラビリンス>Ⅱ—鉛筆と黒鉛の旋律

\*同名の展覧会と同時に開催 (P.60)

### ア. 鉛筆のカー—自分の内面を描く

講師：木下晋 (美術家・出品作家)

開催日：7月28日(土)、29日(日)、8月5日(日)、18日(土)  
全4日間

参加者：高校生以上25人

自分の想いが込められたモノや思い出が残っている品物をモチーフに、気持ちを伝える表現を行うため、9Bから9Hまで20種類の鉛筆を使って、本格的な絵画に取り組んだ。単なる素描ではなく、自分の表現として鉛筆を使うワークショップは、サラサラ、カサカサという音が部屋の中に響きわたる中、静かな時の流れが感じられた。技術ではなく心の内面に触れる木下さんの言葉に刺激された参加者は、この場所の良い緊張感の中、次第に作品の密度が濃くなっていくのを感じた。



②—ア

### イ. 無限風景画3—世界をつなぐ小川信治の作品に参加

講師：小川信治 (美術家・出品作家)

開催日：8月2日(木)、3日(金)、7日(火) 全3日間

参加者：小学3年生以上19人

過去、他の美術館でも行われている小川さんのコンセプトに基づく「無限風景画」は、参加者とのコラボレーション作品である。小川さんの選んだ20枚の写真と、参加者が持参する1枚の写真、計21枚の図版から、気になる要素やパーツを選び出し、それらを組み合わせた想像の世界を描く。描かれた参加者の作品と作品の間を小川さんがつなげて完成させるプロジェクトである。今回の作品は、「鉛筆での制作」そして「大人から子どもまで幅広い年齢層の参加」を希望した。こうして完成した直径4メートルもの作品は、ワークショップに展示した。



②—イ

### ウ. 鉛筆の美しさ・力強さ—抽象描写

講師：関根直子 (美術家・出品作家)

開催日：8月26日(日)、9月1日(土) 全2日間

参加者：中学生以上20人

作家独自による、自分の内面から浮き出てくる抽象表現にチャレンジするコースを開催。鉛筆表現の可能性を、3種類の鉛筆で引き出す。あらかじめ用意した立方体、三角錐、四角錐などの小さな箱を、1~3個選び、最初は箱に自由に絵を描くところからスタート。それを支持体となる台紙に貼りつけ、箱の線を台紙の上へと増殖させてゆく。きっかけである立体からの線は、次から次へと線や形を誘発してゆく。鉛筆の使い方や表現の可能性が引き出されたワークショップとなった。



②—ウ

## <1日ワークショップ>

### エ. ブラックな光100%—鉛筆でぬりこめ、かきこめ

講師：榎本寿紀 (ワークショップ・エドゥケーター)

開催日：7月15日(日) 10時30分から4時30分

参加者：小学3年生以上 23人

白い紙や布で凹凸をつくり、自然光と照明を組み合わせ、微妙な光を演出し、光の強弱や方向をいかに鉛筆で表現するかを各自で工夫した。展示室の作品から、グラデーション効果や繊細で独特なタッチを取り込むため、展示室との往復を繰り返した。すると鉛筆ならではの描き方に気付くと同時に、微細な光を表現する作品が完成した。



②—エ



### <1日ワークショップ>

#### オ. こいつはすごい！—見たことない鉛筆の世界

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エディケーター）  
開催日：7月22日（日）  
参加者：小中学生 14人

まる1日中、展示室で過ごすワークショップを開催。好きな作品を選び、さらにその作品の魅力に迫るため、その作品をじっくり見る、そして描く。一度鉛筆で画面を真っ黒にしてから消しゴムで消しながら描く方法を試したり、近くに寄った時に見える線の集まりと離れてみる全体のイメージを比べたりと、作品と集中して向き合った1日となった。



②ーオ

### <1日ワークショップ>

#### カ. まっ黒な指10本—宇宙を描く

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エディケーター）  
開催日：8月16日（木）  
参加者：小中学生 33人

無限に広がる大宇宙をテーマに、鉛筆をアクションペインティングのように、ダイナミックに用いて描いたコースを開催。鉛筆の持ち方や力の入れ具合を、色々試しながら、手が真っ黒になるまで、元氣よく描くと、手も足もあつという間に真っ黒になった。



②ーカ

### <1日ワークショップ>

#### キ. 私の記憶—身体の部分を描く

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エディケーター）  
開催日：9月2日（日）  
参加者：中学生以上 8人

鉛筆ならではの表現を展示室でじっくり見た後、自分の身体を描いたコース。自分の身体が好きなところ、嫌いなところを、いつもとは違い視点で描きながら、自分の身体と対峙した。



②ーキ

### <ファミリーワークショップ>

#### ク. なが〜い紙、テカテカピカピカ鉛筆で遊ぼう！

進行：トイコレクション・ボランティアチーム  
開催日：7月21日（土）、22日（日） 全2日間  
参加者：4歳以上の二人一組の家族 13組26人

1日目は鉛筆になれるため、線を重ね合わせる、テカテカに光るように擦る、黒くした画面を消しゴムで白く描くなど、描いて遊び、トリミングして並べて見た。そして2日目は、1本の長い線を発展させて、絵巻物を描いた。



②ーク

#### ケ. <遊びの広場> 日がわり・鉛筆・アラカルト

開催日：7月14日、20日、26～27日、8月4日、10～11日、  
23～25日、30～31日、9月8～9日 計14日間  
参加者：682人

鉛筆を楽しむために、3つのメニューを用意した。「こげパン サンドイッチ」は、黒い紙に微妙なこげ具合を描くもの（鉛筆が光ってみえる）。「自分・福笑い」は、鏡を見ながらの自画像を描き、切り離して福笑いのパーツを作るというもの。「ぬるぬるぬり絵」は、単純な線や形の描かれたカードを基に、ピカピカに光らせたり、かさかさとして描いてみたり、鉛筆の濃淡を楽しむもの。参加者は、鉛筆の表情を十分に楽しんだ。



②ーケ

#### 春のワークショップ

##### ③色の博物誌シリーズ 絵を見るために

###### ア. 白塗りカオカオ星人、また登場！

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エドゥケーター）  
開催日：2月11日（月・祝）  
参加者：新小学1年生以上 13人

同時開催の美人画「山本武夫」展を鑑賞するワークショップを開催。午前中はじっくり作品を見ながら、感想を述べ合う。そして午後は顔を白く塗って再び展示室へ。展示室内で好きな作品と同じ顔、ポーズを取りながらデジタルカメラで撮影をする。迎えに来た保護者とともに、壁に大きく投影されたカオカオ星人と作品を楽しみ、最後にもう一度展示室へ行く。子供のほうから保護者に話しかける姿が見られる作品鑑賞型のワークショップとなった。



③ーア

###### イ. オシャレに色を楽しもう！

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エドゥケーター）  
開催日：3月20日（木・祝）  
参加者：新小学1年生から中学生 26人

同時開催の「山本武夫」展を鑑賞し、歌舞伎や舞台美術や衣装、そして資生堂でのグラフィック作品の仕事を見ながら、自分の好きな色や服について話し合った。そして色の組み合わせを考えながら、帽子やスカート、アクセサリーなどのアイテムを制作。カラフルな色を切ったり貼ったりしながら、最後はファッションショーを行った。帰りがけには迎えに来た保護者と一緒にもう一度展示室に行く。今度は家族とともに好きな服や色について話す姿も見られた。



③ーイ

###### ウ. 四聖獣がやってきた一色のイメージと力

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エドゥケーター）  
開催日：3月26日（水）、27日（木）、4月1日（火） 全3日間  
参加者：小学1年生 31人

青竜（青）、朱雀（赤）、白虎（白）、玄武（黒）。古代中国や朝鮮から日本に伝わった方位をあらわす色と動物の組み合わせは、今も大事に使われています。東西南北、春夏秋冬と色彩など、色の意味と関係を、画材の引き出し博物館で絵の具の成り立ちを見ながら考えた。そして4つの聖獣を大画面に表現するため、みんなの手足を絵筆にダイナミックに身体を動かしながら描いた。



③ーウ

エ. 中世の華・羊皮紙に描くミニチュール〈細密画〉

講師：石原靖夫（美術家）

開催日：3月9日、16日、23日、4月6日（すべて日曜日） 全4日間

参加者：25人 専門家を対象としたため、専用の申込用紙にて申込

「ラピスラズリからウルトラマリンブルーをつくる」「テンペラ画を描く」に次ぐ古典技法への旅。小さな羊皮紙に中世の美しい色彩を使って本格的なミニチュールを描いた。羊皮紙はフィレンツェにある画材店“ZECCHI”から取り寄せ。時間をかけて下絵を選び、転写、石膏の盛り上げ、金箔置きと、一つ一つの作業を丁寧に行いながら5日間で模写作品を仕上げた。また「絵画の技術書」を読みながら、中世の色作りや羊皮紙の理解を深めることも行った。



③-エ



③-エ

オ. 江戸の藍・青い絵具をもとめて—お話と実験

講師：立原成基（版画家）、森芳範（藍染師）

開催日：3月29日（土）、30日（日） 全2日間

参加者：33人

立原成基氏が長年研究してこられた、江戸時代の浮世絵版画に使われた絵の具としての藍を、葛飾北斎の著した技法書「絵本彩色通」の中の「鉛出し法」という抽出方法の実験で再現制作した。純度の高い藍が抽出できた。



③-オ



③-オ

カ. 絵を見るための基礎知識（1）絵画を構成する物

講師：植本誠一郎（絵画組成研究家・元ホルベイン工業株式会社研究室室長）

開催日：2月16日（土）

参加者：80人

美術鑑賞において、基礎的な画材の知識を持っているとさらに作品を見る楽しさが広がる。この講座では、私たちが知っておくべき絵画の構造や色材のしくみなどの基本を、科学的な内容も含めて行った。

キ. 絵を見るための基礎知識（2）にかわの話

講師：上田邦介（三吉・ウエマツ代表）

開催日：2月24日（日）

参加者：50人

創業76年を迎える画材店を営む一方で、絵画の新しいメディウム（展色材）の開発に積極的に取り組まれている上田さんにより、色をささえる重要な働きを持つ素材と材料についてのレクチャーを行った。この回は、日本画を中心に広く絵画とにかわの関係をご自身の研究を踏まえて語っていただいた。

#### ク. 絵を見るための基礎知識 (3) 白と黒の話—胡粉と墨

講師：上田邦介（三吉・ウエマツ代表）

開催日：3月2日（日）

参加者：60人

上田さんによるレクチャーの2回目は、絵画を支えてきた色として白と黒の話。江戸時代に土佐光起が著わした「画法大傳」をベースにしながら、白の話として胡粉からチタニウムホワイトまで、そして墨についても語っていただいた。さらに植本誠一郎さんを交えて、絵画とメディウムについての対談を行った。

#### ケ. 色の博物誌シリーズを振り返って

開催日：青の話 2月15日（金）

赤の話 2月22日（金）

白と黒の話 3月7日（金）

緑と黄色の話 3月14日（金）

参加者：168人

1992年から2004年の間に5回シリーズで開催した色の博物誌展を振り返り、それぞれの色にまつわる色材文化について担当学芸員（降旗千賀子）が素材を提示しながら解説した。

## 【平成20（2008）年度】

### ①アート・ピクニック

#### ア. 緑の散歩、風の寄り道

講師：捧公志朗（美術家）

開催日：5月11日（日）、25日（日）

1日目 / 目黒区美術館、

2日目 / オーネ・マノクロザス（飯能市）

参加者：小学4年生以上 31人

風が存在を目に見える形にすることで、自分の生活や身近な環境について思いめぐらすワークショップとして開催。1日目、目黒区美術館では、タネ、植物の発芽、緑をキーワードに、シナベニヤからモビールのパーツを制作した。2日目の間野黒指では、捧氏のアート・スペース / オーネ・マノクロザスで、モビールを制作・完成させた。この作品は1ヶ月間展示され、期間中、数名の参加者は家族・友人とともに一緒に再訪した。



①-ア

#### イ. 佇む場へのアプローチ：竹庭をつくろう

講師：捧公志朗

開催日：11月9日（日）、23日（日）

1日目 / 目黒区民センター社会教育館、

2日目 / オーネ・マノクロザス（飯能市）

参加者：中学生以上 19人

1日目は、自身の視点の再確認のため、穴を開けたカードを覗いてスケッチを行い、自己紹介を行う。そして「竹林を見るための場所」として移動可能な仮設空間となる茶室「picnic tea room」をクラフト紙で制作した。2日目、オーネ・マノクロザスの2Fを訪れると、これはピンホール・カメラとなり外の風景を映し出していた。まずはここで外を眺める意味を考える。そして制作した「picnic tea room」を外に持ち出し設置し、周囲を庭に見立てる切掛けとして、竹筒にロウソクを灯したものを置き、窓を開けて竹林と一緒に眺められるようにした。



①-イ

## ②画材と素材の引き出し博物館+ワークショップ20年のドキュメント

\*同名の展覧会と同時開催 (P.92)

### ア. 私発見! 美術発見! ー私のワークショップをつくってみよう

講師: 前沢知子 (美術家)

開催日: 7月12日(土)、20日(日)、21日(祝・月) 全3日間

参加者: 小学5年生以上 11人

私にとって「好きなもの」とは? 一人ひとり、とっておきの一品を持ち寄ることから始まったワークショップ。「好きなもの」と「みる」をキーワードに、引き出し博物館のボックスに持ち寄った品々をレイアウトした。「私自身」の新たな一面を発見するワークショップになった。



②ーア

### イ. ふたつの小さな森のかたちーふたたび日の出町へ

講師: 竹田康宏 (美術家)

開催日: 8月2日(土)、3日(日)、10日(日) 全3日間

場所: 1日目、3日目は目黒区美術館

2日目は白岩の瀧まで遠足

参加者: 小学4年生以上 15人

1996年「心を癒す植物」展において開催したワークショップを思い返し、12年経過した自然と人の関係を探りに、都心から近い山を、再度、講師の竹田さんと一緒に訪れた。今回は同じ日の出町内でも、白岩の瀧周辺の雑木林が中心。自然を観察しながら植物の生命力を感じつつ、土を採集した。そしてこの土をもとに美術館では箱庭を制作し、発芽するのは各自が楽しみに待つ。自然と人間の生活の境界線をアートから考えるワークショップとなった。



②ーイ

## <大人 mo 子供 mo、入門1日コース>

### ウ. ここはどこ? 私は誰? パロヒノビソア国の謎を解け!!

講師: 池田まち子 (美術家・遊びの広場スタッフ)

開催日: 8月1日(金)

参加者: 小学生 20人

遊びの広場スタッフ・イケマチが1989年、小学生の時に参加した「住んでみたいところ+行ってみたいところ」のワークショップ・ミニチュア版として、これまで夏に行ってきた<遊びの広場>、「色の蜃気楼」「オムレツ・カード」など人気があった内容を組み合わせ、想像の国・夢の街をつくった。



②ーウ

### エ. 人間万華鏡、多重影分身の図

講師: 榎本寿紀 (ワークショップ・エデュケーター)

開催日: 8月8日(金)

参加者: 小中学生 33人

大きな万華鏡(長さ180cmで一辺30cmの正三角形の特製万華鏡)、小さな万華鏡(20cmで一辺3cmの正三角形、直角三角形など3タイプ)を使い、自分の手足や友達目など、顔の細部をじっくり観察しながら連続模様を楽しんだ。そして折り紙染めや切り紙細工、さらに手や足に直接顔料を塗って版にし連続模様をワークショップの床一面に広げた。



②ーエ

### オ. 美術体験「水と光と虹と」

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エディケーター）

開催日：8月15日（金）

参加者：小学生 30人

1日、水を使って遊び、身体で美術を体験したコース。シャボン玉を、ストローを工夫しながら作ったり、指の先から直接飛ばしたり。次は鏡と水を張ったタライに鏡を入れ、反射した光を身体にあてるとそこには虹が現れた。広げた大きな透明ビニールシートに水をこぼし、激しく動かすと、水滴が細かく踊り出し、虹が出現する。最後は2mもの巨大な水枕をつくり、上に乗ったり、中に入ったりしながら、ずぶぬれになって水を全身で感じた。



②ーオ

### <子供スペシャル・ライブ・ワークショップ>

#### カ. 一番濃い夏休み ブラック・ボックス・びじゅつたいけん

進行：グループ・ACHIRA（北川明奈、小宮智央、中村良子）

開催日：8月12日（火）、13日（水）、14日（木） 全3日間

参加者：小学生 31人

15年以上前のワークショップ参加者が、美術館で再会し、グループを結成して、過去に経験した楽しかったコース、心に残ったコースなどで組み立てたワークショップ。夏休みをキーワードに、フェイス・ペインティングをして気持ちを盛り上げ、全身絵筆になりアクション・ペインティングで絵を描いた。



②ーカ

### <ファミリーワークショップ>

#### キ. ひとつづきの模様から かいて、ぬって、はって、楽しい絵本をつくろうよ。

進行：トイコレクション・ボランティアチーム

開催日：7月26日（土）、27日（日） 午後1時～4時

参加者：4歳以上2人一組の家族 16組32人

1999年より始まったトイコレクション・ボランティアチームによるファミリーワークショップ。今までの活動を振り返り、印象深いワークショップから、「コロコロ版画」「葉っぱのフロッターシュ」「糸引き版画」、そしてはじけたシャボン玉の模様を紙に写すことを行った。最後は出来たモノをコラージュして絵本をつくった。



②ーキ

### <番外編>

#### ク. 美術体験—水と光と虹と 番外編

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エディケーター）

開催日：8月22日（金）

参加者：小中学生 12人

Eコースの抽選外を対象に、番外編として開催。前半にシャボン玉や虹づくりを行った後、後半は透明ビニールシートに水の迷路を作り、色水が流れる様を、下から覗いて楽しんだ。

#### ケ. <遊びの広場> 射的〈しゃてき〉で決めよう、16年目のア・ラ・カ・ル・ト

開催日：7月13日、19日、8月9日、16～17日、23～24日、30～31日 計9日間

協力：目黒区美術館ボランティア会

参加者：280人

過去16年間に行われてきた「ぬるぬるぬりえ」「色の蟹気楼」「一本の線」「なぞなぞのかたち」などの<遊びの広場>を行った。参加者の制作テーマは、輪ゴムの射的で決めた。



②ーケ

## コ. 続編―秋の白岩の瀧へ

講師：竹田康弘（美術家）

開催日：12月7日（日）

参加者：5人

場所：白岩の瀧、日の出町ゴミ処理場

時間の変化とともに成長していく植物を見守り続けるというワークショップの主旨のもと、紅葉のシーズンに、日の出町／白岩滝周辺へ再訪。前回には行けなかった白岩滝の奥にある生命力たくましい樹々まで会いに行った。合わせて12年前に訪れた日の出町ゴミ処理場の現在も見に行った。

## 春のワークショップ

### ③建築教室 皮膜とコミュニケーション

#### ア. 身体から考える―自分にぴったりの家！

講師：鈴木明（建築家・神戸芸術工科大学大学院教授）

開催日：2月14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）

全4日間

場所：14日（土）三鷹天命反転住宅、  
15日（日）、21日（土）、22日（日）は目黒区美術館

参加者：小学3年生から大人 14人

協力：ABRF、アートアンリミテッド、  
国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館



A 4 チラシ

荒川修作とマドリン・ギンズが企画設計した三鷹天命反転住宅に1日遠足して内部空間を体験し、国際基督教大学・泰山荘にある、江戸時代の探検家松浦武四郎ゆかりの貴重な「一畳敷」を見学、「包まれる皮膜」としての空間を身体で考えた。美術館では、その体験に本来の心地よさ、身体順応に併せた、家というイメージでの皮膜空間を考えていき、移動型の家を制作した。



③ーア



③ーア

#### イ. 旅するまちなみ―積み木でつくる皮膜の家

講師：高浜利也（美術家・版画／インスタレーション）

開催日：3月7日（土）、8日（日）、15日（日）、21日（土）、  
22日（日） 全5日間

参加者：小学4年生から大人 11人

高浜さんが、いろいろな場所・美術館を旅して続けている「旅するまちなみ、」のプロジェクトに参加し、目黒での積み木の家を制作した。皮膜やシェルターを再認識し、木切れや、板きれなど沢山の素材を組み合わせて、立ち上げた。



③ーイ

#### ウ. 飛び出せ！わたしの家―こんな部屋があったらいいな

講師：石田潤（建築家）

開催日：3月20日（金）、26日（木） 全2日間

場所：20日（金）三鷹天命反転住宅、26日（木）目黒区美術館

参加者：新小学1年生以上 30人

協力：ABRF、アートアンリミテッド

初日に三鷹天命反転住宅を訪れて、身体にいい空間を体験した。そして自分が包まれてみたい空間をイメージして、自分にとっての「おうち」「部屋」のミニチュアを作った。



③ーウ

## (2) アウトリーチ・トイの日

トイコレクションを使って、ボランティアがプログラムを組み立てます。最近では、お父さんと子どもの参加も多くなってきた。

### 【平成18 (2006) 年度】

#### ① 〈スイスイおよげ こいのぼり〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム  
開催日：5月20日(土) 13:30-15:00  
場 所：目黒区民センター児童館  
参加者：45名

#### ② 〈動物たちのクリスマスツリー〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム  
開催日：12月22日(金) 14:00-15:30  
場 所：目黒区民センター児童館  
参加者：32名

#### ③ 〈りゅうが飛ぶ!〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム  
開催日：3月7日(水) 14:00-15:30  
場 所：大岡山小学校学童保育クラブ  
参加者：15名

#### ④ トイの日・つききであそぼ!

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム  
開催日：6月24日(土)、25日(日) 13:00-16:00  
場 所：目黒区美術館 ワークショップ  
参加者：260名

### 【平成19 (2007) 年度】

#### ① 〈ウキウキワクワクつきき動物園〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム  
開催日：5月19日(土)  
場 所：目黒区民センター児童館  
参加者：26名

#### ② 〈光と影のおいかけっこ なにがおこる?〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム  
開催日：12月8日(土)  
場 所：目黒区民センター児童館  
参加者：37名

#### ③ 〈未来の動物園建築〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム  
開催日：2月13日(水)  
場 所：大岡山小学校学童保育クラブ  
参加者：17名

#### ④ トイの日

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム  
開催日：2007年7月7日(土)、8日(日) 13:00-16:00  
場 所：目黒区美術館 ワークショップ  
参加者：205名



## 【平成20（2008）年度】

### ① 〈トイボックス つみきとはこで何つくる？〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム

開催日：5月31日(土)

場 所：目黒区民センター児童館

参加者：26名

### ② 〈未来の動物園建築〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム

開催日：11月29日(土)

場 所：油面住区センター児童館

参加者：49名



### ③ 〈one two tree オーナメント〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム

開催日：12月20日(土) 13:30-15:00

場 所：目黒区民センター児童館

参加者：50名

### ④ 〈みんなで1つのものをつくろう！〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム

開催日：2月18日(水)

場 所：大岡山小学校学童保育クラブ

参加者：25名

### ⑤ トイの日

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム

開催日：7月5日(土)、6日(日) 13:00-16:00

場 所：目黒区美術館 ワークショップ

参加者：215名

進 行：トイコレクション・ボランティアチーム

目黒区美術館がコレクションしてきた、美しくおしゃれな積み木などトイのコレクションを触って遊んだ。

### (3) ギャラリーツアー（小学校の授業と連携）

展覧会の開催中に学芸員の指導により児童・生徒が各展示室に分かれてギャラリーツアーを実施した。

## 【平成18（2006）年度】

#### ① 画材と素材の引き出し博物館（鑑賞教室）

	開催日	学校名	参加者
1	6月9日	品川区立第四日野小学校	64人
2	6月15日	目黒区立原町小学校	49人
3	6月21日	千代田区立富士見小学校	79人
4	9月7日	目黒区立向原小学校	65人

#### ② 熊田千佳慕・山名文夫と熊田精華展

	開催日	学校名	参加者
1	6月28日	目黒区立菅刈小学校	37人
2	6月29日	目黒区立向原小学校	68人
3	6月29日	目黒区立油面小学校	73人
4	6月30日	目黒区立八雲小学校	53人
5	6月30日	目黒区立田道小学校	56人
6	6月30日	目黒区立下目黒小学校	40人
7	7月5日	目黒区立下目黒小学校	46人
8	7月6日	目黒区立五本木小学校	83人
9	7月6日	目黒区立田道小学校	50人
10	7月7日	目黒区立月光原小学校	52人
11	7月12日	目黒区立原町小学校	61人
12	7月12日	目黒区立中目黒小学校	62人
13	7月13日	目黒区立八雲小学校	73人
14	7月13日	目黒区立下目黒小学校	50人
15	7月14日	港区立東町小学校	61人
16	7月14日	目黒区立田道小学校	57人
17	7月28日	大田区立出雲中学校	11人
18	8月8日	文京区立第7中学校	10人

#### ③ 素描する人々ー或る日の洋畫研究所

	開催日	学校名	参加者
1	10月27日	目黒区立原町小学校	66人

#### ④ 「チェコ絵本とアニメーションの世界」展

	開催日	学校名	参加者
1	2月14日	目黒区立上目黒小学校	54人
2	2月14日	目黒区立下目黒小学校	43人
3	2月15日	目黒区立不動小学校	72人
4	2月20日	目黒区立碑小学校	61人
5	2月21日	目黒区立田道小学校	55人
6	2月22日	品川区立第四日野小学校	84人
7	2月22日	目黒区立下目黒小学校	51人
8	2月23日	目黒区立向原小学校	44人
9	2月23日	目黒区立下目黒小学校	39人
10	2月27日	目黒区立原町小学校	47人
11	3月1日	目黒区立中根小学校	68人
12	3月7日	星美小学校	8人
13	3月16日	目黒区立田道小学校	38人

## 【平成19（2007）年度】

#### ① 画材と素材の引き出し博物館（鑑賞教室）

	開催日	学校名	参加者
1	6月28日	港区立東町小学校	18人
2	7月6日	千代田区立富士見小学校	54人
3	2月21日	目黒区立向原小学校	69人
4	2月28日	千代田区立富士見小学校	70人
5	3月11日	目黒区立中根小学校	74人

#### ② 線の迷宮Ⅱ～鉛筆と黒鉛の旋律

	開催日	学校名	参加者
1	7月11日	目黒区中目黒刈小学校	61人
2	7月12日	港区立東町小学校	48人
3	7月12日	目黒区立田道小学校	51人
4	7月13日	目黒区立月光原小学校	32人
5	7月18日	目黒区立下目黒小学校	44人
6	7月19日	目黒区立菅刈小学校	45人
7	7月19日	目黒区立油面小学校	70人
8	7月20日	目黒区立五本木小学校	73人
9	7月20日	目黒区立下目黒小学校	53人
10	9月6日	目黒区立原町小学校	56人
11	9月7日	目黒区立下目黒小学校	42人
12	9月7日	目黒区立向原小学校	64人

#### ③ 馬と近代美術展

	開催日	学校名	参加者
1	10月17日	目黒区立向原小学校	49人
2	11月16日	目黒区立下目黒小学校	37人

#### ④ 目黒の新進作家ー七人の作家、7つの表現

	開催日	学校名	参加者
1	12月19日	目黒区立向原小学校	46人
2	12月20日	目黒区立田道小学校	37人
3	12月21日	目黒区立不動小学校	84人

#### ⑤ 「山本武夫」展・「美女の図・美男の図」展

	開催日	学校名	参加者
1	2月22日	目黒区立上目黒小学校	51人

## 【平成20（2008）年度】

### ① コレクション展

	開催日	学校名	参加者
1	5月28日	目黒区立原町小学校	64人
2	6月5日	目黒区立月光原小学校	53人
3	6月5日	目黒区立田道小学校	56人
4	6月6日	目黒区立月光原小学校	53人

(参加者 計226人)

### ② 「画材と素材の引き出し博物館」

#### +ワークショップ20年のドキュメント展

	開催日	学校名	参加者
1	6月18日	目黒区立下目黒小学校	42人
2	6月19日	目黒区立下目黒小学校	45人
3	6月26日	目黒区立下目黒小学校	42人
4	7月2日	目黒区立向原小学校	50人
5	7月3日	目黒区立下目黒小学校	60人
6	7月4日	港区立東町小学校	91人
7	7月4日	目黒区立田道小学校	56人
8	7月4日	目黒区立中目黒小学校	56人
9	7月11日	目黒区立中根小学校	63人
10	7月16日	目黒区立月光原小学校	49人
11	7月17日	目黒区立不動小学校	79人

(参加者 計633人)

### ③ 丸山直文展

	開催日	学校名	参加者
1	10月2日	目黒区立五本木小学校	71人
2	10月8日	目黒区立向原小学校	50人
3	10月10日	目黒区立田道小学校	37人
4	10月10日	目黒区立菅刈小学校	47人
5	10月15日	目黒区立原町小学校	49人
6	10月16日	目黒区立不動小学校	80人
7	10月31日	目黒区立下目黒小学校	41人
8	10月31日	目黒区立下目黒小学校	48人

(参加者 計423人)

### ④ 祝祭の衣装展

	開催日	学校名	参加者
1	2月20日	目黒区立向原小学校	44人
2	2月24日	目黒区立油面小学校	69人
3	2月25日	目黒区立上目黒小学校	40人
4	3月13日	目黒区立原町小学校	57人

(参加者 計210人)



## (4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

共催：目黒区

村野藤吾が設計した目黒区総合庁舎（旧千代田生命本社ビル）の見所を、目黒区美術館建築ボランティアが案内した。専門家から建築愛好者までいろいろな方々が興味を持って下さっているので、毎回工夫した内容でくみたてています。

### 【平成18（2006）年度】

講師：目黒区美術館建築ボランティア

開催日：4月14日（金）、15日（土）、23日（日）、5月12日（金）

場所：目黒区総合庁舎

参加者：276人

### 【平成19（2007）年度】

講師：目黒区美術館建築ボランティア

開催日：4月13日（金）、15日（日）、5月11日（金）、19日（土）

場所：目黒区総合庁舎

参加者：273人

### 【平成20（2008）年度】

講師：目黒区美術館建築ボランティア

開催日：4月13日（日）、25日（金）、29日（火・祝）、5月9日（金）

場所：目黒区総合庁舎

参加者：203人



## (5) めぐるアートウィーク（目黒区教育委員会との共催）

### ア. 建築めぐり塾

2009年2月27日(金) 11:00-16:00

東京大学駒場キャンパス（1キャンパス、2キャンパス）

ナビゲーター：永井達也氏（目黒21設計室）

東京大学駒場キャンパス案内：折茂克哉氏（東京大学駒場博物館助教）

参加者：13人

2009年2月28日(土) 11:00-16:00

日本民藝館と旧前田侯爵邸

ナビゲーター：永井達也氏（目黒21設計室）

日本民藝館案内：杉山享司氏（日本民藝館学芸部長）

協力：日本民藝館、東京都教育庁文化財保護係、目黒区みどりと公園課

参加者：27人

### イ. 「祝祭の衣装展」ギャラリーツアー

2009年2月24日(火)、3月3日(火)

参加者：30人



## (6) その他

### 【平成18（2006）年度】

#### ①クリスト&ジャンヌ＝クロード講演会

開催日：2006年10月31日(火) 18:30-20:30

場 所：めぐろパーシモンホール・小ホール

\* (財)目黒区芸術文化振興財団の主催として開催

### 【平成20（2008）年度】

#### ①チャールズ&レイ・イームズ 16mm フィルム上映会

開催日：2008年6月7日(土) 19:00-20:30

場 所：目黒区民センターホール

\*チャールズの生誕100年を記念した写真展（アクサギャラリー）にあわせ、ハーマンミラー・ジャパン株式会社と共催した。

### Ⅲ.入館状況

【平成18（2006）年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
「素顔の伊東深水」展 ～Y氏コレクションから～	18年4月8日～ 18年6月4日	51日間	6,276人	123人	A, B, C, E, L, W	
「熊田千佳慕」展 ～花、虫、スローライフの輝き～ 「山名文夫と熊田精華」展 ～絵と言葉のセンチメンタル～	18年6月24日～ 18年9月3日	62日間	14,155人	228人	A, B, C, E, L,	
素描する人々ー或る日の洋畫研究所	18年10月14日～ 18年12月3日	44日間	2,819人	64人	A, B, C, E, L, W	
めぐろの子どもたち展	19年1月13日～ 19年1月28日	14日間	10,508人	751人	A, B, C, E, L, W, G	
チェコ絵本とアニメーションの世界展	19年2月10日～ 19年4月8日	43日間 (18年度)	14,545人 (18年度)	338人 (18年度)	A, B, C, E, L,	全期間50日間 19,568人
合計		214日間	48,303人	226人		

#### 協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区民作品展	18年9月18日～ 18年10月1日	12日間	4,508人	376人	A, B, C, E, L, W, G	

#### 共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区書作家協会展	18年5月17日～ 18年5月21日	5日間	412人	82人	G	
目黒区美術家協会展	18年6月28日～ 18年7月2日	5日間	400人	80人	G	
目黒区美芸作家協会展	19年3月27日～ 19年4月1日	6日間	831人	139人	G	

注 A = 展示室A、B = 展示室B、C = 展示室C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ室、G = 区民ギャラリー

【平成19（2007）年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
チェコ絵本とアニメーションの世界展	19年2月10日～ 19年4月8日	7日間 (19年度)	5,023人 (19年度)	718人 (19年度)	A, B, C, E, L,	全期間50日間 19,568人
原マスミ大全集I	19年4月21日～ 19年6月24日	57日間	7,387人	130人	A, B, C, E, L, G	
線の迷宮IIー鉛筆と黒鉛の旋律	19年7月7日～ 19年9月9日	56日間	15,608人	279人	A, B, C, E, L	
馬と近代美術展	19年10月11日～ 19年11月25日	40日間	3,058人	76人	A, B, C, E, L, W	
目黒の新進作家 ～7人の作家、7つの表現	19年12月4日～ 20年1月13日	29日間	3,631人	125人	A, B, C, E, L	
めぐろの子どもたち展	20年1月19日～ 20年2月3日	14日間	9,976人	713人	A, B, C, E, L, W, G	
美女の図、美男の図 ～藤田嗣治、高野三三男から現代作家まで	20年2月9日～ 20年4月6日	44日間 (19年度)	4,167人 (19年度)	95人 (19年度)	A, B, C, E, L	全期間50日間 5,207人
山本武夫展 ～小村雪岱の弟子、美人画と舞台美術	20年2月9日～ 20年4月6日	44日間 (19年度)	4,167人 (19年度)	95人 (19年度)	A, B, C, E, L	全期間50日間 5,207人
合計		291日間	53,017人	182人		

※「美女の図、美男の図展」と「山本武夫展」は同時開催

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区民作品展	19年9月17日～ 19年9月30日	12日間	4,109人	342人	A, B, C, E, L, W, G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区書作家協会展	19年5月16日～ 19年5月20日	5日間	415人	83人	G	
目黒区美術家協会展	19年6月27日～ 19年7月1日	5日間	452人	90人	G	
目黒区美芸作家協会展	20年3月25日～ 20年3月30日	6日間	941人	157人	G	

注 A = 展示室A、B = 展示室B、C = 展示室C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ室、G = 区民ギャラリー

## 【平成20（2008）年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
美女の図、美男の図 ～藤田嗣治、高野三三男から現代作家まで	20年2月9日～ 20年4月6日	6日間 (20年度)	1,040人 (20年度)	173人 (20年度)	A, B, C, E, L	全期間50日間 5,207人
山本武夫展 ～小村雪岱の弟子、美人画と舞台美術	20年2月9日～ 20年4月6日	6日間 (20年度)	1,040人 (20年度)	173人 (20年度)	A, B, C, E, L	全期間50日間 5,207人
コレクション展 作品と作品の間に・・・4つの変奏	20年4月17日～ 20年6月8日	47日間	2,198人	47人	A, B, C, E, L	
「画材と素材の引き出し博物館」 +ワークショップ20年のドキュメント展	20年7月1日～ 20年8月31日	54日間	4,722人	87人	A, B, C, E, L	
丸山直文展－後ろの正面	20年9月27日～ 20年11月9日	38日間	5,898人	155人	A, B, C, E, L, W	
石内都展 ひろしま/ヨコスカ	20年11月15日～ 21年1月11日	43日間	7,464人	174人	A, B, C, E, L	
めぐろの子どもたち展	21年1月17日～ 21年2月1日	14日間	10,262人	733人	A, B, C, E, L, W, G	
祝祭の衣装展 ～ロココ時代のフランス宮廷を中心に	21年2月11日～ 21年3月29日	41日間	10,329人	252人	A, B, C, E, L	
合計		249日間	42,953人	173人		

※「美女の図、美男の図展」と「山本武夫展」は同時開催

### 協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区民作品展	20年9月9日～ 20年9月21日	12日間	4,890人	408人	A, B, C, E, L, W, G	

### 共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区写真美術協会展	20年4月16日～ 20年4月20日	5日間	271人	54人	G	
目黒区書作家協会展	20年5月28日～ 20年6月1日	5日間	345人	69人	G	
目黒区美術家協会展	20年6月25日～ 20年6月29日	5日間	550人	110人	G	
目黒区美芸作家協会展	21年3月24日～ 21年3月29日	6日間	1,050人	175人	G	

注 A = 展示室A、B = 展示室B、C = 展示室C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ室、G = 区民ギャラリー

## IV. 作品等貸出

### 【平成18（2006）年度】

#### ●作品貸出●

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
高島野十郎 「牡丹花」 「百合とヴァイオリン」	没後30年 高島野十郎展	三鷹市美術ギャラリー	会期：平成18(2006)年6月10日 ～7月17日 貸出：平成18(2006)年6月6日 ～7月27日
木下孝則 「川瀬夫人像」 高野三三男 「白衣夫人」 「防空壕の中で」	有島生馬と一水会展	佐久市近代美術館	会期：平成18(2006)年7月8日 ～9月3日 貸出：平成18(2006)年6月25日 ～9月12日
高野三三男 「白服のパリジェヌ」 「裸婦1」 「人形を持ったパリジェヌ」 「ヴァイオリンのある静物(コン ポジション)」	巴里憧憬—エコール・ド・パリと 日本の画家たち	徳島県立近代美術館 山梨県立美術館 高梁市成羽美術館 名古屋市美術館 埼玉県立近代美術館	会期：[徳島] 平成18(2006)年7月15日 ～8月20日 [山梨] 平成18(2006)年8月26日 ～10月1日 [高梁] 平成18(2006)年10月7日 ～11月12日 [名古屋] 平成18(2006)年11月18日 ～12月24日 [埼玉] 平成18(2006)年1月6日 ～2月12日 貸出：平成18(2006)年7月7日 ～平成19(2007)年2月16日
荻須高德 「パリのカフェ」 「鯖」 「にわとり」	没後20年 荻須高德展	神戸市立小磯記念美術館 稲沢市荻須記念美術館	会期：[神戸] 平成18(2006)年8月5日 ～10月9日 [稲沢] 平成18(2006)年10月14日 ～12月17日 貸出：平成18(2006)年7月26日 ～平成19(2007)年1月17日
梅原龍三郎 「パリ市庁」 小川千甕 「フランクフルト風景」(横) 「セーブル風景」 里見勝蔵 「雪景」	浅井忠と関西美術院展	府中市美術館 京都市美術館	会期：[府中] 平成18(2006)年8月26日 ～10月9日 [京都] 平成18(2006)年10月17日 ～12月3日 貸出：平成18(2006)年8月18日 ～12月13日
池田永治 「我利党利でアタマが一杯につ まっている御用議員」(『東京 バック』原画、1920年5月) 「悪化せる労働者」(『東京バッ ク』原画、1920年8月) 「気をつけないと引懸る」(『東 京バック』原画、1921年10月) 「軍閥も本尊も博物館へ」(『東 京バック』原画、1922年3月)	光の水墨画 近藤浩一路の全貌展	練馬区立美術館 山梨県立美術館	会期：[練馬] 平成18(2006)年9月10日 ～10月15日 [山梨] 平成18(2006)年10月21日 ～11月26日 貸出：平成18(2006)年8月31日 ～11月30日



作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
「不景気曰く『サア当分此処へおちつこうかな』」(『東京バック原画』、1922年8月) 「平和の女神も案外殺風景な」(『東京バック』原画、1922年10月)			
飯田善國 「戦争A—鎮魂歌・思い出す人々」 「戦争B—文明の没落」	飯田善國—版画と彫刻展	町田市立国際版画美術館	会期：平成18(2006)年9月30日 ～11月26日 貸出：平成18(2006)年9月22日 ～12月1日
岡鹿之助 「信号台」 宮田重雄 「ヴィリエ・シェール・モラン」	ルソーの見た夢、ルソーに見る夢展	世田谷美術館 愛知県美術館 島根県立美術館	会期：[世田谷] 平成18(2006)年10月7日 ～12月10日 [愛知] 平成18(2006)年12月20日 ～平成19(2007)年2月12日 [島根] 平成19(2007)年3月9日 ～5月6日 《愛知と島根は、宮田作品のみ貸出》 貸出：[岡鹿之助] 平成18(2006)年9月25日 ～平成19(2007)年1月16日 [宮田重雄] 平成18(2006)年9月25日 ～平成19(2007)年5月16日
中村研一 「モレー風景」	中村研一回顧展	小金井市立はげの美術館	会期：平成18(2006)年10月7日 ～11月26日 貸出：平成18(2006)年9月27日 ～11月29日
川村清雄 「村上彦四郎(村上義光 錦御旗奪還図)」 「高砂」	揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに展	東京国立近代美術館 京都国立近代美術館	会期：[東京] 平成18(2006)年11月7日 ～12月24日 [京都] 平成19(2007)年1月10日 ～2月25日 貸出：平成18(2006)年10月23日 ～平成19(2007)年3月9日
香取正彦 「臙銀蝶文花器」	生活の<かたち> —豊田勝秋のあゆみに見る昭和の工芸	福岡県立美術館	会期：平成19(2007)年1月20日 ～2月25日 貸出：平成19(2007)年1月11日 ～3月2日

## 【平成19（2007）年度】

### ●作品貸出●

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
飯田善國 「戦争A—鎮魂歌・思い出す人々」 「戦争B—文明の没落」	飯田善國—版画と彫刻展	足利市立美術館	会期：平成19(2007)年4月14日 ～6月10日 貸出：平成19(2007)年3月29日 ～6月14日
東山魁夷 「樹根」	川崎小虎と東山魁夷	山梨県立美術館 岐阜県美術館	会期：[山梨] 平成19(2007)年4月16日 ～2月24日 [岐阜] 平成19(2007)年7月20日 ～8月26日 貸出：平成19(2007)年4月13日 ～9月11日
児島善三郎 「窓からの風景」 「フランス風景」	田園の輝き—児島善三郎展	府中市美術館 北九州市美術館	会期：[府中] 平成19(2007)年6月2日 ～7月16日 [北九州] 平成19(2007)年7月22日 ～8月26日 貸出：平成19(2007)年5月24日 ～9月12日
磯辺行久 「Work '65」	磯辺行久展	東京都現代美術館	会期：平成19(2007)年7月28日 ～9月30日 貸出：平成19(2007)年7月6日 ～10月5日
山口薫 「樹根」 「巴里の屋根」 荻須高德 「パリのカフェ」 角浩 「サンスの寺院」 高野三三男 「うたたね(ねむる金髪の男の子)」。[街角風景(テアトル広場)] 猪熊弦一郎 「ノートル・ダム」		松坂屋美術館 福井市美術館	会期：[松坂屋] 平成19(2007)年8月11日 ～9月10日 [福井] 平成19(2007)年10月2日 ～11月4日 貸出：平成19(2007)年8月7日 ～11月9日
坂田一男 「浴室の二人の女」	坂田一男展	岡山県立美術館	会期：平成19(2007)年9月28日 ～11月6日 貸出：平成19(2007)年9月21日 ～11月9日
中村義夫 「男子裸像」 「日本髪の子」(後ろ姿) 「あやす」(大) 「あやす」(小) 「たき火」 「風景」 「河のある風景」 「南仏」 「城門」 「淋しき村ボウリュウ」 「村の教会」	中村義夫展	赤穂市立美術工芸館田淵記念館	会期：平成19(2007)年10月3日 ～12月16日 貸出：平成19(2007)年9月下旬 ～12月20日

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
「手押し車」 「ノルマンディ」 「小憩」 「眼鏡の婦人」 「黒いカーディガンの女」 「緑衣の女」 「黒いマントの女」 「ブルターニュ」 「取入れ」 「朝」 「土塀」 「トランク 1(中村義夫遺品)」 「トランク 2(中村義夫遺品)」			
東山魁夷 「樹根」	川端康成と東山魁夷 —響きあう美の世界—	京都文化博物館	会期：平成20(2008)年1月16日 ～2月24日 貸出：平成19(2007)年12月27日 ～平成20(2008)年2月下旬
東山魁夷 「樹根」	東山魁夷展	東京国立近代美術館	会期：平成20(2008)年3月29日 ～5月18日 貸出：平成20(2008)年3月3日 ～5月30日

●教育普及用教材(トイ・コレクション)貸出●

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
ワークショップ教材「ブルーノ・ムナリー キット」より ・ブルーノ・ムナリー「ABC con Fantasia (ABCを組み立てよう)」 ・ブルーノ・ムナリー「Proiezioni Dirette (スライド)」 ・ブルーノ・ムナリー「Carte da Giotto (カード遊び)」 ・ブルーノ・ムナリー「Piu e' Memo (プラスマイナス)」 ・ブルーノ・ムナリー「Strutture (構成)」 ・ブルーノ・ムナリー「Metti le Foglie : albli (葉っぱをつけよう：木)」 ・ブルーノ・ムナリー「Labirinto (迷宮遊び)」 ・ブルーノ・ムナリー「Transformazioni (変化)」 ・ブルーノ・ムナリー「Metti le Foglie : rampicanti (葉っぱをつけよう：つた)」 ・ブルーノ・ムナリー「Imagini della Realta' (実物像)」 ・ブルーノ・ムナリー「Dillo coi Segni (あてっこしよう)」	ブルーノ・ムナリー展	板橋区立美術館 滋賀県立近代美術館 刈谷市美術館	会期：[板橋] 平成19(2007)年12月1日 ～平成20(2008)年1月14日 [滋賀] 5月31日～7月6日 [刈谷] 9月13日～10月26日 貸出：平成19(2007)年11月 ～平成20(2008)年11月中旬

## 【平成20（2008）年度】

### ●作品貸出●

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
木下孝則 「裸婦」 「川瀬夫人像」	昭和の気品(エレガンス) 横浜の洋画家・木下孝則展	横浜美術館	会期：平成20(2008)年4月11日 ～6月8日 貸出：平成20(2008)年4月9日 ～6月15日
画材の引き出し博物館 「天然顔料1 天平の色—日本画」(本 p.10) 「天然顔料—日本画」(本 p.11) 「天然顔料」(本 p.12)	コラボレーション企画展「あお」	福井県立博物館	会期：平成20(2008)年4月26日 ～6月8日 貸出：平成20(2008)年4月15日 ～6月10日
岡 鹿之助 「信号台」	岡鹿之助展	ブリヂストン美術館	会期：平成20(2008)年4月26日 ～7月20日 貸出：平成20(2008)年4月14日 ～7月10日
藤田嗣治 「動物群」(北海道・宇都宮に貸出) 「レスリング」(宇都宮のみ貸出) 「裸婦(キキ・ド・モンパルナス)」(宇都宮のみ貸出) 「殉教者」(宇都宮のみ貸出)	レオナルド・フジタ展	北海道立近代美術館 宇都宮美術館	会期：[北海道] 平成20(2008)年7月12日 ～9月4日、 [宇都宮] 平成20(2008)年9月14日 ～11月9日 貸出：平成20(2008)年7月3日 ～11月19日
中村義夫 「あやす」 駒井哲郎 「顔(びっくりしている少女)」 古茂田守介 「母子」	小磯良平没後20年記念 子どものいる風景	神戸市立小磯記念美術館	会期：平成20(2008)年9月6日 ～11月16日 貸出：平成20(2008)年8月26日 ～11月23日
里見勝蔵 「女」 高島達四郎 「少年青帽」 田中 保 「金髪の裸婦」 高野三三男 「ヴァイオリンのある静物(コンポジション)」	日仏交流150周年記念 フジタとモンパルナスの仲間たち展	笠間日動美術館	会期：平成20(2008)年9月13日 ～11月30日 貸出：平成20(2008)年9月3日 ～12月2日
里見勝蔵 「雪景」 児島善三郎 「フランス風景」	佐伯祐三とフランス —ヴラマンク、ユトリロ 日本の野獣派展	ポーラ美術館	会期：平成20(2008)年9月13日 ～平成21(2009)年3月20日 貸出：平成20(2008)年9月3日 ～平成21(2009)年3月17日
森田元子 「婦人」 東京バック原画 池田永治 「不景気日く『サアと当分此処へおちつこうかな』」 池田永治 「スキーの焦点」 池田永治 「遊びばかりが国際的」 池田永治 「今年も同じ登場者」 池田永治 「ジャズの春」 池田永治 「五月晴」 池田永治 「街恋し、灯恋し」	1930年代・東京 —アール・デコの館(朝香宮邸)が生まれた時代展	東京都庭園美術館	会期：平成20(2008)年10月25日 ～平成21(2009)年1月26日 貸出：平成20(2008)年10月10日 ～平成21(2009)年1月21日

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
岡本唐貴 「先端に立つ女三態」 岡本唐貴 「都会」 小野佐世男 「銀座のはずれ」 小野佐世男 「新緑の海」 小野佐世男 「若さよさらば」 下川凹天 「銀座はうつる」 安本亮一 「どっちが幸福？」 安本亮一 「ショウ・ウィンドー からぬけて来た女」			
元永定正 「作品」	損保ジャパン東郷青児美術館大賞 受賞記念 元永定正展—いろ いきてる—	損保ジャパン東郷青児美術館	会期：平成21(2009)年1月10日 ～2月22日 貸出：平成20(2008)年12月24日 ～平成21(2009)年 ～2月24日
鈴木千久馬 「婦人半身」	回顧・鈴木千久馬展	鈴木千久馬展実行委員会(会場： 上野の森美術館)	会期：平成21(2009)年2月28日 ～3月6日 貸出：平成21(2009)年2月12日 ～3月18日

# V. 刊行

## 1 ピリエ (目黒区美術館ニュース)

目黒区美術館では、美術館活動の広報を目的に、美術館ニュース「ピリエ」を発行している。「ピリエ」(Piliers)は、フランス語で「柱、支柱」あるいは「支柱となる人、人物」のことで、当館のエントランスホール正面にある4本の柱を意味している。



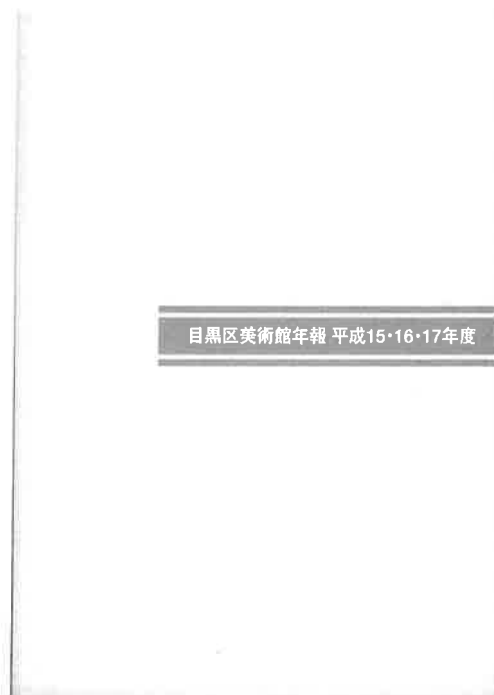
ピリエ NO. 23, 24号

## 2 目黒区美術館年報 平成15・16・17年度

発行：2007年3月20日

サイズ：A 4

ページ数：124頁



年報15・16・17年度版

## VI. 区民ギャラリー

【平成18（2006）年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	第41回目黒区文化祭参加 目黒区華茶道連盟	4/6～4/9	4	661
2	これが風書だ！月風かおり～アフリカの風に放たれて～	4/11～4/16	6	180
3	第3回千秋工房生徒作品展	4/11～4/16	6	200
4	10周年記念 日本画作品展	4/18～4/23	6	500
5	“6 PACK” アメリカンオートモービル&モーターサイクルのある風景	4/25～4/30	6	800
6	第9回ゆうの会・徹彩会合同展覧会	5/2～5/7	6	606
7	第14回えふけい会水彩画展	5/9～5/14	6	600
8	目黒区書作家協会展	5/16～5/21	6	412
9	文学博士 古岩 金榮斗先生 書道展	5/23～5/28	6	108
10	Glass Appeal 2006	5/30～6/4	6	364
11	第12回緑が丘パステル画同好会展	6/6～6/11	6	295
12	Mix Juice	6/6～6/11	6	250
13	たまりみず	6/13～6/18	6	90
14	けやき・道草の会作品展	6/13～6/18	6	150
15	A's 展	6/20～6/25	6	300
16	第14回目黒区美術家協会展	6/27～7/2	6	400
17	東京工業大学 写真研究部 新人展	7/4～7/9	6	83
18	目黒イーゼル会展	7/4～7/9	6	220
19	ECLECTIC12 個展×13	7/11～7/17	7	300
20	第6回蒼天画展	7/11～7/17	7	236
21	自由アート2006	7/19～7/23	6	200
22	第16回目黒区勤労者美術展	7/25～7/30	6	193
23	第18回エンタニ展	8/1～8/6	6	400
24	日本画の空間と色彩展	8/8～8/13	6	325
25	CRAWL Vol.04「夏休みの宿題」	8/15～8/20	6	400
26	コンテンポラリーアート 並河展9	8/22～8/27	6	150
27	橋本秋畦展併催墨洋書展	8/29～9/3	6	280
28	第17回一樹会展	9/5～9/10	6	300
29	第6回しんせいスケッチ会展	9/12～9/16	5	300
30	アトリエ・アートキッズ・スペース	9/12～9/16	5	300
31	平成18年度目黒区民作品展（区展）	9/18～10/1	12	1,786
32	二人展 絵と書のコラボレーション	10/3～10/9	7	200
33	第20回水耀会展	10/3～10/9	7	300
34	翠粋酔展	10/11～10/15	6	150
35	第6回JASS水墨画作品展	10/11～10/15	6	320
36	目黒区自主グループ連合会第44回発表会	10/17～10/22	6	575
37	いけばな池坊 澤井社中展	10/24～10/29	6	180
38	第24回萌画会展	10/31～11/5	6	546
39	第21回らゆう展	11/7～11/12	6	350
40	彩美会展	11/14～11/19	6	152
41	『街』	11/14～11/19	6	200
42	ユネスコ美術展	11/21～11/26	6	350
43	アトリエ・エビス展	11/28～12/3	6	515
44	東京四大学合同写真展	1/5～1/8	4	280
45	めぐろの子どもたち展	1/13～1/28	16	10,508
46	第6回ものがたり展	1/31～2/4	6	241
47	Hue	2/6～2/12	7	250
48	写真展「ナラビニ」	2/14～2/18	5	350
49	第6回春水会展	2/14～2/18	5	288
50	平面交差展	2/20～2/25	6	100
51	第8回自由ヶ丘フォトクラブ作品展	2/20～2/25	6	250
52	むくの会・木曜会・みずゑの会'07水彩画合同展	2/27～3/4	6	250
53	第4回 東京製本倶楽部展「本の国・本のかたち」	3/6～3/11	6	620
54	三人展	3/13～3/18	6	150
55	第10回 孝彩会展	3/13～3/18	6	180
56	第22回 私立中高美術部合同展覧会	3/20～3/25	6	353
57	目黒区美芸作家協会展	3/27～4/1	6	831
	合計	—	339	19,370

\* 「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

【平成19（2007）年度】

	展 覧 会 名	貸出期間	日 数	入場者
1	第42回目黒区文化祭 目黒区民の華道展・呈茶席	4/5～4/8	4	1,046
2	405教室展	4/10～4/15	6	310
3	Glass Appeal 2007	4/17～4/22	6	341
4	第17回だん展	4/24～4/29	6	200
5	水本会展	4/24～4/29	6	110
6	原マスマミ日替わりライブ	5/1～5/6	6	—
7	えふけい水彩グループ展	5/8～5/13	6	530
8	目黒区書作家協会展	5/15～5/20	6	415
9	アルゼンチン人アーティストによる「源氏物語」	5/22～5/27	6	179
10	meiro	5/29～6/3	6	90
11	第13回緑が丘パステル画同好会展	5/29～6/3	6	377
12	KAKIの家具とホワイトキルト展	6/5～6/10	6	451
13	土屋正男版画回顧展	6/12～6/17	6	180
14	過去・現在・そして「坂口尚陽・安藤支楊」書展	6/19～6/24	6	180
15	加藤堆繁展 一言葉の幻像一	6/19～6/24	6	220
16	目黒区美術家協会展	6/26～7/1	6	452
17	2007年度 新生美術家協会関東支部展	7/3～7/8	6	200
18	目黒イーゼル会	7/3～7/8	6	250
19	並河座展10	7/10～7/16	7	188
20	アートスペース・オー第13回クロッキーの会&第2回アートの会作品展	7/18～7/22	5	550
21	第17回目黒区勤労者美術展	7/24～7/29	6	233
22	第4回コロニ展	7/31～8/5	6	243
23	たべもの展	7/31～8/5	6	171
24	東京陶芸展	8/7～8/12	6	300
25	ECLECTIC 展	8/14～8/19	6	225
26	自由アート展2007「見える境界・見えない境界」	8/21～8/26	6	250
27	橋本秋畦書展 併 催墨洋書展	8/28～9/2	6	264
28	第22回サロン・ド・フィナル展	9/4～9/9	6	215
29	第21回水耀会展	9/4～9/9	6	286
30	第2回騰書展・OBOG 展	9/11～9/15	5	97
31	区民作品展	9/16～9/30	15	1,606
32	第18回 一樹会展	10/2～10/8	7	300
33	hus-10 ヒュース・テン陶芸作品展	10/10～10/14	5	323
34	けやきの会・道草・花と花の会作品展	10/10～10/14	5	200
35	neutralsteer	10/16～10/21	6	非公開
36	第1回リヒト会水彩画展	10/16～10/21	6	156
37	第42回目黒区文化祭 第45回自主グループ作品展	10/23～10/28	6	539
38	第19回エンタニ展	10/30～11/4	6	350
39	第11回緑が丘写真クラブ作品展	10/30～11/4	6	140
40	第22回らゆう展'07	11/6～11/11	6	350
41	第25回萌画会展	11/13～11/18	6	558
42	第7回 JASS 水墨画作品展	11/20～11/25	6	450
43	翠粋酔展	11/20～11/25	6	160
44	第28回フィナル国際美術展	11/27～12/2	6	326
45	第7回蒼天画展	12/11～12/16	6	143
46	東京学芸大学芸術文化課程書道専攻2年生書作展『玄響』	12/18～12/24	7	167
47	pic.port 武蔵野美術大学映像学科 写真ゼミ展	1/8～1/14	7	250
48	めぐろの子どもたち展	1/16～2/3	19	9,976
49	第7回ものがたり展	2/5～2/11	7	360
50	2年展	2/13～2/17	5	350
51	早稲田大学芸術学校空間映像科7期生卒業制作写真展『諸々』	2/19～2/24	6	301
52	いけばな龍生派東京第四地区展 花から花へ 華やぐ春	2/26～3/2	6	420
53	第7回春水会展	2/26～3/2	6	282
54	第54回国公立展	3/4～3/9	6	313
55	第9回自由ヶ丘フォトクラブ作品展	3/11～3/16	6	200
56	ベンジュラム展	3/11～3/16	6	211
57	第5回遊子舎 水彩画展	3/18～3/23	6	250
58	高橋邦典写真展「リベリア 戦争が残したもの」	3/18～3/23	6	401
59	第13回美芸展（目黒区美芸作家協会展）	3/25～3/30	6	941
	合 計	—	355	18,600

\* 「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。



【平成20（2008）年度】

	展 覧 会 名	貸出期間	日 数	入場者
1	第43回目黒区文化祭 目黒区民の華道展・呈茶席	4/3～4/6	4	854
2	第10回ゆうの会・微彩会合同展覧会	4/8～4/13	6	588
3	マザーズキルト展	4/15～4/20	6	432
4	目黒区写真美術協会展	4/15～4/20	6	271
5	406東京アートエキシビジョン	4/22～4/27	6	145
6	paddle（パドル）	4/29～5/6	8	154
7	Glass Appeal 2008	4/29～5/6	8	334
8	第16回えふけい会風景スケッチ画展	5/13～5/18	6	820
9	ATELIER EBIS 展	5/20～5/25	6	600
10	目黒区書作家協会展	5/27～6/1	6	345
11	第14回パステル会作品展	6/3～6/8	6	380
12	アトリエ・アートキッズ&スペース	6/3～6/8	6	150
13	第18回だん展	6/10～6/15	6	200
14	東京の四季百景 第一部	6/10～6/15	6	300
15	新生美術会・関東支部展	6/17～6/22	6	321
16	目黒区美術家協会展	6/24～6/29	6	550
17	青の三人「王様たちのいたづらな告白」展	7/1～7/6	6	200
18	目黒イーゼル会展	7/1～7/6	6	250
19	新人展	7/8～7/13	6	240
20	けやきの会・道草作品展	7/8～7/13	6	210
21	久本陽子・絵画展 BLUE VELVET FOREST	7/15～7/21	7	173
22	E C L E C T I C 展	7/15～7/21	7	174
23	第18回目黒区勤労者美術展	7/23～7/27	5	191
24	山口実 自選展	7/29～8/3	6	625
25	自由アート2008 「風景・・・あなたの眼差し」	8/5～8/10	6	321
26	CRAWL vol.06 「隙間」	8/12～8/17	6	500
27	第16回橋本秋畦書展 併催第24回墨洋書展	8/19～8/24	6	201
28	第11回孝彩会展	8/26～8/31	6	240
29	水耀会展	8/26～8/31	6	293
30	第20回「えんたに」展	9/2～9/7	6	150
31	区民作品展	9/9～9/21	13	—
32	第19回一樹会展（クロッキーの会主催）	9/23～9/28	6	300
33	第26回萌画会展	9/30～10/5	6	481
34	第6回水彩画合同展	10/7～10/13	7	550
35	彩美会展	10/15～10/19	5	380
36	第8回 JASS 水墨画作品展	10/15～10/19	5	185
37	ユネスコ美術展	10/21～10/26	6	382
38	並河座11	10/28～11/3	7	273
39	第46回目黒区自主グループ連合会作品展展示発表会	11/5～11/9	5	563
40	東京の四季百景大写真展	11/11～11/16	6	200
41	第23回らゆう展	11/18～11/24	7	450
42	草木染による染織作品展－第21回（純粋な草木染による作品）	11/26～11/30	5	450
43	写真教室アルトフォーカス第1回受講生作品展	12/2～12/7	6	292
44	第2回リヒト会水彩画展	12/2～12/7	6	150
45	T E C H X（テック展）	12/9～12/14	6	110
46	わくわく八人展	12/16～12/21	6	396
47	インクの魔法	12/23～12/27	5	200
48	Permanent Preset	12/23～12/27	5	250
49	P h o t m i n t	1/6～1/12	7	300
50	めぐろの子どもたち展	1/14～2/1	19	10,262
51	第八回ものがたり展	2/3～2/8	6	252
52	グラスアピール2009展	2/10～2/15	6	349
53	造形教室チャイルドアートセンター記念展	2/17～2/22	6	120
54	コロリエ目黒展	2/17～2/22	6	250
55	アートパズルイマジネーション展	2/24～3/1	6	156
56	目黒アートウィーク	3/3～3/8	6	—
57	第55回国公立展	3/10～3/15	6	282
58	遊子舎水彩画展	3/17～3/22	6	250
59	自由が丘フォトクラブ展	3/17～3/22	6	300
60	第14回美芸展	3/24～3/29	6	1,050
	合 計	—	362	19,133

\* 「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

## Ⅶ. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきている。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくためにボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ（喫茶コーナー）の運営、ワークショップ、アウトリーチ、目黒区総合庁舎建築ガイドツアー、広報活動補助等を中心に幅広い活動を目指している。

### 1 ボランティア数 92名（平成21年）

### 2 活動内容

#### (1) ラウンジ運営—ラウンジ営業部

活動時間：展覧会会期中の午後12時30分～4時30分

（ラウンジの営業時間は、午後1時から4時まで）

当番：原則として毎日2名

#### (2) ワークショップ活動—学芸部トイコレクション班

##### 【平成18（2006）年度】

##### ① トイの日

日にち：6月24日（土）・25日（日）

参加者：260名

##### ② 「ミクロとマクロの探検隊」ファミリーワークショップ

〈葉っぱはっぱのふしぎな絵本〉

日にち：7月29日（土）・30日（日）

参加者：64名

##### ③ 中央町社会教育館 幼児家庭教育学級

〈葉っぱはっぱのふしぎな絵本〉

日にち：11月1日（水）・8日（水）

参加者：60名

##### 【平成19（2007）年度】

##### ① トイの日

日にち：7月7日（土）・8日（日）

参加者：205名

##### ② 「線の迷宮Ⅱ」展ファミリーワークショップ

〈なが〜い紙、テカテカピカピカ鉛筆で遊ぼう！〉

日にち：7月21日（土）・22日（日）

参加者：20名

##### 【平成20（2008）年度】

##### ① トイの日

日にち：7月5日（土）・6日（日）

参加者：215名

##### ② 「画材と素材の引き出し博物館+ワークショップ20年のドキュメント」展ファミリーワークショップ

〈ひとつづきの模様から かいて、ぬって、はって、楽しい絵本をつくらうよ〉

日にち：7月26日（土）・27日（日）

参加者：32名

#### (3) アウトリーチ活動（出張美術館）—学芸部トイコレクション班

（日程等は、Ⅱ教育普及（2）アウトリーチに掲載）

##### 【平成18（2006）年度】

① 〈スイスイおよげ こいのぼり〉

② 〈動物たちのクリスマスツリー〉

③ 〈りゅうが飛ぶ！〉

【平成19（2007）年度】

- ① 〈ウキウキワクワクつき動物園〉
- ② 〈光と影のおいかけっこ なにがおこる？〉
- ③ 〈未来の動物園建築〉

【平成20（2008）年度】

- ① 〈トイボックス つみきとはこで何つくる？〉
- ② 〈未来の動物園建築〉
- ③ 〈one two tree オーナメント〉
- ④ 〈みんなで1つのものをつくろう！〉

(4) 目黒区総合庁舎ガイドツアー—学芸部建築班

【H18年度】	日にち	4/14（金）	4/15（土）	4/23（日）	5/12（金）
	参加者	48	63	81	84
【H19年度】	日にち	4/13（金）	4/15（日）	5/11（金）	5/19（土）
	参加者	52	44	82	95
【H20年度】	日にち	4/13（日）	4/25（金）	4/29（火祝）	5/9（金）
	参加者	53	23	78	49

(5) チラシなどの発送作業—広報部

【平成18（2006）年度】

「素顔の伊東深水」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業3回

【平成19（2007）年度】

「原マスミ大全集！」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業4回

【平成20（2008）年度】

「コレクション」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業5回

(6) バスツアー

【平成18（2006）年度】

日にち：9月16日（土）

場 所：大川美術館、栗田美術館

参加者：47名

【平成19（2007）年度】

日にち：12月2日（日）

場 所：国立新美術館、サントリー美術館、森美術館

参加者：53名

【平成20（2008）年度】

日にち：6月21日（土）

場 所：群馬県立近代美術館

参加者：41名

(7) その他

曜日別見学会、総会実施

## VIII. 美術館実習

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、検討の結果、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。

実習期間、実習内容等については、担当学芸員との面接により決定する。  
(提出書類) 履歴書、アンケート、学長からの依頼書等。

【平成18 (2006) 年度】

23名

【平成19 (2007) 年度】

20名

【平成20 (2008) 年度】

15名

## Ⅸ. 名簿

### (1) 財団法人目黒区芸術文化振興財団理事・監事

(順不同、平成21年6月13日現在)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	清水 美知雄	東京商工会議所目黒支部副支部長
副理事長	台座 惇人	東京経営診断士会副理事長
常務理事	齋藤 薫	財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長
理 事	朝倉 健吾	代官山ヒルサイドテラス運営
〃	井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
〃	柄澤 立子	環境造形学園名誉学園長
〃	給田 英哉	国際教養大学理事・教授
〃	田中 晴久	目黒区美術館館長
〃	引地 良一	株式会社亀屋万年堂代表取締役会長
〃	渡部 弘	パーシモンホール館長
監 事	石原 一郎	税理士
〃	安田 直史	行政経験者

### (2) 財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員

(順不同、平成21年6月20日現在)

役 職	氏 名	備 考
評 議 員	二ノ宮 啓吉	目黒区議会議員
〃	鳴志田 リエ	目黒区議会議員
〃	星見 てい子	目黒区議会議員
〃	梅原 辰郎	目黒区議会議員
〃	田淵 保夫	目黒区書作家協会会長
〃	真室 佳武	東京都美術館長
〃	安河内 敦子	造形作家
〃	安原 喜孝	陶芸家(筑波大学名誉教授)
〃	井上 久美子	世界ハーブ会議副会長・武蔵野音楽大学特任教授
〃	橘田 恵美子	目黒区クラシック音楽家協会副会長(洗足学園音楽大学名誉教授)
〃	後藤 美代子	元徳島文理大学教授・アナウンサー
〃	中屋 早紀子	声楽家(聖徳大学音楽学部声楽講師)
〃	牧野 雅子	童謡の里めぐろ保存会理事
〃	大高 優	目黒区立下目黒小学校長
〃	遠藤 正則	目黒区立第四中学校長
〃	望月 昇	目黒区文化団体連合会副会長
〃	勝村 次郎介	住区住民会議連絡協議会南部地区委員(向原住区住民会議会長)
〃	今中 美耶子	弁護士
〃	新井 篤美	早稲田大学客員研究員(元大学院客員教授)
〃	渡辺 俊介	日本経済新聞社論説委員
〃	村田 千穂	目黒区労働組合総連合常任幹事
〃	永井 廣司	中目黒GT全体管理組合理事長

# X. 施設

## ●工事概要

### 建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号  
地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区  
敷地面積：2,033.53㎡  
建ぺい率：66.45%  
容積率：199.61%  
構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造  
地上3階・地下1階  
建物高さ：17.89m  
延床面積：4,059.21㎡

### 構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造  
その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ（乾式工法）  
工期：着工昭和60年12月2日  
竣工昭和62年3月31日  
設計・監理：株式会社日本設計事務所  
建築：株式会社竹中工務店東京本店  
空調設備：株式会社朝日工業社本店  
衛生設備：足立工業株式会社東京支店  
電気設備：中国電気工事株式会社東京支店  
昇降機設備：横浜エレベーター株式会社

### ホール等

エントランス：169.85㎡  
ラウンジ：55.84㎡  
ベビーコーナー：5.27㎡  
廊下・その他：343.58㎡  
小計：574.54㎡

### 機械室等

機械室：277.14㎡  
電気室：67.59㎡  
エレベーター機械室・自家発電室・その他：129.52㎡  
小計：474.25㎡

合計：4,059.21㎡

## ●面積表

### 展示・教育普及

展示室A：319.10㎡  
展示室B：170.46㎡  
展示室C：65.80㎡  
展示ロビー：44.80㎡  
ワークショップ：148.47㎡  
廊下・階段・その他：203.17㎡  
小計：951.8㎡

### 区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53㎡  
控室：14.5㎡  
区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82㎡  
小計：592.85㎡

### 研究調査

資料室：102.79㎡  
修復室：46.09㎡  
小計：148.88㎡

### 収蔵

収蔵庫A：408.36㎡  
収蔵庫B：53.85㎡  
前室：48.53㎡  
荷解室：62.58㎡  
搬出入口：56.57㎡  
展示用具室：73.40㎡  
エレベーター・倉庫・その他：229.63㎡  
小計：932.92㎡

### 管理

事務室：58.05㎡  
館長室：32.47㎡  
理事長室：24.58㎡  
中央管理室：20.64㎡  
休養室：24.29㎡  
ワークショップ準備室：31.36㎡  
映像準備室：14.40㎡  
廊下・階段・その他：178.18㎡  
小計：383.97㎡

## XI. 沿革

昭和45年	長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
昭和54年7月	長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定
12月	美術館開設準備室設置
昭和55年3月	目黒区美術博物館建設検討委員会設置
4月	「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
昭和56年1月	目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」
3月	目黒区美術博物館建設専門委員設置
4月	目黒区美術博物館（仮称）設置の方針策定
11月	目黒区立美術館（仮称）資料収集委員会要綱を制定
昭和57年2月	博物館併設構想から美術館単独構想へ変更
3月	第一回資料収集委員会開催—資料収集を開始
10月	区制施行50周年記念事業に位置づけ
昭和59年2月	目黒区美術館（仮称）基本構想策定（58年6月策定開始）
10月	目黒区美術館（仮称）基本設計策定
昭和60年3月	目黒区美術館（仮称）実施設計策定
6月	目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
8月	目黒区美術館開設準備顧問就任 目黒区美術館マーク制作
11月	「プレビュー・目黒区美術館」展開催（11/12-11/17）
12月	目黒区美術館（仮称）新築工事起工式（12/12）
昭和61年7月	美術館管理運営の財団委託方針決定
9月	「プレビュー・目黒区美術館2」展開催（9/9-9/15）
12月	目黒区美術館（仮称）新築工事定礎式（12/5）
昭和62年3月	「目黒区美術館条例」公布
4月	目黒区美術館新築工事落成式（4/14）
10月	財団法人目黒区芸術文化振興財団設立（10/1）
11月	目黒区美術館開館（11/15）

## XII. 案内

観覧時間：午前10時～午後6時

（ただし入館は午後5時30分まで）

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）

年末年始

観覧料：展览会ごとにその都度定める。

住所：〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

TEL. 03-3714-1201（代）

交通案内：●JR山手線目黒駅（西口）、東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線

目黒駅より徒歩10分

●バス、渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行、田道小学校入り口 下車3分

目黒駅より東急、都営

黒01-大岡山小学校行

黒02-二子玉川駅行

黒06-三軒茶屋行

黒07-弦巻営業所行

東98-等々力行

権之助坂下車

下車5分

平成18(2006)・19(2007)・20(2008)年度

## 目黒区美術館年報

平成22(2010)年3月31日発行

編集・発行－目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

TEL. 03-3714-1201(代)